

平成19年度 青葉区区民意識調査

調査結果報告書

平成19年12月

横浜市青葉区

目 次

調査概要.....	2
. 回答者の属性.....	3
. 集計分析結果(概要)	4
1. 青葉区について	4
2. 青葉区の生活環境について.....	7
3. 防犯について.....	10
4. 環境活動について	13
5. 子育てや福祉について	15
6. 行政サービスについて	19
7. 横浜市開港 150 周年、青葉区区制 15 周年について	21
. 集計分析結果.....	23
1. 青葉区について	23
2. 青葉区の生活環境について.....	37
3. 防犯について.....	43
4. 環境活動について	59
5. 子育てや福祉について	78
6. 行政サービスについて	98
7. 横浜市開港 150 周年、青葉区区制 15 周年について.....	116
調査票.....	130

調査目的

この調査は、青葉区民の日常生活における行動や意識を調べ、今後の区政運営の参考とするために実施する。

また、調査結果については、市民意識調査や過去の青葉区区民意識調査と比較し、分析を行う。

調査概要

平成 19 年度 青葉区区民意識調査

調査対象
調査対象数 3,000 人（青葉区に居住する 16 歳以上の男女・無作為抽出による）
回収数 1,588 件（各図の中の N という表示は、回答者数を表す）
回収率 52.9%
調査方法
郵送によるアンケート方式
調査期間
平成 19 年 9 月

参考

青葉区 区民意識調査

	対象	対象数	回収数	回収率	調査方法	調査時期
19 年度	16 歳以上	3,000	1,588	52.9%	郵送	9 月
16 年度	20 歳以上	3,000	1,727	57.6%	郵送	9 月
12 年度	15 歳以上	4,000	1,980	49.7%	郵送	5 ~ 6 月

横浜市 市民意識調査

19 年度	20 歳以上	5,000	3,698	74.0%	訪問	6 ~ 7 月
-------	--------	-------	-------	-------	----	---------

調査概要の比較

平成 19 年度と過去の調査を比較すると、調査方法は全て郵送によるアンケート方式であるが、対象年齢が高くなるほど回収率が高くなっていることがわかる。

また、平成 19 年度市民意識調査の調査方法は、調査員による訪問面接方式であり、郵送によるアンケート方式よりも回収率が約 20 ポイント高くなっていることがわかる。

本文の居住地区別分析は、下記の連合自治会・町内会（ ~ ）を単位に実施

中里連合自治会	大場町、鉄町、黒須田、みずすが丘
中里北部連合町内会	鴨志田町、寺家町、たちばな台一丁目、二丁目、成合町
市ヶ尾連合自治会	市ヶ尾町
上谷本連合町内会	上谷本町、柿の木台、みたけ台、もえぎ野
谷本連合自治会	梅が丘、下谷本町、千草台、藤が丘一丁目、二丁目
恩田連合自治会	あかね台一丁目、二丁目、榎が丘、恩田町、桂台一丁目、二丁目、田奈町、松風台
青葉台連合自治会	青葉台一丁目、二丁目、桜台、さつきが丘、しらとり台、つつじが丘、若草台
奈良町、奈良北団地 連合自治会	すみよし台、奈良町、奈良一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、五丁目、緑山
山内連合自治会	あざみ野一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、美しが丘四丁目、五丁目、美しが丘西一丁目、二丁目、荻子田一丁目、二丁目、三丁目、元石川町
荻田、新荻田 連合自治会	あざみ野南一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、荻田町、荻田北一丁目、二丁目、三丁目、荻田西一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、五丁目、新石川一丁目、二丁目、三丁目、四丁目
すすき野連合自治会	美しが丘西三丁目、すすき野一丁目、二丁目、三丁目、もみの木台
美しが丘連合自治会	美しが丘一丁目、二丁目、三丁目

・回答者の属性にみる特徴

女性が約 16 ポイント多い(性別)

- ・ 女性が 56.4% で、男性 40.7% より 15.7 ポイント多くなっている。

20代、76歳以上がやや少なく、「41～45歳」「56～60歳」はやや多い(年齢)

- ・ 16～20歳が3.5%で最も少なく、41～45歳、56～60歳がそれぞれ10.8%で最も多い。21～25歳が4.1%、76歳以上が5.3%でやや少なく、それ以外の年代はそれぞれ6～10%前後でほぼ均等に分散。

継続して増加傾向(居住開始時期)

- ・ 「平成7年～11年(1995～1999年)」(15.4%)「平成12年～16年(2000～2004年)」(17.6%)の10年間で合わせて33.0%で最も多く、継続して増加傾向にある。

「東京23区」が4分の1(以前の居住地)

- ・ 「その他」の26.2%が最も多くなっているが、それ以外では「東京23区」(25.6%)「川崎市」(16.8%)「青葉区以外の横浜市」(15.1%)などである。

図 - 1 - 以前の居住地

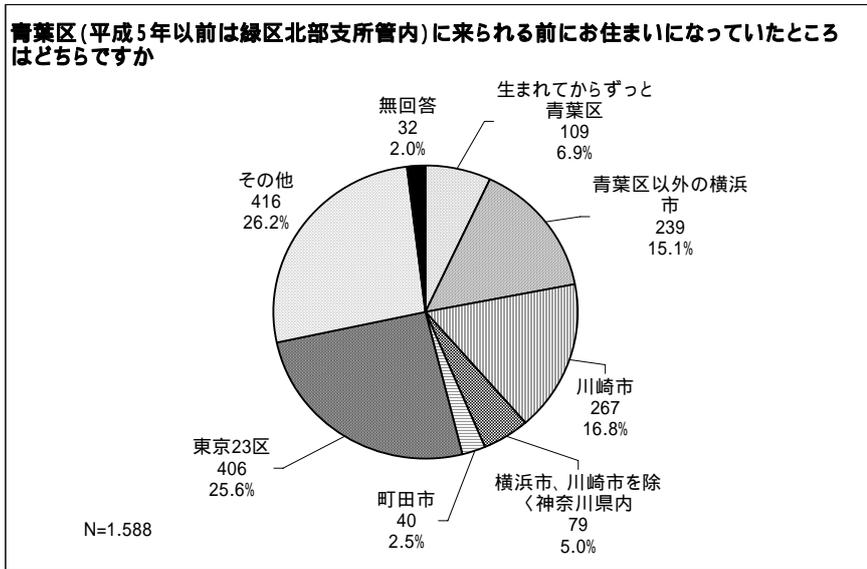


図 - 1 - 「その他」意見内容

地方	件数
北海道	13
東北	16
関東	89
関東(神奈川県)	3
東京都	46
信越・北陸	15
東海・近畿	75
東海・近畿(大阪府)	45
中国・四国	14
九州・沖縄	26
その他	5
海外	40
総計	387

(図 - 1 - 「その他」は、無記述を含む)

持家率は7割を超える(住居形態)

- ・ 「持家(一戸建て)」が48.4%、次いで「持家(マンション・共同住宅)」23.9%となっており、持家率は7割を超える。

「親と子(2世代)」が6割(家族形態)

- ・ 「親と子(2世代)」が60.3%で最も多く、以下「夫婦だけ」(22.9%)「親と子と孫(3世代)」(8.1%)「ひとり暮らし」(5.7%)「その他」(0.8%)の順となっている。

「勤め(全日)」が約3割、次いで「家事」が2割強(職業)

- ・ 「勤め(全日)」が31.0%で最も多く、次いで「家事」(23.3%)「無職」(18.3%)「勤め(パートタイム)」(9.7%)「自営業」(5.7%)「学生」(5.3%)「自営業の家族従事者」(2.3%)「その他」(1.4%)「内職」(0.3%)の順。

家族の状況

同居している子どもの有無は、「いる」が半数強

子どもの状況は、「その他」を除くと「未就学」が最も多い。「その他」は「社会人」が大多数

同居・別居を問わず、区内に65歳以上の家族の有無は、「いない」が6割超

日中、家で子どもの世話をする方の有無は、「いない」が全体の半数弱

共働きについては、「していない」が全体の7割弱

集計分析結果

1. 青葉区について

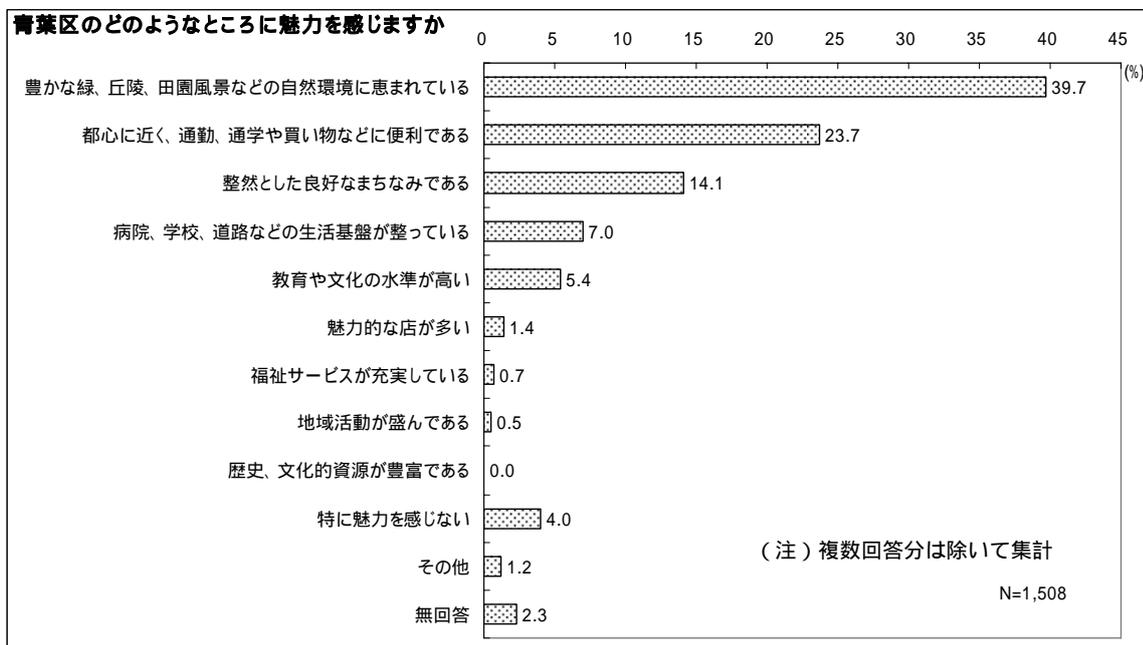
豊かな緑、自然環境に強い魅力を感じている。一方都会的な雰囲気にも恵まれ定住意向は8割を超える。

青葉区の魅力

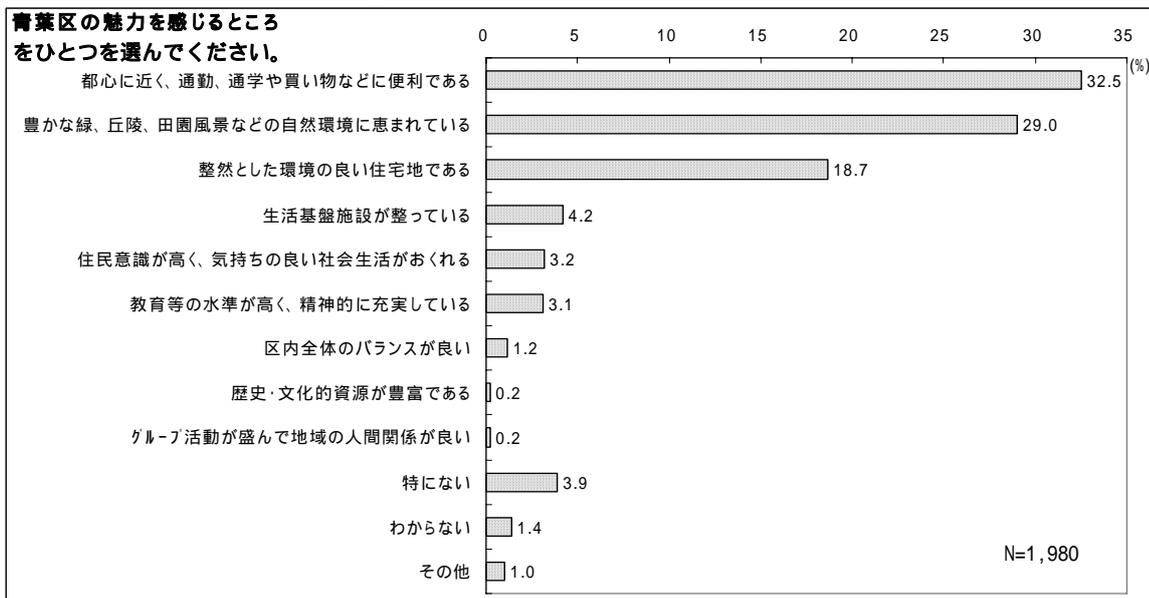
「豊かな緑、丘陵、田園風景などの自然環境に恵まれている」、次いで「都心に近く、通勤、通学や買い物などに便利である」、「整然とした良好なまちなみである」が多く、豊かな自然に恵まれていることに魅力を感じている人が特に多い一方、都会的な雰囲気という一見相対する魅力も好意的に捉えられている。

平成 12 年度調査では「都心に近く、通勤、通学や買い物などに便利である」、次いで「豊かな緑、丘陵、田園風景などの自然環境に恵まれている」であり、平成 19 年度調査までの間に自然環境へ対する関心が高まったことがわかる。また、「整然とした良好なまちなみである」ことに対して魅力を感じている人は、依然として多い。

図 - 1 - 青葉区の魅力



参考 平成 12 年度青葉区区民意識調査 図 - 1 -



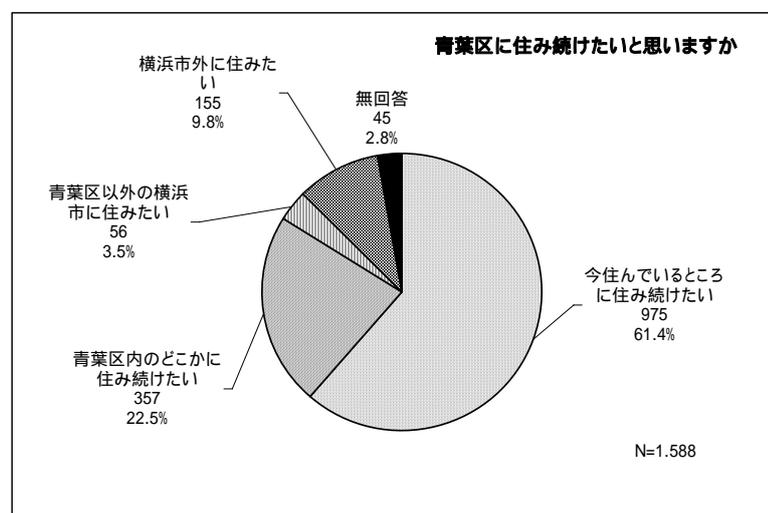
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
交通・通勤などの便利さ	周辺の静かさ	ふだん買い物をする場所の近さ	緑や自然やオープンスペースの豊かさ	病院・医院の近さ	飲食やショッピングの便利さ	近所づきあいのしやすさ	まちなみなど景観のよさ	子育て環境のよさ	図書館、学校など教育・学習環境のよさ
51.2%	48.2%	44.1%	35.5%	29.2%	20.6%	18.2%	13.9%	11.4%	11.2%

青葉区への定住意向

「今住んでいるところに住みたい」が6割強。「青葉区内のどこかに住みたい」が2割強で、これらを合わせると青葉区内への定住意向は8割を超える。

平成 12 年度調査と比較すると、定住意向は 10 ポイント以上高くなっている一方で、青葉区外への移住意向も 5 ポイント高くなっている。(但し、12 年度調査では、「わからない」、「その他」との項目あり。)

図 - 2 - 青葉区への定住意向



10 年後の青葉区は、夫婦のみ、あるいは独居の高齢者の増加、宅地化の進展による田園地帯の減少が進むと予想する区民が多い。

10 年後の青葉区の姿

「そう思う」の方が多くなっているのは「高齢化や核家族が進み、夫婦のみや一人暮らしの高齢者が増加する」「農地の宅地化が進展することにより、緑豊かな田園地域が減少する」である。

「そう思わない」の方が多くなっているのは「住民の居住年数が長くなり、地域の連帯感が増す」「道路事情や環境問題により車依存から電車、バスなどの公共交通機関重視へと変わる」である。

「大学や企業との連携によりスポーツや芸術などの独自の地域文化が誕生する」では「わからない」が最も多い。

「団塊の世代が積極的に地域活動に参加することにより、地域が活性化する」は「そう思う」「そう思わない」「わからない」がそれぞれ3割強で、三者がほぼ拮抗している。しかし、年齢別でみると、46歳～60歳(10年後は、56歳～70歳)で「そう思う」の方が多くなっており、将来、同年代が、地域活動に参加すると予測していることがわかる。

図 - 3 - 10年後の青葉区の姿

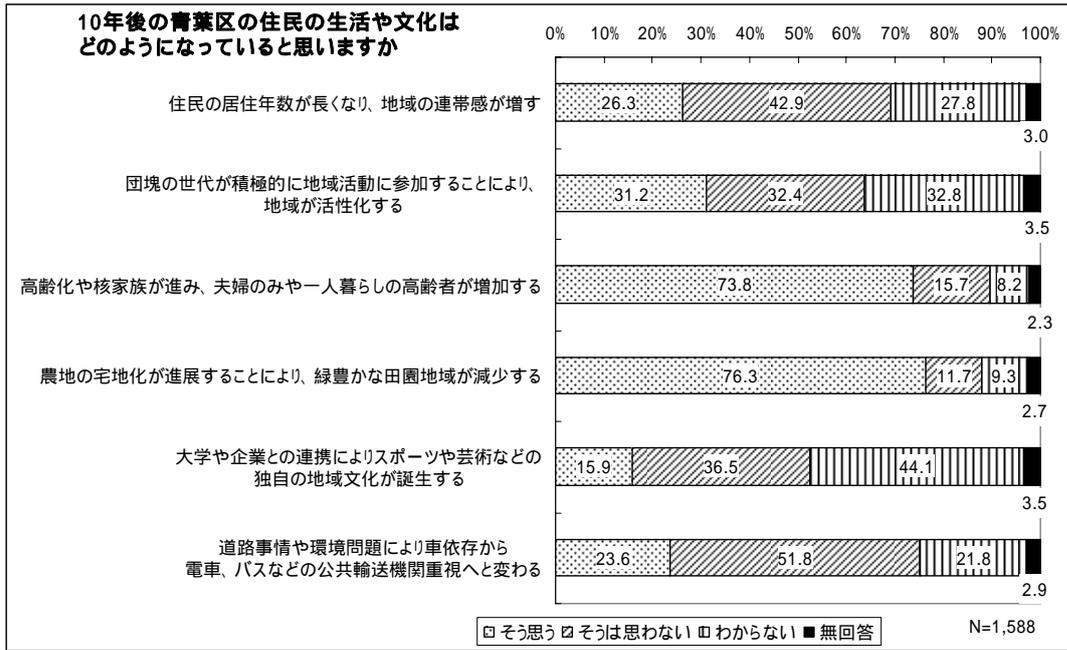


図 - 3 - 年齢別クロス集計 「団塊の世代が積極的に地域活動に参加することにより地域が活性化する」

		全体	そう思う	そうは思わない	わからない	無回答
全体		1,588	496	515	521	56
		100.0	31.2	32.4	32.8	3.5
F 2 年齢	16～20歳	55	30.9	38.2	29.1	1.8
	21～25歳	65	40.0	35.4	24.6	0.0
	26～30歳	96	25.0	26.0	47.9	1.0
	31～35歳	142	31.7	29.6	38.0	0.7
	36～40歳	167	25.1	35.9	38.3	0.6
	41～45歳	172	24.4	33.7	40.1	1.7
	46～50歳	119	36.1	32.8	30.3	0.8
	51～55歳	133	34.6	27.8	34.6	3.0
	56～60歳	171	36.3	31.0	30.4	2.3
	61～65歳	153	34.0	37.3	26.8	2.0
	66～70歳	119	31.1	42.9	21.8	4.2
	76歳以上	84	34.5	25.0	25.0	15.5
	その他	83	28.9	24.1	27.7	19.3
	無回答	29	24.1	27.6	37.9	10.3

(注) 図中の色づけられた箇所は、各年齢で割合の高い項目(1位)

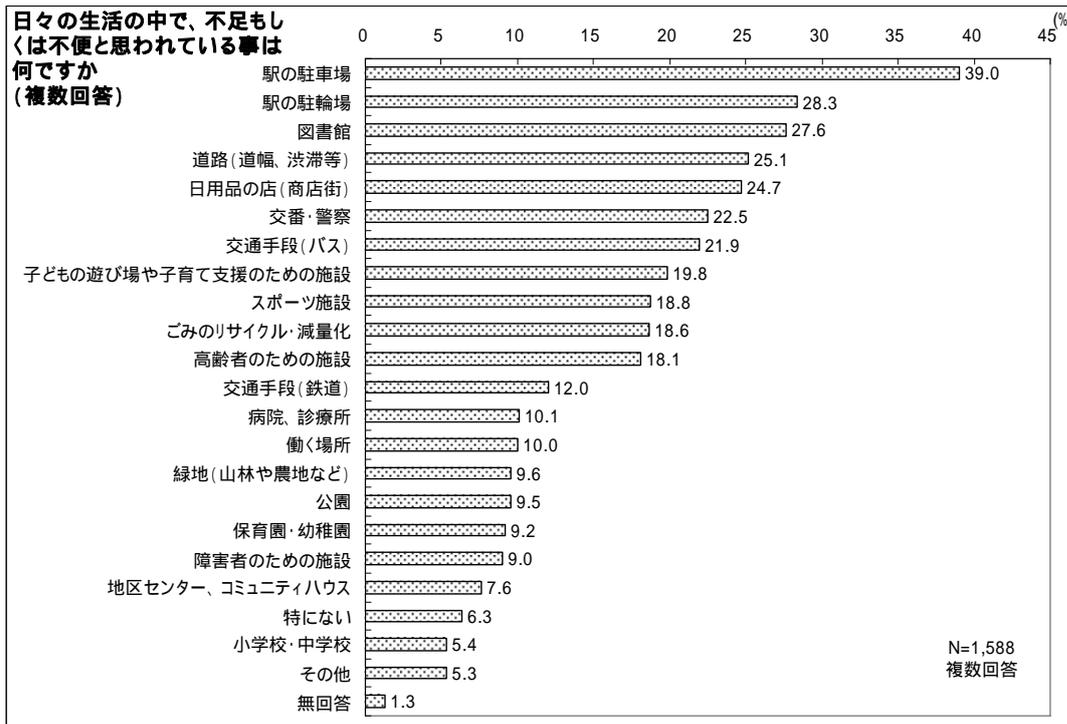
2. 青葉区の生活環境について

不便と感じているのは交通問題。美しいまちなみに悪影響を及ぼす要因への懸念が伺われる。

日々の生活の中で、不足もしくは不便とされている事

「駅の駐車場」「駅の駐輪場」「道路（道幅、渋滞等）」「交通手段（バス）」が上位を占め、交通問題への関心が高いことが特徴となっている。全体的には、「駅の駐車場」との答えが多くなっているが、特に16歳～30歳までの若い世代では「図書館」、26歳～40歳では「子どもの遊び場や子育て支援のための施設」、また、66歳以上の高齢世代では「交番・警察」との答えが多く、犯罪など不安を感じている方が多いことがわかる。

図 - 4 - 日々の生活の中で、不足もしくは不便とされている事



参考 平成16年度青葉区区民意識調査 図 - 4 -

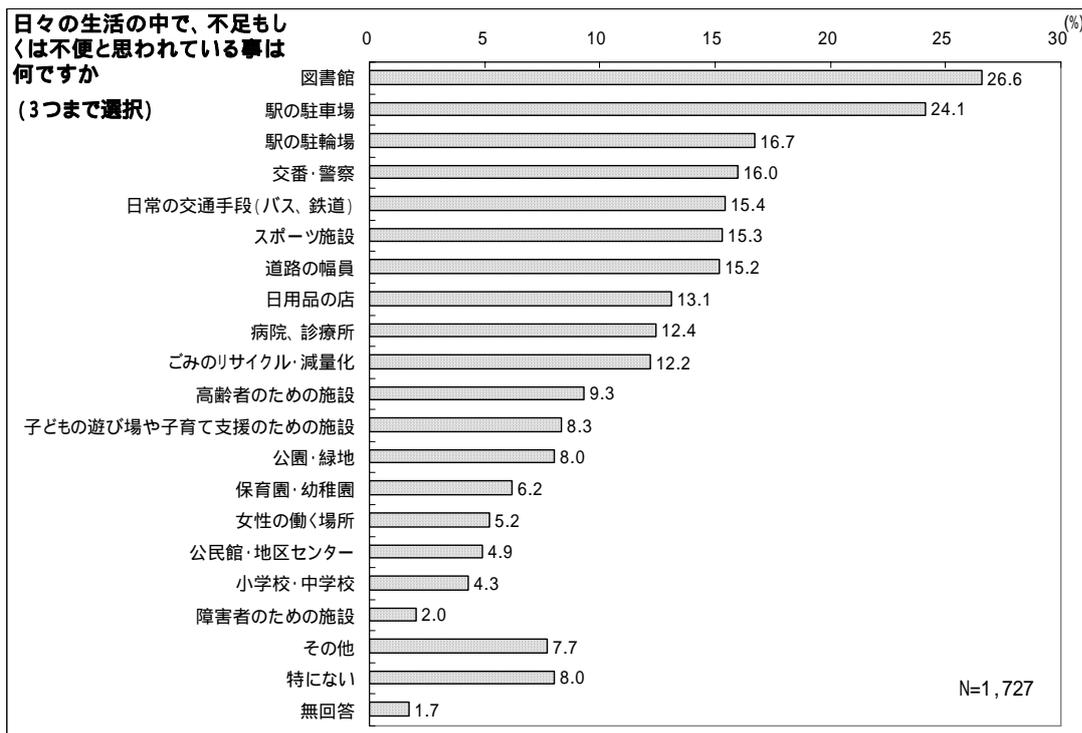


図 - 4 - 年齢別クロス集計

		全体	公園	緑地 (山林 や農地 など)	ごみのリ サイクル・減 量化	道路 (道幅、 渋滞 等)	駅の駐 輪場	駅の駐 車場	交通手 段(バス)	交通手 段(鉄 道)	保 育 園・幼 稚園	小 学 校・中 学 校	子 ど も の 遊 び 場 や 子 育 て 支 援 の た め の 施 設	日 用 品 の 店 (商 店 街)
全 体		1,588	151	152	296	399	450	620	348	191	146	85	315	393
		-	9.5	9.6	18.6	25.1	28.3	39.0	21.9	12.0	9.2	5.4	19.8	24.7
F 2 年 齢	16～20歳	55	9.1	12.7	16.4	14.5	27.3	18.2	12.7	14.5	3.6	0.0	18.2	32.7
	21～25歳	65	12.3	16.9	15.4	13.8	32.3	30.8	24.6	27.7	3.1	3.1	21.5	27.7
	26～30歳	96	15.6	14.6	19.8	29.2	27.1	36.5	21.9	14.6	15.6	4.2	29.2	27.1
	31～35歳	142	12.0	6.3	17.6	24.6	32.4	37.3	21.1	13.4	21.8	9.2	30.3	28.9
	36～40歳	167	17.4	8.4	16.2	30.5	26.9	38.3	25.7	11.4	19.2	13.2	29.3	23.4
	41～45歳	172	8.7	9.9	20.9	30.2	34.9	45.9	27.3	14.5	15.1	9.3	25.6	26.2
	46～50歳	119	9.2	11.8	21.8	29.4	32.8	45.4	20.2	16.8	6.7	7.6	25.2	29.4
	51～55歳	133	6.8	9.8	20.3	24.1	28.6	45.1	20.3	13.5	8.3	5.3	17.3	27.1
	56～60歳	171	5.8	9.4	22.8	29.2	26.3	38.6	19.9	12.3	3.5	2.9	8.2	21.1
	61～65歳	153	7.8	7.8	20.3	22.9	27.5	43.1	22.9	6.5	4.6	2.0	11.1	17.0
	66～70歳	119	9.2	12.6	21.8	25.2	26.9	45.4	21.8	4.2	2.5	0.0	16.0	20.2
	76歳以上	84	3.6	6.0	13.1	20.2	21.4	32.1	16.7	9.5	0.0	1.2	11.9	15.5
	その他	83	4.8	4.8	10.8	15.7	19.3	24.1	18.1	7.2	0.0	2.4	7.2	30.1
	無回答	29	6.9	3.4	3.4	13.8	24.1	41.4	31.0	0.0	10.3	3.4	27.6	37.9

		全体	働く場 所	病院、 診療所	図書館	スポー ツ施設	地区セ ンター、 コミュニ ティハウ ス	高齢者 のため の施設	障害者 のため の施設	交番・ 警察	特にな い	その他	無回答
全 体		1,588	159	161	439	298	121	287	143	357	100	84	20
		-	10.0	10.1	27.6	18.8	7.6	18.1	9.0	22.5	6.3	5.3	1.3
F 2 年 齢	16～20歳	55	7.3	7.3	32.7	30.9	3.6	7.3	7.3	12.7	10.9	10.9	1.8
	21～25歳	65	9.2	7.7	33.8	26.2	7.7	4.6	4.6	16.9	3.1	1.5	0.0
	26～30歳	96	13.5	10.4	36.5	28.1	7.3	11.5	10.4	15.6	3.1	3.1	0.0
	31～35歳	142	9.9	7.7	28.9	16.2	9.2	2.8	3.5	16.2	3.5	11.3	0.7
	36～40歳	167	14.4	7.8	29.3	16.8	6.6	6.6	6.6	22.2	3.0	6.0	0.0
	41～45歳	172	8.7	11.6	34.3	20.3	8.1	8.7	9.3	20.9	2.3	4.1	0.0
	46～50歳	119	12.6	9.2	29.4	25.2	5.9	18.5	10.9	26.9	5.0	5.9	0.0
	51～55歳	133	9.8	9.0	33.8	22.6	8.3	18.8	9.0	26.3	6.0	3.8	2.3
	56～60歳	171	9.4	11.7	27.5	14.0	8.8	26.3	9.9	26.3	5.8	3.5	1.8
	61～65歳	153	11.8	10.5	22.9	22.2	5.2	28.8	10.5	19.6	11.1	4.6	1.3
	66～70歳	119	9.2	12.6	19.3	11.8	10.1	36.1	11.8	27.7	7.6	4.2	2.5
	76歳以上	84	6.0	9.5	11.9	9.5	7.1	29.8	15.5	28.6	13.1	3.6	2.4
	その他	83	0.0	15.7	12.0	8.4	8.4	31.3	8.4	27.7	15.7	3.6	4.8
	無回答	29	17.2	10.3	34.5	13.8	10.3	31.0	6.9	20.7	3.4	17.2	3.4

(注) 図中の色づけられた箇所は、各年齢で割合の高い項目(1位～3位)

身近な住環境について心配なこと

「敷地の造成にともなう緑地の減少」が最も多く、以下「路上駐車」「ごみの不法投棄」「まちなみを乱す建物、広告物など」など、美しいまちなみに悪影響を及ぼす要因への懸念が多く見られる。年齢別にみると16歳～25歳の若い世代では「ごみの不法投棄」が多く、ごみに対する関心が高いことがわかる。

図 - 5 - 身近な住環境について心配なこと

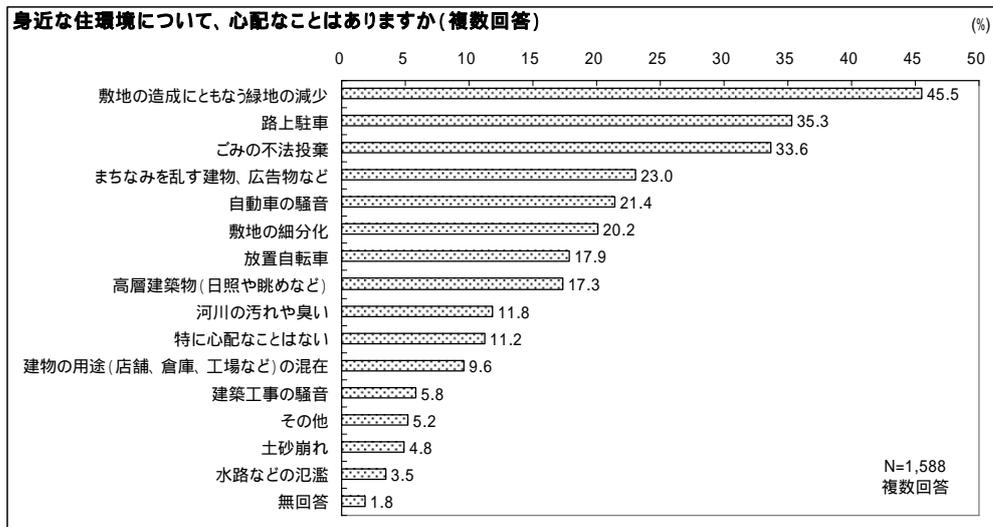


図 - 5 - 年齢別クロス集計

	全体	まちなみを乱す建物、広告物など	建物の用途(店舗、倉庫、工場など)の混在	高層建築物(日照や眺めなど)	敷地の細分化	敷地の造成にともなう緑地の減少	土砂崩れ	建築工事の騒音	自動車の騒音
全体	1,588	366 23.0	152 9.6	275 17.3	320 20.2	723 45.5	77 4.8	92 5.8	340 21.4
F2 年齢									
16～20歳	55	20.0	10.9	14.5	3.6	34.5	3.6	9.1	16.4
21～25歳	65	32.3	4.6	20.0	7.7	32.3	3.1	9.2	23.1
26～30歳	96	32.3	10.4	13.5	10.4	41.7	8.3	7.3	21.9
31～35歳	142	13.4	7.0	12.0	10.6	35.2	4.9	7.7	24.6
36～40歳	167	16.8	7.2	15.0	10.2	44.9	3.6	7.2	22.2
41～45歳	172	27.9	10.5	20.9	18.0	40.7	8.7	7.6	24.4
46～50歳	119	24.4	14.3	14.3	21.8	43.7	5.9	3.4	16.0
51～55歳	133	30.8	13.5	18.0	18.8	51.1	6.0	6.8	24.1
56～60歳	171	22.2	9.4	20.5	30.4	63.2	2.9	2.3	19.3
61～65歳	153	26.1	10.5	22.9	33.3	49.7	3.9	5.9	24.2
66～70歳	119	20.2	8.4	17.6	27.7	52.1	2.5	5.0	18.5
76歳以上	84	19.0	7.1	16.7	26.2	34.5	2.4	1.2	22.6
その他	83	15.7	3.6	15.7	28.9	43.4	6.0	3.6	14.5
無回答	29	24.1	24.1	13.8	24.1	58.6	3.4	6.9	24.1

	全体	路上駐車	放置自転車	ごみの不法投棄	水路などの氾濫	河川の汚れや臭い	特に心配なことはない	その他	無回答
全体	1,588	561 35.3	284 17.9	534 33.6	55 3.5	188 11.8	178 11.2	83 5.2	29 1.8
F2 年齢									
16～20歳	55	34.5	21.8	36.4	3.6	23.6	12.7	1.8	1.8
21～25歳	65	29.2	20.0	38.5	9.2	24.6	10.8	4.6	1.5
26～30歳	96	41.7	17.7	28.1	7.3	12.5	13.5	8.3	0.0
31～35歳	142	36.6	12.0	32.4	1.4	15.5	9.9	5.6	1.4
36～40歳	167	31.7	12.0	31.7	3.6	10.8	10.2	4.8	0.6
41～45歳	172	44.8	19.2	36.0	2.9	9.3	8.7	4.7	0.0
46～50歳	119	37.0	15.1	33.6	0.8	12.6	13.4	9.2	1.7
51～55歳	133	38.3	18.8	38.3	3.8	11.3	9.0	3.8	3.8
56～60歳	171	38.0	18.7	38.0	3.5	8.8	8.2	4.1	1.8
61～65歳	153	34.6	22.9	32.0	4.6	12.4	9.2	9.2	0.0
66～70歳	119	29.4	21.0	34.5	3.4	12.6	10.9	2.5	5.0
76歳以上	84	32.1	15.5	26.2	1.2	6.0	19.0	2.4	3.6
その他	83	19.3	22.9	25.3	1.2	1.2	21.7	3.6	4.8
無回答	29	34.5	17.2	41.4	6.9	20.7	6.9	6.9	3.4

(注) 図中の色づけられた箇所は、各年齢で割合の高い項目(1位～3位)

3. 防犯について

「あおば C30」防犯行動計画の認知度は高いとは言えない。安全について最も不安なのは「空き巣や車上ねらいなどの窃盗犯罪」、犯罪を未然に防ぐためには、「警察による防犯パトロール強化」や「防犯設備の充実」、「犯罪情報の提供」などが望まれている。地域の防犯のために協力できそうな取り組みとしては、「自宅の防犯強化」が挙げられている。

「あおば C30」防犯行動計画の認知度

「知らない」が全体の4分の3を占める。
「知っている」は2割強である。

図 - 6 「あおば C30」防犯行動計画の認知度

犯罪や事故など安全についての不安

「空き巣や車上ねらいなどの窃盗犯罪」が最も多く、次いで「ひったくりなどの路上犯罪」が、以下「子どもに対するいたずらや暴力」、「交通事故(対自動車)」、「痴漢、婦女暴行などの性的犯罪」、「交通事故(対自転車)」、「自転車、自動車などの乗り物盗難」、「悪質商法やオレオレ詐欺などの詐欺犯罪」などの順となっている。

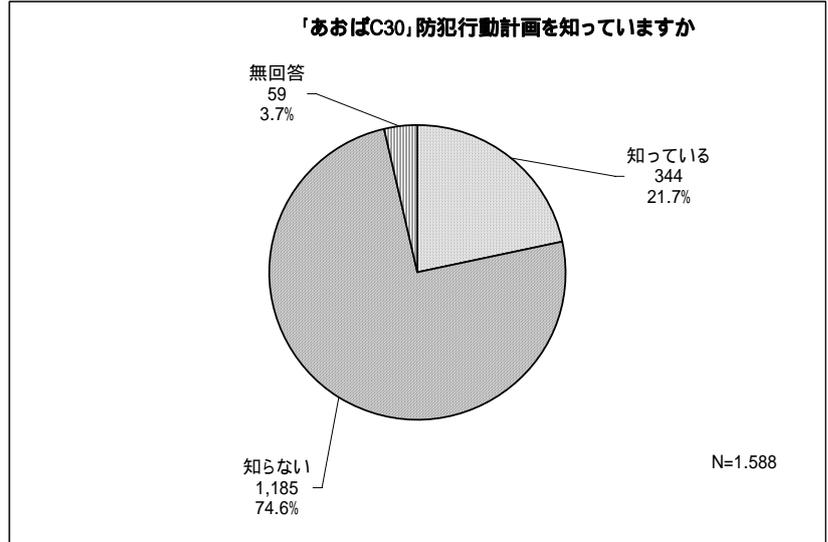
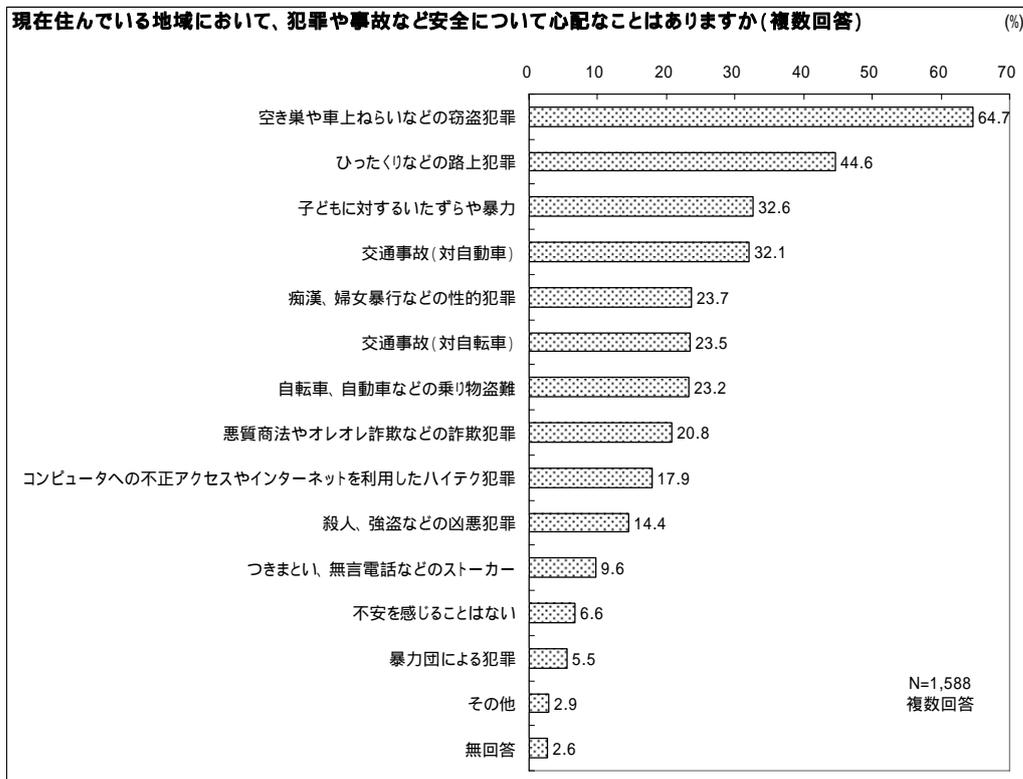


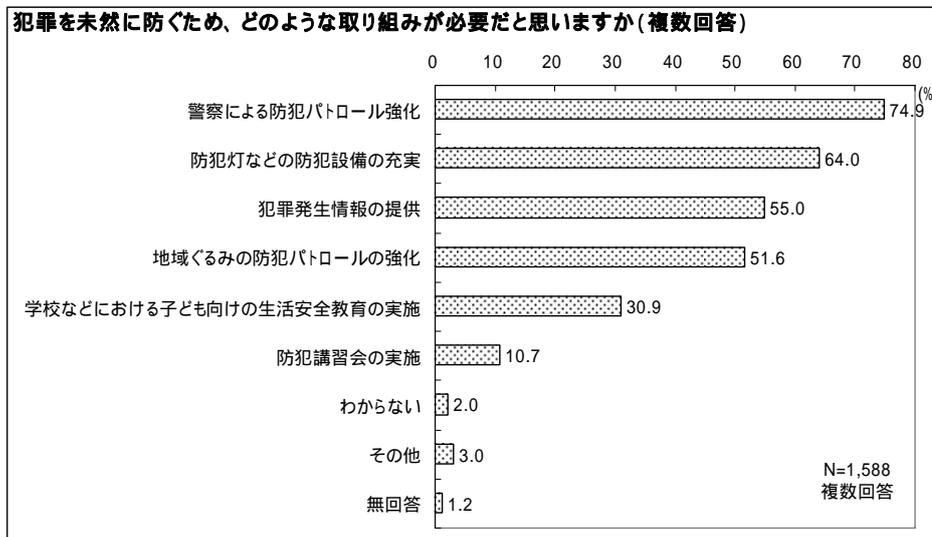
図 - 7 犯罪や事故など安全についての不安



犯罪を未然に防ぐため必要な取り組み

最も多かったのは「警察による防犯パトロール強化」が7割強で最も多い。次いで「防犯灯などの防犯設備の充実」、「犯罪発生情報の提供」、「地域ぐるみの防犯パトロールの強化」などの順となっている。

図 - 8 犯罪を未然に防ぐため必要な取り組み



地域の防犯に対して実行できそうな取り組み

「自宅の防犯強化をする(玄関やドアの鍵を増やす、防犯カメラを設置するなど)」が最も多く、「門灯をつけ、夜道を明るくする」、「留守にするときなど、近所で声をかけ合える関係づくりをする」、「登下校時の子どもの見守りをする」、「防犯パトロールに参加する」などの順となっている。年齢別にみても、全体的に「自宅の防犯強化をする(玄関やドアの鍵を増やす、防犯カメラを設置するなど)」が多いが、31歳~40歳では「登下校時の子どもの見守りをする」が多くなっている。

図 - 9 - 地域の防犯に対して実行できそうな取り組み

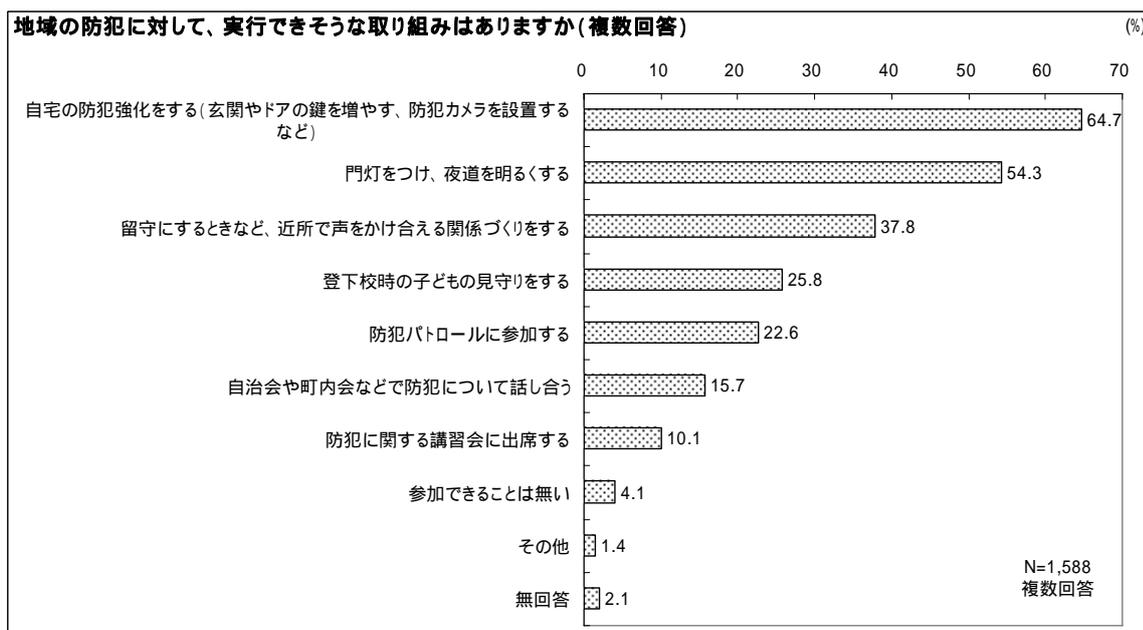


図 - 9 - 年齢別クロス集計

		全体	自宅の防犯強化をする (玄関やドアの鍵を増やす、防犯カメラを設置するなど)	門灯をつけ、夜道を明るくする	留守にするときなど、近所で声をかけ合える関係づくりをする	自治会や町内会などで防犯について話し合う	防犯に関する講習会に出席する
全 体		1,588 -	1,027 64.7	863 54.3	600 37.8	250 15.7	161 10.1
F 2 年齢	16～20歳	55	56.4	50.9	29.1	3.6	3.6
	21～25歳	65	64.6	66.2	32.3	9.2	7.7
	26～30歳	96	67.7	46.9	29.2	12.5	8.3
	31～35歳	142	67.6	34.5	38.7	14.1	10.6
	36～40歳	167	62.9	52.7	36.5	10.2	6.0
	41～45歳	172	70.3	54.1	37.8	11.0	9.9
	46～50歳	119	67.2	53.8	35.3	17.6	9.2
	51～55歳	133	64.7	58.6	39.1	17.3	12.0
	56～60歳	171	65.5	62.6	42.1	19.9	9.9
	61～65歳	153	62.1	52.9	38.6	19.0	11.8
	66～70歳	119	67.2	61.3	42.0	22.7	14.3
	76歳以上	84	59.5	60.7	41.7	22.6	13.1
	その他	83	53.0	53.0	37.3	20.5	13.3
無回答	29	69.0	65.5	44.8	13.8	10.3	

		全体	登下校時の子どもの見守りをする	防犯パトロールに参加する	参加できることは無い	その他	無回答
全 体		1,588 -	409 25.8	359 22.6	65 4.1	23 1.4	33 2.1
F 2 年齢	16～20歳	55	21.8	20.0	7.3	5.5	0.0
	21～25歳	65	10.8	10.8	3.1	0.0	1.5
	26～30歳	96	13.5	14.6	3.1	1.0	2.1
	31～35歳	142	40.1	24.6	3.5	1.4	0.7
	36～40歳	167	45.5	26.3	2.4	0.6	0.6
	41～45歳	172	34.9	28.5	3.5	1.7	1.2
	46～50歳	119	22.7	22.7	4.2	2.5	2.5
	51～55歳	133	22.6	23.3	3.8	1.5	2.3
	56～60歳	171	17.0	22.2	2.3	1.8	1.2
	61～65歳	153	18.3	24.2	5.9	1.3	4.6
	66～70歳	119	25.2	27.7	1.7	1.7	4.2
	76歳以上	84	27.4	22.6	6.0	0.0	1.2
	その他	83	12.0	13.3	12.0	0.0	6.0
無回答	29	24.1	10.3	3.4	3.4	0.0	

(注) 図中の色づけられた箇所は、各年齢で割合の高い項目(1位～3位)

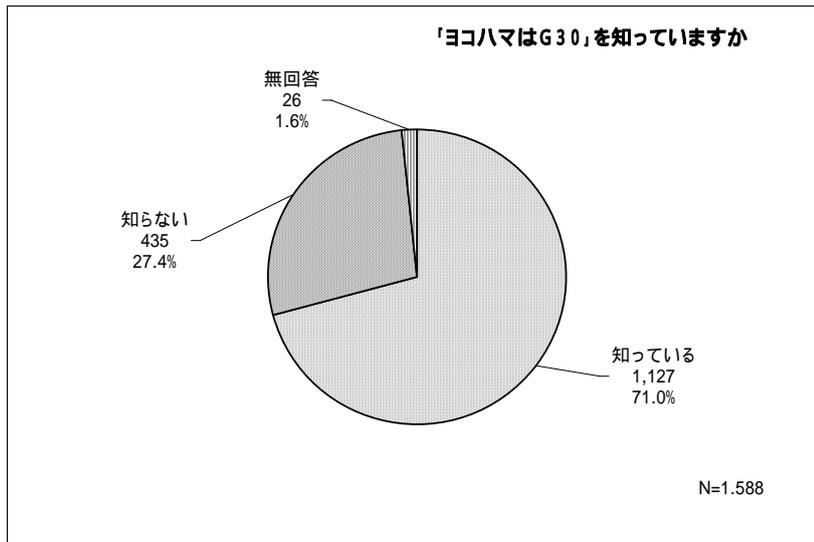
4. 環境活動について

「ヨコハマはG30」の認知度は高い。身近な緑や農地については、強い保全意向がある。自然環境保護への関心も高く、自然を汚さない工夫やマイバックの持参、自宅や公園における花や緑の育成には積極的に取り組まれている。ただし「150万本植樹行動」の認知度は低い。

「ヨコハマはG30」の認知度

「知っている」が7割以上に達しており、認知度は高い。

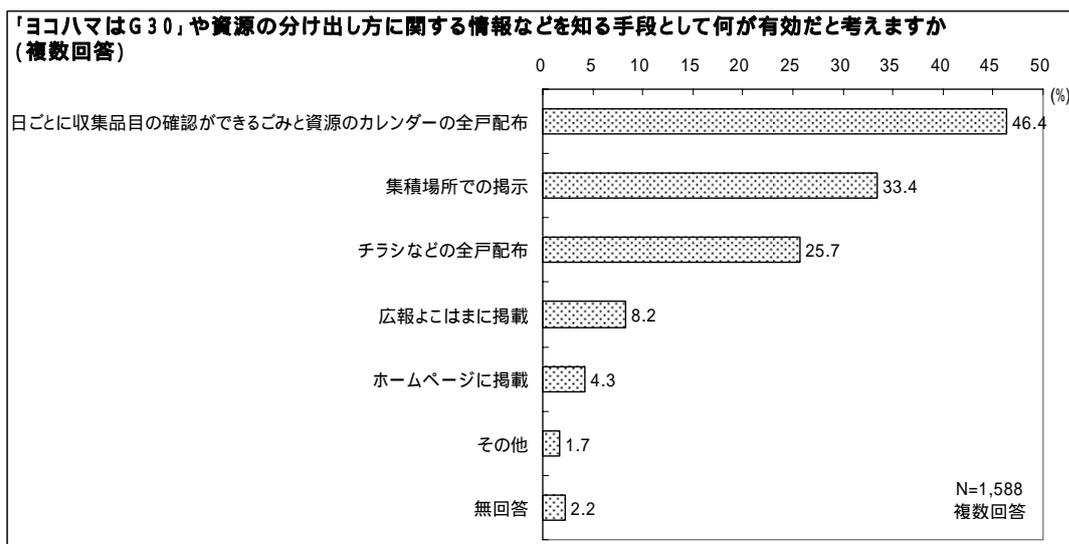
図 - 10 「ヨコハマはG30」の認知度



「ヨコハマはG30」や資源の分け出し方に関する情報などを知るのに有効な手段

「日ごとに収集品目の確認ができるごみと資源のカレンダーの全戸配布」が最も多い

図 - 11 「ヨコハマはG30」や資源の分け出し方に関する情報などを知るのに有効な手段



身近な緑や農地について、今後どのようにしていくべきか

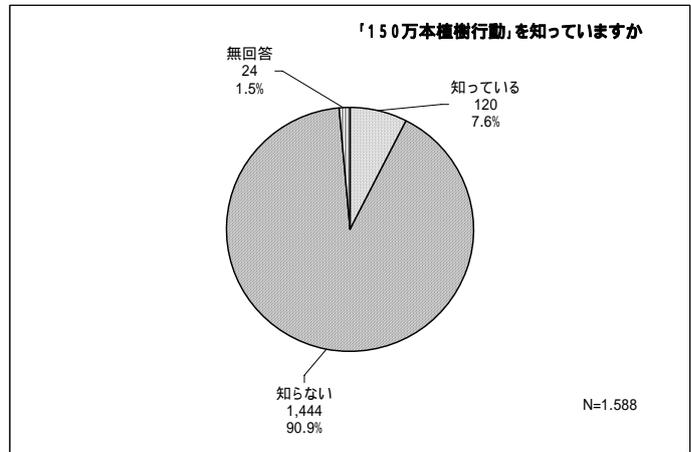
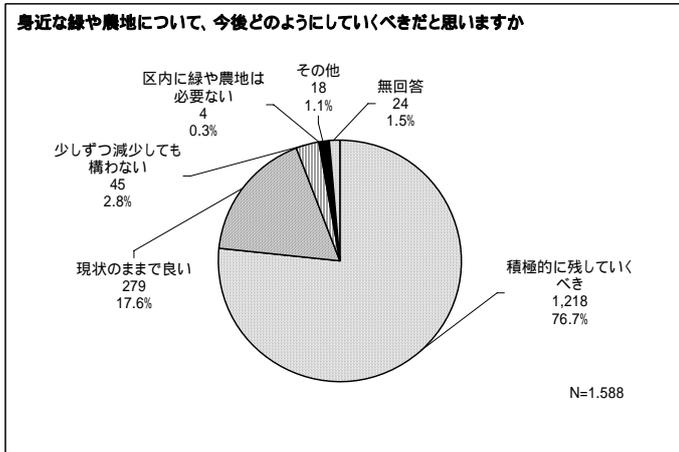
「積極的に残していくべき」が8割弱を占め、突出して多くなっている。

「150万本植樹行動」の認知度

「知らない」が90.9%で、10人の内9人が知らないとしている。「知っている」は7.6%で1割に満たない。

図 - 12 身近な緑や農地について

図 - 13 「150万本植樹行動」の認知度



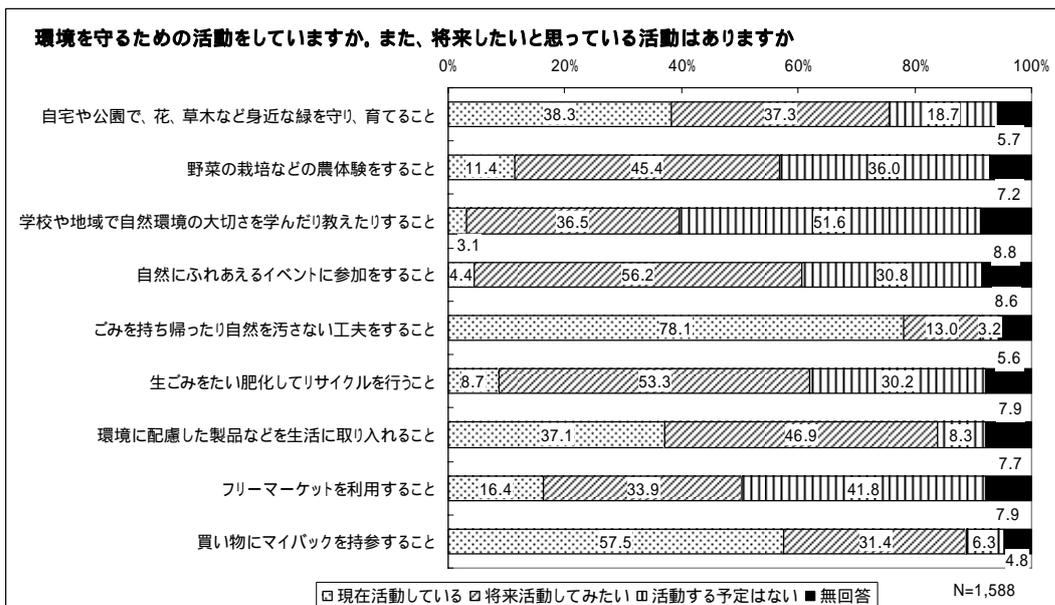
環境を守るための活動について

「現在活動している」が最も多くなっているのは、「ごみを持ち帰ったり自然を汚さない工夫をすること」「買い物にマイバックを持参すること」。なお「自宅や公園で、花、草木など身近な緑を守り、育てること」は「現在活動している」が最も多いが、「将来活動してみたい」もほぼ拮抗している。

「将来活動してみたい」が最も多くなっているのは「野菜の栽培などの農体験をすること」、「自然にふれあえるイベントに参加をすること」、「生ごみをたい肥化してリサイクルを行うこと」、「環境に配慮した製品などを生活に取り入れること」。

「活動する予定はない」が最も多くなっているのは「学校や地域で自然環境の大切さを学んだり教えたりすること」、「フリーマーケットを利用すること」。

図 - 14 環境を守るための活動について



5. 子育てや福祉について

未就学の子どもがいる家庭は全体の 15%、小学生から高校生までの子どもがいる家庭は 25%。未就学の子どもがいる場合は「子どもを気軽に預けられるところが少ないこと」、小学生から高校生までの子どもがいる場合は「学校や塾の費用などの教育費の負担が大きいこと」が最も大きな不安要因である。

未就学の子どもの有無

「いない」が 8 割強となっている。

子育てに関する不安、不満(未就学の子どもがいる場合)

「子どもを気軽に預けられるところが少ないこと」が最も多く、次いで「近所で子どもを安心して遊ばせる場所が少ないこと」となっている。

図 - 15 - 子育てに関する不安、不満(未就学の子どもがいる場合)

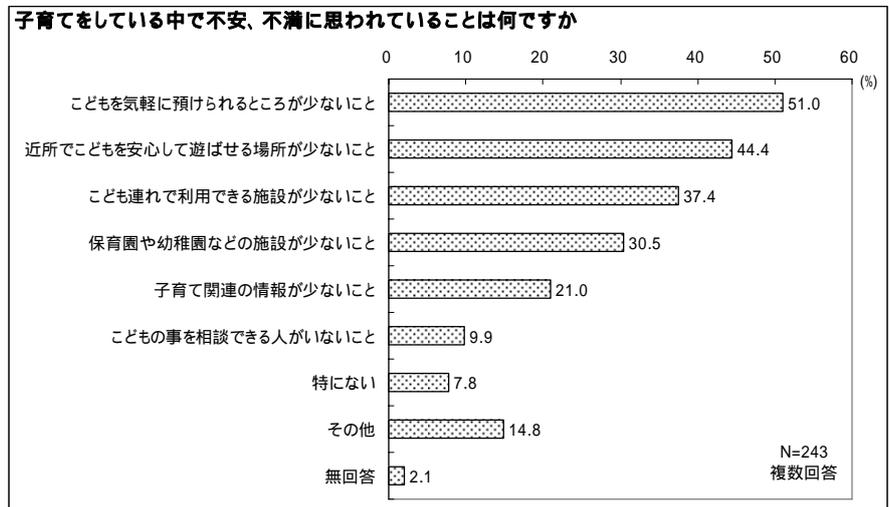


図 - 15 - 「その他」意見内容

意見内容		件数	
子育て関連施設	子育て支援施設がない、不便	6	11
	空き地がない	1	
	公園に子どもが少ない	1	
	公園の遊具が危険	1	
	図書館がない	1	
	放課後過ごす場所がない	1	
子育てへの環境	防犯体制が不安	4	10
	医療体制が脆弱(小児科医、救急病院の不足)	3	
	子育てには不親切な町	2	
	歩道がない	1	
子育て支援制度	医療費が高い、補助がない	6	9
	子育てに関する補助制度がない	3	
保育園・幼稚園・学校	私立の幼稚園しかない	2	8
	保育園に入れない	2	
	遅くまで見てくれる保育園がない	1	
	緊急時に子どもを預けられない	1	
	公立小中学校の児童数減少	1	
	保育園の内情が不満	1	
合計		38	38

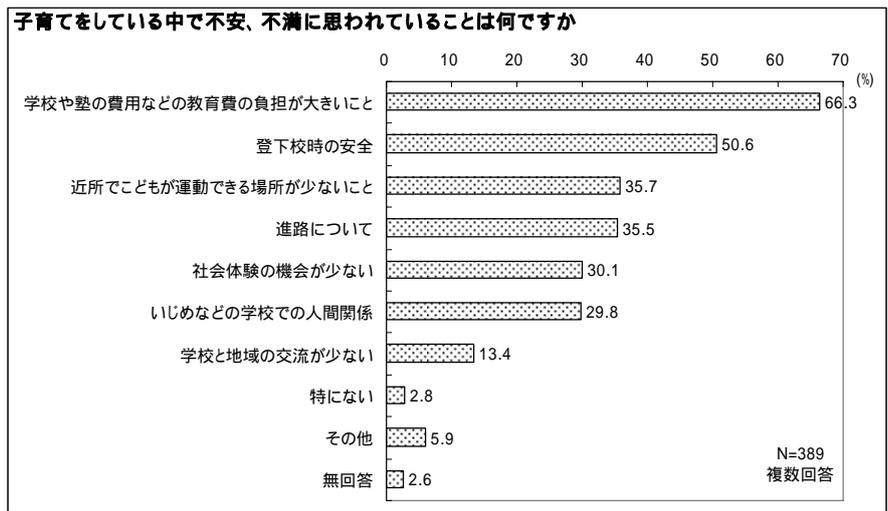
**小学生から高校生までの
子どもの有無**

「いない」が全体の
4分の3となっている。

**子育てに関する不安、不満(小学生
から高校生までの子どもがいる場
合)**

「学校や塾の費用などの教育費の負担が大きいこと」が最も多く、次いで「登下校時の安全」となっている。以下「近所で子どもが運動できる場所が少ないこと」、「進路について」、「社会体験の機会が少ない」、「いじめなどの学校での人間関係」などの順となっている。

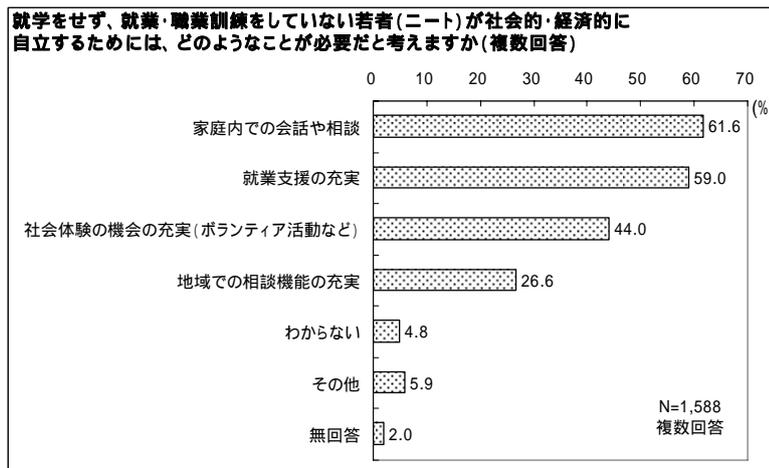
**図 - 16 子育てに関する不安、不満
(小学生から高校生までの子どもがいる場合)**



就学をせず、就業・職業訓練をしていない若者(ニート)が社会的・経済的に自立するためには、「家庭内での会話や相談」や「就業支援の充実」が有効と考えられている。障害者や高齢者が健やかで快適な生活を送るためには「生きがいを感じられるような活動の支援」「障害者、高齢者の家族への支援」が求められている。また、多くの人が食事や栄養に気を配るなど、健康維持に取り組んでいる。

就学をせず、就業・職業訓練をしていない若者(ニート)が社会的・経済的に自立するために必要なこと
「家庭内での会話や相談」が最も多く、次いで「就業支援の充実」などの順となっている。

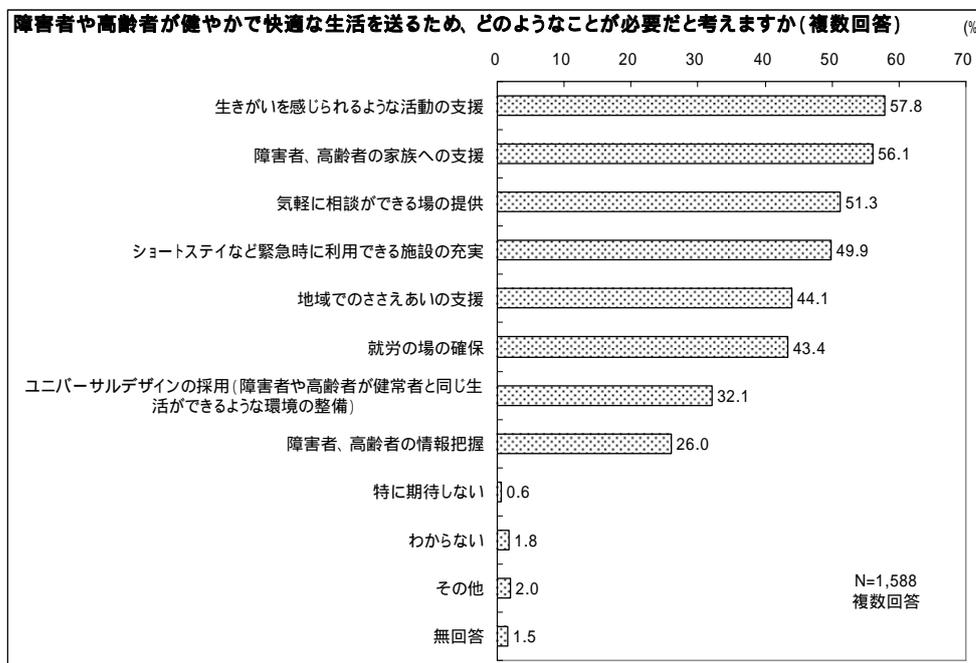
**図 - 17 就学をせず、就業・職業訓練をしていない若者(ニート)が
社会的・経済的に自立するために必要なこと**



障害者や高齢者が健やかで快適な生活を送るために必要なこと

「生きがいを感じられるような活動の支援」が最も多く、「障害者、高齢者の家族への支援」が僅差で続く。以下「気軽に相談ができる場の提供」、「ショートステイなど緊急時に利用できる施設の充実」、「地域でのささえあいの支援」、「就労の場の確保」などの順で、「特に期待しない」はごく少数に留まった。

図 - 18 障害者や高齢者が健やかで快適な生活を送るために必要なこと



健康維持のため取り組んでいること

最も多いのは「食事・栄養に気をつけている」である。次いで「休養や睡眠を充分にとる」、「定期的に健康診断を受けている」などの順となっている。「何もしていない」は少数であった。また、性別で見ると、女性は「健康や病気に関するテレビ、新聞記事、雑誌などを見て情報を得ている」が男性より多くなっていることがわかる。

図 - 19 - 健康維持のため取り組んでいること

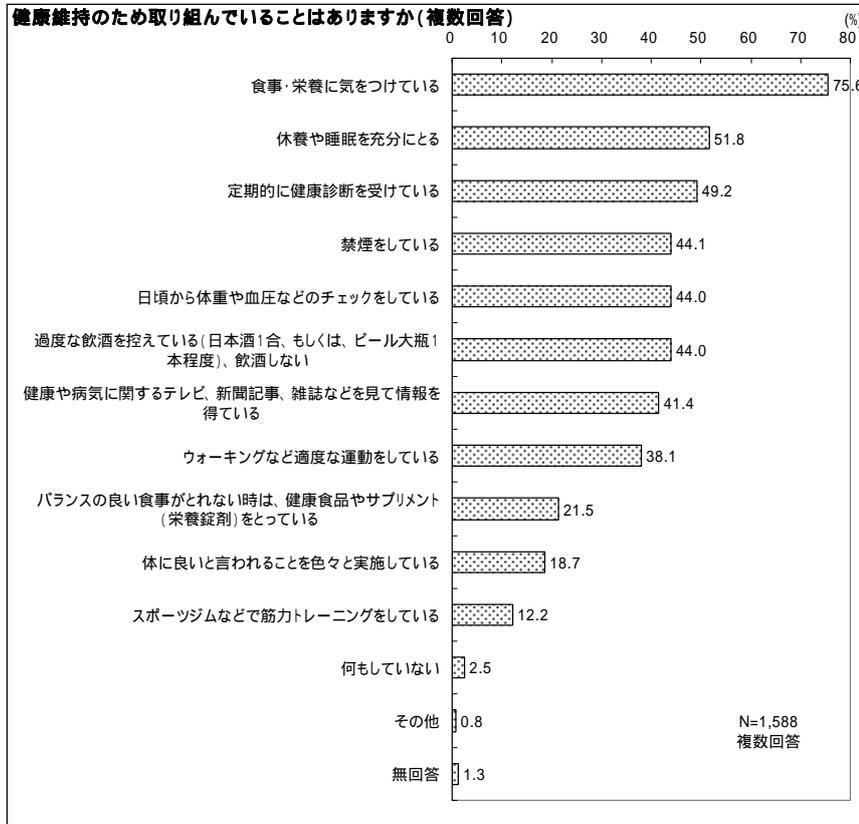


図 - 19 - 性別クロス集計

		全体	食事・栄養に気をつけている	バランスの良い食事がとれない時は、健康食品やサプリメント(栄養錠剤)をとっている	定期的に健康診断を受けている	日頃から体重や血圧などのチェックをしている	休養や睡眠を充分にとる	健康や病気に関するテレビ、新聞記事、雑誌などを見て情報を得ている	体に良いと言われることを色々と実施している
全 体		1,588	1,200	341	781	698	822	657	297
		-	75.6	21.5	49.2	44.0	51.8	41.4	18.7
F 1	男性	647	70.2	17.9	53.2	45.6	48.7	33.1	16.5
性別	女性	896	79.6	24.0	46.7	43.1	54.2	47.7	20.0
無回答		45	73.3	22.2	42.2	37.8	46.7	35.6	24.4

		全体	ウォーキングなど適度な運動をしている	スポーツジムなどで筋力トレーニングをしている	禁煙をしている	過度な飲酒を控えている(日本酒1合、もしくは、ビール大瓶1本程度)、飲酒しない	何もしていない	その他	無回答
全 体		1,588	605	193	700	698	40	13	20
		-	38.1	12.2	44.1	44.0	2.5	0.8	1.3
F 1	男性	647	43.6	12.4	47.1	43.6	3.1	0.8	1.1
性別	女性	896	34.4	12.4	42.2	44.4	2.1	0.9	1.1
無回答		45	33.3	4.4	37.8	40.0	2.2	0.0	6.7

(注) 図中の色づけられた箇所は、割合の高い項目(1位~3位)

6. 行政サービスについて

行政情報の入手方法は広報が中心。行政サービスコーナーにおける証明書発行業務の認知度は高く、利用意向も9割を超える。

行政情報の入手方法

「広報よこはま青葉区版」が突出して多くなっている。次いで「自治会・町内会の回覧板・掲示板」、
「民間のタウン紙などの情報誌」と続く。

年齢別にみると、26歳～40歳では「青葉区ホームページ」が多い。また、61歳以上の世代では「自治会・町内会の回覧板・掲示板」が多く、逆に若い世代になるにつれ、少なくなっている。

図 - 20 - 行政情報の入手方法

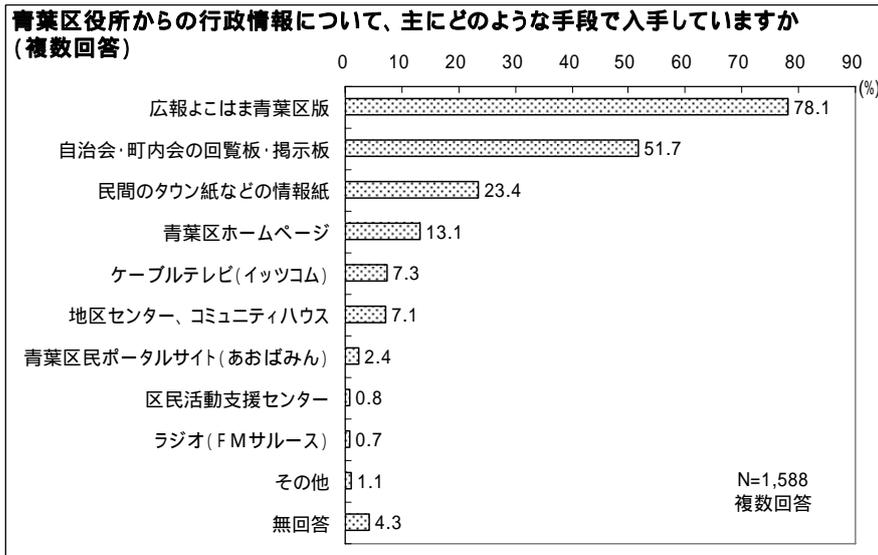


図 - 20 - 年齢別クロス集計(抜粋)

		青葉区ホームページ	自治会・町内会の回覧板・掲示板
F 2 年齢	16～20歳	7.3	23.6
	21～25歳	13.8	29.2
	26～30歳	22.9	25.0
	31～35歳	27.5	27.5
	36～40歳	21.0	39.5
	41～45歳	18.6	44.8
	46～50歳	13.4	47.9
	51～55歳	9.8	58.6
	56～60歳	5.8	67.3
	61～65歳	6.5	69.3
	66～70歳	5.0	71.4
76歳以上	1.2	78.6	
その他	9.6	72.3	
無回答	10.3	55.2	

(注) 図中の色づけられた箇所は、割合の高いもの(1位～3位)

行政サービスコーナーにおける証明書発行業務の認知度

「知っている」が8割以上に達し、認知度は高い。

行政サービスコーナー利用の有無

「利用したことがある」が6割強で、最も多い。「利用したことはないが、機会があれば、利用したい」を合わせると利用意向は9割を超える。

図 - 21 行政サービスコーナーにおける
証明書発行業務の認知度

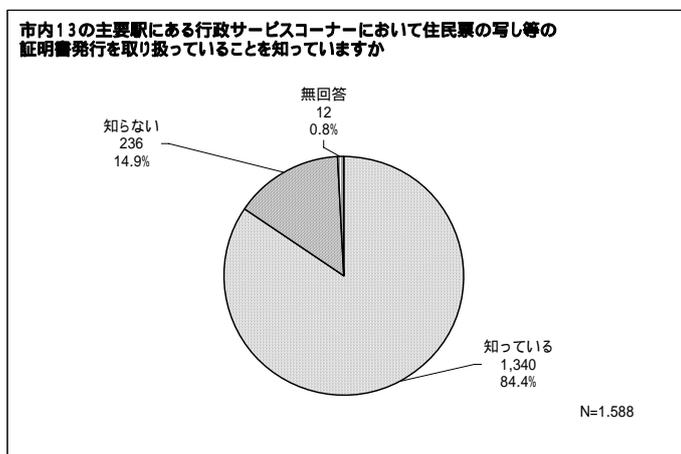
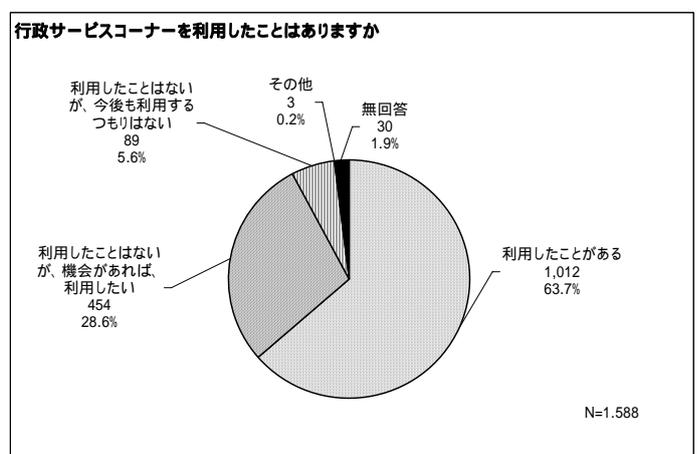


図 - 22 行政サービスコーナー利用の有無



青葉区で今後予定している2つのサービスについて、認知状況はいずれも低いが、利用意向は共に6～7割と高くなっている。

青葉区で、今後予定しているサービスの認知状況及び利用意向

「平成19年10月を目途に区内全地区センター(山内図書館に隣接する山内地区センターを除く)で横浜市立図書館の予約本の貸出、返却サービスを実施します」

〔1〕認知状況

- ・ 「知らない」が7割強、「知っている」が2割強となっている。

〔2〕利用意向

- ・ 「利用したい」が最も多く半数を超え、「利用するつもりはない」が3割程度。

「平成20年1月を目途に、区内2か所の郵便局で、住民票の写し等証明書発行サービスをモデル的に実施します」

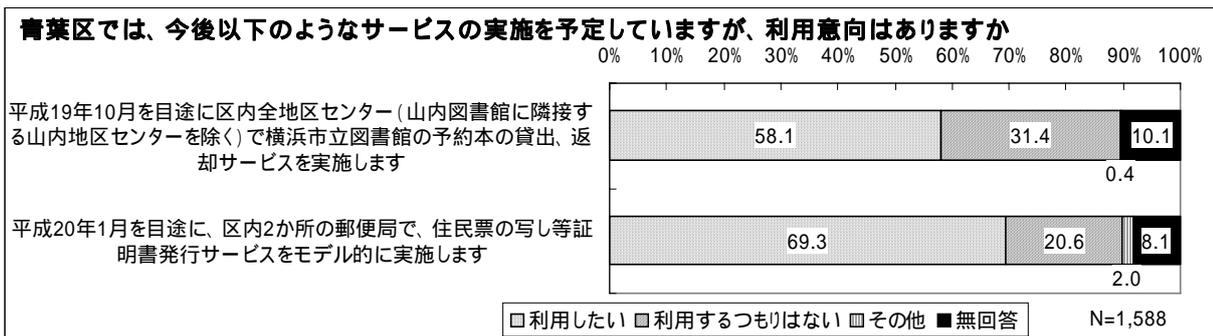
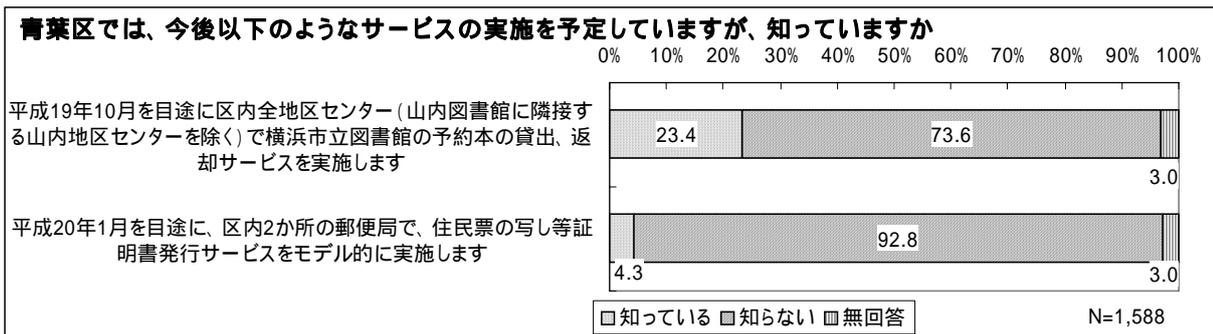
〔1〕認知状況

- ・ 「知らない」が9割超と大半を占める。

〔2〕利用意向

- ・ 「利用したい」が最も多く7割近くに達する。「利用するつもりはない」が約2割。

図 - 23 サービスの認知状況及び利用意向



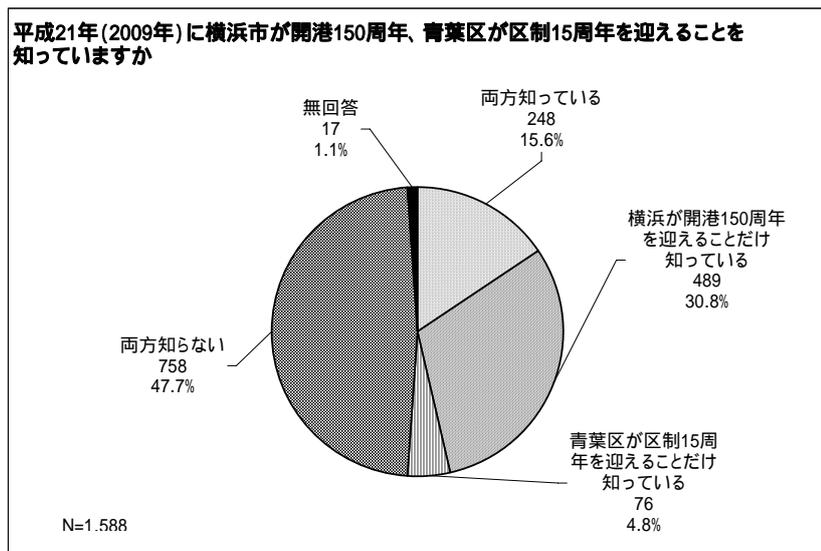
7. 横浜市開港 150 周年、青葉区区制 15 周年について

横浜市開港 150 周年、青葉区区制 15 周年の認知度については、半数弱が「両方知らない」としている。横浜が開港 150 周年の認知度は 5 割弱、青葉区区制 15 周年の認知度は約 2 割と低くなっている。記念事業として望ましいのは記念誌の発行。

横浜市開港 150 周年、青葉区区制 15 周年の認知度

「両方知らない」が全体の半数弱を占める。次いで「横浜が開港 150 周年を迎えることだけ知っている」と続く。なお横浜が開港 150 周年の認知度は 5 割弱、青葉区区制 15 周年の認知度は約 2 割となっている。

図 - 24 - 横浜市開港 150 周年、青葉区区制 15 周年の認知度



青葉区制 15 周年記念事業として望ましいもの

若い世代では「音楽祭の開催」が多く、年齢が高くなるにつれ「記念誌の発行」が多くなっている。

記念事業への参加形態

「見学者として」が最も多く半数を超える。「参加できない」は 3 割。

図 - 25 - 青葉区制 15 周年記念事業として望ましいもの

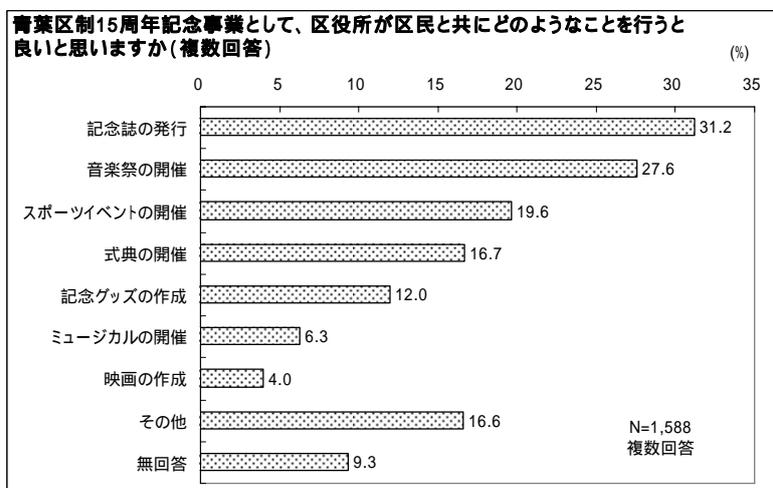


図 - 26 記念事業への参加形態

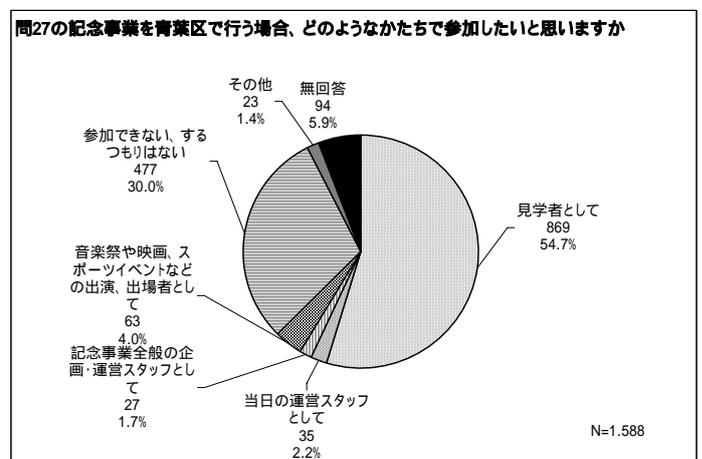


図 - 25 - 年齢別クロス集計

		全体	式典の開催	記念誌の発行	音楽祭の開催	映画の作成	ミュージカルの開催	スポーツイベントの開催	記念グッズの作成	その他	無回答
全体		1,588	265	495	438	63	100	312	190	264	148
		-	16.7	31.2	27.6	4.0	6.3	19.6	12.0	16.6	9.3
F 2 年齢	16～20歳	55	29.1	23.6	36.4	5.5	10.9	21.8	32.7	14.5	1.8
	21～25歳	65	24.6	29.2	36.9	4.6	7.7	23.1	12.3	12.3	7.7
	26～30歳	96	20.8	14.6	27.1	4.2	8.3	21.9	14.6	16.7	12.5
	31～35歳	142	19.7	23.2	30.3	4.9	10.6	28.9	8.5	18.3	5.6
	36～40歳	167	21.6	21.6	25.7	0.0	9.6	24.0	12.0	19.2	9.0
	41～45歳	172	15.1	25.6	22.7	1.7	7.0	18.6	15.1	24.4	7.6
	46～50歳	119	16.0	32.8	25.2	5.9	6.7	20.2	13.4	21.0	10.1
	51～55歳	133	15.8	27.8	34.6	6.0	3.0	23.3	9.0	18.8	6.8
	56～60歳	171	14.0	36.8	31.0	1.8	3.5	12.3	12.3	16.4	5.8
	61～65歳	153	13.1	32.0	26.1	6.5	5.2	19.6	9.8	16.3	9.2
	66～70歳	119	11.8	50.4	20.2	1.7	1.7	17.6	9.2	10.1	11.8
	76歳以上	84	14.3	48.8	21.4	4.8	4.8	11.9	10.7	6.0	16.7
	その他	83	13.3	48.2	28.9	9.6	4.8	9.6	7.2	7.2	18.1
	無回答	29	6.9	24.1	27.6	3.4	6.9	20.7	6.9	20.7	20.7

(注) 図中の色づけられた箇所は、各年齢で割合の高いもの(1位～3位)

図 - 25 - 「その他」意見内容

(図 - 25 - 「その他」は、無記述を含む)

意見内容	件数
不要	188
無駄	138
税金を他に利用	33
広報事業	13
区政の充実	3
キャンペーン	1
記念事業	62
イベントの実施	34
記念植樹	8
記念品	8
キャンペーン	4
記念施設	3
記念事業	3
具体的事業案	2
開催	12
できるだけ簡素化	12
総計	262

青葉区政についての具体的な意見、要望、提案

青葉区政についての意見として多かったのは、分野ごとに「行政」、「環境」、「交通・道路」、「教育・文化」、「福祉」、「防犯・防災」、「ごみ」、「医療」、「地域」の順である。

個別の意見として最も多かったのは「行政窓口・サービス」についての意見。その他、目立ったものとしては「福祉(子育て)」、「行政としての姿勢」、「交通」、「道路」、「自然・緑・河川」、「住宅環境」、「税金」などとなっている。

特に、下記の意見、要望、提案が多くなっている。

- ・ 「行政」分野では、「(税金など)無駄使いや不正をなくしてほしい」
- ・ 「環境」分野では、「緑の保全を積極的にすべき」
- ・ 「交通・道路」分野では、「バス路線の充実、増便」、「駐車違反の取締り強化」、「歩道の整備」
- ・ 「教育・文化」分野では、「図書館が欲しい」
- ・ 「福祉」分野では、「子育て支援や遊び場の充実」
- ・ 「防犯」分野では、「街灯が少なく夜道が危険」、「パトロールの強化、改善」
- ・ 「ごみ」分野では、「ごみ収集の日を増やしてほしい」

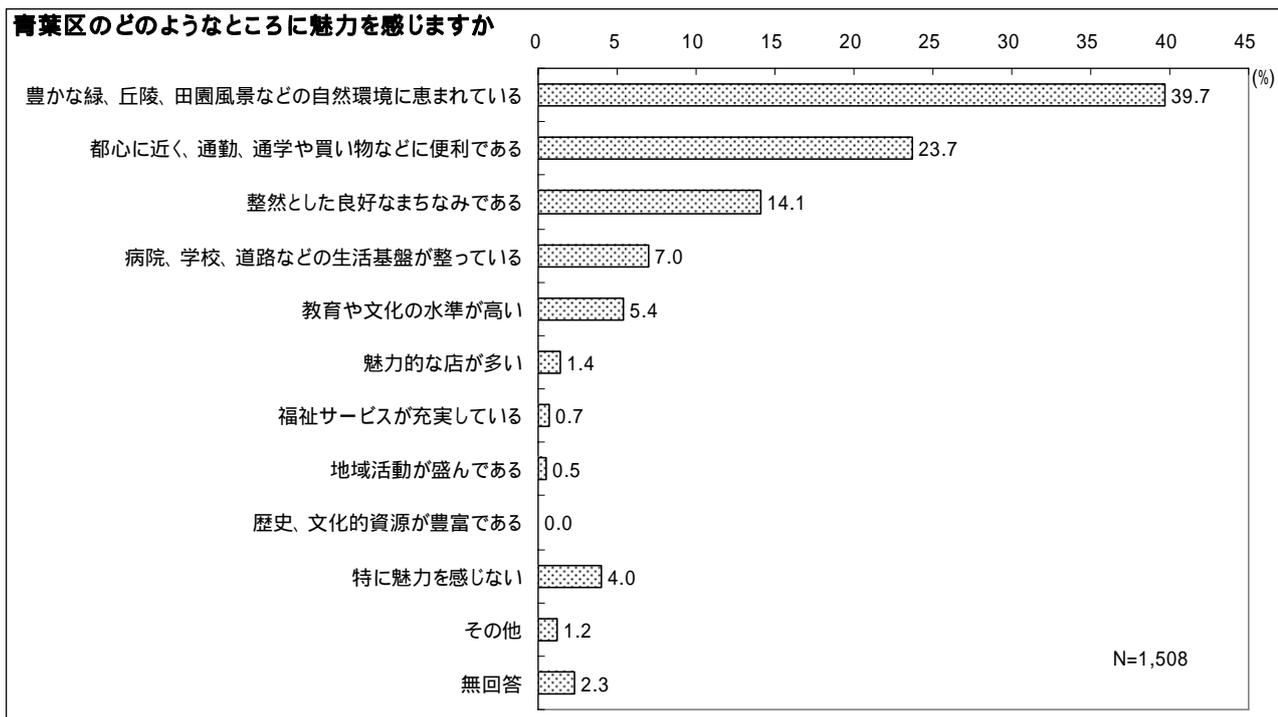
集計分析結果

1. 青葉区について

問1 あなたは青葉区のどのようなところに魅力を感じますか。(は1つ)

- 最も多いのは「豊かな緑、丘陵、田園風景などの自然環境に恵まれている」(39.7%)である。次いで「都心に近く、通勤、通学や買い物などに便利である」(23.7%)で、この2点が目立って多くなっており、豊かな自然に恵まれていることに魅力を感じている人が特に多い一方、都会的な雰囲気という一見相対する魅力も好意的に捉えられている。以下「整然とした良好なまちなみである」(14.1%)、「病院、学校、道路などの生活基盤が整っている」(7.0%)、「教育や文化の水準が高い」(5.4%)などと続く。また「特に魅力を感じない」は4.0%に留まっている。

図 - 1 青葉区の魅力



(注) 複数回答分は除いて集計

男女別 青葉区の魅力(問1× F1)

- 男女とも「豊かな緑、丘陵、田園風景などの自然環境に恵まれている」が最も多い。

図 - 2 男女別 青葉区の魅力

問1 あなたは青葉区のどのようなところに魅力を感じますか

		全体	豊かな緑、丘陵、田園風景などの自然環境に恵まれている	歴史、文化的資源が豊富である	整然とした良好なまちなみである	病院、学校、道路などの生活基盤が整っている	教育や文化の水準が高い	地域活動が盛んである
全 体		1,508 100.0	599 39.7	0 0.0	213 14.1	106 7.0	82 5.4	7 0.5
F 1 性別	男性	620	40.5	0.0	14.8	7.7	5.3	0.8
	女性	844	39.8	0.0	13.3	6.4	5.2	0.2
	無回答	44	27.3	0.0	20.5	9.1	11.4	0.0

		全体	魅力的な店が多い	都心に近く、通勤、通学や買い物などに便利である	福祉サービスが充実している	特に魅力を感じない	その他	無回答
全 体		1,508 100.0	21 1.4	358 23.7	10 0.7	60 4.0	18 1.2	34 2.3
F 1 性別	男性	620	1.3	22.7	0.5	4.4	0.8	1.1
	女性	844	1.5	25.1	0.7	3.7	1.5	2.5
	無回答	44	0.0	11.4	2.3	4.5	0.0	13.6

年齢別 青葉区の魅力(問1× F2)

- ・ いずれの世代も「豊かな緑、丘陵、田園風景などの自然環境に恵まれている」が最も多く、「26～30歳」では「都心に近く、通勤、通学や買い物などに便利である」も同率となっている。「豊かな緑、丘陵、田園風景などの自然環境に恵まれている」は特に「61～65歳」と「その他」で数値が高い。
- ・ 「都心に近く、通勤、通学や買い物などに便利である」は「21～25歳」でも数値が高く、20代を中心に支持を得ている。

図 - 3 年齢別 青葉区の魅力

問1 あなたは青葉区のどのようなところに魅力を感じますか

		全体	豊かな緑、丘陵、田園風景などの自然環境に恵まれている	歴史、文化的資源が豊富である	整然とした良好なまちなみである	病院、学校、道路などの生活基盤が整っている	教育や文化の水準が高い	地域活動が盛んである
全 体		1,508 100.0	599 39.7	0 0.0	213 14.1	106 7.0	82 5.4	7 0.5
F 2 年齢	16～20歳	52	30.8	0.0	9.6	7.7	5.8	0.0
	21～25歳	62	37.1	0.0	6.5	6.5	8.1	0.0
	26～30歳	92	32.6	0.0	12.0	9.8	2.2	0.0
	31～35歳	134	35.1	0.0	13.4	9.0	3.0	0.0
	36～40歳	160	36.9	0.0	16.3	5.6	9.4	0.6
	41～45歳	158	33.5	0.0	15.8	7.6	10.8	0.0
	46～50歳	113	34.5	0.0	22.1	6.2	8.0	1.8
	51～55歳	131	39.7	0.0	15.3	3.8	5.3	0.0
	56～60歳	164	40.2	0.0	17.7	6.7	3.7	0.6
	61～65歳	147	49.7	0.0	12.2	3.4	4.1	0.7
	66～70歳	112	47.3	0.0	11.6	7.1	1.8	0.9
	76歳以上	78	41.0	0.0	9.0	12.8	5.1	0.0
その他	76	64.5	0.0	3.9	10.5	0.0	1.3	
無回答	29	24.1	0.0	31.0	6.9	6.9	0.0	

		全体	魅力的な店が多い	都心に近く、通勤、通学や買い物などに便利である	福祉サービスが充実している	特に魅力を感じない	その他	無回答
全 体		1,508 100.0	21 1.4	358 23.7	10 0.7	60 4.0	18 1.2	34 2.3
F 2 年齢	16～20歳	52	3.8	28.8	0.0	11.5	1.9	0.0
	21～25歳	62	1.6	35.5	0.0	4.8	0.0	0.0
	26～30歳	92	0.0	32.6	0.0	6.5	3.3	1.1
	31～35歳	134	3.0	29.1	0.0	3.7	2.2	1.5
	36～40歳	160	1.3	25.6	1.3	1.9	1.3	0.0
	41～45歳	158	0.0	22.8	0.6	5.7	1.9	1.3
	46～50歳	113	0.9	21.2	0.0	1.8	1.8	1.8
	51～55歳	131	4.6	25.2	0.0	1.5	0.8	3.8
	56～60歳	164	1.2	20.1	0.6	4.9	0.6	3.7
	61～65歳	147	0.0	23.8	0.7	1.4	0.7	3.4
	66～70歳	112	1.8	21.4	0.0	6.3	0.0	1.8
	76歳以上	78	0.0	19.2	5.1	5.1	0.0	2.6
その他	76	1.3	9.2	1.3	1.3	1.3	5.3	
無回答	29	0.0	13.8	0.0	6.9	0.0	10.3	

居住地区別 青葉区の魅力(問1× F7)

- ・ 「荏田、新荏田連合自治会」で「都心に近く、通勤、通学や買い物などに便利である」が最も多くなっている。それ以外の地域では「豊かな緑、丘陵、田園風景などの自然環境に恵まれている」が最も多くなっており、特に「奈良町、奈良北団地連合自治会」では特に数値が高い。
- ・ また、「谷本連合自治会」では、他の地域に比べて「病院、学校、道路などの生活基盤が整っている」の数値がやや高くなっている。

図 - 4 居住地区別 青葉区の魅力

問1 あなたは青葉区のどのようなところに魅力を感じますか

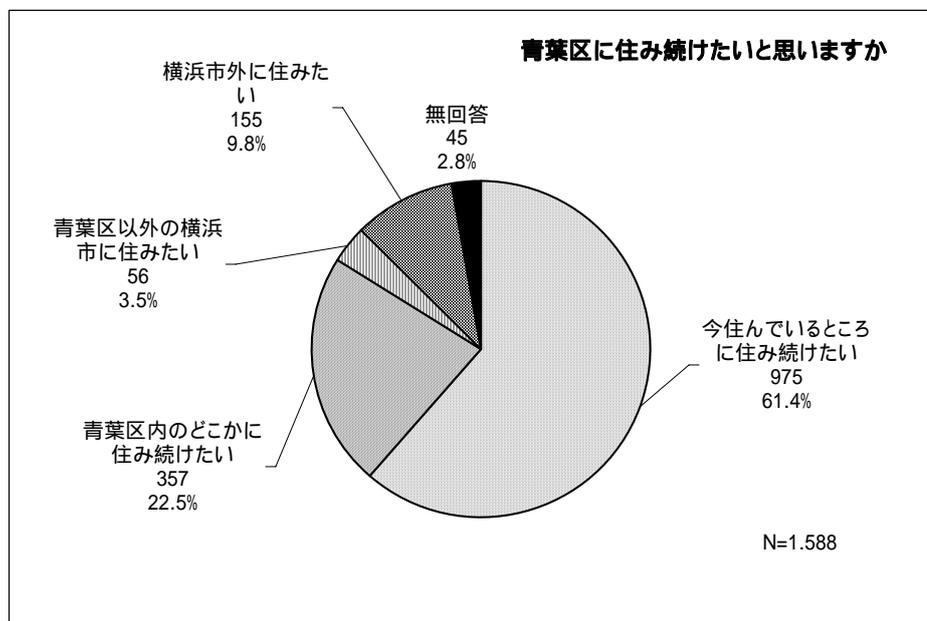
		全体	豊かな緑、丘陵、田園風景などの自然環境に恵まれている	歴史、文化的資源が豊富である	整然とした良好なまちなみである	病院、学校、道路などの生活基盤が整っている	教育や文化の水準が高い	地域活動が盛んである
全 体		1,508 100.0	599 39.7	0 0.0	213 14.1	106 7.0	82 5.4	7 0.5
F 7 居住地区	中里連合自治会	76	43.4	0.0	13.2	2.6	5.3	0.0
	中里北部連合町内会	86	48.8	0.0	14.0	8.1	4.7	0.0
	市ヶ尾連合自治会	76	43.4	0.0	11.8	3.9	9.2	0.0
	上谷本連合町内会	57	42.1	0.0	12.3	10.5	5.3	0.0
	谷本連合自治会	127	39.4	0.0	7.9	16.5	9.4	1.6
	恩田連合自治会	130	46.9	0.0	13.8	9.2	4.6	0.0
	青葉台連合自治会	220	29.1	0.0	14.1	10.5	5.0	0.5
	奈良町、奈良北団地連合自治会	138	65.9	0.0	10.1	3.6	3.6	0.0
	山内連合自治会	203	37.9	0.0	18.2	2.0	5.4	0.5
	荏田、新荏田連合自治会	201	28.9	0.0	16.4	3.5	5.0	1.0
	すすき野連合自治会	90	35.6	0.0	13.3	11.1	2.2	0.0
	美しが丘連合自治会	68	33.8	0.0	19.1	5.9	5.9	1.5
	無回答	36	30.6	0.0	19.4	5.6	8.3	0.0

		全体	魅力的な店が多い	都心に近く、通勤、通学や買い物などに便利である	福祉サービスが充実している	特に魅力を感じない	その他	無回答
全 体		1,508 100.0	21 1.4	358 23.7	10 0.7	60 4.0	18 1.2	34 2.3
F 7 居住地区	中里連合自治会	76	0.0	21.1	1.3	9.2	1.3	2.6
	中里北部連合町内会	86	0.0	17.4	1.2	2.3	0.0	3.5
	市ヶ尾連合自治会	76	0.0	23.7	0.0	5.3	1.3	1.3
	上谷本連合町内会	57	0.0	26.3	0.0	1.8	1.8	0.0
	谷本連合自治会	127	0.8	18.1	1.6	2.4	1.6	0.8
	恩田連合自治会	130	1.5	16.2	1.5	3.1	0.8	2.3
	青葉台連合自治会	220	1.8	28.6	0.0	4.5	2.3	3.6
	奈良町、奈良北団地連合自治会	138	0.7	12.3	0.7	1.4	0.7	0.7
	山内連合自治会	203	2.5	27.1	1.0	3.0	0.5	2.0
	荏田、新荏田連合自治会	201	1.5	35.8	0.5	5.0	1.0	1.5
	すすき野連合自治会	90	1.1	24.4	0.0	3.3	3.3	5.6
	美しが丘連合自治会	68	4.4	23.5	0.0	5.9	0.0	0.0
	無回答	36	2.8	13.9	0.0	11.1	0.0	8.3

問2 あなたは青葉区に住み続けたいと思いますか。(は1つ)

- ・ 最も多いのは「今住んでいるところに住み続けたい」の61.4%である。次いで「青葉区内のどこかに住み続けたい」が22.5%で続き、これらを合わせると青葉区内への定住意向は8割を超える高い水準である。以下「横浜市外に住みたい」(9.8%)「青葉区以外の横浜市に住みたい」(3.5%)の順となっている。

図 - 5 青葉区への定住意向



男女別 青葉区への定住意向(問2 × F1)

- ・ 男女とも「今住んでいるところに住み続けたい」が最も多い。

図 - 6 男女別 青葉区への定住意向

問2 あなたは青葉区に住み続けたいと思いますか

		全体	今住んでい るところに 住み続け たい	青葉区内の どこかに 住み続け たい	青葉区以外 の横浜市 に住みたい	横浜市外に 住みたい	無回答
全 体		1,588	975	357	56	155	45
		100.0	61.4	22.5	3.5	9.8	2.8
F 1 性別	男性	647	63.4	22.4	3.4	9.4	1.4
	女性	896	59.9	23.1	3.5	10.2	3.3
	無回答	45	62.2	11.1	6.7	6.7	13.3

年齢別 青葉区への定住意向(問2× F2)

- ・ いずれも「今住んでいるところに住み続けたい」が最も多い。
- ・ 「16～20歳」で「横浜市外に住みたい」、「21～25歳」で「青葉区以外の横浜市に住みたい」、「26～30歳」、「31～35歳」で「青葉区内のどこかに住み続けたい」が、それぞれ他の世代に比べて数値が高い。

図 - 7 年齢別 青葉区への定住意向

問2 あなたは青葉区に住み続けたいと思いますか

		全体	今住んでい るところに 住み続けたい	青葉区内の どこかに住 み続けたい	青葉区以外 の横浜市に 住みたい	横浜市外に 住みたい	無回答
全 体		1,588 100.0	975 61.4	357 22.5	56 3.5	155 9.8	45 2.8
F 2 年齢	16～20歳	55	54.5	16.4	7.3	21.8	0.0
	21～25歳	65	46.2	26.2	12.3	15.4	0.0
	26～30歳	96	41.7	37.5	3.1	15.6	2.1
	31～35歳	142	40.1	36.6	5.6	15.5	2.1
	36～40歳	167	59.3	24.6	3.6	12.0	0.6
	41～45歳	172	50.6	30.8	2.9	12.2	3.5
	46～50歳	119	57.1	29.4	2.5	9.2	1.7
	51～55歳	133	62.4	23.3	3.0	8.3	3.0
	56～60歳	171	70.2	19.9	1.8	3.5	4.7
	61～65歳	153	75.8	11.1	2.6	7.2	3.3
	66～70歳	119	73.9	11.8	3.4	6.7	4.2
	76歳以上	84	81.0	9.5	1.2	1.2	7.1
その他	83	81.9	9.6	2.4	4.8	1.2	
	無回答	29	72.4	6.9	3.4	10.3	6.9

住居形態別 青葉区への定住意向(問2× F5)

- ・ 「持家(一戸建て)」「持家(マンション・共同住宅)」「その他」では「今住んでいるところに住み続けたい」、「借家(マンション・共同住宅、社宅、公務員住宅、寮)」では「青葉区内のどこかに住み続けたい」が最も多く、「借家(一戸建て)」ではこれらが同率となっている。
- ・ また「借家(一戸建て)」で「横浜市外に住みたい」の数値が他に比べて高い。

図 - 8 住居形態別 青葉区への定住意向

問2 あなたは青葉区に住み続けたいと思いますか

		全体	今住んでい るところに 住み続けたい	青葉区内の どこかに住 み続けたい	青葉区以外 の横浜市に 住みたい	横浜市外に 住みたい	無回答
全 体		1,588 100.0	975 61.4	357 22.5	56 3.5	155 9.8	45 2.8
F 5 住まい	持家(一戸建て)	769	73.0	13.8	2.6	7.5	3.1
	持家(マンション・共同住宅)	379	63.6	22.4	2.1	10.0	1.8
	借家(一戸建て)	44	36.4	36.4	2.3	20.5	4.5
	借家(マンション・共同住宅、社宅、公務員住宅、寮)	359	35.4	40.9	7.2	13.6	2.8
	その他	5	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	32	81.3	6.3	3.1	3.1	6.3

居住地区別 青葉区への定住意向(問2× F7)

- ・ いずれの地域も「今住んでいるところに住み続けたい」が最も多く、特に「美しが丘連合自治会」で数値が高い。
- ・ また「市ヶ尾連合自治会」「谷本連合自治会」では、「青葉区内のどこかに住み続けたい」の数値が他の地域に比べて高くなっている。

図 - 9 居住地区別 青葉区への定住意向

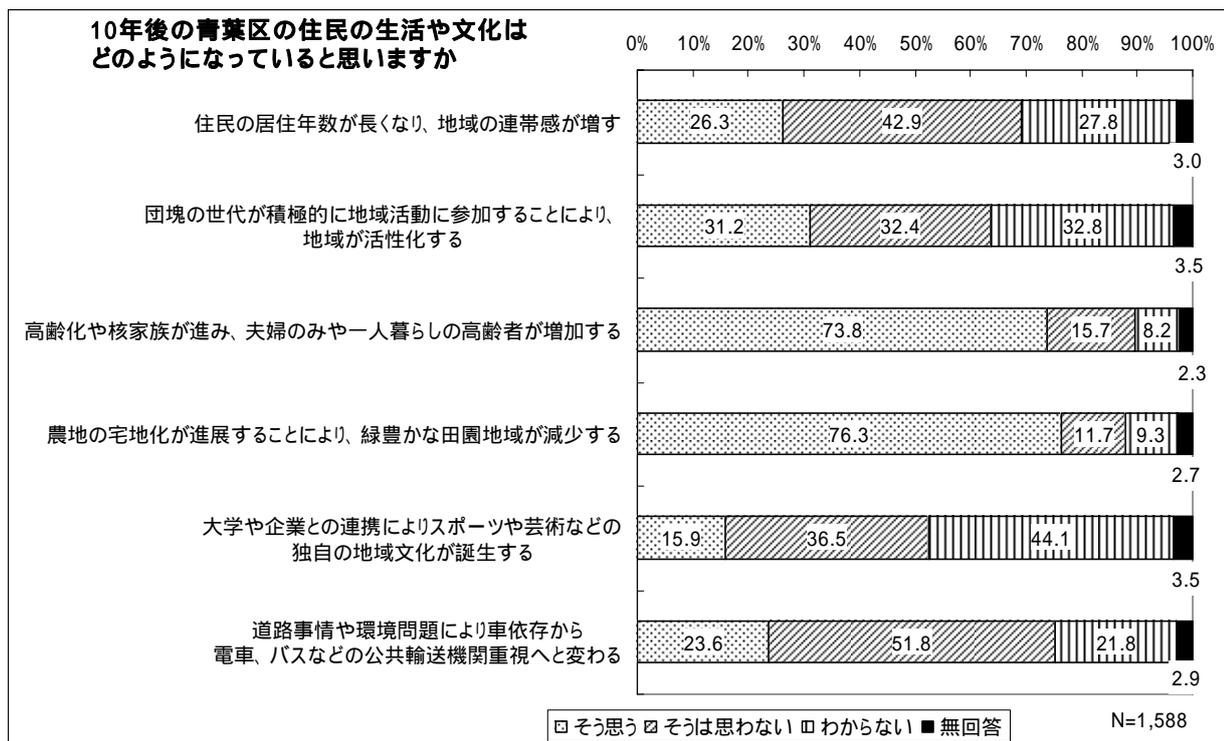
問2 あなたは青葉区に住み続けたいと思いますか

		全体	今住んでい るところに 住み続け たい	青葉区内の どこかに 住み続け たい	青葉区以外 の横浜市に 住みたい	横浜市外に 住みたい	無回答
全 体		1,588 100.0	975 61.4	357 22.5	56 3.5	155 9.8	45 2.8
F 7 居住地区	中里連合自治会	81	55.6	25.9	2.5	13.6	2.5
	中里北部連合町内会	90	60.0	22.2	0.0	15.6	2.2
	市ヶ尾連合自治会	78	53.8	33.3	3.8	6.4	2.6
	上谷本連合町内会	58	53.4	27.6	6.9	8.6	3.4
	谷本連合自治会	136	51.5	33.8	6.6	6.6	1.5
	恩田連合自治会	138	60.9	24.6	1.4	8.0	5.1
	青葉台連合自治会	227	65.2	17.2	2.6	14.1	0.9
	奈良町、奈良北団地連合自治会	142	56.3	24.6	6.3	9.9	2.8
	山内連合自治会	212	66.5	20.3	2.4	7.1	3.8
	荏田、新荏田連合自治会	215	63.3	20.5	5.1	9.3	1.9
	すすき野連合自治会	97	61.9	23.7	1.0	9.3	4.1
	美しが丘連合自治会	75	73.3	9.3	1.3	10.7	5.3
	無回答	39	74.4	7.7	7.7	5.1	5.1

問3 10年後の青葉区の住民の生活や文化はどのようになっていると思いますか。(~ についてお答え下さい。)

- ・ 「そう思う」の方が多くなっているのは「高齢化や核家族が進み、夫婦のみや一人暮らしの高齢者が増加する」「農地の宅地化が進展することにより、緑豊かな田園地域が減少する」で、それぞれ「そう思う」が73.8%、76.3%と全体の7割以上を占める。
- ・ 「そう思わない」の方が多くなっているのは「住民の居住年数が長くなり、地域の連帯感が増す」「道路事情や環境問題により車依存から電車、バスなどの公共交通機関重視へと変わる」で、それぞれ「そう思わない」が42.9%、51.8%となっている。
- ・ 「大学や企業との連携によりスポーツや芸術などの独自の地域文化が誕生する」では「わからない」が44.1%で最も多い。
- ・ 「団塊の世代が積極的に地域活動に参加することにより、地域が活性化する」は「そう思う」「そう思わない」「わからない」がそれぞれ31.2%、32.4%、32.8%で、三者がほぼ拮抗している。

図 - 10 10年後の青葉区の姿



年齢・居住時期・居住地区別 10年後の青葉区の姿(問3× F1、F2、F3、F7)

住民の居住年数が長くなり、地域の連帯感が増す

<男女別>

- ・ 男女とも「そうは思わない」が最も多い。

<年齢別>

- ・ 「その他」で「そう思う」が最も多くなっている以外は「そうは思わない」が最も多い。
- ・ また、「16～20歳」「21～25歳」では他世代に比べて「わからない」の数値が高い。

<居住時期別>

- ・ 「昭和19年(1944年)以前」のみ「そう思う」が、それ以降では「そうは思わない」が最も多く、居住年数が長いほど肯定的な傾向にある。

<居住地区別>

- ・ いずれの地域も「そうは思わない」が最も多くなっている。特に「市ヶ尾連合自治会」「美しが丘連合自治会」では数値が高めである。

図 - 11 男女・年齢・居住時期・居住地区別 10年後の青葉区の姿
- 住民の居住年数が長くなり、地域の連帯感が増す -

問3 10年後の青葉区の住民の生活や文化
住民の居住年数が長くなり、地域の連帯感が増す

		全体	そう思う	そうは思わない	わからない	無回答
全 体		1,588	418	681	441	48
		100.0	26.3	42.9	27.8	3.0
F 1 性別	男性	647	26.7	47.0	24.0	2.3
	女性	896	25.8	40.4	31.0	2.8
	無回答	45	31.1	33.3	17.8	17.8
F 2 年齢	16～20歳	55	18.2	45.5	36.4	0.0
	21～25歳	65	13.8	46.2	40.0	0.0
	26～30歳	96	22.9	47.9	28.1	1.0
	31～35歳	142	33.1	42.3	23.9	0.7
	36～40歳	167	26.3	39.5	33.5	0.6
	41～45歳	172	21.5	43.6	33.1	1.7
	46～50歳	119	21.0	49.6	29.4	0.0
	51～55歳	133	28.6	45.9	22.6	3.0
	56～60歳	171	26.3	42.7	28.7	2.3
	61～65歳	153	26.1	49.7	20.9	3.3
	66～70歳	119	27.7	43.7	24.4	4.2
	76歳以上	84	33.3	36.9	19.0	10.7
その他	83	37.3	20.5	27.7	14.5	
無回答	29	31.0	34.5	24.1	10.3	
F 3 居住時期	昭和19年(1944年)以前	17	52.9	23.5	17.6	5.9
	昭和20年～29年(1945～1954年)	15	26.7	53.3	20.0	0.0
	昭和30年～39年(1955～1964年)	23	13.0	60.9	21.7	4.3
	昭和40年～49年(1965～1974年)	180	25.6	48.3	20.0	6.1
	昭和50年～59年(1975～1984年)	298	28.2	43.3	25.5	3.0
	昭和60年～平成元年(1985～1989年)	185	24.9	45.9	26.5	2.7
	平成2年～6年(1990～1994年)	143	19.6	44.8	33.6	2.1
	平成7年～11年(1995～1999年)	244	26.6	41.4	30.3	1.6
	平成12年～16年(2000～2004年)	280	26.8	41.1	29.3	2.9
	平成17年～(2005年～)	162	29.0	35.8	33.3	1.9
	わからない	4	0.0	100.0	0.0	0.0
無回答	37	29.7	32.4	29.7	8.1	
F 7 居住地区	中里連合自治会	81	28.4	50.6	21.0	0.0
	中里北部連合町内会	90	30.0	37.8	28.9	3.3
	市ヶ尾連合自治会	78	24.4	51.3	20.5	3.8
	上谷本連合町内会	58	22.4	50.0	27.6	0.0
	谷本連合自治会	136	25.7	44.1	27.2	2.9
	恩田連合自治会	138	27.5	42.8	28.3	1.4
	青葉台連合自治会	227	24.7	39.6	31.7	4.0
	奈良町、奈良北団地連合自治会	142	29.6	40.8	28.2	1.4
	山内連合自治会	212	24.5	42.5	29.7	3.3
	荏田、新荏田連合自治会	215	25.6	41.4	30.7	2.3
	すすき野連合自治会	97	30.9	39.2	25.8	4.1
	美しが丘連合自治会	75	24.0	53.3	17.3	5.3
	無回答	39	25.6	33.3	28.2	12.8

団塊の世代が積極的に地域活動に参加することにより、地域が活性化する

<男女別>

- ・ 男性は「そうは思わない」、女性は「わからない」が最も多い。

<年齢別>

- ・ 「21～25歳」「46～50歳」「51～55歳」「56～60歳」「76歳以上」「その他」では「そう思う」が、「16～20歳」「61～65歳」「66～70歳」は「そうは思わない」が、「26～30歳」から「41～45歳」までの世代と「51～55歳」では「わからない」が最も多い。

<居住時期別>

- ・ 「昭和19年(1944年)以前」「昭和50年～59年(1975～1984年)」「昭和60年～平成元年(1985～1989年)」では「そう思う」が、「昭和40年～49年(1965～1974年)」「平成2年～6年(1990～1994年)」「平成7年～11年(1995～1999年)」では「そうは思わない」が最も多く、「昭和20年～29年(1945～1954年)」ではこれらが同率である。「昭和30年～39年(1955～1964年)」「平成12年～16年(2000～2004年)」「平成17年～(2005年～)」「わからない」では「わからない」が最も多い。

<居住地区別>

- ・ 「恩田連合自治会」「奈良町、奈良北団地連合自治会」「すすき野連合自治会」「美しが丘連合自治会」では「そう思う」が最も多い。「中里連合自治会」「市ヶ尾連合自治会」「荏田、新荏田連合自治会」では「そうは思わない」が最も多く、「すすき野連合自治会」ではこれらが同率である。これら以外の地域では「わからない」が最も多くなっている。

図 - 12 男女・年齢・居住時期・居住地区別 10年後の青葉区の姿

- 団塊の世代が積極的に地域活動に参加することにより、地域が活性化する -

問3 10年後の青葉区の住民の生活や文化

団塊の世代が積極的に地域活動に参加することにより、地域が活性化する

		全体	そう思う	そうは思わない	わからない	無回答
全 体		1,588	496	515	521	56
		100.0	31.2	32.4	32.8	3.5
F 1	性別					
	男性	647	32.0	37.6	27.7	2.8
	女性	896	31.0	29.2	36.4	3.3
	無回答	45	24.4	22.2	35.6	17.8
F 2	年齢					
	16～20歳	55	30.9	38.2	29.1	1.8
	21～25歳	65	40.0	35.4	24.6	0.0
	26～30歳	96	25.0	26.0	47.9	1.0
	31～35歳	142	31.7	29.6	38.0	0.7
	36～40歳	167	25.1	35.9	38.3	0.6
	41～45歳	172	24.4	33.7	40.1	1.7
	46～50歳	119	36.1	32.8	30.3	0.8
	51～55歳	133	34.6	27.8	34.6	3.0
	56～60歳	171	36.3	31.0	30.4	2.3
	61～65歳	153	34.0	37.3	26.8	2.0
	66～70歳	119	31.1	42.9	21.8	4.2
	76歳以上	84	34.5	25.0	25.0	15.5
	その他	83	28.9	24.1	27.7	19.3
	無回答	29	24.1	27.6	37.9	10.3
F 3	居住時期					
	昭和19年(1944年)以前	17	47.1	17.6	11.8	23.5
	昭和20年～29年(1945～1954年)	15	40.0	40.0	20.0	0.0
	昭和30年～39年(1955～1964年)	23	13.0	34.8	47.8	4.3
	昭和40年～49年(1965～1974年)	180	27.2	35.6	30.0	7.2
	昭和50年～59年(1975～1984年)	298	35.6	32.2	28.9	3.4
	昭和60年～平成元年(1985～1989年)	185	34.1	32.4	30.8	2.7
	平成2年～6年(1990～1994年)	143	25.2	37.1	35.0	2.8
	平成7年～11年(1995～1999年)	244	31.1	33.2	32.8	2.9
	平成12年～16年(2000～2004年)	280	32.5	31.4	33.9	2.1
	平成17年～(2005年～)	162	28.4	28.4	41.4	1.9
	わからない	4	25.0	0.0	75.0	0.0
	無回答	37	29.7	27.0	35.1	8.1
F 7	居住地区					
	中里連合自治会	81	30.9	37.0	30.9	1.2
	中里北部連合町内会	90	30.0	28.9	36.7	4.4
	市ヶ尾連合自治会	78	32.1	35.9	26.9	5.1
	上谷本連合町内会	58	31.0	29.3	39.7	0.0
	谷本連合自治会	136	29.4	30.9	35.3	4.4
	恩田連合自治会	138	34.8	34.1	28.3	2.9
	青葉台連合自治会	227	31.3	26.4	38.3	4.0
	奈良町、奈良北団地連合自治会	142	35.2	33.8	28.2	2.8
	山内連合自治会	212	27.4	34.0	35.4	3.3
	荏田、新荏田連合自治会	215	29.8	35.8	31.6	2.8
	すすき野連合自治会	97	34.0	34.0	28.9	3.1
	美しが丘連合自治会	75	37.3	29.3	28.0	5.3
	無回答	39	23.1	33.3	33.3	10.3

高齢化や核家族が進み、夫婦のみや一人暮らしの高齢者が増加する

<男女別>

- ・ 男女とも「そう思う」が最も多く、特に男性は女性を8.9ポイント上回っている。

<年齢別>

- ・ いずれの世代も「そう思う」が最も多くなっている。
- ・ また「26～30歳」「31～35歳」「36～40歳」では「そうは思わない」の割合が他の世代に比べて高くなっている。

<居住時期別>

- ・ いずれの時期でも「そう思う」が最も多い。
- ・ 「平成17年～(2005年～)」では「そうは思わない」の割合がそれ以前に比べて高くなっている。

<居住地区別>

- ・ いずれの地域も「そう思う」が最も多くなっている。

図 - 13 男女・年齢・居住時期・居住地区別 10年後の青葉区の姿

- 高齢化や核家族が進み、夫婦のみや一人暮らしの高齢者が増加する -

問3 10年後の青葉区の住民の生活や文化

高齢化や核家族が進み、夫婦のみや一人暮らしの高齢者が増加する

		全体	そう思う	そうは思わない	わからない	無回答	
全 体		1,588	1,172	249	131	36	
		100.0	73.8	15.7	8.2	2.3	
F 1 性別	男性	647	79.0	13.9	5.6	1.5	
	女性	896	70.1	17.3	10.3	2.3	
	無回答	45	73.3	8.9	6.7	11.1	
F 2 年齢	16～20歳	55	69.1	12.7	16.4	1.8	
	21～25歳	65	75.4	12.3	12.3	0.0	
	26～30歳	96	58.3	27.1	13.5	1.0	
	31～35歳	142	62.7	25.4	11.3	0.7	
	36～40歳	167	63.5	26.3	10.2	0.0	
	41～45歳	172	70.3	18.0	9.9	1.7	
	46～50歳	119	82.4	14.3	3.4	0.0	
	51～55歳	133	76.7	14.3	6.0	3.0	
	56～60歳	171	78.9	11.7	7.0	2.3	
	61～65歳	153	86.3	4.6	7.2	2.0	
	66～70歳	119	81.5	11.8	3.4	3.4	
	76歳以上 その他	84 83	81.0 73.5	6.0 13.3	8.3 2.4	4.8 10.8	
無回答		29	69.0	13.8	10.3	6.9	
F 3 居住時期	昭和19年(1944年)以前	17	64.7	11.8	5.9	17.6	
	昭和20年～29年(1945～1954年)	15	86.7	6.7	6.7	0.0	
	昭和30年～39年(1955～1964年)	23	73.9	13.0	8.7	4.3	
	昭和40年～49年(1965～1974年)	180	83.3	4.4	8.9	3.3	
	昭和50年～59年(1975～1984年)	298	82.9	9.1	5.7	2.3	
	昭和60年～平成元年(1985～1989年)	185	78.4	13.5	5.4	2.7	
	平成2年～6年(1990～1994年)	143	72.7	16.8	9.8	0.7	
	平成7年～11年(1995～1999年)	244	69.3	18.0	11.9	0.8	
	平成12年～16年(2000～2004年)	280	67.5	21.8	8.6	2.1	
	平成17年～(2005年～)	162	61.7	29.0	7.4	1.9	
	わからない	4	75.0	0.0	25.0	0.0	
無回答		37	64.9	18.9	10.8	5.4	
F 7 居住地区	中里連合自治会	81	76.5	14.8	6.2	2.5	
	中里北部連合町内会	90	85.6	6.7	4.4	3.3	
	市ヶ尾連合自治会	78	65.4	17.9	11.5	5.1	
	上谷本連合町内会	58	84.5	8.6	6.9	0.0	
	谷本連合自治会	136	78.7	11.0	8.1	2.2	
	恩田連合自治会	138	78.3	14.5	5.8	1.4	
	青葉台連合自治会	227	74.4	11.0	11.0	3.5	
	奈良町、奈良北団地連合自治会	142	71.1	20.4	7.7	0.7	
	山内連合自治会	212	69.3	17.9	9.9	2.8	
	荏田、新荏田連合自治会	215	67.9	20.9	10.2	0.9	
	すすき野連合自治会	97	74.2	21.6	3.1	1.0	
	美しが丘連合自治会	75	73.3	17.3	6.7	2.7	
	無回答		39	71.8	15.4	7.7	5.1

農地の宅地化が進展することにより、緑豊かな田園地域が減少する

<男女別>

- ・ 男女とも「そう思う」が最も多い。

<年齢別>

- ・ いずれの世代も「そう思う」が最も多くなっている。「66～70歳」では数値がやや高い。

<居住時期別>

- ・ いずれの時期でも「そう思う」が最も多い。

<居住地区別>

- ・ いずれの地域も「そう思う」が最も多くなっている。「恩田連合自治会」ではやや数値が高い。

図 - 14 男女・年齢・居住時期・居住地区別 10年後の青葉区の姿
農地の宅地化が進展することにより、緑豊かな田園地域が減少する

問3 10年後の青葉区の住民の生活や文化

農地の宅地化が進展することにより、緑豊かな田園地域が減少する

		全体	そう思う	そうは思わない	わからない	無回答
全 体		1,588	1,212	186	147	43
		100.0	76.3	11.7	9.3	2.7
F 1 性別	男性	647	76.5	13.8	8.0	1.7
	女性	896	77.1	10.0	10.0	2.8
	無回答	45	57.8	15.6	11.1	15.6
F 2 年齢	16～20歳	55	70.9	16.4	10.9	1.8
	21～25歳	65	84.6	6.2	9.2	0.0
	26～30歳	96	79.2	11.5	9.4	0.0
	31～35歳	142	71.1	14.1	14.1	0.7
	36～40歳	167	80.8	10.8	8.4	0.0
	41～45歳	172	73.3	14.5	10.5	1.7
	46～50歳	119	73.1	16.8	10.1	0.0
	51～55歳	133	75.2	13.5	9.0	2.3
	56～60歳	171	78.9	9.9	8.2	2.9
	61～65歳	153	84.3	5.9	8.5	1.3
	66～70歳	119	85.7	7.6	3.4	3.4
	76歳以上	84	65.5	11.9	10.7	11.9
その他	83	66.3	10.8	9.6	13.3	
無回答	29	58.6	24.1	6.9	10.3	
F 3 居住時期	昭和19年(1944年)以前	17	52.9	17.6	5.9	23.5
	昭和20年～29年(1945～1954年)	15	80.0	6.7	13.3	0.0
	昭和30年～39年(1955～1964年)	23	78.3	8.7	8.7	4.3
	昭和40年～49年(1965～1974年)	180	75.6	8.9	10.0	5.6
	昭和50年～59年(1975～1984年)	298	81.5	8.7	7.0	2.7
	昭和60年～平成元年(1985～1989年)	185	76.2	13.5	8.1	2.2
	平成2年～6年(1990～1994年)	143	80.4	11.2	7.0	1.4
	平成7年～11年(1995～1999年)	244	81.1	9.8	8.2	0.8
	平成12年～16年(2000～2004年)	280	72.9	12.9	11.8	2.5
	平成17年～(2005年～)	162	68.5	17.3	13.0	1.2
	わからない	4	75.0	25.0	0.0	0.0
無回答	37	59.5	21.6	10.8	8.1	
F 7 居住地区	中里連合自治会	81	79.0	8.6	11.1	1.2
	中里北部連合町内会	90	71.1	12.2	14.4	2.2
	市ヶ尾連合自治会	78	76.9	9.0	9.0	5.1
	上谷本連合町内会	58	77.6	12.1	10.3	0.0
	谷本連合自治会	136	73.5	14.0	8.8	3.7
	恩田連合自治会	138	84.8	8.7	5.1	1.4
	青葉台連合自治会	227	67.8	15.4	12.3	4.4
	奈良町、奈良北団地連合自治会	142	77.5	14.8	7.0	0.7
	山内連合自治会	212	80.7	8.5	7.1	3.8
	荏田、新荏田連合自治会	215	78.6	12.1	7.9	1.4
	すすき野連合自治会	97	81.4	7.2	10.3	1.0
	美しが丘連合自治会	75	73.3	12.0	10.7	4.0
	無回答	39	61.5	17.9	12.8	7.7

大学や企業との連携によりスポーツや芸術などの独自の地域文化が誕生する

<男女別>

- ・ 男性は「そうは思わない」、女性は「わからない」が最も多くなっている。

<年齢別>

- ・ 「16～20歳」「21～25歳」「26～30歳」「66～70歳」では「そうは思わない」が、「31～35歳」から「61～65歳」までの世代と「76歳以上」「その他」では「わからない」が最も多くなっており、若い世代で否定的な傾向が見られる。

<居住時期別>

- ・ 「平成2年～6年(1990～1994年)」で「そうは思わない」と「わからない」が同率となっている以外は、いずれの時期でも「わからない」が最も多い。
- ・ 「昭和20年～29年(1945～1954年)」では「そう思う」の割合が他に比べて高くなっている。

<居住地区別>

- ・ 「美しが丘連合自治会」で「そうは思わない」が最も多く、「山内連合自治会」ではこれと「わからない」が同率となっている以外は、いずれの地域も「わからない」が最も多い。

図 - 15 男女・年齢・居住時期・居住地区別 10年後の青葉区の姿

大学や企業との連携によりスポーツや芸術などの独自の地域文化が誕生する

問3 10年後の青葉区の住民の生活や文化

大学や企業との連携によりスポーツや芸術などの独自の地域文化が誕生する

		全体	そう思う	そうは思わない	わからない	無回答
全 体		1,588	252	579	701	56
		100.0	15.9	36.5	44.1	3.5
F 1	性別					
	男性	647	14.8	43.4	39.3	2.5
	女性	896	16.9	31.6	48.0	3.6
	無回答	45	11.1	33.3	37.8	17.8
F 2	年齢					
	16～20歳	55	12.7	52.7	34.5	0.0
	21～25歳	65	23.1	43.1	33.8	0.0
	26～30歳	96	11.5	47.9	38.5	2.1
	31～35歳	142	16.9	38.0	43.7	1.4
	36～40歳	167	18.6	29.3	51.5	0.6
	41～45歳	172	13.4	32.0	52.9	1.7
	46～50歳	119	19.3	39.5	41.2	0.0
	51～55歳	133	21.1	33.1	42.9	3.0
	56～60歳	171	14.0	38.0	45.0	2.9
	61～65歳	153	14.4	34.0	49.0	2.6
	66～70歳	119	16.0	40.3	39.5	4.2
	76歳以上	84	9.5	33.3	42.9	14.3
	その他	83	15.7	27.7	38.6	18.1
	無回答	29	13.8	37.9	37.9	10.3
F 3	居住時期					
	昭和19年(1944年)以前	17	11.8	29.4	35.3	23.5
	昭和20年～29年(1945～1954年)	15	26.7	33.3	40.0	0.0
	昭和30年～39年(1955～1964年)	23	13.0	26.1	56.5	4.3
	昭和40年～49年(1965～1974年)	180	13.9	35.6	43.9	6.7
	昭和50年～59年(1975～1984年)	298	14.8	38.9	42.3	4.0
	昭和60年～平成元年(1985～1989年)	185	13.0	37.8	46.5	2.7
	平成2年～6年(1990～1994年)	143	13.3	42.7	42.7	1.4
	平成7年～11年(1995～1999年)	244	14.3	34.8	49.2	1.6
	平成12年～16年(2000～2004年)	280	21.1	33.6	42.1	3.2
	平成17年～(2005年～)	162	19.8	34.6	43.2	2.5
	わからない	4	25.0	25.0	50.0	0.0
	無回答	37	10.8	43.2	37.8	8.1
F 7	居住地区					
	中里連合自治会	81	11.1	37.0	50.6	1.2
	中里北部連合町内会	90	13.3	34.4	47.8	4.4
	市ヶ尾連合自治会	78	17.9	35.9	41.0	5.1
	上谷本連合町内会	58	10.3	31.0	58.6	0.0
	谷本連合自治会	136	16.2	35.3	44.1	4.4
	恩田連合自治会	138	15.9	34.1	48.6	1.4
	青葉台連合自治会	227	16.3	34.8	44.5	4.4
	奈良町、奈良北団地連合自治会	142	17.6	35.9	44.4	2.1
	山内連合自治会	212	15.1	40.6	40.6	3.8
	荏田、新荏田連合自治会	215	21.4	33.5	42.8	2.3
	すすき野連合自治会	97	8.2	42.3	45.4	4.1
	美しが丘連合自治会	75	20.0	44.0	29.3	6.7
	無回答	39	10.3	38.5	41.0	10.3

道路事情や環境問題により車依存から電車、バスなどの公共輸送機関重視へと変わる

<男女別>

- 男女とも「そうは思わない」が最も多くなっている。なお、女性は男性より「わからない」が9.5ポイント多くなっている。

<年齢別>

- 「その他」で「そう思う」「16～20歳」では「そうは思わない」と「わからない」が同率となっている以外は、「そうは思わない」が最も多くなっている。

<居住時期別>

- 「昭和30年～39年（1955～1964年）」で「そう思う」「そうは思わない」が同率となっている以外は、いずれの時期も「そうは思わない」が最も多い。

<居住地区別>

- いずれの地域も「そうは思わない」が最も多い。特に「上谷本連合町内会」では数値が高くなっている。

図 - 16 男女・年齢・居住時期・居住地区別 10年後の青葉区の姿
- 道路事情や環境問題により車依存から電車、バスなどの公共輸送機関重視へと変わる -

問3 10年後の青葉区の住民の生活や文化

道路事情や環境問題により車依存から電車、バスなどの公共輸送機関重視へと変わる

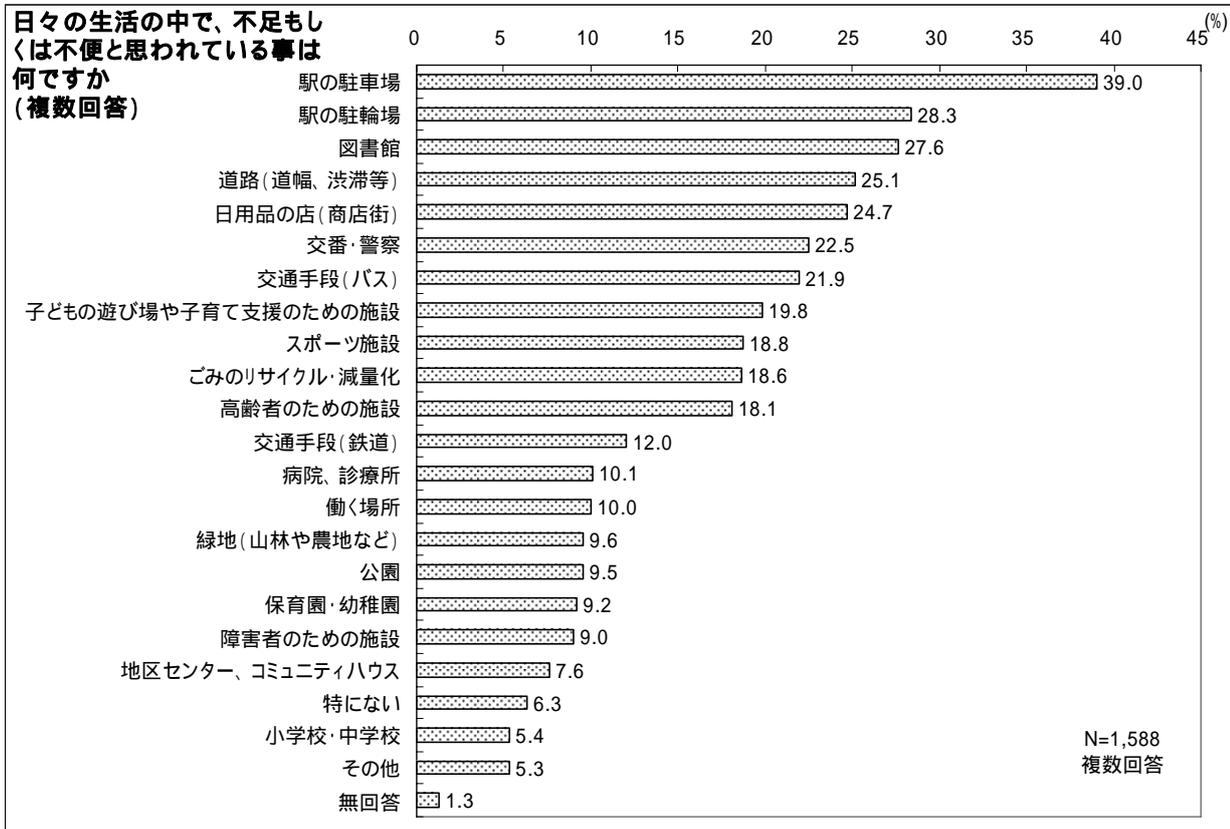
		全体	そう思う	そうは思わない	わからない	無回答
全 体		1,588	374	822	346	46
		100.0	23.6	51.8	21.8	2.9
F 1 性別	男性	647	27.4	54.3	16.2	2.2
	女性	896	20.6	50.8	25.7	2.9
	無回答	45	26.7	35.6	24.4	13.3
F 2 年齢	16～20歳	55	27.3	36.4	36.4	0.0
	21～25歳	65	35.4	38.5	26.2	0.0
	26～30歳	96	30.2	47.9	20.8	1.0
	31～35歳	142	20.4	54.2	24.6	0.7
	36～40歳	167	17.4	64.7	18.0	0.0
	41～45歳	172	15.1	59.3	24.4	1.2
	46～50歳	119	15.1	68.9	16.0	0.0
	51～55歳	133	21.8	55.6	19.5	3.0
	56～60歳	171	22.8	51.5	23.4	2.3
	61～65歳	153	24.8	51.0	22.2	2.0
	66～70歳	119	29.4	42.9	23.5	4.2
	76歳以上 その他 無回答	84 83 29	26.2 39.8 31.0	42.9 28.9 37.9	17.9 15.7 24.1	13.1 15.7 6.9
F 3 居住時期	昭和19年（1944年）以前	17	23.5	35.3	17.6	23.5
	昭和20年～29年（1945～1954年）	15	6.7	73.3	20.0	0.0
	昭和30年～39年（1955～1964年）	23	39.1	39.1	17.4	4.3
	昭和40年～49年（1965～1974年）	180	28.9	44.4	21.7	5.0
	昭和50年～59年（1975～1984年）	298	26.2	52.0	18.8	3.0
	昭和60年～平成元年（1985～1989年）	185	22.7	49.7	24.9	2.7
	平成2年～6年（1990～1994年）	143	19.6	59.4	18.9	2.1
	平成7年～11年（1995～1999年）	244	15.6	60.2	23.0	1.2
	平成12年～16年（2000～2004年）	280	24.6	50.7	22.5	2.1
	平成17年～（2005年～）	162	25.9	48.8	22.8	2.5
	わからない 無回答	4 37	25.0 27.0	50.0 37.8	25.0 29.7	0.0 5.4
F 7 居住地区	中里連合自治会	81	24.7	55.6	18.5	1.2
	中里北部連合町内会	90	27.8	48.9	20.0	3.3
	市ヶ尾連合自治会	78	15.4	60.3	19.2	5.1
	上谷本連合町内会	58	24.1	70.7	5.2	0.0
	谷本連合自治会	136	28.7	47.1	21.3	2.9
	恩田連合自治会	138	26.8	51.4	20.3	1.4
	青葉台連合自治会	227	23.8	50.2	21.6	4.4
	奈良町、奈良北団地連合自治会	142	18.3	57.0	23.2	1.4
	山内連合自治会	212	20.3	53.8	22.6	3.3
	荏田、新荏田連合自治会	215	21.9	50.2	26.0	1.9
	すすき野連合自治会	97	28.9	44.3	23.7	3.1
	美しが丘連合自治会	75	25.3	48.0	21.3	5.3
	無回答	39	25.6	35.9	33.3	5.1

2. 青葉区の生活環境について

問4 あなたが、日々の生活の中で、不足もしくは不便とされている事は何ですか。(はいくつでも)

- ・ 「駅の駐車場」が最も多く 39.0%、以下「駅の駐輪場」(28.3%)、「図書館」(27.6%)、「道路(道幅、渋滞等)」(25.1%)、「日用品の店(商店街)」(24.7%)、「交番・警察」(22.5%)、「交通手段(バス)」(21.9%)の上位7項目までは20%を超えており、このうち4項目までが交通問題である。

図 - 17 日々の生活の中で、不足もしくは不便とされている事



男女別 日々の生活の中で、不足もしくは不便とされている事(問4 × F1)

- ・ 男女とも「駅の駐車場」が最も多くなっている。

図 - 18 男女別 日々の生活の中で、不足もしくは不便とされている事

問4 あなたが、日々の生活の中で、不足もしくは不便とされている事は何ですか(複数回答)

		全体	公園	緑地(山林や農地など)	ごみのリサイクル・減量化	道路(道幅、渋滞等)	駅の駐輪場	駅の駐車場	交通手段(バス)	交通手段(鉄道)	保育園・幼稚園	小学校・中学校	子どもの遊び場や子育て支援のための施設	日用品の店(商店街)
全体		1,588	151	152	296	399	450	620	348	191	146	85	315	393
F1 性別	男性	647	10.5	11.3	20.2	26.1	29.4	39.4	17.6	12.5	9.6	5.3	18.2	22.3
	女性	896	8.9	8.6	18.3	25.1	27.7	39.1	24.8	12.1	9.2	5.7	21.0	26.2
	無回答	45	6.7	4.4	2.2	11.1	26.7	33.3	26.7	4.4	4.4	0.0	20.0	31.1

		全体	働く場所	病院、診療所	図書館	スポーツ施設	地区センター、コミュニティハウス	高齢者のための施設	障害者のための施設	交番・警察	特にない	その他	無回答
全体		1,588	159	161	439	298	121	287	143	357	100	84	20
F1 性別	男性	647	9.0	9.3	25.7	22.1	4.8	19.8	8.7	25.3	5.4	5.4	0.8
	女性	896	10.7	10.5	29.2	16.6	9.7	16.3	9.4	20.5	6.7	5.0	1.3
	無回答	45	11.1	15.6	24.4	13.3	6.7	28.9	6.7	20.0	11.1	8.9	6.7

年齢別 日々の生活の中で、不足もしくは不便とされている事(問4× F2)

- ・ 「16～20歳」から「26～30歳」の若い世代では「図書館」が最も多く、更に「16～20歳」では「日用品の店(商店街)」、「26～30歳」で「駅の駐車場」も同率となっている。これ以上の世代では「駅の駐車場」が、「その他」では「高齢者のための施設」が最も多くなっている。
- ・ また、「16～20歳」「26～30歳」で「スポーツ施設」、「21～25歳」で「交通手段(鉄道)」、「26～30歳」から「36～40歳」までの世代では「子どもの遊び場や子育て支援のための施設」、「31～35歳」「36～40歳」では「保育園・幼稚園」、「61～65歳」以上の世代では「高齢者のための施設」の数値が、それぞれ他の世代より高くなっている。

図 - 19 年齢別 日々の生活の中で、不足もしくは不便とされている事

問4 あなたが、日々の生活の中で、不足もしくは不便とされている事は何ですか(複数回答)

		全体	公園	緑地 (山林 や農地 など)	ごみのリ サイクル・減 量化	道路 (道幅、 渋滞 等)	駅の駐 輪場	駅の駐 車場	交通手 段(バ ス)	交通手 段(鉄 道)	保 育 園・幼 稚園	小学 校・中 学校	子ども の遊び 場や子 育て支 援のた めの施 設	日用品 の店(商 店街)
全 体		1,588	151	152	296	399	450	620	348	191	146	85	315	393
		-	9.5	9.6	18.6	25.1	28.3	39.0	21.9	12.0	9.2	5.4	19.8	24.7
F 2 年齢	16～20歳	55	9.1	12.7	16.4	14.5	27.3	18.2	12.7	14.5	3.6	0.0	18.2	32.7
	21～25歳	65	12.3	16.9	15.4	13.8	32.3	30.8	24.6	27.7	3.1	3.1	21.5	27.7
	26～30歳	96	15.6	14.6	19.8	29.2	27.1	36.5	21.9	14.6	15.6	4.2	29.2	27.1
	31～35歳	142	12.0	6.3	17.6	24.6	32.4	37.3	21.1	13.4	21.8	9.2	30.3	28.9
	36～40歳	167	17.4	8.4	16.2	30.5	26.9	38.3	25.7	11.4	19.2	13.2	29.3	23.4
	41～45歳	172	8.7	9.9	20.9	30.2	34.9	45.9	27.3	14.5	15.1	9.3	25.6	26.2
	46～50歳	119	9.2	11.8	21.8	29.4	32.8	45.4	20.2	16.8	6.7	7.6	25.2	29.4
	51～55歳	133	6.8	9.8	20.3	24.1	28.6	45.1	20.3	13.5	8.3	5.3	17.3	27.1
	56～60歳	171	5.8	9.4	22.8	29.2	26.3	38.6	19.9	12.3	3.5	2.9	8.2	21.1
	61～65歳	153	7.8	7.8	20.3	22.9	27.5	43.1	22.9	6.5	4.6	2.0	11.1	17.0
	66～70歳	119	9.2	12.6	21.8	25.2	26.9	45.4	21.8	4.2	2.5	0.0	16.0	20.2
	76歳以上	84	3.6	6.0	13.1	20.2	21.4	32.1	16.7	9.5	0.0	1.2	11.9	15.5
	その他	83	4.8	4.8	10.8	15.7	19.3	24.1	18.1	7.2	0.0	2.4	7.2	30.1
無回答	29	6.9	3.4	3.4	13.8	24.1	41.4	31.0	0.0	10.3	3.4	27.6	37.9	

		全体	働く場 所	病院、 診療所	図書館	スポー ツ施設	地区セ ンター、 コミュニ ティハウ ス	高齢者 のため の施設	障害者 のため の施設	交番・ 警察	特にな い	その他	無回答
全 体		1,588	159	161	439	298	121	287	143	357	100	84	20
		-	10.0	10.1	27.6	18.8	7.6	18.1	9.0	22.5	6.3	5.3	1.3
F 2 年齢	16～20歳	55	7.3	7.3	32.7	30.9	3.6	7.3	7.3	12.7	10.9	10.9	1.8
	21～25歳	65	9.2	7.7	33.8	26.2	7.7	4.6	4.6	16.9	3.1	1.5	0.0
	26～30歳	96	13.5	10.4	36.5	28.1	7.3	11.5	10.4	15.6	3.1	3.1	0.0
	31～35歳	142	9.9	7.7	28.9	16.2	9.2	2.8	3.5	16.2	3.5	11.3	0.7
	36～40歳	167	14.4	7.8	29.3	16.8	6.6	6.6	6.6	22.2	3.0	6.0	0.0
	41～45歳	172	8.7	11.6	34.3	20.3	8.1	8.7	9.3	20.9	2.3	4.1	0.0
	46～50歳	119	12.6	9.2	29.4	25.2	5.9	18.5	10.9	26.9	5.0	5.9	0.0
	51～55歳	133	9.8	9.0	33.8	22.6	8.3	18.8	9.0	26.3	6.0	3.8	2.3
	56～60歳	171	9.4	11.7	27.5	14.0	8.8	26.3	9.9	26.3	5.8	3.5	1.8
	61～65歳	153	11.8	10.5	22.9	22.2	5.2	28.8	10.5	19.6	11.1	4.6	1.3
	66～70歳	119	9.2	12.6	19.3	11.8	10.1	36.1	11.8	27.7	7.6	4.2	2.5
	76歳以上	84	6.0	9.5	11.9	9.5	7.1	29.8	15.5	28.6	13.1	3.6	2.4
	その他	83	0.0	15.7	12.0	8.4	8.4	31.3	8.4	27.7	15.7	3.6	4.8
無回答	29	17.2	10.3	34.5	13.8	10.3	31.0	6.9	20.7	3.4	17.2	3.4	

居住地区別 日々の生活の中で、不足もしくは不便とされている事(問4× F7)

- ・ 「上谷本連合町内会」と「奈良町、奈良北団地連合自治会」では「図書館」が、「美しが丘連合自治会」では「駅の駐輪場」が最も多く、これ以外の地域では「駅の駐車場」が最も多くなっている。
- ・ また、「中里北部連合町内会」では「道路(道幅、渋滞等)」、「中里連合自治会」では「交通手段(バス)」、「奈良町、奈良北団地連合自治会」では「交通手段(バス)」、「交通手段(鉄道)」、「交番・警察」、「すずき野連合自治会」では「高齢者のための施設」が、それぞれ他の地域に比べて高い数値となっている。

図 - 20 居住地区別 日々の生活の中で、不足もしくは不便とされている事

問4 あなたが、日々の生活の中で、不足もしくは不便とされている事は何ですか(複数回答)

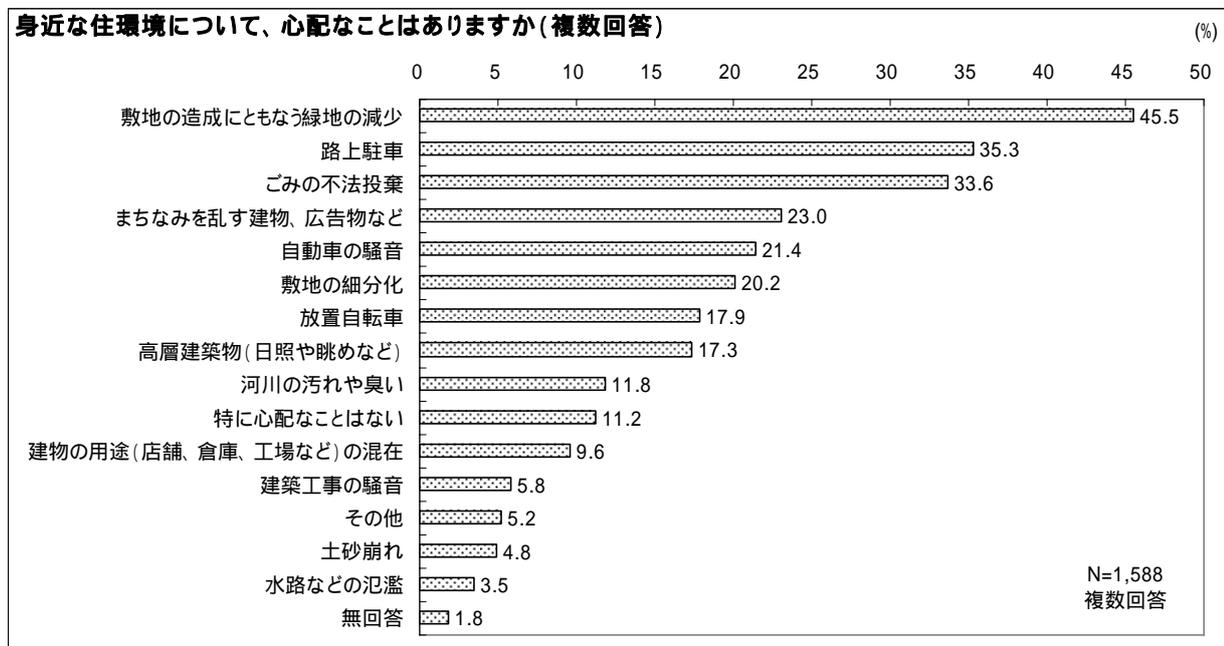
	全体	公園	緑地 (山林 や農地 など)	ごみのリ サイクル・減 量化	道路 (道幅、 渋滞 等)	駅の駐 輪場	駅の駐 車場	交通手 段(バ ス)	交通手 段(鉄 道)	保育 園・幼 稚園	小学 校・中 学校	子ども の遊び 場や子 育て支 援のた めの施 設	日用品 の店(商 店街)
全 体	1,588	151	152	296	399	450	620	348	191	146	85	315	393
	-	9.5	9.6	18.6	25.1	28.3	39.0	21.9	12.0	9.2	5.4	19.8	24.7
F 7 居住地区	81	9.9	12.3	24.7	23.5	34.6	42.0	34.6	13.6	8.6	4.9	6.2	32.1
中里連合自治会	90	12.2	10.0	26.7	34.4	31.1	43.3	13.3	10.0	6.7	1.1	20.0	20.0
中里北部連合町内会	78	10.3	7.7	16.7	23.1	26.9	42.3	16.7	11.5	9.0	1.3	14.1	26.9
市ヶ尾連合自治会	58	5.2	6.9	13.8	24.1	31.0	43.1	17.2	10.3	10.3	1.7	22.4	32.8
上谷本連合町内会	136	6.6	9.6	19.9	30.1	27.9	44.1	25.0	5.1	5.1	0.0	16.9	25.7
谷本連合自治会	138	10.9	8.7	19.6	29.0	31.9	39.1	27.5	10.1	3.6	8.7	23.2	31.2
恩田連合自治会	227	8.4	9.7	15.0	33.0	27.3	37.4	8.4	10.1	6.6	1.3	21.6	20.7
青葉台連合自治会	142	8.5	4.9	17.6	22.5	18.3	29.6	45.1	33.1	9.9	9.9	20.4	26.1
奈良町、奈良北団地連合自治会	212	10.4	10.8	16.5	20.3	27.8	42.5	23.1	9.9	10.4	9.4	20.8	22.6
山内連合自治会	215	10.7	13.0	20.0	21.9	28.8	31.6	20.5	10.7	14.0	9.3	22.8	23.3
荏田、新荏田連合自治会	97	9.3	9.3	23.7	14.4	28.9	52.6	17.5	10.3	12.4	6.2	20.6	18.6
すずき野連合自治会	75	13.3	10.7	18.7	28.0	36.0	33.3	10.7	10.7	14.7	1.3	20.0	24.0
美しが丘連合自治会	39	5.1	2.6	7.7	10.3	23.1	35.9	30.8	7.7	10.3	5.1	17.9	33.3
無回答													

	全体	働く場 所	病院、 診療所	図書館	スポー ツ施設	地区セ ンター、 コミュニ ティハウ ス	高齢者 のた めの 施設	障害者 のた めの 施設	交番・ 警察	特にな い	その他	無回答
全 体	1,588	159	161	439	298	121	287	143	357	100	84	20
	-	10.0	10.1	27.6	18.8	7.6	18.1	9.0	22.5	6.3	5.3	1.3
F 7 居住地区	81	13.6	17.3	17.3	13.6	3.7	18.5	11.1	23.5	3.7	2.5	0.0
中里連合自治会	90	6.7	4.4	26.7	24.4	11.1	15.6	8.9	17.8	7.8	4.4	1.1
中里北部連合町内会	78	15.4	6.4	20.5	15.4	6.4	14.1	7.7	14.1	2.6	7.7	2.6
市ヶ尾連合自治会	58	13.8	3.4	46.6	13.8	8.6	25.9	8.6	29.3	3.4	3.4	0.0
上谷本連合町内会	136	8.1	4.4	28.7	21.3	5.1	17.6	11.0	21.3	7.4	5.9	0.7
谷本連合自治会	138	8.0	11.6	35.5	26.8	13.0	13.8	10.9	21.0	7.2	7.2	0.0
恩田連合自治会	227	8.8	9.3	35.7	16.7	7.0	16.3	5.3	11.9	7.0	3.5	2.2
青葉台連合自治会	142	12.7	13.4	45.8	26.1	4.9	12.0	7.7	34.5	4.2	10.6	0.7
奈良町、奈良北団地連合自治会	212	9.4	12.7	17.0	16.5	5.2	21.2	11.8	24.1	8.5	5.2	1.4
山内連合自治会	215	6.5	12.6	17.7	13.5	11.2	18.1	9.3	27.4	7.0	5.6	0.9
荏田、新荏田連合自治会	97	18.6	8.2	13.4	16.5	6.2	30.9	8.2	20.6	4.1	1.0	2.1
すずき野連合自治会	75	5.3	12.0	33.3	22.7	8.0	17.3	9.3	28.0	5.3	2.7	2.7
美しが丘連合自治会	39	15.4	7.7	30.8	17.9	7.7	20.5	5.1	23.1	7.7	7.7	2.6
無回答												

問5 あなたの身近な住環境について、心配なことはありますか。(はいいくつでも)

- ・ 「敷地の造成にともなう緑地の減少」が最も多く 45.5%である。次いで「路上駐車」(35.3%)、「ごみの不法投棄」(33.6%)が3割超となっている。以下「まちなみを乱す建物、広告物など」(23.0%)、「自動車の騒音」(21.4%)、「敷地の細分化」(20.2%)、「放置自転車」(17.9%)、「高層建築物(日照や眺めなど)」(17.3%)などとなり、美しいまちなみに悪影響を及ぼす要因への懸念が多く見られる。

図 - 21 身近な住環境について心配なこと



男女別 身近な住環境について心配なこと(問5 × F1)

- ・ 男女とも「敷地の造成にともなう緑地の減少」が最も多くなっている。

図 - 22 男女別 身近な住環境について心配なこと

問5 あなたの身近な住環境について、心配なことはありますか(複数回答)

		全体	まちなみを乱す建物、広告物など	建物の用途(店舗、倉庫、工場など)の混在	高層建築物(日照や眺めなど)	敷地の細分化	敷地の造成にともなう緑地の減少	土砂崩れ	建築工事の騒音	自動車の騒音
全体		1,588	366	152	275	320	723	77	92	340
		-	23.0	9.6	17.3	20.2	45.5	4.8	5.8	21.4
F1 性別	男性	647	25.3	10.5	18.9	23.3	45.1	5.7	4.0	23.0
	女性	896	21.5	8.6	16.3	17.9	46.0	4.4	7.1	20.4
	無回答	45	20.0	15.6	15.6	20.0	42.2	2.2	4.4	17.8

		全体	路上駐車	放置自転車	ごみの不法投棄	水路などの氾濫	河川の汚れや臭い	特に心配なことはない	その他	無回答
全体		1,588	561	284	534	55	188	178	83	29
		-	35.3	17.9	33.6	3.5	11.8	11.2	5.2	1.8
F1 性別	男性	647	39.6	22.7	34.9	3.7	13.4	7.9	6.3	1.1
	女性	896	32.9	14.5	33.0	3.2	10.8	13.2	4.5	1.9
	無回答	45	22.2	15.6	26.7	4.4	8.9	20.0	4.4	11.1

年齢別 身近な住環境について心配なこと(問5 × F2)

- ・ 「16～20歳」「21～25歳」では「ごみの不法投棄」が最も多い。「36～40歳」と、「46～50歳」以上の世代では「敷地の造成にともなう緑地の減少」が、「31～35歳」「41～45歳」では「路上駐車」が最も多く、「26～30歳」ではこの2つが同率となっている。
- ・ また、「16～20歳」「21～25歳」では「河川の汚れや臭い」、「21～25歳」「26～30歳」では「まちなみを乱す建物、広告物など」、「56～60歳」「61～65歳」では「敷地の細分化」、「その他」で「特に心配なことはない」が、それぞれ他の世代に比べて高い数値となっている。

図 - 23 年齢別 身近な住環境について心配なこと

問5 あなたの身近な住環境について、心配なことはありますか(複数回答)

		全体	まちなみを乱す建物、広告物など	建物の用途(店舗、倉庫、工場など)の混在	高層建築物(日照や眺めなど)	敷地の細分化	敷地の造成にともなう緑地の減少	土砂崩れ	建築工事の騒音	自動車の騒音
全 体		1,588	366	152	275	320	723	77	92	340
		-	23.0	9.6	17.3	20.2	45.5	4.8	5.8	21.4
F 2 年齢	16～20歳	55	20.0	10.9	14.5	3.6	34.5	3.6	9.1	16.4
	21～25歳	65	32.3	4.6	20.0	7.7	32.3	3.1	9.2	23.1
	26～30歳	96	32.3	10.4	13.5	10.4	41.7	8.3	7.3	21.9
	31～35歳	142	13.4	7.0	12.0	10.6	35.2	4.9	7.7	24.6
	36～40歳	167	16.8	7.2	15.0	10.2	44.9	3.6	7.2	22.2
	41～45歳	172	27.9	10.5	20.9	18.0	40.7	8.7	7.6	24.4
	46～50歳	119	24.4	14.3	14.3	21.8	43.7	5.9	3.4	16.0
	51～55歳	133	30.8	13.5	18.0	18.8	51.1	6.0	6.8	24.1
	56～60歳	171	22.2	9.4	20.5	30.4	63.2	2.9	2.3	19.3
	61～65歳	153	26.1	10.5	22.9	33.3	49.7	3.9	5.9	24.2
	66～70歳	119	20.2	8.4	17.6	27.7	52.1	2.5	5.0	18.5
	76歳以上	84	19.0	7.1	16.7	26.2	34.5	2.4	1.2	22.6
その他	83	15.7	3.6	15.7	28.9	43.4	6.0	3.6	14.5	
無回答	29	24.1	24.1	13.8	24.1	58.6	3.4	6.9	24.1	

		全体	路上駐車	放置自転車	ごみの不法投棄	水路などの氾濫	河川の汚れや臭い	特に心配なことはない	その他	無回答
全 体		1,588	561	284	534	55	188	178	83	29
		-	35.3	17.9	33.6	3.5	11.8	11.2	5.2	1.8
F 2 年齢	16～20歳	55	34.5	21.8	36.4	3.6	23.6	12.7	1.8	1.8
	21～25歳	65	29.2	20.0	38.5	9.2	24.6	10.8	4.6	1.5
	26～30歳	96	41.7	17.7	28.1	7.3	12.5	13.5	8.3	0.0
	31～35歳	142	36.6	12.0	32.4	1.4	15.5	9.9	5.6	1.4
	36～40歳	167	31.7	12.0	31.7	3.6	10.8	10.2	4.8	0.6
	41～45歳	172	44.8	19.2	36.0	2.9	9.3	8.7	4.7	0.0
	46～50歳	119	37.0	15.1	33.6	0.8	12.6	13.4	9.2	1.7
	51～55歳	133	38.3	18.8	38.3	3.8	11.3	9.0	3.8	3.8
	56～60歳	171	38.0	18.7	38.0	3.5	8.8	8.2	4.1	1.8
	61～65歳	153	34.6	22.9	32.0	4.6	12.4	9.2	9.2	0.0
	66～70歳	119	29.4	21.0	34.5	3.4	12.6	10.9	2.5	5.0
	76歳以上	84	32.1	15.5	26.2	1.2	6.0	19.0	2.4	3.6
その他	83	19.3	22.9	25.3	1.2	1.2	21.7	3.6	4.8	
無回答	29	34.5	17.2	41.4	6.9	20.7	6.9	6.9	3.4	

居住地区別 身近な住環境について心配なこと(問5× F7)

- ・ 「市ヶ尾連合自治会」「美しが丘連合自治会」では「路上駐車」、それ以外の地域においてはいずれも「敷地の造成にともなう緑地の減少」が最も多くなっている。
- ・ また、「中里連合自治会」では「土砂崩れ」、「市ヶ尾連合自治会」では「自動車の騒音」と「河川の汚れや臭い」、「上谷本連合町内会」では「敷地の細分化」、「谷本連合自治会」で「ごみの不法投棄」が、それぞれ他の地域に比べて高い数値となっている。

図 - 24 居住地区別 身近な住環境について心配なこと

問5 あなたの身近な住環境について、心配なことはありますか(複数回答)

		全体	まちなみを乱す建物、広告物など	建物の用途(店舗、倉庫、工場などの混在)	高層建築物(日照や眺めなど)	敷地の細分化	敷地の造成にともなう緑地の減少	土砂崩れ	建築工事の騒音	自動車の騒音
全体		1,588	366	152	275	320	723	77	92	340
		-	23.0	9.6	17.3	20.2	45.5	4.8	5.8	21.4
F7 居住地区	中里連合自治会	81	24.7	12.3	11.1	21.0	51.9	13.6	2.5	18.5
	中里北部連合町内会	90	20.0	5.6	23.3	21.1	51.1	4.4	3.3	11.1
	市ヶ尾連合自治会	78	21.8	10.3	10.3	17.9	35.9	2.6	7.7	34.6
	上谷本連合町内会	58	20.7	10.3	15.5	29.3	51.7	3.4	3.4	13.8
	谷本連合自治会	136	21.3	10.3	22.1	19.1	44.9	3.7	9.6	27.9
	恩田連合自治会	138	20.3	8.7	12.3	22.5	47.1	8.0	5.8	17.4
	青葉台連合自治会	227	30.0	7.9	22.0	20.7	38.3	3.5	8.4	21.1
	奈良町、奈良北団地連合自治会	142	15.5	9.9	12.0	25.4	45.8	4.9	2.1	13.4
	山内連合自治会	212	24.5	9.9	15.6	16.0	47.2	4.2	5.2	23.6
	荏田、新荏田連合自治会	215	24.7	9.3	18.1	17.7	46.5	4.2	6.0	27.0
	すすき野連合自治会	97	18.6	9.3	15.5	14.4	51.5	1.0	3.1	18.6
	美しが丘連合自治会	75	22.7	9.3	25.3	22.7	36.0	9.3	9.3	20.0
	無回答	39	30.8	20.5	20.5	25.6	56.4	2.6	5.1	25.6

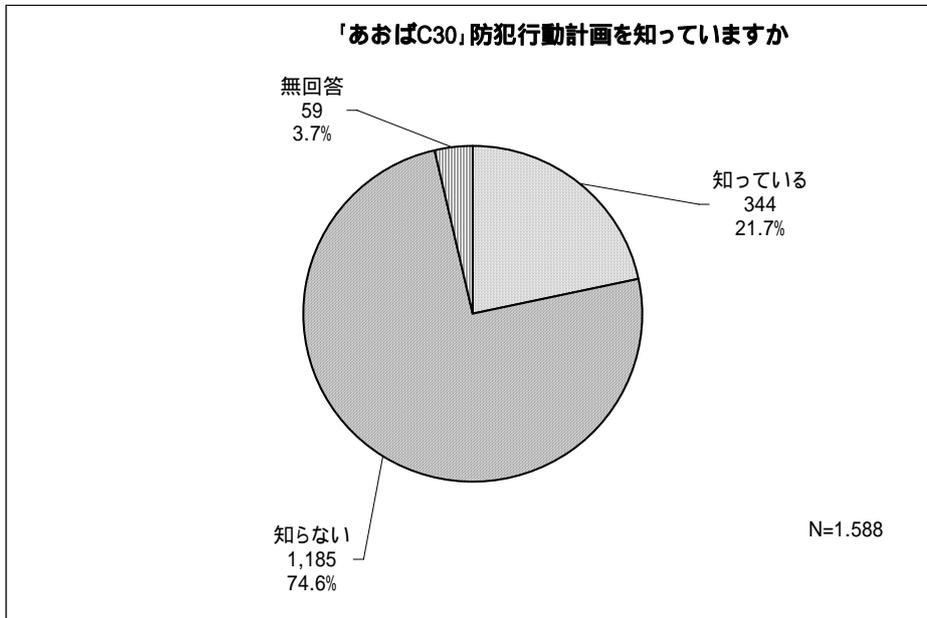
		全体	路上駐車	放置自転車	ごみの不法投棄	水路などの氾濫	河川の汚れや臭い	特に心配なことはない	その他	無回答
全体		1,588	561	284	534	55	188	178	83	29
		-	35.3	17.9	33.6	3.5	11.8	11.2	5.2	1.8
F7 居住地区	中里連合自治会	81	33.3	12.3	39.5	1.2	14.8	9.9	7.4	0.0
	中里北部連合町内会	90	43.3	22.2	33.3	3.3	10.0	13.3	4.4	2.2
	市ヶ尾連合自治会	78	39.7	20.5	37.2	5.1	23.1	12.8	7.7	2.6
	上谷本連合町内会	58	39.7	13.8	39.7	5.2	8.6	10.3	5.2	3.4
	谷本連合自治会	136	33.8	16.9	44.1	4.4	8.8	9.6	5.9	1.5
	恩田連合自治会	138	37.0	18.8	30.4	2.9	8.7	8.7	5.1	1.4
	青葉台連合自治会	227	36.6	25.1	30.0	4.8	9.7	7.9	6.6	2.6
	奈良町、奈良北団地連合自治会	142	25.4	14.1	37.3	2.1	9.2	16.2	5.6	0.7
	山内連合自治会	212	34.0	13.2	28.3	3.8	15.1	10.8	5.2	2.4
	荏田、新荏田連合自治会	215	36.3	20.0	32.6	2.8	12.6	9.3	4.7	1.9
	すすき野連合自治会	97	35.1	16.5	34.0	1.0	18.6	15.5	3.1	1.0
	美しが丘連合自治会	75	37.3	16.0	30.7	2.7	2.7	17.3	0.0	1.3
	無回答	39	33.3	12.8	28.2	7.7	15.4	12.8	5.1	2.6

3. 防犯について

問6 青葉区では、区内の犯罪(Crime)発生件数を平成16年比で30%減少させることを目標に、地域(Community)、及び警察や区役所などが結束を図り、全ての区民が挑戦(Challenge)する「あおばC30」防犯行動計画を進めています。あなたは、「あおばC30」防犯行動計画を知っていますか。

- ・ 「知らない」が74.5%と全体の4分の3を占める。「知っている」は21.7%である。

図 - 25 「あおばC30」防犯行動計画の認知度



男女別「あおばC30」防犯行動計画の認知度(問6×F1)

- ・ 男女とも「知らない」の方が多く7割以上を占め、性別による差異は見られない。

図 - 26 男女別「あおばC30」防犯行動計画の認知度

問6 「あおばC30」防犯行動計画を知っていますか

		全体	知っている	知らない	無回答
全体		1,588	344	1,185	59
		100.0	21.7	74.6	3.7
F1 性別	男性	647	21.8	74.8	3.4
	女性	896	21.9	75.1	3.0
	無回答	45	15.6	62.2	22.2

年齢別「あおばC30」防犯行動計画の認知度(問6×F2)

・ いずれも「知らない」の方が多く、特に10代～20代前半の若い世代でその傾向が顕著である。

図 - 27 年齢別「あおばC30」防犯行動計画の認知度

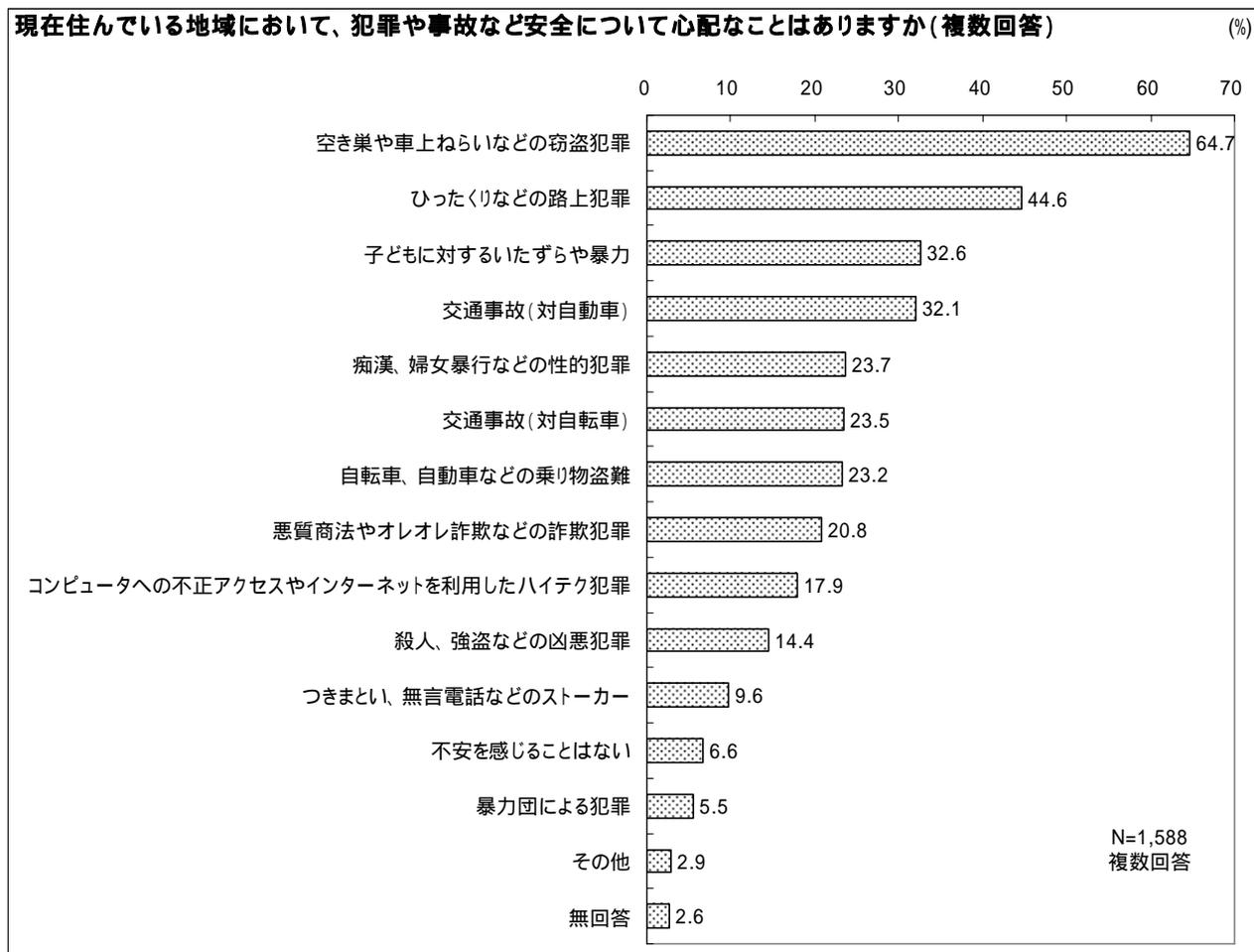
問6 「あおばC30」防犯行動計画を知っていますか

		全体	知っている	知らない	無回答
全 体		1,588	344	1,185	59
		100.0	21.7	74.6	3.7
F 2 年齢	16～20歳	55	12.7	85.5	1.8
	21～25歳	65	12.3	87.7	0.0
	26～30歳	96	17.7	78.1	4.2
	31～35歳	142	19.7	78.9	1.4
	36～40歳	167	25.1	72.5	2.4
	41～45歳	172	20.9	77.9	1.2
	46～50歳	119	21.0	76.5	2.5
	51～55歳	133	14.3	84.2	1.5
	56～60歳	171	26.3	70.2	3.5
	61～65歳	153	23.5	73.9	2.6
	66～70歳	119	24.4	68.1	7.6
	76歳以上	84	27.4	61.9	10.7
	その他	83	28.9	61.4	9.6
	無回答	29	17.2	65.5	17.2

問7 あなたが現在住んでいる地域において、犯罪や事故など安全について心配なことはありますか。(はい
くつでも)

- ・ 「空き巣や車上ねらいなどの窃盗犯罪」が64.7%で最も多く、次いで「ひったくりなどの路上犯罪」が44.6%となっている。以下「子どもに対するいたずらや暴力」(32.6%)、「交通事故(対自動車)」(32.1%)、「痴漢、婦女暴行などの性的犯罪」(23.7%)、「交通事故(対自転車)」(23.5%)、「自転車、自動車などの乗り物盗難」(23.2%)、「悪質商法やオレオレ詐欺などの詐欺犯罪」(20.8%)などの順となっている。また、「不安を感じることはない」は6.6%となっている。

図 - 28 犯罪や事故など安全についての不安



男女別 犯罪や事故など安全についての不安(問7× F1)

- ・ 男女とも「空き巣や車上ねらいなどの窃盗犯罪」が最も多くなっている。
- ・ また、女性は男性より「ひったくりなどの路上犯罪」で9.4ポイント、「痴漢、婦女暴行などの性的犯罪」では10.9ポイント高くなっている。

図 - 29 男女別 犯罪や事故など安全についての不安

問7 現在住んでいる地域において、犯罪や事故など安全について心配なことはありますか(複数回答)

		全体	ひったくりなどの路上犯罪	空き巣や車上ねらいなどの窃盗犯罪	自転車、自動車などの乗り物盗難	子どもに対するいたずらや暴力	つきまと、無言電話などのストーカー	痴漢、婦女暴行などの性的犯罪	殺人、強盗などの凶悪犯罪	悪質商法やオレオレ詐欺などの詐欺犯罪
全 体		1,588	708	1,028	369	518	153	377	229	331
		-	44.6	64.7	23.2	32.6	9.6	23.7	14.4	20.8
F 1 性別	男性	647	39.4	62.9	26.6	31.7	7.6	17.8	14.2	20.7
	女性	896	48.8	66.5	21.3	34.0	11.2	28.7	14.7	21.4
	無回答	45	35.6	55.6	13.3	17.8	8.9	11.1	11.1	11.1

		全体	コンピュータへの不正アクセスやインターネットを利用したハイテク犯罪	暴力団による犯罪	交通事故(対自動車)	交通事故(対自転車)	不安を感じることはない	その他	無回答
全 体		1,588	285	87	509	373	105	46	42
		-	17.9	5.5	32.1	23.5	6.6	2.9	2.6
F 1 性別	男性	647	19.0	7.3	29.5	23.3	7.3	3.2	3.2
	女性	896	17.4	4.2	34.2	23.2	6.0	2.6	2.1
	無回答	45	13.3	4.4	26.7	31.1	8.9	4.4	4.4

年齢別 犯罪や事故など安全についての不安(問7× F2)

- ・ 「16～20歳」「その他」で「ひったくりなどの路上犯罪」、それ以外の世代では「空き巣や車上ねらいなどの窃盗犯罪」が最も多くなっている。
- ・ また、「つきまとい、無言電話などのストーカー」は「16～20歳」で、「自転車、自動車などの乗り物盗難」は「16～20歳」「21～25歳」と「46～50歳」「51～55歳」で、「痴漢、婦女暴行などの性的犯罪」は「31～35歳」で、「子どもに対するいたずらや暴力」は「31～35歳」から「46～50歳」にかけての子育て世代で、「交通事故(対自動車)」は「36～40歳」で、「交通事故(対自転車)」は「41～45歳」で、「悪質商法やオレオレ詐欺などの詐欺犯罪」は「61～65歳」「66～70歳」で、「不安を感じることはない」は「76歳以上」「その他」で、それぞれ数値が他の世代より高くなっている。

図 - 30 年齢別 犯罪や事故など安全についての不安

問7 現在住んでいる地域において、犯罪や事故など安全について心配なことはありますか(複数回答)

		全体	ひったくりなどの路上犯罪	空き巣や車上ねらいなどの窃盗犯罪	自転車、自動車などの乗り物盗難	子どもに対するいたずらや暴力	つきまとい、無言電話などのストーカー	痴漢、婦女暴行などの性的犯罪	殺人、強盗などの凶悪犯罪	悪質商法やオレオレ詐欺などの詐欺犯罪
全体		1,588	708	1,028	369	518	153	377	229	331
		-	44.6	64.7	23.2	32.6	9.6	23.7	14.4	20.8
F2 年齢	16～20歳	55	36.4	32.7	32.7	23.6	21.8	29.1	12.7	16.4
	21～25歳	65	35.4	61.5	32.3	21.5	12.3	26.2	15.4	15.4
	26～30歳	96	45.8	62.5	18.8	29.2	10.4	28.1	18.8	9.4
	31～35歳	142	47.2	70.4	26.8	50.7	7.0	34.5	16.9	13.4
	36～40歳	167	50.9	66.5	25.7	58.7	6.0	22.8	13.2	13.2
	41～45歳	172	46.5	74.4	28.5	54.7	7.6	27.3	14.5	19.8
	46～50歳	119	47.9	67.2	32.8	44.5	8.4	31.1	15.1	21.0
	51～55歳	133	44.4	72.2	32.3	30.1	15.0	25.6	17.3	24.8
	56～60歳	171	43.3	67.3	18.1	19.3	11.1	22.8	13.5	21.6
	61～65歳	153	37.3	63.4	17.0	15.7	8.5	20.3	9.8	30.7
	66～70歳	119	44.5	66.4	21.0	16.8	10.9	16.8	16.0	37.8
	76歳以上	84	44.0	57.1	11.9	15.5	8.3	13.1	9.5	22.6
その他	83	49.4	47.0	6.0	10.8	7.2	9.6	14.5	22.9	
無回答	29	37.9	58.6	10.3	24.1	6.9	10.3	17.2	10.3	

		全体	コンピュータへの不正アクセスやインターネットを利用したハイテク犯罪	暴力団による犯罪	交通事故(対自動車)	交通事故(対自転車)	不安を感じることはない	その他	無回答
全体		1,588	285	87	509	373	105	46	42
		-	17.9	5.5	32.1	23.5	6.6	2.9	2.6
F2 年齢	16～20歳	55	21.8	7.3	34.5	20.0	7.3	5.5	1.8
	21～25歳	65	16.9	3.1	35.4	23.1	12.3	4.6	0.0
	26～30歳	96	18.8	7.3	37.5	18.8	5.2	3.1	4.2
	31～35歳	142	15.5	7.7	36.6	20.4	3.5	3.5	1.4
	36～40歳	167	16.2	3.0	41.9	20.4	3.0	1.8	1.2
	41～45歳	172	19.8	4.7	37.8	32.6	4.1	2.3	0.6
	46～50歳	119	21.0	3.4	23.5	23.5	2.5	5.0	1.7
	51～55歳	133	24.1	8.3	27.8	24.8	5.3	3.0	2.3
	56～60歳	171	19.3	7.0	28.1	21.6	6.4	1.8	1.2
	61～65歳	153	16.3	4.6	26.1	25.5	9.2	1.3	4.6
	66～70歳	119	20.2	7.6	29.4	21.0	6.7	4.2	5.9
	76歳以上	84	13.1	3.6	29.8	25.0	14.3	0.0	2.4
その他	83	9.6	2.4	25.3	20.5	15.7	2.4	10.8	
無回答	29	10.3	6.9	34.5	34.5	10.3	10.3	0.0	

居住地区別 犯罪や事故など安全についての不安(問7× F7)

- ・ いずれの地域も「空き巣や車上ねらいなどの窃盗犯罪」が最も多く、「美しが丘連合自治会」ではこれと「ひったくりなどの路上犯罪」とが同率となっている。
- ・ また、「市ヶ尾連合自治会」で「コンピュータへの不正アクセスやインターネットを利用したハイテク犯罪」、「交通事故(対自動車)」、「上谷本連合町内会」で「つきまとい、無言電話などのストーカー」の数値が、それぞれ他の地域より高くなっている。

図 - 31 居住地区別 犯罪や事故など安全についての不安

問7 現在住んでいる地域において、犯罪や事故など安全について心配なことはありますか(複数回答)

		全体	ひったくりなどの路上犯罪	空き巣や車上ねらいなどの窃盗犯罪	自転車、自動車などの乗り物盗難	子どもに対するいたずらや暴力	つきまとい、無言電話などのストーカー	痴漢、婦女暴行などの性的犯罪	殺人、強盗などの凶悪犯罪	悪質商法やオレオレ詐欺などの詐欺犯罪
全 体		1,588	708	1,028	369	518	153	377	229	331
		-	44.6	64.7	23.2	32.6	9.6	23.7	14.4	20.8
F 7 居住地区	中里連合自治会	81	39.5	69.1	23.5	28.4	12.3	19.8	14.8	24.7
	中里北部連合町内会	90	38.9	65.6	30.0	31.1	11.1	25.6	16.7	22.2
	市ヶ尾連合自治会	78	35.9	73.1	25.6	37.2	6.4	23.1	23.1	19.2
	上谷本連合町内会	58	44.8	75.9	25.9	27.6	19.0	29.3	22.4	25.9
	谷本連合自治会	136	48.5	66.2	26.5	36.8	9.6	29.4	22.8	23.5
	恩田連合自治会	138	50.7	76.8	26.8	28.3	10.9	26.1	10.1	20.3
	青葉台連合自治会	227	48.9	57.7	23.3	22.5	8.4	26.0	14.1	21.6
	奈良町、奈良北団地連合自治会	142	35.2	60.6	27.5	39.4	4.9	21.1	12.7	21.1
	山内連合自治会	212	50.9	63.7	19.8	36.8	7.1	21.7	9.9	23.6
	荏田、新荏田連合自治会	215	45.1	67.0	21.9	39.1	9.8	23.3	13.5	17.7
	すすき野連合自治会	97	30.9	60.8	18.6	28.9	12.4	17.5	7.2	20.6
	美しが丘連合自治会	75	53.3	53.3	14.7	34.7	14.7	24.0	16.0	14.7
	無回答	39	38.5	53.8	12.8	25.6	10.3	17.9	17.9	7.7

		全体	コンピュータへの不正アクセスやインターネットを利用したハイテク犯罪	暴力団による犯罪	交通事故(対自動車)	交通事故(対自転車)	不安を感じることはない	その他	無回答
全 体		1,588	285	87	509	373	105	46	42
		-	17.9	5.5	32.1	23.5	6.6	2.9	2.6
F 7 居住地区	中里連合自治会	81	11.1	6.2	23.5	21.0	13.6	4.9	1.2
	中里北部連合町内会	90	17.8	4.4	33.3	26.7	3.3	2.2	5.6
	市ヶ尾連合自治会	78	28.2	7.7	43.6	28.2	2.6	3.8	1.3
	上谷本連合町内会	58	25.9	1.7	22.4	20.7	5.2	5.2	0.0
	谷本連合自治会	136	16.2	11.0	36.0	26.5	8.1	2.2	0.0
	恩田連合自治会	138	16.7	3.6	31.9	23.9	7.2	2.2	1.4
	青葉台連合自治会	227	19.4	4.0	31.3	25.6	5.3	2.2	4.0
	奈良町、奈良北団地連合自治会	142	17.6	7.0	30.3	23.2	4.9	6.3	3.5
	山内連合自治会	212	19.3	4.2	27.4	20.8	5.2	2.4	2.8
	荏田、新荏田連合自治会	215	19.1	6.0	36.3	24.7	6.0	0.9	2.3
	すすき野連合自治会	97	13.4	3.1	34.0	13.4	9.3	0.0	4.1
	美しが丘連合自治会	75	14.7	4.0	32.0	22.7	12.0	2.7	4.0
	無回答	39	7.7	10.3	33.3	28.2	10.3	12.8	2.6

家族の状況別 犯罪や事故など安全についての不安(問7× F9)

- ・ いずれのケースにおいても「空き巣や車上ねらいなどの窃盗犯罪」が最も多い。
- ・ また、「同居の子ども」が「いる」場合、子どもが「未就学」「小学生」「中学生」である場合、「日中子どもの世話をする人」が「いる」場合において、「子どもに対するいたずらや暴力」の数値が他のケースより高い。さらに、子どもが「未就学」では「交通事故(対自動車)」、子どもが「中学生」「専門学校生、大学生」では「自転車、自動車などの乗り物盗難」、子どもが「高校生」「専門学校生、大学生」では「痴漢、婦女暴行などの性的犯罪」の数値が、それぞれ他のケースより高くなっている。

図 - 32 家族の状況別 犯罪や事故など安全についての不安

問7 現在住んでいる地域において、犯罪や事故など安全について心配なことはありますか(複数回答)

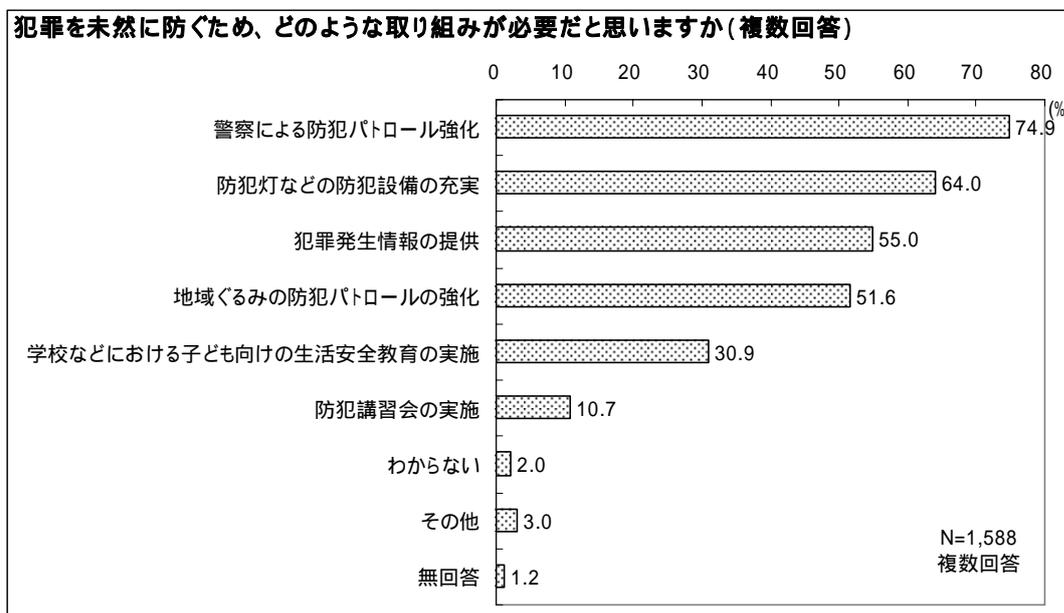
		全体	ひったくりなどの路上犯罪	空き巣や車上ねらいなどの窃盗犯罪	自転車、自動車などの乗り物盗難	子どもに対するいたずらや暴力	つきまと、無言電話などのストーカー	痴漢、婦女暴行などの性的犯罪	殺人、強盗などの凶悪犯罪	悪質商法やオレオレ詐欺などの詐欺犯罪
全 体		1,588	708	1,028	369	518	153	377	229	331
		-	44.6	64.7	23.2	32.6	9.6	23.7	14.4	20.8
F9-1 同居の子ども	いる	865	44.7	66.4	24.5	46.1	9.2	26.8	13.6	19.7
	いない	689	45.0	63.3	21.9	16.5	10.2	20.5	15.2	22.6
	無回答	34	32.4	52.9	17.6	14.7	8.8	11.8	17.6	14.7
子どもの状況	未就学	240	40.8	68.8	21.7	68.3	6.3	24.6	11.7	9.6
	小学生	218	46.3	71.1	27.1	79.8	6.9	30.7	13.8	15.1
	中学生	120	50.0	65.0	35.0	57.5	9.2	29.2	15.8	12.5
	高校生	106	39.6	53.8	30.2	40.6	15.1	32.1	12.3	22.6
	専門学校生、大学生	137	51.1	70.8	32.1	35.0	13.1	38.0	19.7	28.5
	その他	250	44.0	65.2	19.2	20.0	12.4	23.6	13.2	28.0
	無回答	18	38.9	55.6	16.7	11.1	11.1	16.7	16.7	22.2
F9-3 65歳以上の家族	いる	442	49.3	70.4	24.4	32.6	10.0	25.8	14.5	25.6
	いない	1,025	42.7	63.6	23.5	34.5	10.0	23.8	13.9	19.1
	無回答	121	43.0	53.7	16.5	16.5	5.8	15.7	19.0	18.2
F9-4 日中子どもの世話をする人	いる	521	42.4	69.7	25.7	50.7	7.9	25.0	12.3	17.7
	いない	758	45.1	63.9	24.1	26.9	11.6	24.9	15.2	23.0
	無回答	309	46.9	58.6	16.8	16.2	7.8	18.8	16.2	21.0
F9-5 共働き	している	345	43.8	64.9	25.8	36.8	11.0	28.1	16.5	18.0
	していない	1,057	44.8	66.5	23.6	34.0	9.7	23.1	13.1	22.1
	無回答	186	44.6	54.3	16.7	17.2	6.5	19.4	18.3	18.8

		全体	コンピュータへの不正アクセスやインターネットを利用したハイテク犯罪	暴力団による犯罪	交通事故(対自動車)	交通事故(対自転車)	不安を感じることはない	その他	無回答
全 体		1,588	285	87	509	373	105	46	42
		-	17.9	5.5	32.1	23.5	6.6	2.9	2.6
F9-1 同居の子ども	いる	865	17.5	5.5	33.6	24.4	4.5	2.9	2.5
	いない	689	18.9	5.2	30.6	22.4	9.0	2.8	2.6
	無回答	34	11.8	8.8	20.6	23.5	11.8	5.9	5.9
子どもの状況	未就学	240	14.6	4.6	42.5	24.2	1.7	2.5	2.5
	小学生	218	17.4	3.7	40.4	28.0	1.4	2.8	1.8
	中学生	120	22.5	5.8	30.8	25.8	3.3	4.2	2.5
	高校生	106	18.9	4.7	29.2	30.2	6.6	3.8	0.9
	専門学校生、大学生	137	24.8	9.5	29.9	30.7	5.1	2.2	1.5
	その他	250	16.0	7.6	28.4	21.2	8.0	2.8	2.4
	無回答	18	11.1	0.0	33.3	22.2	5.6	0.0	22.2
F9-3 65歳以上の家族	いる	442	19.9	6.8	35.5	27.1	4.1	3.2	2.9
	いない	1,025	18.0	4.8	31.2	22.2	7.1	2.7	2.3
	無回答	121	9.9	6.6	26.4	20.7	11.6	3.3	4.1
F9-4 日中子どもの世話をする人	いる	521	15.2	4.6	33.4	23.4	3.6	2.1	1.3
	いない	758	20.6	6.1	34.2	25.2	6.7	3.6	2.6
	無回答	309	16.2	5.5	24.6	19.4	11.3	2.6	4.9
F9-5 共働き	している	345	18.8	4.6	34.2	23.2	6.7	2.9	2.3
	していない	1,057	18.2	5.3	32.4	24.2	5.5	2.9	2.3
	無回答	186	15.1	8.1	26.3	19.9	12.9	2.7	5.4

問8 あなたは、犯罪を未然に防ぐため、どのような取り組みが必要だと思いますか。(はいくつでも)

- ・最も多かったのは「警察による防犯パトロール強化」で、74.9%にのぼる。次いで「防犯灯などの防犯設備の充実」が64.0%である。以下「犯罪発生情報の提供」(55.0%)「地域ぐるみの防犯パトロールの強化」(51.6%)「学校などにおける子ども向けの生活安全教育の実施」(30.9%)「防犯講習会の実施」(10.7%)「その他」(3.0%)「わからない」(2.0%)の順となっている。

図 - 33 犯罪を未然に防ぐため必要な取り組み



男女別 犯罪を未然に防ぐため必要な取り組み(問8 × F1)

- ・男女とも「警察による防犯パトロール強化」が最も多くなっている。
- ・また、女性は「犯罪発生情報の提供」で10.1ポイント、「防犯灯などの防犯設備の充実」で9ポイント、それぞれ男性より高くなっている。

図 - 34 男女別 犯罪を未然に防ぐため必要な取り組み

問8 あなたは、犯罪を未然に防ぐため、どのような取り組みが必要だと思いますか(複数回答)

		全体	犯罪発生情報の提供	防犯灯などの防犯設備の充実	学校などにおける子ども向けの生活安全教育の実施	防犯講習会の実施	警察による防犯パトロール強化	地域ぐるみの防犯パトロールの強化	わからない	その他	無回答
全 体		1,588	873	1,016	490	170	1,190	819	32	47	19
		-	55.0	64.0	30.9	10.7	74.9	51.6	2.0	3.0	1.2
F 1	男性	647	49.1	59.2	26.9	9.4	72.0	51.8	2.3	3.4	1.2
性別	女性	896	59.3	68.2	34.4	11.9	77.2	51.9	1.9	2.6	1.1
	無回答	45	53.3	48.9	17.8	4.4	71.1	42.2	0.0	4.4	2.2

年齢別 犯罪を未然に防ぐため必要な取り組み(問8× F2)

- ・ いずれの世代も「警察による防犯パトロール強化」が最も多くなっている。
- ・ また、「31～35歳」で「地域ぐるみの防犯パトロールの強化」、「31～35歳」「36～40歳」で「学校などにおける子ども向けの生活安全教育の実施」、「51～55歳」で「犯罪発生情報の提供」、「51～55歳」「56～60歳」では「防犯灯などの防犯設備の充実」の数値が、それぞれ他の世代より高くなっている。

図 - 35 年齢別 犯罪を未然に防ぐため必要な取り組み

問8 あなたは、犯罪を未然に防ぐため、どのような取り組みが必要だと思いますか(複数回答)

		全体	犯罪発生情報の提供	防犯灯などの防犯設備の充実	学校などにおける子ども向けの生活安全教育の実施	防犯講習会の実施	警察による防犯パトロール強化	地域ぐるみの防犯パトロールの強化	わからない	その他	無回答
全 体		1,588	873	1,016	490	170	1,190	819	32	47	19
		-	55.0	64.0	30.9	10.7	74.9	51.6	2.0	3.0	1.2
F 2 年齢	16～20歳	55	41.8	58.2	32.7	10.9	63.6	40.0	7.3	5.5	0.0
	21～25歳	65	40.0	56.9	26.2	12.3	63.1	43.1	7.7	4.6	0.0
	26～30歳	96	52.1	59.4	30.2	9.4	70.8	46.9	2.1	2.1	2.1
	31～35歳	142	61.3	62.0	40.8	14.8	75.4	61.3	1.4	1.4	0.7
	36～40歳	167	57.5	61.7	41.3	11.4	79.0	55.7	1.2	3.6	1.2
	41～45歳	172	61.0	64.5	32.0	12.2	81.4	51.2	1.2	1.7	1.2
	46～50歳	119	52.9	63.9	26.9	9.2	79.8	50.4	0.8	6.7	0.8
	51～55歳	133	66.2	75.2	30.1	12.8	78.2	54.1	2.3	2.3	0.0
	56～60歳	171	56.1	73.7	25.7	7.6	78.4	52.6	0.0	2.3	0.0
	61～65歳	153	48.4	61.4	22.9	9.2	73.2	51.0	1.3	3.9	2.0
	66～70歳	119	52.1	61.3	33.6	7.6	73.1	51.3	1.7	2.5	3.4
	76歳以上	84	53.6	66.7	32.1	9.5	70.2	51.2	1.2	0.0	0.0
その他	83	48.2	56.6	25.3	14.5	63.9	45.8	7.2	1.2	4.8	
無回答	29	62.1	55.2	17.2	6.9	79.3	48.3	0.0	10.3	0.0	

居住地区別 犯罪を未然に防ぐため必要な取り組み(問8× F7)

- ・ 「中里連合自治会」「すすき野連合自治会」では「防犯灯などの防犯設備の充実」、それ以外の地域では「警察による防犯パトロール強化」が最も多くなっている。

図 - 36 居住地区別 犯罪を未然に防ぐため必要な取り組み

問8 あなたは、犯罪を未然に防ぐため、どのような取り組みが必要だと思いますか(複数回答)

		全体	犯罪発生情報の提供	防犯灯などの防犯設備の充実	学校などにおける子ども向けの生活安全教育の実施	防犯講習会の実施	警察による防犯パトロール強化	地域ぐるみの防犯パトロールの強化	わからない	その他	無回答
全 体		1,588	873	1,016	490	170	1,190	819	32	47	19
		-	55.0	64.0	30.9	10.7	74.9	51.6	2.0	3.0	1.2
F 7 居住地区	中里連合自治会	81	58.0	71.6	37.0	11.1	70.4	49.4	1.2	3.7	0.0
	中里北部連合町内会	90	51.1	66.7	18.9	10.0	76.7	42.2	3.3	4.4	2.2
	市ヶ尾連合自治会	78	51.3	65.4	30.8	9.0	78.2	56.4	1.3	2.6	1.3
	上谷本連合町内会	58	63.8	70.7	20.7	15.5	81.0	53.4	0.0	3.4	0.0
	谷本連合自治会	136	57.4	70.6	32.4	14.0	78.7	44.1	0.0	4.4	0.7
	恩田連合自治会	138	55.8	60.9	35.5	13.0	80.4	55.1	2.9	2.2	0.0
	青葉台連合自治会	227	51.5	61.2	25.1	7.0	70.0	50.7	3.1	2.6	2.6
	奈良町、奈良北団地連合自治会	142	57.0	56.3	36.6	12.7	73.9	57.0	2.8	4.2	0.7
	山内連合自治会	212	55.7	59.9	34.9	10.4	77.4	54.7	1.9	1.4	1.4
	荏田、新荏田連合自治会	215	54.0	65.6	35.8	12.1	75.8	56.7	0.9	1.9	0.9
	すすき野連合自治会	97	53.6	61.9	32.0	5.2	59.8	44.3	5.2	2.1	1.0
	美しが丘連合自治会	75	53.3	74.7	24.0	10.7	78.7	45.3	1.3	4.0	1.3
	無回答	39	61.5	59.0	12.8	10.3	76.9	48.7	0.0	7.7	2.6

家族の状況別 犯罪を未然に防ぐため必要な取り組み(問8 × F9)

- ・ いずれのケースでも「警察による防犯パトロール強化」が最も多くなっている。
- ・ また、子どもが「未就学」「小学生」の場合「学校などにおける子ども向けの生活安全教育の実施」「地域ぐるみの防犯パトロールの強化」が、子どもが「中学生」の場合は「犯罪発生情報の提供」が、子どもが「専門学校生、大学生」の場合は「防犯灯などの防犯設備の充実」が、それぞれ他のケースに比べて数値が高くなっている。

図 - 37 家族の状況別 犯罪を未然に防ぐため必要な取り組み

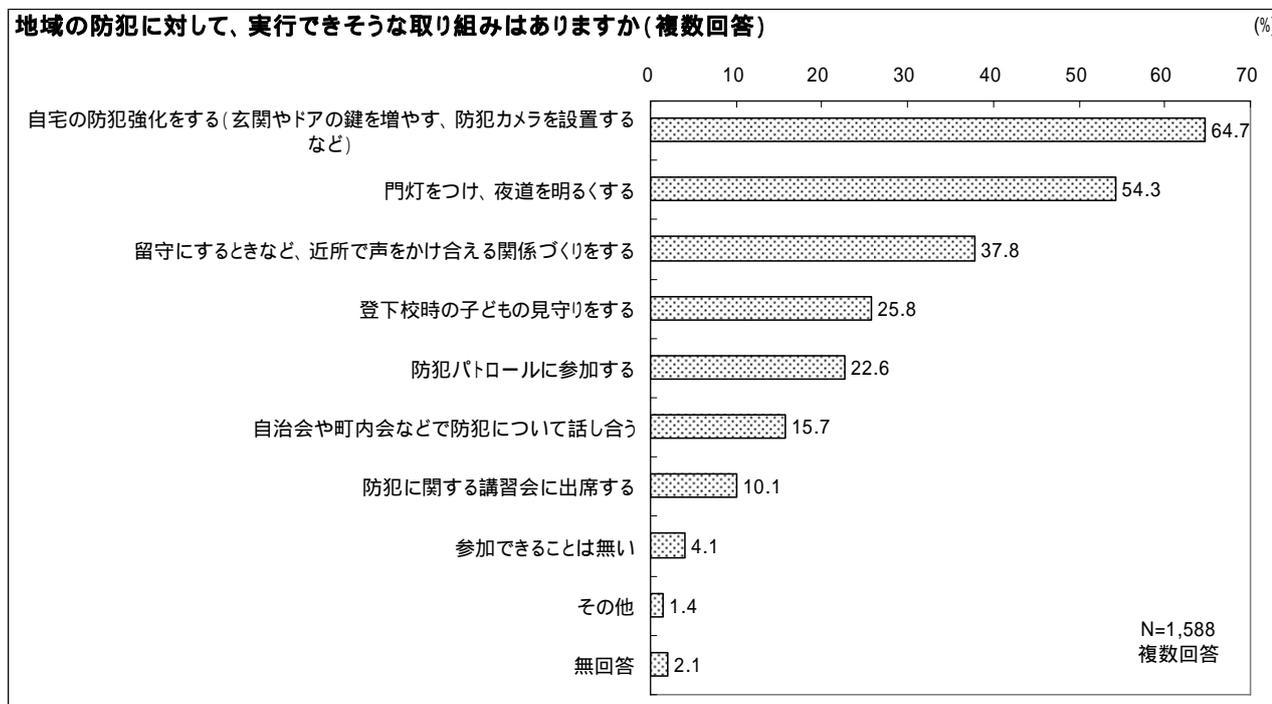
問8 あなたは、犯罪を未然に防ぐため、どのような取り組みが必要だと思いますか(複数回答)

		全体	犯罪発生情報の提供	防犯灯などの防犯設備の充実	学校などにおける子ども向けの生活安全教育の実施	防犯講習会の実施	警察による防犯パトロール強化	地域ぐるみの防犯パトロールの強化	わからない	その他	無回答
全 体		1,588	873	1,016	490	170	1,190	819	32	47	19
		-	55.0	64.0	30.9	10.7	74.9	51.6	2.0	3.0	1.2
F9-1 同居の子ども	いる	865	55.6	66.5	36.8	11.8	76.5	56.2	1.3	2.8	1.0
	いない	689	53.6	61.0	24.1	9.4	72.7	46.7	3.0	3.0	1.3
	無回答	34	67.6	61.8	17.6	8.8	79.4	32.4	0.0	5.9	2.9
子どもの 状況	未就学	240	57.9	61.7	47.1	12.9	79.2	61.3	0.8	2.5	0.8
	小学生	218	61.9	64.2	48.2	15.1	79.8	63.3	0.5	2.8	1.4
	中学生	120	66.7	63.3	36.7	15.0	70.8	54.2	0.8	3.3	1.7
	高校生	106	55.7	66.0	31.1	13.2	70.8	49.1	2.8	4.7	0.9
	専門学校生、大学生	137	54.7	74.5	30.7	9.5	84.7	54.0	0.0	2.2	0.7
	その他	250	52.0	71.6	29.2	10.0	76.0	54.0	2.0	2.4	0.8
	無回答	18	33.3	50.0	0.0	11.1	44.4	50.0	5.6	11.1	5.6
F9-3 65歳以上の 家族	いる	442	55.2	64.0	33.3	12.2	77.1	49.8	2.3	2.7	1.8
	いない	1,025	55.2	64.2	30.4	10.0	74.5	53.1	2.0	2.9	0.8
	無回答	121	52.1	62.0	25.6	11.6	70.2	45.5	1.7	4.1	2.5
F9-4 日中子どもの 世話をする人	いる	521	58.2	64.9	36.7	11.5	78.3	53.4	1.0	2.3	0.8
	いない	758	54.1	64.6	29.7	10.9	75.2	53.3	2.4	3.0	1.3
	無回答	309	51.8	60.8	23.9	8.7	68.6	44.3	2.9	3.9	1.6
F9-5 共働き	している	345	53.6	63.5	29.6	13.9	77.1	52.8	1.7	4.1	1.2
	していない	1,057	55.6	64.2	32.5	9.7	75.9	52.8	1.9	2.6	1.1
	無回答	186	53.8	63.4	23.7	10.2	65.6	42.5	3.2	2.7	1.6

問9 地域の防犯に対して、あなたが実行できそうな取り組みはありますか。(はいいくつでも)

- ・ 「自宅の防犯強化をする(玄関やドアの鍵を増やす、防犯カメラを設置するなど)」が最も多く、64.7%である。次いで「門灯をつけ、夜道を明るくする」が54.3%、以下「留守にするときなど、近所で声をかけ合える関係づくりをする」(37.8%)、「登下校時の子どもの見守りをする」(25.8%)、「防犯パトロールに参加する」(22.6%)、「自治会や町内会などで防犯について話し合う」(15.7%)、「防犯に関する講習会に出席する」(10.1%)、「参加できることはない」(4.1%)、「その他」(1.4%)の順となっている。

図 - 38 地域の防犯に対して実行できそうな取り組み



男女別 地域の防犯に対して実行できそうな取り組み(問9 × F1)

- ・ 男女とも「自宅の防犯強化をする(玄関やドアの鍵を増やす、防犯カメラを設置するなど)」が最も多い。
- ・ また女性は「門灯をつけ、夜道を明るくする」で8.6ポイント、「留守にするときなど、近所で声をかけ合える関係づくりをする」で10.1ポイント、「登下校時の子どもの見守りをする」で8.6ポイント、それぞれ男性より高くなっている。

図 - 39 男女別 地域の防犯に対して実行できそうな取り組み

問9 地域の防犯に対して、

あなたが実行できそうな取り組みはありますか(複数回答)

		全体	自宅の防犯強化をする(玄関やドアの鍵を増やす、防犯カメラを設置するなど)	門灯をつけ、夜道を明るくする	留守にするときなど、近所で声をかけ合える関係づくりをする	自治会や町内会などで防犯について話し合う	防犯に関する講習会に出席する
全 体		1,588	1,027	863	600	250	161
		-	64.7	54.3	37.8	15.7	10.1
F 1 性別	男性	647	62.9	49.1	31.8	17.8	8.5
	女性	896	65.8	57.7	42.0	14.3	11.4
	無回答	45	66.7	62.2	40.0	15.6	8.9

		全体	登下校時の子どもの見守りをする	防犯パトロールに参加する	参加できることは無い	その他	無回答
全 体		1,588	409	359	65	23	33
		-	25.8	22.6	4.1	1.4	2.1
F 1 性別	男性	647	20.9	24.6	5.1	1.1	2.3
	女性	896	29.5	21.9	3.5	1.7	2.0
	無回答	45	22.2	8.9	2.2	2.2	0.0

年齢別 地域の防犯に対して実行できそうな取り組み(問9 × F2)

- ・ 「21～25歳」と「76歳以上」で「門灯をつけ、夜道を明るくする」が、それ以外の世代では「自宅の防犯強化をする（玄関やドアの鍵を増やす、防犯カメラを設置するなど）」が最も多く、「その他」においてはこれらが同率となっている。
- ・ また、「31～35歳」「36～40歳」「41～45歳」では「登下校時の子どもの見守りをする」の数値が、他の世代に比べて高い。

図 - 40 年齢別 地域の防犯に対して実行できそうな取り組み

問9 地域の防犯に対して、

あなたが実行できそうな取り組みはありますか（複数回答）

		全体	自宅の防犯強化をする (玄関やドアの鍵を増やす、防犯カメラを設置するなど)	門灯をつけ、夜道を明るくする	留守にするときなど、近所で声をかけ合える関係づくりをする	自治会や町内会などで防犯について話し合う	防犯に関する講習会に出席する
全 体		1,588	1,027	863	600	250	161
		-	64.7	54.3	37.8	15.7	10.1
F 2 年齢	16～20歳	55	56.4	50.9	29.1	3.6	3.6
	21～25歳	65	64.6	66.2	32.3	9.2	7.7
	26～30歳	96	67.7	46.9	29.2	12.5	8.3
	31～35歳	142	67.6	34.5	38.7	14.1	10.6
	36～40歳	167	62.9	52.7	36.5	10.2	6.0
	41～45歳	172	70.3	54.1	37.8	11.0	9.9
	46～50歳	119	67.2	53.8	35.3	17.6	9.2
	51～55歳	133	64.7	58.6	39.1	17.3	12.0
	56～60歳	171	65.5	62.6	42.1	19.9	9.9
	61～65歳	153	62.1	52.9	38.6	19.0	11.8
	66～70歳	119	67.2	61.3	42.0	22.7	14.3
	76歳以上	84	59.5	60.7	41.7	22.6	13.1
その他	83	53.0	53.0	37.3	20.5	13.3	
無回答	29	69.0	65.5	44.8	13.8	10.3	

		全体	登下校時の子どもの見守りをする	防犯パトロールに参加する	参加できることは無い	その他	無回答
全 体		1,588	409	359	65	23	33
		-	25.8	22.6	4.1	1.4	2.1
F 2 年齢	16～20歳	55	21.8	20.0	7.3	5.5	0.0
	21～25歳	65	10.8	10.8	3.1	0.0	1.5
	26～30歳	96	13.5	14.6	3.1	1.0	2.1
	31～35歳	142	40.1	24.6	3.5	1.4	0.7
	36～40歳	167	45.5	26.3	2.4	0.6	0.6
	41～45歳	172	34.9	28.5	3.5	1.7	1.2
	46～50歳	119	22.7	22.7	4.2	2.5	2.5
	51～55歳	133	22.6	23.3	3.8	1.5	2.3
	56～60歳	171	17.0	22.2	2.3	1.8	1.2
	61～65歳	153	18.3	24.2	5.9	1.3	4.6
	66～70歳	119	25.2	27.7	1.7	1.7	4.2
	76歳以上	84	27.4	22.6	6.0	0.0	1.2
その他	83	12.0	13.3	12.0	0.0	6.0	
無回答	29	24.1	10.3	3.4	3.4	0.0	

居住時期別 地域の防犯に対して実行できそうな取り組み(問9× F3)

- ・ 「昭和19年(1944年)以前」と「昭和30年～39年(1955～1964年)」で「門灯をつけ、夜道を明るくする」が、それ以外は「自宅の防犯強化をする(玄関やドアの鍵を増やす、防犯カメラを設置するなど)」が最も多くなっている。
- ・ また、「昭和19年(1944年)以前」では「留守にするときなど、近所で声をかけ合える関係づくりをする」「防犯パトロールに参加する」が、「昭和20年～29年(1945～1954年)」では「自治会や町内会などで防犯について話し合う」「その他」が、「昭和30年～39年(1955～1964年)」では「留守にするときなど、近所で声をかけ合える関係づくりをする」「自治会や町内会などで防犯について話し合う」「防犯に関する講習会に出席する」が、「平成7年～11年(1995～1999年)」「平成12年～16年(2000～2004年)」では「登下校時の子どもの見守りをする」が、それぞれ他に比べて数値が高い。

図 - 41 居住時期別 地域の防犯に対して実行できそうな取り組み

問9 地域の防犯に対して、
あなたが実行できそうな取り組みはありますか(複数回答)

		全体	自宅の防犯強化をする(玄関やドアの鍵を増やす、防犯カメラを設置するなど)	門灯をつけ、夜道を明るくする	留守にするときなど、近所で声をかけ合える関係づくりをする	自治会や町内会などで防犯について話し合う	防犯に関する講習会に出席する
全 体		1,588	1,027	863	600	250	161
		-	64.7	54.3	37.8	15.7	10.1
F3	昭和19年(1944年)以前	17	52.9	70.6	52.9	23.5	5.9
居住時期	昭和20年～29年(1945～1954年)	15	60.0	40.0	33.3	26.7	6.7
	昭和30年～39年(1955～1964年)	23	56.5	73.9	47.8	26.1	6.1
	昭和40年～49年(1965～1974年)	180	62.8	61.1	40.0	17.8	12.2
	昭和50年～59年(1975～1984年)	298	68.5	62.8	39.6	17.4	8.1
	昭和60年～平成元年(1985～1989年)	185	65.9	59.5	34.6	14.6	5.4
	平成2年～6年(1990～1994年)	143	65.0	39.9	29.4	15.4	12.6
	平成7年～11年(1995～1999年)	244	66.4	55.7	41.0	15.6	11.5
	平成12年～16年(2000～2004年)	280	60.7	46.8	39.3	17.9	10.7
	平成17年～(2005年～)	162	64.8	44.4	31.5	5.6	9.3
	わからない	4	25.0	75.0	25.0	0.0	25.0
	無回答	37	70.3	59.5	45.9	16.2	13.5

		全体	登下校時の子どもの見守りをする	防犯パトロールに参加する	参加できることは無い	その他	無回答
全 体		1,588	409	359	65	23	33
		-	25.8	22.6	4.1	1.4	2.1
F3	昭和19年(1944年)以前	17	29.4	35.3	0.0	0.0	0.0
居住時期	昭和20年～29年(1945～1954年)	15	20.0	20.0	0.0	13.3	0.0
	昭和30年～39年(1955～1964年)	23	21.7	30.4	4.3	0.0	4.3
	昭和40年～49年(1965～1974年)	180	18.9	23.9	3.3	1.1	3.9
	昭和50年～59年(1975～1984年)	298	21.1	21.5	4.4	1.7	3.0
	昭和60年～平成元年(1985～1989年)	185	20.5	20.5	2.2	1.6	1.1
	平成2年～6年(1990～1994年)	143	18.9	18.9	4.2	1.4	0.7
	平成7年～11年(1995～1999年)	244	35.2	27.9	4.1	2.0	2.5
	平成12年～16年(2000～2004年)	280	34.6	24.3	3.9	0.7	1.4
	平成17年～(2005年～)	162	23.5	16.0	7.4	0.0	1.9
	わからない	4	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0
	無回答	37	32.4	21.6	5.4	2.7	0.0

居住地区別 地域の防犯に対して実行できそうな取り組み(問9× F7)

- ・ 「中里連合自治会」「中里北部連合町内会」「上谷本連合町内会」「恩田連合自治会」「山内連合自治会」で「門灯をつけ、夜道を明るくする」が、「市ヶ尾連合自治会」「谷本連合自治会」「青葉台連合自治会」「奈良町、奈良北団地連合自治会」「荏田、新荏田連合自治会」「すすき野連合自治会」「美しが丘連合自治会」では「自宅の防犯強化をする(玄関やドアの鍵を増やす、防犯カメラを設置するなど)」が最も多くなっている。
- ・ また、「中里連合自治会」では「留守にするときなど、近所で声をかけ合える関係づくりをする」の数値が、他の地域に比べて高い。

図 - 42 居住地区別 地域の防犯に対して実行できそうな取り組み

問9 地域の防犯に対して、
あなたが実行できそうな取り組みはありますか(複数回答)

		全体	自宅の防犯強化をする(玄関やドアの鍵を増やす、防犯カメラを設置するなど)	門灯をつけ、夜道を明るくする	留守にするときなど、近所で声をかけ合える関係づくりをする	自治会や町内会などで防犯について話し合う	防犯に関する講習会に出席する
全 体		1,588 -	1,027 64.7	863 54.3	600 37.8	250 15.7	161 10.1
F 7 居住地区	中里連合自治会	81	67.9	77.8	50.6	21.0	9.9
	中里北部連合町内会	90	58.9	62.2	35.6	20.0	14.4
	市ヶ尾連合自治会	78	67.9	56.4	32.1	9.0	7.7
	上谷本連合町内会	58	62.1	63.8	39.7	13.8	15.5
	谷本連合自治会	136	69.9	53.7	30.9	15.4	11.8
	恩田連合自治会	138	68.1	69.6	39.9	18.1	9.4
	青葉台連合自治会	227	61.7	46.7	33.9	14.1	9.3
	奈良町、奈良北団地連合自治会	142	58.5	44.4	43.0	20.4	12.0
	山内連合自治会	212	58.5	59.0	36.3	12.3	6.6
	荏田、新荏田連合自治会	215	69.3	50.2	39.1	16.7	10.7
	すすき野連合自治会	97	63.9	47.4	39.2	14.4	9.3
	美しが丘連合自治会	75	73.3	32.0	38.7	13.3	9.3
無回答	39	71.8	56.4	41.0	17.9	12.8	

		全体	登下校時の子どもの見守りをする	防犯パトロールに参加する	参加できることは無い	その他	無回答
全 体		1,588 -	409 25.8	359 22.6	65 4.1	23 1.4	33 2.1
F 7 居住地区	中里連合自治会	81	17.3	24.7	1.2	1.2	0.0
	中里北部連合町内会	90	18.9	22.2	2.2	0.0	3.3
	市ヶ尾連合自治会	78	24.4	24.4	3.8	1.3	3.8
	上谷本連合町内会	58	27.6	24.1	5.2	1.7	0.0
	谷本連合自治会	136	30.9	19.1	2.2	2.2	0.0
	恩田連合自治会	138	27.5	22.5	4.3	0.7	0.0
	青葉台連合自治会	227	16.7	17.2	5.3	1.3	4.8
	奈良町、奈良北団地連合自治会	142	33.1	26.1	4.9	1.4	2.1
	山内連合自治会	212	25.9	22.6	4.7	0.5	2.4
	荏田、新荏田連合自治会	215	33.5	26.0	5.1	1.4	0.9
	すすき野連合自治会	97	21.6	25.8	4.1	3.1	4.1
	美しが丘連合自治会	75	25.3	24.0	2.7	2.7	2.7
無回答	39	28.2	15.4	2.6	5.1	0.0	

家族の状況別 地域の防犯に対して実行できそうな取り組み(問9× F9)

- 概ね「自宅の防犯強化をする(玄関やドアの鍵を増やす、防犯カメラを設置するなど)」が最も多くなっているが、子どもが「高校生」というケースでのみ「門灯をつけ、夜道を明るくする」が最も多くなっている。
- また、「留守にするときなど、近所で声をかけ合える関係づくりをする」では子どもが「小学生」の場合、「登下校時の子どもの見守りをする」では「同居の子ども」が「いる」場合、子どもが「未就学」「小学生」の場合、「日中子どもの世話をする人」が「いる」場合に、「防犯パトロールに参加する」では子どもが「小学生」「中学生」の場合に、それぞれ他のケースに比べて数値が高くなっている。

図 - 43 家族の状況別 地域の防犯に対して実行できそうな取り組み

問9 地域の防犯に対して、

あなたが実行できそうな取り組みはありますか(複数回答)

		全体	自宅の防犯強化をする(玄関やドアの鍵を増やす、防犯カメラを設置するなど)	門灯をつけ、夜道を明るくする	留守にするときなど、近所で声をかけ合える関係づくりをする	自治会や町内会などで防犯について話し合う	防犯に関する講習会に出席する
全 体		1,588	1,027	863	600	250	161
		-	64.7	54.3	37.8	15.7	10.1
F9-1 同居の子ども	いる	865	64.2	53.6	41.4	16.6	9.5
	いない	689	65.2	55.0	32.7	14.7	11.0
	無回答	34	67.6	58.8	50.0	14.7	8.8
子どもの状況	未就学	240	64.2	41.7	42.9	15.4	6.7
	小学生	218	65.6	53.7	46.8	13.3	8.7
	中学生	120	72.5	52.5	40.8	15.8	13.3
	高校生	106	65.1	56.6	38.7	17.0	9.4
	専門学校生、大学生	137	63.5	65.0	38.7	13.1	10.2
	その他	250	62.4	60.8	43.2	21.2	11.2
	無回答	18	33.3	50.0	11.1	16.7	5.6
F9-3 65歳以上の家族	いる	442	67.9	64.3	38.9	15.6	12.7
	いない	1,025	64.0	49.8	37.1	15.3	8.7
	無回答	121	58.7	57.0	39.7	19.8	13.2
F9-4 日中子どもの世話をする人	いる	521	67.0	55.5	44.7	14.0	9.6
	いない	758	65.3	53.2	33.4	16.6	10.2
	無回答	309	59.2	55.3	36.9	16.5	11.0
F9-5 共働き	している	345	68.1	55.1	33.3	14.2	8.7
	していない	1,057	64.6	53.5	39.7	16.1	10.4
	無回答	186	58.6	58.1	34.9	16.7	11.3

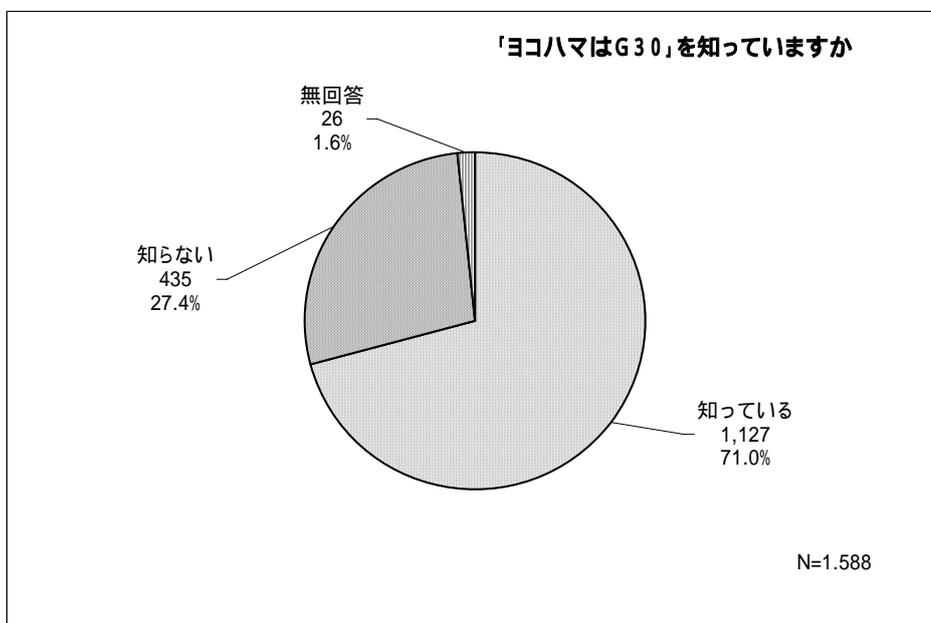
		全体	登下校時の子どもの見守りをする	防犯パトロールに参加する	参加できることは無い	その他	無回答
全 体		1,588	409	359	65	23	33
		-	25.8	22.6	4.1	1.4	2.1
F9-1 同居の子ども	いる	865	35.5	28.0	2.5	1.7	1.7
	いない	689	13.8	16.4	6.1	0.9	2.6
	無回答	34	20.6	11.8	2.9	5.9	0.0
子どもの状況	未就学	240	51.3	30.0	2.1	0.8	0.8
	小学生	218	60.6	41.7	0.9	2.3	1.4
	中学生	120	34.2	31.7	0.8	1.7	1.7
	高校生	106	28.3	28.3	2.8	0.9	1.9
	専門学校生、大学生	137	20.4	24.1	0.7	1.5	2.2
	その他	250	22.8	23.2	4.0	2.0	1.6
	無回答	18	5.6	16.7	22.2	5.6	5.6
F9-3 65歳以上の家族	いる	442	24.9	22.6	3.8	2.5	2.7
	いない	1,025	26.2	22.7	4.0	0.9	1.7
	無回答	121	24.8	21.5	5.8	2.5	3.3
F9-4 日中子どもの世話をする人	いる	521	39.0	27.4	1.0	1.7	1.2
	いない	758	20.1	20.2	5.5	0.9	2.1
	無回答	309	17.5	20.4	5.8	2.3	3.6
F9-5 共働き	している	345	21.4	20.6	3.2	2.3	1.7
	していない	1,057	27.7	23.4	4.1	1.0	2.1
	無回答	186	22.6	22.0	5.9	2.2	2.7

4. 環境活動について

問 10 横浜市では、平成22年度のごみ排出量を平成13年度に対して30%減らすという「ヨコハマはG30」に取り組んでいますが、あなたは、「ヨコハマはG30」を知っていますか。

- ・ 「知っている」が71.0%と7割以上に達しており、認知度は高いといえる。「知らない」は27.4%である。

図 - 44 「ヨコハマはG30」の認知度



男女別「ヨコハマはG30」の認知度(問10× F1)

- ・ 男女ともに「知っている」の方が多くなっているが、男性は「知らない」が女性を10ポイント上回っている。

図 - 45 男女別「ヨコハマはG30」の認知度

問10 「ヨコハマはG30」を知っていますか

		全体	知っている	知らない	無回答
全 体		1,588	1,127	435	26
		100.0	71.0	27.4	1.6
F 1 性別	男性	647	64.9	33.1	2.0
	女性	896	75.9	23.1	1.0
	無回答	45	60.0	31.1	8.9

年齢別「ヨコハマはG30」の認知度(問10× F2)

- ・ いずれの世代も「知っている」の方が多くなっている。
- ・ また「21～25歳」「21～25歳」では、「知らない」の割合がそれ以上の世代より多くなっており、若年層での認知度は低くなっている。「31～35歳」では認知度が高い。

図 - 46 年齢別「ヨコハマはG30」の認知度

問10 「ヨコハマはG30」を知っていますか

		全体	知っている	知らない	無回答
全 体		1,588	1,127	435	26
		100.0	71.0	27.4	1.6
F 2 年齢	16～20歳	55	56.4	43.6	0.0
	21～25歳	65	58.5	41.5	0.0
	26～30歳	96	75.0	22.9	2.1
	31～35歳	142	81.0	18.3	0.7
	36～40歳	167	77.8	21.6	0.6
	41～45歳	172	73.3	25.6	1.2
	46～50歳	119	72.3	26.9	0.8
	51～55歳	133	69.9	29.3	0.8
	56～60歳	171	74.9	24.0	1.2
	61～65歳	153	68.6	29.4	2.0
	66～70歳	119	66.4	29.4	4.2
	76歳以上	84	66.7	28.6	4.8
	その他	83	62.7	33.7	3.6
	無回答	29	55.2	41.4	3.4

職業別「ヨコハマはG30」の認知度(問10× F8)

- ・ いずれも「知っている」の方が多くなっている。
- ・ また「学生」では、「知らない」の割合が特に高くなっている。「知っている」の割合が高いのは「自営業の家族従業者」「家事」である。(「内職」についてはサンプル数が少ないためコメントを割愛する)

図 - 47 職業別「ヨコハマはG30」の認知度

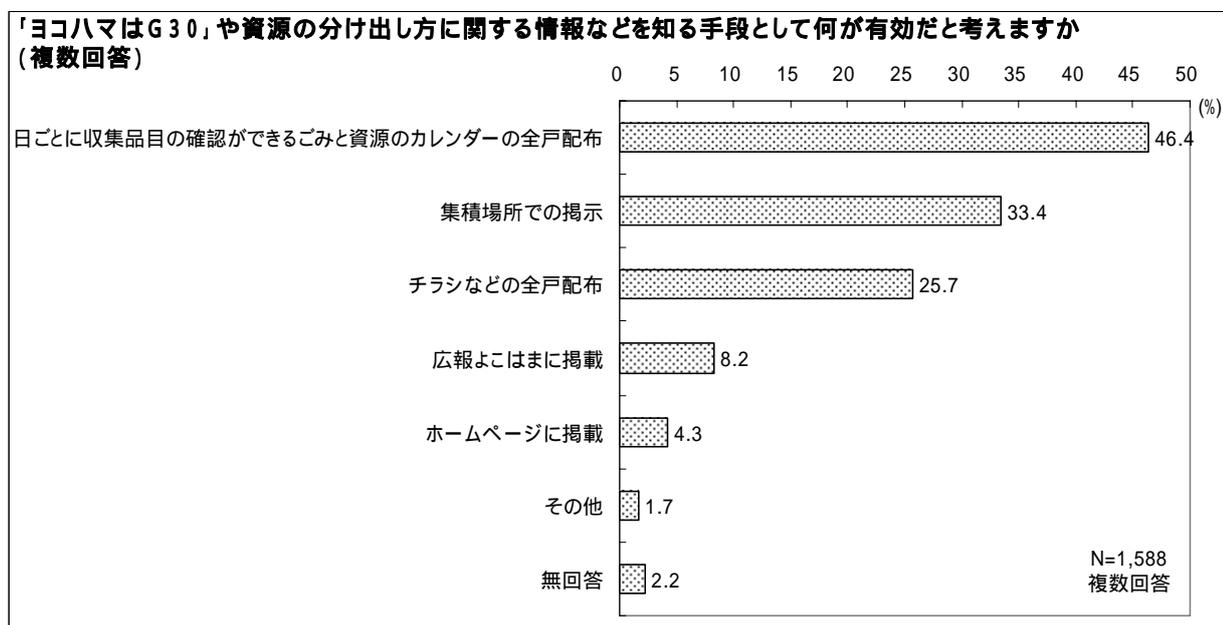
問10 「ヨコハマはG30」を知っていますか

		全体	知っている	知らない	無回答
全 体		1,588	1,127	435	26
		100.0	71.0	27.4	1.6
F 8 職業	自営業	91	64.8	30.8	4.4
	自営業の家族従業者	36	80.6	16.7	2.8
	勤め(全日)	492	64.4	34.1	1.4
	勤め(パートタイム)	154	76.0	22.7	1.3
	内職	5	100.0	0.0	0.0
	学生	84	58.3	41.7	0.0
	家事	370	81.6	17.3	1.1
	無職	291	71.8	26.5	1.7
	その他	23	69.6	30.4	0.0
	無回答	42	57.1	35.7	7.1

問 11 あなたは、「ヨコハマはG30」や資源の分け出し方に関する情報などを知る手段として何が有効だと考えますか。(は1つ)

- ・ 「日ごとに収集品目の確認ができるごみと資源のカレンダーの全戸配布」が最も多く、46.4%である。次いで「集積場所での掲示」が33.4%、「チラシなどの全戸配布」(25.7%)、「広報よこはまに掲載」(8.2%)、「ホームページに掲載」(4.3%)、「その他」(1.7%)の順となっている。

図 - 48 「ヨコハマはG30」や資源の分け出し方に関する情報などを知るのに有効な手段



男女別 「ヨコハマはG30」や資源の分け出し方に関する情報などを知るのに有効な手段

(問11 × F1)

- ・ 男女とも「日ごとに収集品目の確認ができるごみと資源のカレンダーの全戸配布」が最も多くなっている。

図 - 49 男女別 「ヨコハマはG30」や資源の分け出し方に関する情報などを知るのに有効な手段

問11 「ヨコハマはG30」や資源の分け出し方に関する情報などを知る手段として
何が有効だと考えますか

		全体	集積場所での掲示	日ごとに収集品目の確認ができるごみと資源のカレンダーの全戸配布	チラシなどの全戸配布	広報よこはまに掲載	ホームページに掲載	その他	無回答
全体		1,588	530	737	408	131	68	27	35
		-	33.4	46.4	25.7	8.2	4.3	1.7	2.2
F1 性別	男性	647	35.1	45.0	23.5	6.8	5.6	2.2	2.8
	女性	896	32.4	47.3	27.3	8.8	3.5	1.5	1.9
	無回答	45	28.9	48.9	24.4	17.8	2.2	0.0	0.0

年齢別「ヨコハマはG30」や資源の分け出し方に関する情報などを知るのに有効な手段

(問11× F2)

- ・ いずれの世代も「日ごとに収集品目の確認ができるごみと資源のカレンダーの全戸配布」が最も多く、特に「16～20歳」で数値が高い。

図 - 50 年齢別「ヨコハマはG30」や資源の分け出し方に関する情報などを知るのに有効な手段

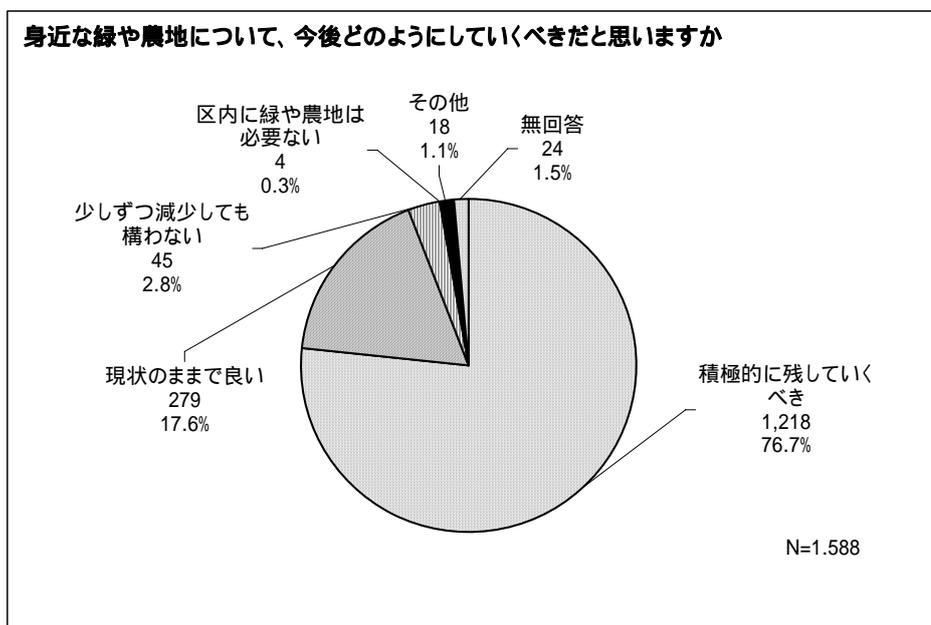
問11 「ヨコハマはG30」や資源の分け出し方に関する情報などを知る手段として
何が有効だと考えますか

		全体	集積場所での 掲示	日ごとに収 集品目の確 認ができる ごみと資源 のカレン ダーの全戸 配布	チラシなど の全戸配布	広報よこは まに掲載	ホームペー ジに掲載	その他	無回答
全 体		1,588	530	737	408	131	68	27	35
		-	33.4	46.4	25.7	8.2	4.3	1.7	2.2
F 2 年齢	16～20歳	55	18.2	56.4	20.0	10.9	9.1	3.6	1.8
	21～25歳	65	33.8	41.5	29.2	7.7	12.3	0.0	1.5
	26～30歳	96	39.6	50.0	19.8	4.2	5.2	2.1	2.1
	31～35歳	142	35.9	59.2	22.5	2.8	3.5	2.1	0.7
	36～40歳	167	31.1	44.9	29.9	5.4	3.6	1.8	1.8
	41～45歳	172	39.0	39.5	26.7	9.9	4.7	1.2	1.2
	46～50歳	119	37.8	50.4	21.8	5.9	6.7	2.5	0.8
	51～55歳	133	27.8	45.9	22.6	7.5	5.3	2.3	2.3
	56～60歳	171	32.2	44.4	28.7	11.1	4.1	2.3	1.8
	61～65歳	153	34.6	39.9	27.5	6.5	2.6	2.0	3.9
	66～70歳	119	33.6	47.9	24.4	11.8	0.8	1.7	3.4
	76歳以上	84	36.9	46.4	31.0	15.5	1.2	0.0	1.2
	その他	83	25.3	43.4	26.5	10.8	2.4	0.0	8.4
無回答	29	27.6	48.3	24.1	13.8	3.4	0.0	0.0	

問 12 あなたは、身近な緑や農地について、今後どのようにしていきべきだと思いますか(は1つ)

- ・ 「積極的に残していきべき」が76.7%で、突出して多くなっている。次いで「現状のままで良い」が17.6%となっており、「少しずつ減少しても構わない」(2.8%)、「区内に緑や農地は必要ない」(0.3%)、「その他」(1.1%)は少数に留まった。

図 - 51 身近な緑や農地について、今後どのようにしていきべきか



男女別 身近な緑や農地について、今後どのようにしていきべきか(問12 × F1)

- ・ 男女とも「積極的に残していきべき」が最も多く8割近くを占めており、男女による差は見られなかった。

図 - 52 男女別 身近な緑や農地について、今後どのようにしていきべきか

問12 身近な緑や農地について、今後どのようにしていきべきか

		全体	積極的に残していきべき	現状のままで良い	少しずつ減少しても構わない	区内に緑や農地は必要ない	その他	無回答
全 体		1,588	1,218	279	45	4	18	24
		100.0	76.7	17.6	2.8	0.3	1.1	1.5
F 1 性別	男性	647	76.0	17.5	3.4	0.2	1.4	1.5
	女性	896	77.8	17.4	2.5	0.3	0.9	1.1
	無回答	45	64.4	22.2	2.2	0.0	2.2	8.9

年齢別 身近な緑や農地について、今後どのようにしていくべきか(問12× F2)

- ・ いずれの世代も「積極的に残していくべき」が最も多くなっている。
- ・ 「76歳以上」「その他」では「現状のままで良い」の数値が他の世代に比べてやや高い。

図 - 53 年齢別 身近な緑や農地について、今後どのようにしていくべきか

問12 身近な緑や農地について、今後どのようにしていくべきだと思いますか

		全体	積極的に残していくべき	現状のままで良い	少しずつ減少しても構わない	区内に緑や農地は必要ない	その他	無回答
全 体		1,588	1,218	279	45	4	18	24
		100.0	76.7	17.6	2.8	0.3	1.1	1.5
F 2 年齢	16～20歳	55	70.9	23.6	3.6	1.8	0.0	0.0
	21～25歳	65	80.0	13.8	4.6	0.0	1.5	0.0
	26～30歳	96	79.2	15.6	3.1	0.0	1.0	1.0
	31～35歳	142	78.2	18.3	0.7	0.0	1.4	1.4
	36～40歳	167	81.4	12.6	2.4	0.0	2.4	1.2
	41～45歳	172	72.1	23.8	2.9	0.0	0.6	0.6
	46～50歳	119	77.3	13.4	4.2	0.8	2.5	1.7
	51～55歳	133	76.7	18.8	3.8	0.0	0.8	0.0
	56～60歳	171	77.8	17.5	2.3	0.0	0.6	1.8
	61～65歳	153	81.7	12.4	3.3	0.0	1.3	1.3
	66～70歳	119	83.2	11.8	0.8	0.8	0.0	3.4
	76歳以上	84	64.3	26.2	4.8	1.2	1.2	2.4
	その他	83	62.7	27.7	2.4	0.0	1.2	6.0
無回答	29	79.3	17.2	3.4	0.0	0.0	0.0	

居住時期別 身近な緑や農地について、今後どのようにしていくべきか(問12× F3)

- ・ いずれも「積極的に残していくべき」が最も多くなっている。
- ・ 「昭和19年(1944年)以前」では「積極的に残していくべき」の数値が他に比べて低く、「少しずつ減少しても構わない」が特に高くなっている。「昭和20年～29年(1945～1954年)」では「現状のままで良い」の数値が他に比べてやや高い。

図 - 54 居住時期別 身近な緑や農地について、今後どのようにしていくべきか

問12 身近な緑や農地について、今後どのようにしていくべきだと思いますか

		全体	積極的に残していくべき	現状のままで良い	少しずつ減少しても構わない	区内に緑や農地は必要ない	その他	無回答
全 体		1,588	1,218	279	45	4	18	24
		100.0	76.7	17.6	2.8	0.3	1.1	1.5
F 3 居住時期	昭和19年(1944年)以前	17	47.1	23.5	23.5	0.0	0.0	5.9
	昭和20年～29年(1945～1954年)	15	66.7	26.7	0.0	0.0	6.7	0.0
	昭和30年～39年(1955～1964年)	23	78.3	13.0	4.3	0.0	0.0	4.3
	昭和40年～49年(1965～1974年)	180	75.6	16.7	2.8	0.0	2.2	2.8
	昭和50年～59年(1975～1984年)	298	78.2	15.8	2.7	0.0	1.3	2.0
	昭和60年～平成元年(1985～1989年)	185	77.8	18.4	1.6	1.1	0.0	1.1
	平成2年～6年(1990～1994年)	143	74.8	20.3	2.8	0.7	0.0	1.4
	平成7年～11年(1995～1999年)	244	79.5	16.0	2.0	0.4	1.2	0.8
	平成12年～16年(2000～2004年)	280	77.1	17.1	2.9	0.0	1.8	1.1
	平成17年～(2005年～)	162	74.7	20.4	3.7	0.0	0.6	0.6
	わからない	4	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	37	73.0	21.6	2.7	0.0	0.0	2.7

居住地区別 身近な緑や農地について、今後どのようにしていくべきか(問12× F7)

- ・ いずれも「積極的に残していくべき」が最も多く特に「美しが丘連合自治会」で数値が高い。
- ・ 「上谷本連合町内会」では「現状のままで良い」の数値が他に比べて高い。

図 - 55 居住地区別 身近な緑や農地について、今後どのようにしていくべきか

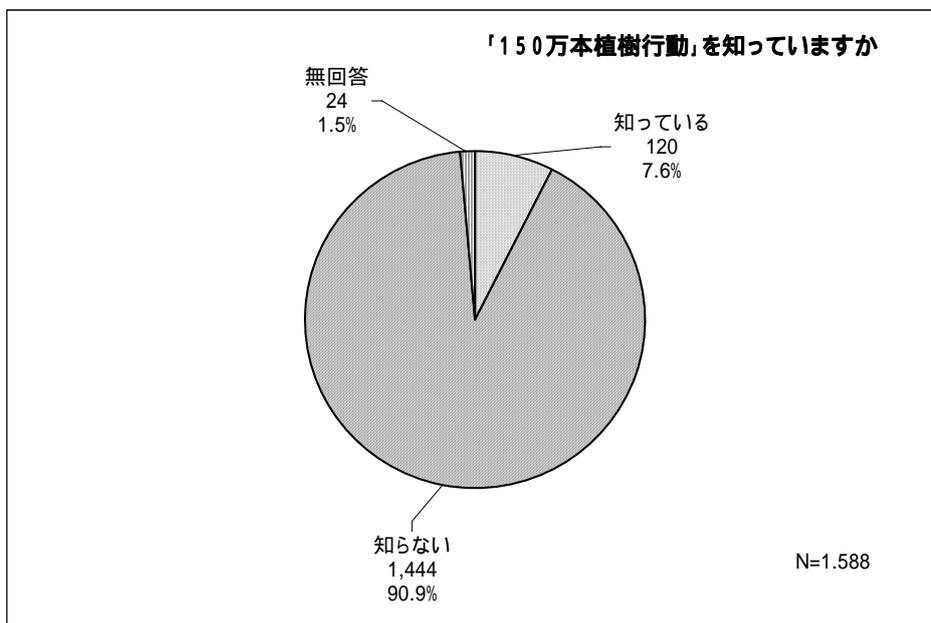
問12 身近な緑や農地について、今後どのようにしていくべきだと思いますか

		全体	積極的に残 していくべ き	現状のま まで良い	少しずつ減 少しても構 わない	区内に緑や 農地は必要 ない	その他	無回答
全 体		1,588	1,218	279	45	4	18	24
		100.0	76.7	17.6	2.8	0.3	1.1	1.5
F 7	中里連合自治会	81	72.8	19.8	4.9	1.2	1.2	0.0
居住地区	中里北部連合町内会	90	82.2	14.4	1.1	0.0	0.0	2.2
	市ヶ尾連合自治会	78	78.2	15.4	1.3	0.0	3.8	1.3
	上谷本連合町内会	58	72.4	27.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	谷本連合自治会	136	71.3	24.3	2.9	0.0	1.5	0.0
	恩田連合自治会	138	79.0	13.0	6.5	0.0	0.0	1.4
	青葉台連合自治会	227	73.1	20.3	2.2	0.0	0.4	4.0
	奈良町、奈良北団地連合自治会	142	78.2	18.3	2.1	0.0	0.7	0.7
	山内連合自治会	212	79.2	12.7	4.7	0.5	1.9	0.9
	荏田、新荏田連合自治会	215	75.3	19.1	2.8	0.9	0.5	1.4
	すすき野連合自治会	97	76.3	18.6	0.0	0.0	3.1	2.1
	美しが丘連合自治会	75	86.7	8.0	1.3	0.0	1.3	2.7
	無回答	39	76.9	17.9	2.6	0.0	2.6	0.0

問 13 横浜市では、市民・事業者・行政が協働して2009年度までに150万本の木を植える「150万本植樹行動」に取り組んでいますが、あなたは、「150万本植樹行動」を知っていますか。

- ・ 「知らない」が 90.9%で、10 人の内 9 人が知らないとしている。「知っている」は 7.6%で 1 割に満たない。

図 - 56 「150万本植樹行動」の認知度



男女別 「150万本植樹行動」の認知度(問13× F1)

- ・ 男女とも「知らない」の方が多くなっており、9割強を占める。

図 - 57 男女別 「150万本植樹行動」の認知度

問13 「150万本植樹行動」を知っていますか

		全体	知っている	知らない	無回答
全 体		1,588	120	1,444	24
		100.0	7.6	90.9	1.5
F 1 性別	男性	647	7.4	91.0	1.5
	女性	896	7.9	90.8	1.2
	無回答	45	2.2	91.1	6.7

年齢別「150万本植樹行動」の認知度(問13× F2)

- ・ いずれの世代も「知らない」の方が多くなっており、「16～20歳」から「51～55歳」までの世代と「その他」では9割を超える認知度の低さである。

図 - 58 年齢別「150万本植樹行動」の認知度

問13 「150万本植樹行動」を知っていますか

		全体	知っている	知らない	無回答
全 体		1,588	120	1,444	24
		100.0	7.6	90.9	1.5
F 2 年齢	16～20歳	55	3.6	94.5	1.8
	21～25歳	65	6.2	93.8	0.0
	26～30歳	96	3.1	95.8	1.0
	31～35歳	142	6.3	92.3	1.4
	36～40歳	167	4.2	94.6	1.2
	41～45歳	172	5.2	93.6	1.2
	46～50歳	119	6.7	92.4	0.8
	51～55歳	133	6.0	94.0	0.0
	56～60歳	171	12.9	85.4	1.8
	61～65歳	153	8.5	89.5	2.0
	66～70歳	119	14.3	82.4	3.4
	76歳以上	84	11.9	83.3	4.8
	その他	83	8.4	90.4	1.2
無回答	29	3.4	96.6	0.0	

居住時期別「150万本植樹行動」の認知度(問13× F3)

- ・ いずれも「知らない」の方が多くなっている。特に「昭和60年～平成元年(1985～1989年)」以降では9割を超え、居住年数の浅い方が認知度が低い傾向にある。
- ・ また「昭和20年～29年(1945～1954年)」「昭和30年～39年(1955～1964年)」では「知っている」の数値が他に比べて高くなっている。

図 - 59 居住時期別「150万本植樹行動」の認知度

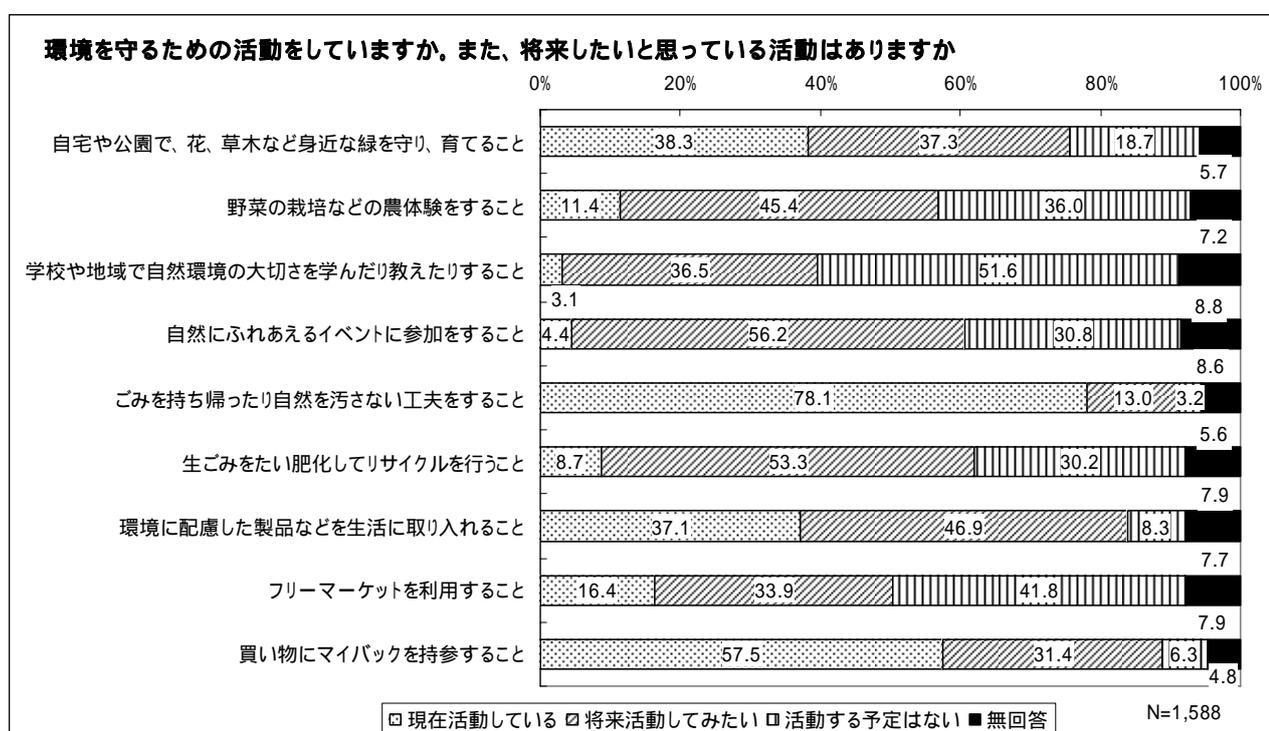
問13 「150万本植樹行動」を知っていますか

		全体	知っている	知らない	無回答
全 体		1,588	120	1,444	24
		100.0	7.6	90.9	1.5
F 3 居住時期	昭和19年(1944年)以前	17	11.8	82.4	5.9
	昭和20年～29年(1945～1954年)	15	26.7	73.3	0.0
	昭和30年～39年(1955～1964年)	23	26.1	69.6	4.3
	昭和40年～49年(1965～1974年)	180	8.3	89.4	2.2
	昭和50年～59年(1975～1984年)	298	9.1	88.9	2.0
	昭和60年～平成元年(1985～1989年)	185	4.9	93.5	1.6
	平成2年～6年(1990～1994年)	143	5.6	93.0	1.4
	平成7年～11年(1995～1999年)	244	7.4	91.8	0.8
	平成12年～16年(2000～2004年)	280	7.9	91.1	1.1
	平成17年～(2005年～)	162	4.9	93.8	1.2
	わからない	4	0.0	100.0	0.0
無回答	37	2.7	97.3	0.0	

問 14 あなたは、環境を守るための活動をしていますか、また、将来したいと思っている活動はありますか。

- ・ 「現在活動している」が最も多くなっているのは、「ごみを持ち帰ったり自然を汚さない工夫をすること」「買い物にマイバックを持参すること」で、それぞれ「現在活動している」が 78.1%、57.5%となっている。
- ・ なお「自宅や公園で、花、草木など身近な緑を守り、育てること」は「現在活動している」が最も多く 38.3%だが、「将来活動してみたい」も 37.3%でほぼ拮抗している。
- ・ 「将来活動してみたい」が最も多くなっているのは「野菜の栽培などの農体験をすること」(45.4%)「自然にふれあえるイベントに参加をすること」(56.2%)「生ごみをたい肥化してリサイクルを行うこと」(53.3%)「環境に配慮した製品などを生活に取り入れること」が(46.9%)で、いずれも「将来活動してみたい」が全体の約半数を占める。
- ・ 「活動する予定はない」が最も多くなっているのは「学校や地域で自然環境の大切さを学んだり教えたりすること」「フリーマーケットを利用すること」で、それぞれ「活動する予定はない」が 51.6%、41.8%となっている。

図 - 60 環境を守るための活動について



年齢・居住時期・居住地区別 環境を守るための活動について(問14× F2、F3、F7)

自宅や公園で、花、草木など身近な緑を守り、育てること

<男女別>

- ・ 男性は「将来活動してみたい」、女性は「現在活動している」が最も多い。

<年齢別>

- ・ 「16～20歳」から「41～45歳」までは「将来活動してみたい」、それ以上の世代は「現在活動している」が最も多い。
- ・ また、「16～20歳」「21～25歳」「その他」では「活動する予定はない」の数値が高い。

<居住時期別>

- ・ 「昭和19年(1944年)以前」から「昭和50年～59年(1975～1984年)」は「現在活動している」、それ以降では「将来活動してみたい」が最も多い。

<居住地区別>

- ・ 「中里連合自治会」「中里北部連合町内会」「恩田連合自治会」「奈良町、奈良北団地連合自治会」「山内連合自治会」「すすき野連合自治会」では「現在活動している」、それ以外の地域では「将来活動してみたい」が最も多い。

図 - 61 年齢・居住時期・居住地区別 環境を守るための活動 - 身近な緑を守り、育てる -

問14 環境を守るための活動をしていますか

自宅や公園で、花、草木など身近な緑を守り、育てること

		全体	現在活動している	将来活動してみたい	活動する予定はない	無回答
全 体		1,588	608	592	297	91
		100.0	38.3	37.3	18.7	5.7
F 1 性別	男性	647	35.7	38.9	20.6	4.8
	女性	896	40.6	36.5	17.3	5.6
	無回答	45	28.9	28.9	20.0	22.2
F 2 年齢	16～20歳	55	23.6	41.8	34.5	0.0
	21～25歳	65	15.4	49.2	33.8	1.5
	26～30歳	96	24.0	54.2	18.8	3.1
	31～35歳	142	27.5	50.0	21.1	1.4
	36～40歳	167	40.1	41.9	16.2	1.8
	41～45歳	172	37.2	39.0	20.9	2.9
	46～50歳	119	40.3	37.8	18.5	3.4
	51～55歳	133	47.4	35.3	14.3	3.0
	56～60歳	171	49.1	33.9	12.3	4.7
	61～65歳	153	48.4	32.0	11.8	7.8
	66～70歳	119	40.3	31.1	20.2	8.4
	76歳以上	84	40.5	26.2	16.7	16.7
その他	83	36.1	9.6	27.7	26.5	
無回答	29	37.9	37.9	13.8	10.3	
F 3 居住時期	昭和19年(1944年)以前	17	35.3	29.4	11.8	23.5
	昭和20年～29年(1945～1954年)	15	73.3	20.0	6.7	0.0
	昭和30年～39年(1955～1964年)	23	39.1	34.8	21.7	4.3
	昭和40年～49年(1965～1974年)	180	47.8	25.6	14.4	12.2
	昭和50年～59年(1975～1984年)	298	42.3	33.6	17.1	7.0
	昭和60年～平成元年(1985～1989年)	185	33.5	38.9	22.2	5.4
	平成2年～6年(1990～1994年)	143	34.3	38.5	21.7	5.6
	平成7年～11年(1995～1999年)	244	37.3	40.2	18.9	3.7
	平成12年～16年(2000～2004年)	280	37.5	38.9	20.0	3.6
	平成17年～(2005年～)	162	30.9	49.4	17.3	2.5
	わからない	4	25.0	25.0	50.0	0.0
無回答	37	32.4	40.5	21.6	5.4	
F 7 居住地区	中里連合自治会	81	43.2	32.1	17.3	7.4
	中里北部連合町内会	90	38.9	37.8	17.8	5.6
	市ヶ尾連合自治会	78	33.3	48.7	12.8	5.1
	上谷本連合町内会	58	29.3	50.0	19.0	1.7
	谷本連合自治会	136	40.4	42.6	13.2	3.7
	恩田連合自治会	138	46.4	30.4	17.4	5.8
	青葉台連合自治会	227	32.6	37.0	19.8	10.6
	奈良町、奈良北団地連合自治会	142	39.4	38.7	20.4	1.4
	山内連合自治会	212	48.1	29.7	16.0	6.1
	荏田、新荏田連合自治会	215	33.0	40.9	22.3	3.7
	すすき野連合自治会	97	36.1	33.0	24.7	6.2
	美しが丘連合自治会	75	30.7	38.7	24.0	6.7
	無回答	39	38.5	35.9	15.4	10.3

野菜の栽培などの農体験をすること

<男女別>

- ・ 男女とも「将来活動してみたい」が最も多い。

<年齢別>

- ・ 「16～20歳」から「46～50歳」までの世代と「56～60歳」では「将来活動してみたい」、「51～55歳」と「61～65歳」以上の世代、「その他」では「活動する予定はない」が最も多い。
- ・ また、「61～65歳」では「現在活動している」の数値がやや高くなっている。

<居住時期別>

- ・ 「昭和19年(1944年)以前」「昭和20年～29年(1945～1954年)」は「現在活動している」が最も多い。「昭和40年～49年(1965～1974年)」「昭和60年～平成元年(1985～1989年)」では「活動する予定はない」、それ以外は「将来活動してみたい」が最も多く、「昭和30年～39年(1955～1964年)」はこの2つが同率である。

<居住地区別>

- ・ いずれの地域も「将来活動してみたい」が最も多い。
- ・ 「中里連合自治会」で「現在活動している」の数値が他地域に比べてやや高い。

図 - 62 年齢・居住時期・居住地区別 環境を守るための活動 - 野菜の栽培などの農体験 -

問14 環境を守るための活動をしていますか
野菜の栽培などの農体験をすること

		全体	現在活動している	将来活動してみたい	活動する予定はない	無回答
全 体		1,588	181	721	571	115
		100.0	11.4	45.4	36.0	7.2
F 1	性別					
	男性	647	10.7	44.0	38.2	7.1
	女性	896	11.9	46.9	34.6	6.6
	無回答	45	11.1	35.6	31.1	22.2
F 2	年齢					
	16～20歳	55	9.1	54.5	36.4	0.0
	21～25歳	65	7.7	46.2	44.6	1.5
	26～30歳	96	6.3	63.5	28.1	2.1
	31～35歳	142	9.2	61.3	28.2	1.4
	36～40歳	167	8.4	59.9	29.3	2.4
	41～45歳	172	9.3	58.1	30.8	1.7
	46～50歳	119	11.8	45.4	37.8	5.0
	51～55歳	133	14.3	40.6	42.9	2.3
	56～60歳	171	10.5	45.6	36.3	7.6
	61～65歳	153	20.3	32.7	37.3	9.8
	66～70歳	119	16.0	30.3	41.2	12.6
	76歳以上	84	16.7	22.6	34.5	26.2
	その他	83	4.8	12.0	51.8	31.3
	無回答	29	10.3	41.4	37.9	10.3
F 3	居住時期					
	昭和19年(1944年)以前	17	52.9	23.5	11.8	11.8
	昭和20年～29年(1945～1954年)	15	60.0	26.7	6.7	6.7
	昭和30年～39年(1955～1964年)	23	8.7	43.5	43.5	4.3
	昭和40年～49年(1965～1974年)	180	11.1	32.8	40.0	16.1
	昭和50年～59年(1975～1984年)	298	12.8	40.3	38.6	8.4
	昭和60年～平成元年(1985～1989年)	185	9.2	40.5	43.2	7.0
	平成2年～6年(1990～1994年)	143	9.8	46.2	37.8	6.3
	平成7年～11年(1995～1999年)	244	11.5	45.5	36.9	6.1
	平成12年～16年(2000～2004年)	280	10.0	53.9	31.8	4.3
	平成17年～(2005年～)	162	6.8	64.2	25.9	3.1
	わからない	4	0.0	75.0	25.0	0.0
	無回答	37	13.5	37.8	40.5	8.1
F 7	居住地区					
	中里連合自治会	81	21.0	40.7	29.6	8.6
	中里北部連合町内会	90	11.1	47.8	34.4	6.7
	市ヶ尾連合自治会	78	10.3	48.7	35.9	5.1
	上谷本連合町内会	58	8.6	46.6	37.9	6.9
	谷本連合自治会	136	14.7	41.2	39.0	5.1
	恩田連合自治会	138	16.7	46.4	31.9	5.1
	青葉台連合自治会	227	6.2	42.7	41.9	9.3
	奈良町、奈良北団地連合自治会	142	17.6	41.5	33.8	7.0
	山内連合自治会	212	10.4	47.6	33.0	9.0
	荏田、新荏田連合自治会	215	10.7	48.8	35.8	4.7
	すすき野連合自治会	97	9.3	44.3	35.1	11.3
	美しが丘連合自治会	75	1.3	52.0	41.3	5.3
	無回答	39	10.3	41.0	35.9	12.8

学校や地域で自然環境の大切さを学んだり教えたりすること

<男女別>

- ・ 男女とも「活動する予定はない」が最も多い。

<年齢別>

- ・ 「31～35歳」「36～40歳」で「将来活動してみたい」が最も多くなっている以外は、「活動する予定はない」が最も多い。

<居住時期別>

- ・ 「昭和30年～39年（1955～1964年）」「平成17年～（2005年～）」では「将来活動してみたい」が最も多いが、それ以外は「活動する予定はない」が最も多くなっている。
- ・ また「昭和20年～29年（1945～1954年）」では「現在活動している」の数値が高い。

<居住地区別>

- ・ いずれの地域も「活動する予定はない」が最も多い。「奈良町、奈良北団地連合自治会」で「将来活動してみたい」も同率となっている。

図 - 63 年齢・居住時期・居住地区別 環境を守るための活動
- 学校や地域で自然環境の大切さを学び教える -

問14 環境を守るための活動をしていますか

学校や地域で自然環境の大切さを学んだり教えたりすること

		全体	現在活動している	将来活動してみたい	活動する予定はない	無回答
全 体		1,588	49	580	819	140
		100.0	3.1	36.5	51.6	8.8
F 1	性別					
	男性	647	2.2	35.2	54.6	8.0
	女性	896	3.8	37.8	49.8	8.6
	無回答	45	2.2	28.9	44.4	24.4
F 2	年齢					
	16～20歳	55	10.9	41.8	47.3	0.0
	21～25歳	65	3.1	41.5	53.8	1.5
	26～30歳	96	4.2	42.7	50.0	3.1
	31～35歳	142	1.4	48.6	47.9	2.1
	36～40歳	167	3.0	51.5	43.1	2.4
	41～45歳	172	5.8	44.2	46.5	3.5
	46～50歳	119	3.4	31.9	60.5	4.2
	51～55歳	133	3.8	36.1	55.6	4.5
	56～60歳	171	1.8	31.0	57.3	9.9
	61～65歳	153	2.0	33.3	52.9	11.8
	66～70歳	119	1.7	23.5	60.5	14.3
	76歳以上	84	1.2	20.2	47.6	31.0
	その他	83	2.4	13.3	47.0	37.3
	無回答	29	0.0	41.4	48.3	10.3
F 3	居住時期					
	昭和19年（1944年）以前	17	0.0	35.3	47.1	17.6
	昭和20年～29年（1945～1954年）	15	26.7	26.7	40.0	6.7
	昭和30年～39年（1955～1964年）	23	4.3	52.2	34.8	8.7
	昭和40年～49年（1965～1974年）	180	5.0	27.8	49.4	17.8
	昭和50年～59年（1975～1984年）	298	1.0	33.6	54.7	10.7
	昭和60年～平成元年（1985～1989年）	185	1.6	33.0	56.8	8.6
	平成2年～6年（1990～1994年）	143	3.5	31.5	57.3	7.7
	平成7年～11年（1995～1999年）	244	4.1	39.8	49.2	7.0
	平成12年～16年（2000～2004年）	280	2.9	39.6	51.4	6.1
	平成17年～（2005年～）	162	3.1	48.8	45.1	3.1
	わからない	4	0.0	25.0	75.0	0.0
	無回答	37	2.7	37.8	48.6	10.8
F 7	居住地区					
	中里連合自治会	81	2.5	34.6	51.9	11.1
	中里北部連合町内会	90	2.2	36.7	54.4	6.7
	市ヶ尾連合自治会	78	5.1	32.1	55.1	7.7
	上谷本連合町内会	58	5.2	32.8	51.7	10.3
	谷本連合自治会	136	3.7	35.3	52.9	8.1
	恩田連合自治会	138	7.2	26.1	60.1	6.5
	青葉台連合自治会	227	1.8	34.8	52.0	11.5
	奈良町、奈良北団地連合自治会	142	2.8	45.1	45.1	7.0
	山内連合自治会	212	2.4	38.7	49.1	9.9
	荏田、新荏田連合自治会	215	3.3	41.4	49.8	5.6
	すすき野連合自治会	97	0.0	32.0	56.7	11.3
	美しが丘連合自治会	75	2.7	42.7	45.3	9.3
	無回答	39	2.6	35.9	46.2	15.4

自然にふれあえるイベントに参加をすること

<男女別>

- ・ 男女とも「将来活動してみたい」が最も多い。

<年齢別>

- ・ いずれの世代も「将来活動してみたい」が最も多い。
- ・ また、「16～20歳」「21～25歳」では「活動する予定はない」の数値が高くなっている。

<居住時期別>

- ・ いずれも「将来活動してみたい」が最も多い。
- ・ 「昭和20年～29年（1945～1954年）」は「現在活動している」の数値がやや高い。

<居住地区別>

- ・ いずれの地域も「将来活動してみたい」が最も多い。
- ・ 「中里北部連合町内会」で「活動する予定はない」の数値が他地域に比べてやや高い。

図 - 64 年齢・居住時期・居住地区別 環境を守るための活動 - イベントへの参加 -

問14 環境を守るための活動をしていますか

自然にふれあえるイベントに参加をすること

		全体	現在活動し ている	将来活動し てみたい	活動する予 定はない	無回答
全 体		1,588	70	893	489	136
		100.0	4.4	56.2	30.8	8.6
F 1 性別	男性	647	3.6	55.8	33.2	7.4
	女性	896	5.0	57.8	28.8	8.4
	無回答	45	4.4	31.1	35.6	28.9
F 2 年齢	16～20歳	55	5.5	52.7	41.8	0.0
	21～25歳	65	6.2	52.3	41.5	0.0
	26～30歳	96	5.2	61.5	30.2	3.1
	31～35歳	142	5.6	67.6	24.6	2.1
	36～40歳	167	3.6	65.3	28.7	2.4
	41～45歳	172	4.7	59.3	33.1	2.9
	46～50歳	119	5.9	55.5	34.5	4.2
	51～55歳	133	3.8	64.7	24.8	6.8
	56～60歳	171	4.1	56.7	29.8	9.4
	61～65歳	153	5.2	52.9	30.7	11.1
	66～70歳	119	3.4	53.8	29.4	13.4
	76歳以上	84	2.4	34.5	33.3	29.8
	その他	83	2.4	32.5	30.1	34.9
無回答	29	3.4	48.3	34.5	13.8	
F 3 居住時期	昭和19年（1944年）以前	17	5.9	41.2	29.4	23.5
	昭和20年～29年（1945～1954年）	15	13.3	46.7	33.3	6.7
	昭和30年～39年（1955～1964年）	23	0.0	60.9	30.4	8.7
	昭和40年～49年（1965～1974年）	180	5.0	46.1	31.1	17.8
	昭和50年～59年（1975～1984年）	298	4.7	53.7	30.9	10.7
	昭和60年～平成元年（1985～1989年）	185	5.4	54.1	32.4	8.1
	平成2年～6年（1990～1994年）	143	4.9	49.7	37.8	7.7
	平成7年～11年（1995～1999年）	244	4.1	61.1	27.5	7.4
	平成12年～16年（2000～2004年）	280	4.6	62.5	28.6	4.3
	平成17年～（2005年～）	162	1.9	65.4	29.0	3.7
	わからない	4	0.0	50.0	50.0	0.0
無回答	37	2.7	51.4	37.8	8.1	
F 7 居住地区	中里連合自治会	81	1.2	51.9	34.6	12.3
	中里北部連合町内会	90	3.3	50.0	40.0	6.7
	市ヶ尾連合自治会	78	6.4	61.5	25.6	6.4
	上谷本連合町内会	58	5.2	62.1	24.1	8.6
	谷本連合自治会	136	5.9	57.4	30.9	5.9
	恩田連合自治会	138	5.8	53.6	33.3	7.2
	青葉台連合自治会	227	4.4	53.7	30.4	11.5
	奈良町、奈良北団地連合自治会	142	7.7	53.5	31.0	7.7
	山内連合自治会	212	5.7	56.1	27.8	10.4
	荻田、新荻田連合自治会	215	2.3	63.3	29.3	5.1
	すすき野連合自治会	97	2.1	52.6	34.0	11.3
	美しが丘連合自治会	75	1.3	62.7	29.3	6.7
	無回答	39	2.6	48.7	33.3	15.4

ごみを持ち帰ったり自然を汚さない工夫をすること

<男女別>

・ 男女とも「現在活動している」が最も多くなっている。

<年齢別>

・ いずれの世代も「現在活動している」が最も多い。

<居住時期別>

・ いずれも「現在活動している」が最も多い。

・ 「昭和30年～39年(1955～1964年)」は「活動する予定はない」の数値がやや高い。

<居住地区別>

・ いずれの地域も「現在活動している」が最も多い。特に「上谷本連合町内会」での数値が高くなっている。

図 - 65 年齢・居住時期・居住地区別 環境を守るための活動 - 自然を汚さない工夫をする -

問14 環境を守るための活動をしていますか

ごみを持ち帰ったり自然を汚さない工夫をすること

		全体	現在活動している	将来活動してみたい	活動する予定はない	無回答
全 体		1,588	1,241	207	51	89
		100.0	78.1	13.0	3.2	5.6
F 1 性別	男性	647	74.8	15.5	3.9	5.9
	女性	896	81.7	11.4	2.5	4.5
	無回答	45	55.6	11.1	8.9	24.4
F 2 年齢	16～20歳	55	72.7	21.8	5.5	0.0
	21～25歳	65	84.6	7.7	7.7	0.0
	26～30歳	96	81.3	11.5	4.2	3.1
	31～35歳	142	81.0	16.9	1.4	0.7
	36～40歳	167	82.6	13.2	2.4	1.8
	41～45歳	172	83.7	12.8	2.3	1.2
	46～50歳	119	81.5	11.8	5.0	1.7
	51～55歳	133	80.5	15.8	1.5	2.3
	56～60歳	171	79.5	12.9	1.8	5.8
	61～65歳	153	79.1	13.7	0.7	6.5
	66～70歳	119	71.4	16.8	3.4	8.4
	76歳以上	84	63.1	11.9	6.0	19.0
	その他	83	61.4	0.0	7.2	31.3
無回答	29	72.4	10.3	6.9	10.3	
F 3 居住時期	昭和19年(1944年)以前	17	58.8	11.8	5.9	23.5
	昭和20年～29年(1945～1954年)	15	80.0	13.3	0.0	6.7
	昭和30年～39年(1955～1964年)	23	73.9	13.0	13.0	0.0
	昭和40年～49年(1965～1974年)	180	74.4	11.1	2.2	12.2
	昭和50年～59年(1975～1984年)	298	81.5	8.1	3.4	7.0
	昭和60年～平成元年(1985～1989年)	185	78.9	15.7	1.6	3.8
	平成2年～6年(1990～1994年)	143	78.3	15.4	1.4	4.9
	平成7年～11年(1995～1999年)	244	78.7	13.5	3.3	4.5
	平成12年～16年(2000～2004年)	280	77.9	15.7	2.9	3.6
	平成17年～(2005年～)	162	76.5	14.8	6.2	2.5
	わからない	4	100.0	0.0	0.0	0.0
無回答	37	78.4	10.8	5.4	5.4	
F 7 居住地区	中里連合自治会	81	71.6	18.5	2.5	7.4
	中里北部連合町内会	90	76.7	14.4	2.2	6.7
	市ヶ尾連合自治会	78	79.5	11.5	2.6	6.4
	上谷本連合町内会	58	89.7	8.6	0.0	1.7
	谷本連合自治会	136	76.5	13.2	5.1	5.1
	恩田連合自治会	138	86.2	8.7	1.4	3.6
	青葉台連合自治会	227	75.8	11.9	4.8	7.5
	奈良町、奈良北団地連合自治会	142	81.7	12.7	2.1	3.5
	山内連合自治会	212	74.5	15.1	4.2	6.1
	荏田、新荏田連合自治会	215	76.3	16.3	3.7	3.7
	すすき野連合自治会	97	73.2	15.5	2.1	9.3
	美しが丘連合自治会	75	86.7	8.0	2.7	2.7
	無回答	39	79.5	5.1	2.6	12.8

生ごみをたい肥化してリサイクルを行うこと

<男女別>

- ・ 男女とも「将来活動してみたい」が最も多い。

<年齢別>

- ・ 「その他」で「活動する予定はない」が最も多く、「76歳以上」で「将来活動してみたい」と「活動する予定はない」が同率である以外は、いずれも「将来活動してみたい」が最も多い。
- ・ 「66～70歳」では「現在活動している」の数値がやや高い。

<居住時期別>

- ・ 「昭和19年(1944年)以前」では「現在活動している」が最も多い。それ以外は「将来活動してみたい」が最も多くなっている。
- ・ 「昭和20年～29年(1945～1954年)」「昭和30年～39年(1955～1964年)」も、「現在活動している」の数値がやや高くなっている。

<居住地区別>

- ・ いずれの地域も「将来活動してみたい」が最も多くなっている。

図 - 66 年齢・居住時期・居住地区別 環境を守るための活動 - 生ごみのたい肥化 -

問14 環境を守るための活動をしていますか
生ごみをたい肥化してリサイクルを行うこと

		全体	現在活動している	将来活動してみたい	活動する予定はない	無回答
全 体		1,588	138	846	479	125
		100.0	8.7	53.3	30.2	7.9
F 1 性別	男性	647	10.2	49.0	33.4	7.4
	女性	896	7.1	57.3	28.2	7.4
	無回答	45	17.8	35.6	22.2	24.4
F 2 年齢	16～20歳	55	3.6	70.9	25.5	0.0
	21～25歳	65	7.7	55.4	35.4	1.5
	26～30歳	96	5.2	69.8	22.9	2.1
	31～35歳	142	1.4	68.3	28.9	1.4
	36～40歳	167	5.4	55.1	37.7	1.8
	41～45歳	172	4.7	61.0	32.6	1.7
	46～50歳	119	10.1	51.3	35.3	3.4
	51～55歳	133	7.5	60.9	27.1	4.5
	56～60歳	171	12.3	53.8	25.1	8.8
	61～65歳	153	12.4	41.8	34.0	11.8
	66～70歳	119	18.5	43.7	23.5	14.3
	76歳以上	84	10.7	31.0	31.0	27.4
その他	83	10.8	25.3	30.1	33.7	
無回答	29	17.2	44.8	27.6	10.3	
F 3 居住時期	昭和19年(1944年)以前	17	35.3	29.4	17.6	17.6
	昭和20年～29年(1945～1954年)	15	33.3	46.7	13.3	6.7
	昭和30年～39年(1955～1964年)	23	30.4	34.8	30.4	4.3
	昭和40年～49年(1965～1974年)	180	10.6	48.3	25.0	16.1
	昭和50年～59年(1975～1984年)	298	11.1	49.3	29.5	10.1
	昭和60年～平成元年(1985～1989年)	185	9.7	50.3	33.0	7.0
	平成2年～6年(1990～1994年)	143	7.0	53.8	32.9	6.3
	平成7年～11年(1995～1999年)	244	7.4	57.4	27.0	8.2
	平成12年～16年(2000～2004年)	280	5.0	57.5	33.2	4.3
	平成17年～(2005年～)	162	2.5	63.0	31.5	3.1
わからない	4	0.0	25.0	75.0	0.0	
無回答	37	10.8	48.6	35.1	5.4	
F 7 居住地区	中里連合自治会	81	13.6	51.9	25.9	8.6
	中里北部連合町内会	90	12.2	56.7	25.6	5.6
	市ヶ尾連合自治会	78	5.1	62.8	25.6	6.4
	上谷本連合町内会	58	5.2	50.0	36.2	8.6
	谷本連合自治会	136	6.6	58.8	27.2	7.4
	恩田連合自治会	138	13.0	57.2	24.6	5.1
	青葉台連合自治会	227	7.0	48.9	34.4	9.7
	奈良町、奈良北団地連合自治会	142	12.0	52.8	28.9	6.3
	山内連合自治会	212	8.5	51.9	29.7	9.9
	荏田、新荏田連合自治会	215	7.0	53.5	33.5	6.0
	すすき野連合自治会	97	4.1	53.6	32.0	10.3
	美しが丘連合自治会	75	9.3	49.3	36.0	5.3
	無回答	39	12.8	41.0	28.2	17.9

環境に配慮した製品などを生活に取り入れること

<男女別>

- ・ 男女とも「将来活動してみたい」が最も多い。

<年齢別>

- ・ 「51～55歳」「56～60歳」で「現在活動している」が最も多く、それ以外の世代では「将来活動してみたい」が最も多い。

<居住時期別>

- ・ 「昭和20年～29年（1945～1954年）」では「現在活動している」が最も多い。それ以外は「将来活動してみたい」が最も多くなっている。

<居住地区別>

- ・ 「市ヶ尾連合自治会」「美しが丘連合自治会」では「現在活動している」が最も多く、「上谷本連合町内会」ではこれと「将来活動してみたい」が同率、それ以外の地域では「将来活動してみたい」が最も多くなっている。

図 - 67 年齢・居住時期・居住地区別 環境を守るための活動 - 環境に配慮した製品の使用 -

問14 環境を守るための活動をしていますか
環境に配慮した製品などを生活に取り入れること

		全体	現在活動している	将来活動してみたい	活動する予定はない	無回答
全 体		1,588	589	744	132	123
		100.0	37.1	46.9	8.3	7.7
F 1	性別					
	男性	647	32.6	48.1	11.7	7.6
	女性	896	40.3	47.4	5.4	6.9
	無回答	45	37.8	17.8	17.8	26.7
F 2	年齢					
	16～20歳	55	34.5	52.7	12.7	0.0
	21～25歳	65	30.8	52.3	15.4	1.5
	26～30歳	96	35.4	58.3	3.1	3.1
	31～35歳	142	37.3	53.5	7.7	1.4
	36～40歳	167	40.1	49.1	7.8	3.0
	41～45歳	172	44.8	45.9	7.6	1.7
	46～50歳	119	39.5	49.6	7.6	3.4
	51～55歳	133	48.1	42.1	6.8	3.0
	56～60歳	171	46.8	41.5	4.1	7.6
	61～65歳	153	30.1	49.7	8.5	11.8
	66～70歳	119	28.6	49.6	10.9	10.9
	76歳以上	84	17.9	39.3	10.7	32.1
	その他	83	21.7	32.5	13.3	32.5
	無回答	29	51.7	24.1	13.8	10.3
F 3	居住時期					
	昭和19年（1944年）以前	17	23.5	41.2	11.8	23.5
	昭和20年～29年（1945～1954年）	15	53.3	33.3	6.7	6.7
	昭和30年～39年（1955～1964年）	23	30.4	43.5	8.7	17.4
	昭和40年～49年（1965～1974年）	180	25.6	50.0	7.2	17.2
	昭和50年～59年（1975～1984年）	298	34.2	48.3	8.1	9.4
	昭和60年～平成元年（1985～1989年）	185	40.5	43.2	9.7	6.5
	平成2年～6年（1990～1994年）	143	39.9	44.1	10.5	5.6
	平成7年～11年（1995～1999年）	244	42.6	45.5	4.9	7.0
	平成12年～16年（2000～2004年）	280	38.6	48.2	9.3	3.9
	平成17年～（2005年～）	162	37.0	53.1	7.4	2.5
	わからない	4	50.0	50.0	0.0	0.0
	無回答	37	43.2	29.7	18.9	8.1
F 7	居住地区					
	中里連合自治会	81	37.0	50.6	4.9	7.4
	中里北部連合町内会	90	28.9	54.4	11.1	5.6
	市ヶ尾連合自治会	78	46.2	44.9	3.8	5.1
	上谷本連合町内会	58	41.4	41.4	8.6	8.6
	谷本連合自治会	136	37.5	42.6	11.8	8.1
	恩田連合自治会	138	40.6	44.9	8.7	5.8
	青葉台連合自治会	227	33.9	48.0	7.9	10.1
	奈良町、奈良北団地連合自治会	142	41.5	42.3	7.7	8.5
	山内連合自治会	212	37.3	47.2	7.5	8.0
	荏田、新荏田連合自治会	215	33.0	52.6	9.8	4.7
	すすき野連合自治会	97	25.8	55.7	7.2	11.3
	美しが丘連合自治会	75	48.0	38.7	6.7	6.7
	無回答	39	48.7	25.6	10.3	15.4

フリーマーケットを利用すること

<男女別>

- ・ 男女とも「活動する予定はない」が最も多く、特に男性は女性より10.5ポイント高い。一方女性は男性より「現在活動している」が10.3ポイント高い。

<年齢別>

- ・ 「16～20歳」から「26～30歳」では「将来活動してみたい」、それ以上の世代では「活動する予定はない」が最も多く、若年層ではフリーマーケットへの抵抗感が薄いことが伺える。
- ・ 「36～40歳」では「現在活動している」の数値が若干高い。

<居住時期別>

- ・ 「平成7年～11年(1995～1999年)」「平成17年～(2005年～)」で「将来活動してみたい」が最も多い以外は、「活動する予定はない」が最も多くなっている。

<居住地区別>

- ・ 「すすき野連合自治会」のみ「将来活動してみたい」が最も多く、それ以外の地域では「活動する予定はない」が最も多くなっている。
- ・ 「上谷本連合町内会」では「現在活動している」の数値が高くなっている。

図 - 68 年齢・居住時期・居住地区別 環境を守るための活動 - フリーマーケットの利用 -

問14 環境を守るための活動をしていますか
フリーマーケットを利用すること

		全体	現在活動している	将来活動してみたい	活動する予定はない	無回答
全 体		1,588	261	538	664	125
		100.0	16.4	33.9	41.8	7.9
F 1	性別					
	男性	647	10.7	34.0	47.9	7.4
	女性	896	21.0	34.5	37.4	7.1
	無回答	45	8.9	20.0	42.2	28.9
F 2	年齢					
	16～20歳	55	20.0	43.6	36.4	0.0
	21～25歳	65	13.8	53.8	32.3	0.0
	26～30歳	96	16.7	47.9	33.3	2.1
	31～35歳	142	22.5	37.3	38.7	1.4
	36～40歳	167	24.6	36.5	37.1	1.8
	41～45歳	172	18.0	33.7	46.5	1.7
	46～50歳	119	18.5	38.7	39.5	3.4
	51～55歳	133	14.3	34.6	46.6	4.5
	56～60歳	171	17.0	31.0	43.3	8.8
	61～65歳	153	15.0	32.0	41.2	11.8
	66～70歳	119	8.4	22.7	55.5	13.4
	76歳以上	84	7.1	16.7	45.2	31.0
	その他	83	9.6	21.7	34.9	33.7
	無回答	29	13.8	27.6	51.7	6.9
F 3	居住時期					
	昭和19年(1944年)以前	17	11.8	23.5	41.2	23.5
	昭和20年～29年(1945～1954年)	15	0.0	26.7	66.7	6.7
	昭和30年～39年(1955～1964年)	23	0.0	43.5	47.8	8.7
	昭和40年～49年(1965～1974年)	180	13.9	25.6	42.2	18.3
	昭和50年～59年(1975～1984年)	298	15.4	28.2	46.3	10.1
	昭和60年～平成元年(1985～1989年)	185	17.8	34.1	42.2	5.9
	平成2年～6年(1990～1994年)	143	15.4	32.9	45.5	6.3
	平成7年～11年(1995～1999年)	244	20.9	36.5	36.1	6.6
	平成12年～16年(2000～2004年)	280	19.6	36.8	38.9	4.6
	平成17年～(2005年～)	162	14.2	46.9	35.8	3.1
	わからない	4	0.0	25.0	75.0	0.0
	無回答	37	10.8	29.7	56.8	2.7
F 7	居住地区					
	中里連合自治会	81	13.6	25.9	49.4	11.1
	中里北部連合町内会	90	15.6	35.6	41.1	7.8
	市ヶ尾連合自治会	78	7.7	41.0	47.4	3.8
	上谷本連合町内会	58	29.3	27.6	36.2	6.9
	谷本連合自治会	136	16.9	31.6	44.9	6.6
	恩田連合自治会	138	11.6	37.0	44.2	7.2
	青葉台連合自治会	227	18.9	34.8	36.6	9.7
	奈良町、奈良北団地連合自治会	142	17.6	28.9	45.8	7.7
	山内連合自治会	212	17.9	34.4	39.2	8.5
	荏田、新荏田連合自治会	215	16.7	35.3	42.3	5.6
	すすき野連合自治会	97	15.5	39.2	34.0	11.3
	美しが丘連合自治会	75	17.3	32.0	45.3	5.3
	無回答	39	10.3	30.8	46.2	12.8

買い物にマイバックを持参すること

<男女別>

- ・ 男女とも「現在活動している」が最も多く、特に女性は男性を16ポイント上回っている。男性は「将来活動してみたい」が女性より8.8ポイント高い。

<年齢別>

- ・ 「16～20歳」は「将来活動してみたい」、それ以上の世代では「現在活動している」が最も多い。
- ・ 「16～20歳」では「活動する予定はない」の数値もやや高い。

<居住時期別>

- ・ いずれも「現在活動している」が最も多い。

<居住地区別>

- ・ いずれの地域も「現在活動している」が最も多く、特に「上谷本連合町内会」で数値が高い。
- ・ また「奈良町、奈良北団地連合自治会」では「現在活動している」の数値が低めで、「将来活動してみたい」の数値が高くなっている。

図 - 69 年齢・居住時期・居住地区別 環境を守るための活動 - マイバックの持参 -

問14 環境を守るための活動をしていますか

買い物にマイバックを持参すること

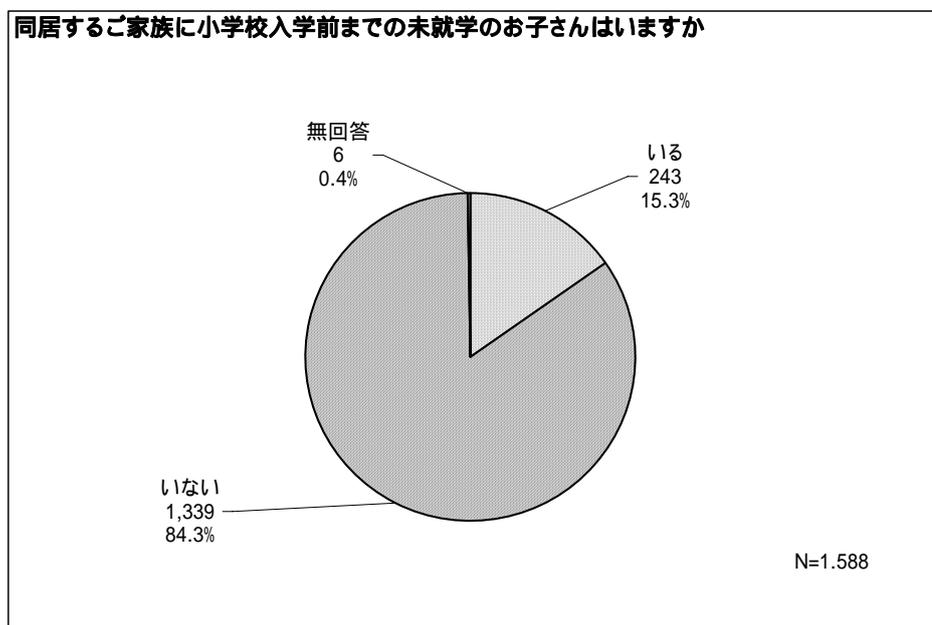
		全体	現在活動している	将来活動してみたい	活動する予定はない	無回答
全 体		1,588	913	499	100	76
		100.0	57.5	31.4	6.3	4.8
F 1 性別	男性	647	48.7	36.8	9.3	5.3
	女性	896	64.7	28.0	3.8	3.5
	無回答	45	40.0	22.2	13.3	24.4
F 2 年齢	16～20歳	55	36.4	47.3	16.4	0.0
	21～25歳	65	46.2	43.1	10.8	0.0
	26～30歳	96	56.3	36.5	5.2	2.1
	31～35歳	142	64.1	29.6	5.6	0.7
	36～40歳	167	59.3	32.9	7.2	0.6
	41～45歳	172	61.0	33.7	4.1	1.2
	46～50歳	119	58.0	31.9	7.6	2.5
	51～55歳	133	63.9	30.1	4.5	1.5
	56～60歳	171	60.2	29.8	5.3	4.7
	61～65歳	153	62.7	30.1	0.7	6.5
	66～70歳	119	59.7	24.4	9.2	6.7
	76歳以上	84	52.4	26.2	4.8	16.7
	その他	83	38.6	24.1	10.8	26.5
無回答	29	48.3	31.0	10.3	10.3	
F 3 居住時期	昭和19年（1944年）以前	17	41.2	35.3	5.9	17.6
	昭和20年～29年（1945～1954年）	15	53.3	33.3	6.7	6.7
	昭和30年～39年（1955～1964年）	23	65.2	26.1	8.7	0.0
	昭和40年～49年（1965～1974年）	180	57.2	31.7	3.9	7.2
	昭和50年～59年（1975～1984年）	298	62.1	26.2	6.0	5.7
	昭和60年～平成元年（1985～1989年）	185	57.3	33.0	5.9	3.8
	平成2年～6年（1990～1994年）	143	55.2	28.7	9.8	6.3
	平成7年～11年（1995～1999年）	244	58.6	32.4	4.5	4.5
	平成12年～16年（2000～2004年）	280	57.5	32.1	7.1	3.2
	平成17年～（2005年～）	162	54.3	37.0	6.2	2.5
	わからない	4	25.0	75.0	0.0	0.0
無回答	37	45.9	35.1	13.5	5.4	
F 7 居住地区	中里連合自治会	81	55.6	28.4	11.1	4.9
	中里北部連合町内会	90	53.3	33.3	10.0	3.3
	市ヶ尾連合自治会	78	59.0	34.6	3.8	2.6
	上谷本連合町内会	58	69.0	22.4	3.4	5.2
	谷本連合自治会	136	61.8	29.4	5.1	3.7
	恩田連合自治会	138	58.7	31.9	6.5	2.9
	青葉台連合自治会	227	59.9	28.6	5.3	6.2
	奈良町、奈良北団地連合自治会	142	44.4	41.5	8.5	5.6
	山内連合自治会	212	54.2	33.5	7.1	5.2
	荏田、新荏田連合自治会	215	63.7	28.8	4.7	2.8
	すすき野連合自治会	97	57.7	32.0	3.1	7.2
	美しが丘連合自治会	75	56.0	33.3	6.7	4.0
	無回答	39	51.3	23.1	10.3	15.4

5. 子育てや福祉について

問15 あなたの同居するご家族に小学校入学前までの未就学のお子さんはいますか。

- ・ 「いない」が84.3%で8割強、「いる」は15.3%となっている。

図 - 70 未就学の子どもの有無



男女別 未就学の子どもの有無(問15 × F1)

- ・ 男女とも「いない」の方が多くなっている。

図 - 71 男女別 未就学の子どもの有無

問15 同居家族に小学校入学前までの未就学のお子さんはいますか

		全体	いる	いない	無回答
全 体		1,588	243	1,339	6
		100.0	15.3	84.3	0.4
F 1 性別	男性	647	13.3	86.7	0.0
	女性	896	17.1	82.9	0.0
	無回答	45	8.9	77.8	13.3

年齢別 未就学の子どもの有無(問15× F2)

- ・ 「31～35歳」で「いる」の方が多くなっている以外は、「いない」が多くなっている。
- ・ また、「26～30歳」「36～40歳」でも「いる」の数値が高くなっている。

図 - 72 年齢別 未就学の子どもの有無

問15 同居家族に小学校入学前までの未就学のお子さんはいますか

		全体	いる	いない	無回答
全 体		1,588	243	1,339	6
		100.0	15.3	84.3	0.4
F 2 年齢	16～20歳	55	0.0	100.0	0.0
	21～25歳	65	3.1	96.9	0.0
	26～30歳	96	24.0	76.0	0.0
	31～35歳	142	57.0	43.0	0.0
	36～40歳	167	46.7	53.3	0.0
	41～45歳	172	19.8	80.2	0.0
	46～50歳	119	4.2	95.8	0.0
	51～55歳	133	1.5	98.5	0.0
	56～60歳	171	2.9	97.1	0.0
	61～65歳	153	2.6	97.4	0.0
	66～70歳	119	2.5	97.5	0.0
	76歳以上	84	2.4	97.6	0.0
	その他	83	1.2	98.8	0.0
無回答	29	10.3	69.0	20.7	

居住時期別 未就学の子どもの有無(問15× F3)

- ・ いずれも「いない」の方が多いが、居住年数が浅いほど割合が低い傾向にある。
- ・ 「平成12年～16年(2000～2004年)」「平成17年～(2005年～)」においては「いる」の数値が高くなっている。

図 - 73 居住時期別 未就学の子どもの有無

問15 同居家族に小学校入学前までの未就学のお子さんはいますか

		全体	いる	いない	無回答
全 体		1,588	243	1,339	6
		100.0	15.3	84.3	0.4
F 3 居住時期	昭和19年(1944年)以前	17	0.0	100.0	0.0
	昭和20年～29年(1945～1954年)	15	0.0	100.0	0.0
	昭和30年～39年(1955～1964年)	23	0.0	100.0	0.0
	昭和40年～49年(1965～1974年)	180	8.3	91.1	0.6
	昭和50年～59年(1975～1984年)	298	5.0	95.0	0.0
	昭和60年～平成元年(1985～1989年)	185	3.8	96.2	0.0
	平成2年～6年(1990～1994年)	143	6.3	93.7	0.0
	平成7年～11年(1995～1999年)	244	17.2	82.8	0.0
	平成12年～16年(2000～2004年)	280	36.1	63.9	0.0
	平成17年～(2005年～)	162	30.2	69.8	0.0
	わからない	4	0.0	100.0	0.0
	無回答	37	13.5	73.0	13.5

住居形態別 未就学の子どもの有無(問15 × F5)

- ・ いずれも「いない」が多くなっている。
- ・ 「借家(マンション・共同住宅、社宅、公務員住宅、寮)」では他に比べて「いる」の数値が高くなっている。

図 - 74 住居形態別 未就学の子どもの有無

問15 同居家族に小学校入学前までの未就学のお子さんはいますか

		全体	いる	いない	無回答
全 体		1,588	243	1,339	6
		100.0	15.3	84.3	0.4
F 5 住まい	持家(一戸建て)	769	9.1	90.9	0.0
	持家(マンション・共同住宅)	379	17.7	82.3	0.0
	借家(一戸建て)	44	13.6	86.4	0.0
	借家(マンション・共同住宅、社宅、公務員住宅、寮)	359	26.7	73.3	0.0
	その他	5	0.0	100.0	0.0
	無回答	32	12.5	68.8	18.8

居住地区別 未就学の子どもの有無(問15 × F7)

- ・ いずれも「いない」が多く、「中里連合自治会」では9割を超える。
- ・ どの地域もほぼ同傾向だが、「奈良町、奈良北団地連合自治会」では多少「いる」の数値が高めである。

図 - 75 居住地区別 未就学の子どもの有無

問15 同居家族に小学校入学前までの未就学のお子さんはいますか

		全体	いる	いない	無回答
全 体		1,588	243	1,339	6
		100.0	15.3	84.3	0.4
F 7 居住地区	中里連合自治会	81	9.9	90.1	0.0
	中里北部連合町内会	90	13.3	86.7	0.0
	市ヶ尾連合自治会	78	14.1	85.9	0.0
	上谷本連合町内会	58	12.1	87.9	0.0
	谷本連合自治会	136	11.8	88.2	0.0
	恩田連合自治会	138	10.9	89.1	0.0
	青葉台連合自治会	227	12.8	87.2	0.0
	奈良町、奈良北団地連合自治会	142	22.5	77.5	0.0
	山内連合自治会	212	16.0	84.0	0.0
	荏田、新荏田連合自治会	215	21.4	78.6	0.0
	すすき野連合自治会	97	13.4	86.6	0.0
	美しが丘連合自治会	75	20.0	80.0	0.0
	無回答	39	12.8	71.8	15.4

問 16 あなたが、子育てをしている中で不安、不満に思われていることは何ですか。(はいいくつでも)

- ・ 「こどもを気軽に預けられるところが少ないこと」が51.0%で最も多く、次いで「近所でこどもを安心して遊ばせる場所が少ないこと」(44.4%)となっている。以下「こども連れで利用できる施設が少ないこと」(37.4%)、「保育園や幼稚園などの施設が少ないこと」(30.5%)、「子育て関連の情報が少ないこと」(21.0%)、「その他」(14.8%)、「こどもの事を相談できる人がいないこと」(9.9%)、「特にない」(7.8%)の順となっている。
- ・ 「その他」の36件には全て具体的な記述があり、計38件の意見が挙げられた。目立った意見としては「子育て関連施設がない、不便」「医療費が高い、補助がない」(各6件)などの意見がみられた。

図 - 76 子育てに関する不安、不満(未就学の子どもがいる場合)

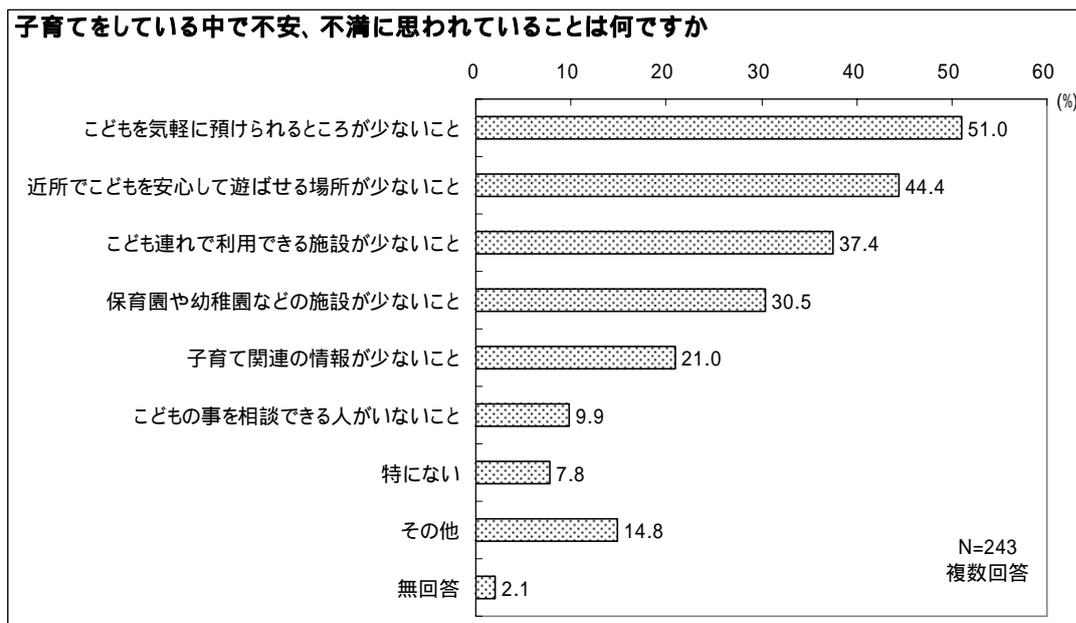


図 - 77 「その他」意見内容

意見内容		件数	
子育て関連施設	子育て支援施設がない、不便	6	11
	空き地がない	1	
	公園に子どもが少ない	1	
	公園の遊具が危険	1	
	図書館がない	1	
	放課後過ごす場所がない	1	
子育てへの環境	防犯体制が不安	4	10
	医療体制が脆弱(小児科医、救急病院の不足)	3	
	子育てには不親切な町	2	
	歩道がない	1	
子育て支援制度	医療費が高い、補助がない	6	9
	子育てに関する補助制度がない	3	
保育園・幼稚園・学校	私立の幼稚園しかない	2	8
	保育園に入れない	2	
	遅くまで見てくれる保育園がない	1	
	緊急時に子どもを預けられない	1	
	公立小中学校の児童数減少	1	
	保育園の内情が不満	1	
合計		38	38

男女別 子育てに関する不安、不満(未就学の子どもがいる場合)(問16× F1)

- ・ 男性は「近所で子どもを安心して遊ばせる場所が少ないこと」が最も多い。女性は「子どもを気軽に預けられるところが少ないこと」が最も多く、男性を9.6ポイント上回っている。

図 - 78 男女別 子育てに関する不安、不満(未就学の子どもがいる場合)

問16 あなたが、子育てをしている中で不安、不満に思われていることは何ですか(複数回答)

		全体	近所で子どもを安心して遊ばせる場所が少ないこと	子ども連れで利用できる施設が少ないこと	子どもの事を相談できる人がいないこと	子どもを気軽に預けられるところが少ないこと	保育園や幼稚園などの施設が少ないこと
全 体		243	108 44.4	91 37.4	24 9.9	124 51.0	74 30.5
F 1 性別	男性	86	46.5	36.0	9.3	45.3	40.7
	女性	153	42.5	38.6	10.5	54.9	24.8
	無回答	4	75.0	25.0	0.0	25.0	25.0

		全体	子育て関連の情報が少ないこと	特にない	その他	無回答
全 体		243	51 21.0	19 7.8	36 14.8	5 2.1
F 1 性別	男性	86	22.1	8.1	12.8	1.2
	女性	153	20.9	7.8	15.0	2.0
	無回答	4	0.0	0.0	50.0	25.0

家族形態別 子育てに関する不安、不満(未就学の子どもがいる場合)(問16× F6)

- ・ 「親と子(2世代)」は「子どもを気軽に預けられるところが少ないこと」、「親と子と孫(3世代)」では「近所で子どもを安心して遊ばせる場所が少ないこと」が最も多くなっている。
- ・ また、「親と子と孫(3世代)」では、他のケースに比べて「特にない」の数値が非常に高くなっている。

図 - 79 家族形態別 子育てに関する不安、不満(未就学の子どもがいる場合)

問16 あなたが、子育てをしている中で不安、不満に思われていることは何ですか(複数回答)

		全体	近所で子どもを安心して遊ばせる場所が少ないこと	子ども連れで利用できる施設が少ないこと	子どもの事を相談できる人がいないこと	子どもを気軽に預けられるところが少ないこと	保育園や幼稚園などの施設が少ないこと
全 体		243	108 44.4	91 37.4	24 9.9	124 51.0	74 30.5
F 6 家族形態	ひとり暮らし	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	夫婦だけ	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	親と子(2世代)	206	43.2	36.4	10.2	54.4	31.6
	親と子と孫(3世代)	32	46.9	43.8	9.4	31.3	21.9
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	5	80.0	40.0	0.0	40.0	40.0

		全体	子育て関連の情報が少ないこと	特にない	その他	無回答
全 体		243	51 21.0	19 7.8	36 14.8	5 2.1
F 6 家族形態	ひとり暮らし	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	夫婦だけ	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	親と子(2世代)	206	20.9	5.8	16.0	1.5
	親と子と孫(3世代)	32	25.0	21.9	6.3	3.1
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	5	0.0	0.0	20.0	20.0

居住地区別 子育てに関する不安、不満(未就学の子どもがいる場合)(問16 × F7)

- ・ いずれもサンプル数がやや少ないが、「中里連合自治会」「上谷本連合町内会」「恩田連合自治会」「奈良町、奈良北団地連合自治会」「荏田、新荏田連合自治会」は「こどもを気軽に預けられるところが少ないこと」、「市ヶ尾連合自治会」「山内連合自治会」「すすき野連合自治会」では「近所でこどもを安心して遊ばせる場所が少ないこと」、「青葉台連合自治会」「美しが丘連合自治会」では「こども連れで利用できる施設が少ないこと」が最も多くなっている。
- ・ 「中里北部連合町内会」では「近所でこどもを安心して遊ばせる場所が少ないこと」「こども連れで利用できる施設が少ないこと」が、「谷本連合自治会」ではさらに「こどもを気軽に預けられるところが少ないこと」が同率となっている。

図 - 80 居住地区別 子育てに関する不安、不満(未就学の子どもがいる場合)

問16 あなたが、子育てをしている中で
不安、不満に思われていることは何ですか(複数回答)

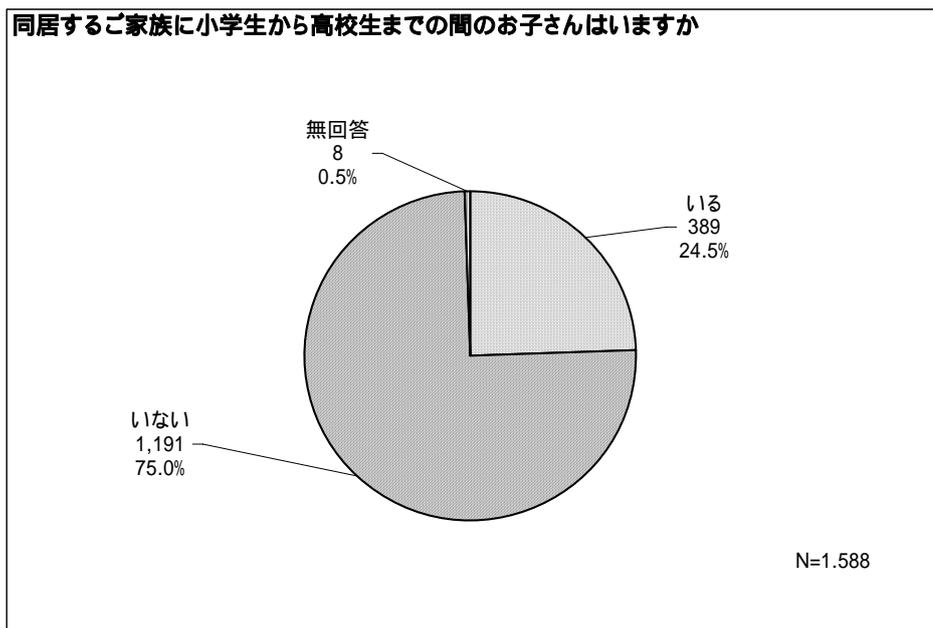
		全体	近所でこどもを安心して遊ばせる場所が少ないこと	こども連れで利用できる施設が少ないこと	こどもの事を相談できる人がいないこと	こどもを気軽に預けられるところが少ないこと	保育園や幼稚園などの施設が少ないこと
全 体		243	108	91	24	124	74
		-	44.4	37.4	9.9	51.0	30.5
F 7	中里連合自治会	8	37.5	12.5	0.0	87.5	25.0
居住地区	中里北部連合町内会	12	66.7	66.7	0.0	41.7	8.3
	市ヶ尾連合自治会	11	72.7	54.5	18.2	54.5	36.4
	上谷本連合町内会	7	42.9	0.0	14.3	57.1	14.3
	谷本連合自治会	16	43.8	43.8	12.5	43.8	25.0
	恩田連合自治会	15	46.7	53.3	6.7	80.0	20.0
	青葉台連合自治会	29	41.4	48.3	10.3	44.8	24.1
	奈良町、奈良北団地連合自治会	32	18.8	37.5	9.4	53.1	28.1
	山内連合自治会	34	52.9	32.4	11.8	47.1	29.4
	荏田、新荏田連合自治会	46	39.1	19.6	6.5	50.0	43.5
	すすき野連合自治会	13	53.8	23.1	7.7	46.2	46.2
	美しが丘連合自治会	15	46.7	66.7	26.7	40.0	33.3
	無回答	5	80.0	40.0	0.0	40.0	40.0

		全体	子育て関連の情報が少ないこと	特にない	その他	無回答
全 体		243	51	19	36	5
		-	21.0	7.8	14.8	2.1
F 7	中里連合自治会	8	12.5	0.0	12.5	0.0
居住地区	中里北部連合町内会	12	16.7	0.0	25.0	0.0
	市ヶ尾連合自治会	11	36.4	9.1	9.1	0.0
	上谷本連合町内会	7	14.3	14.3	14.3	0.0
	谷本連合自治会	16	12.5	12.5	12.5	6.3
	恩田連合自治会	15	6.7	6.7	20.0	6.7
	青葉台連合自治会	29	31.0	6.9	10.3	3.4
	奈良町、奈良北団地連合自治会	32	18.8	12.5	9.4	3.1
	山内連合自治会	34	23.5	11.8	17.6	0.0
	荏田、新荏田連合自治会	46	17.4	6.5	19.6	0.0
	すすき野連合自治会	13	30.8	0.0	7.7	0.0
	美しが丘連合自治会	15	26.7	6.7	13.3	0.0
	無回答	5	20.0	0.0	20.0	20.0

問 17 あなたの同居するご家族に小学生から高校生までの間のお子さんはいますか

- ・ 「いない」が75.0%で全体の4分の3、「いる」は24.5%で4分の1となっている。

図 - 81 小学生から高校生までの子どもの有無



男女別 小学生から高校生までの子どもの有無(問17× F1)

- ・ 男女とも「いない」の方が多くなっている。

図 - 82 男女別 小学生から高校生までの子どもの有無

問17 同居家族に小学生から高校生までの間のお子さんはいますか

		全体	いる	いない	無回答
全 体		1,588	389	1,191	8
		100.0	24.5	75.0	0.5
F 1 性別	男性	647	23.8	76.2	0.0
	女性	896	25.3	74.4	0.2
	無回答	45	17.8	68.9	13.3

年齢別 小学生から高校生までの子どもの有無(問17× F2)

- ・ 「41～45歳」「46～50歳」で「いる」の方が多くなっている以外は、「いない」が多くなっている。
- ・ また、「16～20歳」「36～40歳」でも「いる」の数値が高くなっている。

図 - 83 年齢別 小学生から高校生までの子どもの有無

問17 同居家族に小学生から高校生までの間の
お子さんはいますか

		全体	いる	いない	無回答
全 体		1,588	389	1,191	8
		100.0	24.5	75.0	0.5
F 2 年齢	16～20歳	55	43.6	56.4	0.0
	21～25歳	65	6.2	90.8	3.1
	26～30歳	96	2.1	97.9	0.0
	31～35歳	142	12.7	87.3	0.0
	36～40歳	167	47.9	52.1	0.0
	41～45歳	172	69.2	30.8	0.0
	46～50歳	119	58.0	42.0	0.0
	51～55歳	133	26.3	73.7	0.0
	56～60歳	171	2.3	97.7	0.0
	61～65歳	153	1.3	98.7	0.0
	66～70歳	119	5.9	94.1	0.0
	76歳以上	84	15.5	84.5	0.0
	その他	83	6.0	94.0	0.0
	無回答	29	24.1	55.2	20.7

居住時期別 小学生から高校生までの子どもの有無(問17× F3)

- ・ いずれも「いない」が多くなっている。
- ・ ただし「平成2年～6年(1990～1994年)」「平成7年～11年(1995～1999年)」では他に比べて「いる」の数値が高くなっている。

図 - 84 居住時期別 小学生から高校生までの子どもの有無

問17 同居家族に小学生から高校生までの間の
お子さんはいますか

		全体	いる	いない	無回答
全 体		1,588	389	1,191	8
		100.0	24.5	75.0	0.5
F 3 居住時期	昭和19年(1944年)以前	17	11.8	88.2	0.0
	昭和20年～29年(1945～1954年)	15	6.7	93.3	0.0
	昭和30年～39年(1955～1964年)	23	17.4	82.6	0.0
	昭和40年～49年(1965～1974年)	180	13.9	85.6	0.6
	昭和50年～59年(1975～1984年)	298	10.4	89.6	0.0
	昭和60年～平成元年(1985～1989年)	185	21.1	78.9	0.0
	平成2年～6年(1990～1994年)	143	36.4	63.6	0.0
	平成7年～11年(1995～1999年)	244	44.3	55.3	0.4
	平成12年～16年(2000～2004年)	280	31.4	68.6	0.0
	平成17年～(2005年～)	162	17.9	82.1	0.0
	わからない	4	50.0	50.0	0.0
	無回答	37	21.6	62.2	16.2

住居形態別 小学生から高校生までの子どもの有無(問17× F5)

- ・ いずれも「いない」が多くなっている。
- ・ ただし「借家(一戸建て)」では他に比べて「いる」の数値が高くなっている。

図 - 85 住居形態別 小学生から高校生までの子どもの有無

問17 同居家族に小学生から高校生までの間のお子さんはいますか

		全体	いる	いない	無回答
全 体		1,588	389	1,191	8
		100.0	24.5	75.0	0.5
F 5 住まい	持家(一戸建て)	769	22.4	77.4	0.3
	持家(マンション・共同住宅)	379	28.8	71.2	0.0
	借家(一戸建て)	44	40.9	59.1	0.0
	借家(マンション・共同住宅、社宅、公務員住宅、寮)	359	23.4	76.6	0.0
	その他	5	0.0	100.0	0.0
	無回答	32	18.8	62.5	18.8

居住地区別 小学生から高校生までの子どもの有無(問17× F7)

- ・ いずれも「いない」が多くなっている。
- ・ ただし「奈良町、奈良北団地連合自治会」では他に比べて「いる」の数値がやや高くなっている。

図 - 86 居住地区別 小学生から高校生までの子どもの有無

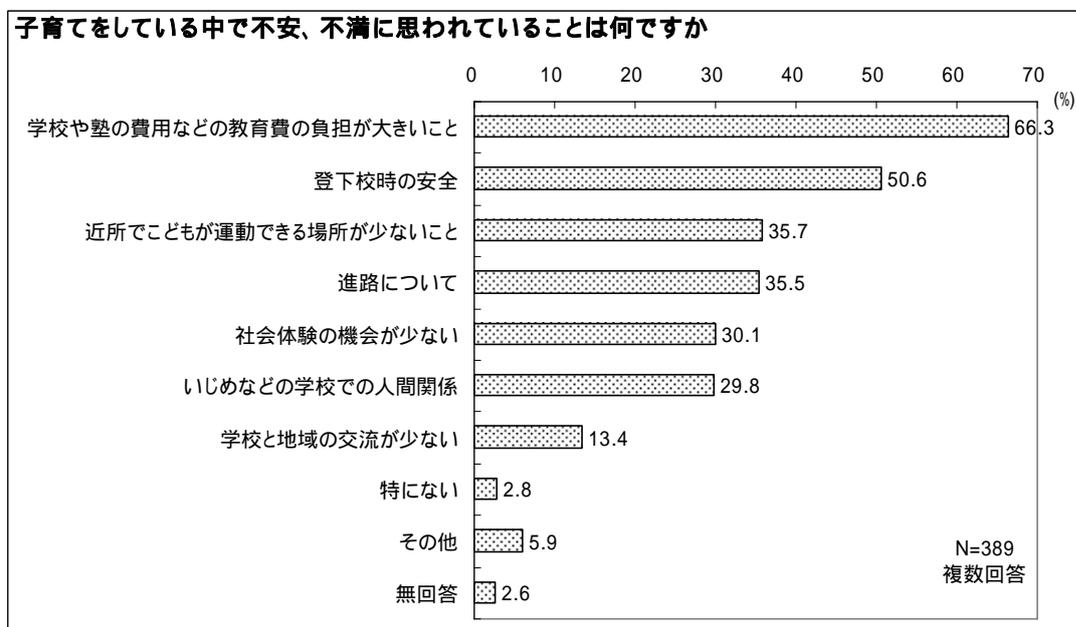
問17 同居家族に小学生から高校生までの間のお子さんはいますか

		全体	いる	いない	無回答
全 体		1,588	389	1,191	8
		100.0	24.5	75.0	0.5
F 7 居住地区	中里連合自治会	81	21.0	79.0	0.0
	中里北部連合町内会	90	20.0	80.0	0.0
	市ヶ尾連合自治会	78	23.1	76.9	0.0
	上谷本連合町内会	58	22.4	75.9	1.7
	谷本連合自治会	136	25.0	75.0	0.0
	恩田連合自治会	138	28.3	71.7	0.0
	青葉台連合自治会	227	19.8	79.7	0.4
	奈良町、奈良北団地連合自治会	142	33.1	66.9	0.0
	山内連合自治会	212	25.9	74.1	0.0
	荏田、新荏田連合自治会	215	27.9	72.1	0.0
	すすき野連合自治会	97	16.5	83.5	0.0
	美しが丘連合自治会	75	24.0	76.0	0.0
	無回答	39	23.1	61.5	15.4

問 18 あなたが、子育てをしている中で不安、不満に思われていることは何ですか(はいくつでも)

- ・ 「学校や塾の費用などの教育費の負担が大きいこと」が66.3%で最も多く、次いで「登下校時の安全」(50.6%)となっている。以下「近所で子どもが運動できる場所が少ないこと」(35.7%)、「進路について」(35.5%)、「社会体験の機会が少ない」(30.1%)、「いじめなどの学校での人間関係」(29.8%)、「学校と地域の交流が少ない」(13.4%)、「その他」(5.9%)「特にない」(2.8%)の順となっている。

図 - 87 子育てに関する不安、不満(小学生から高校生までの子どもがいる場合)



男女別 子育てに関する不安、不満(小学生から高校生までの子どもがいる場合)(問18 × F1)

- ・ 男女ともに「学校や塾の費用などの教育費の負担が大きいこと」が最も多くなっている。

図 - 88 男女別 子育てに関する不安、不満(小学生から高校生までの子どもがいる場合)

問18 子育てをしている中で不安、不満に思われていることは何ですか(複数回答)

		全体	近所で子どもが運動できる場所が少ないこと	社会体験の機会が少ない	学校と地域の交流が少ない	登下校時の安全	学校や塾の費用などの教育費の負担が大きいこと
全体		389	139	117	52	197	258
		-	35.7	30.1	13.4	50.6	66.3
F 1 性別	男性	154	38.3	27.9	16.9	49.4	68.8
	女性	227	35.2	31.7	11.5	52.0	64.8
	無回答	8	0.0	25.0	0.0	37.5	62.5

		全体	進路について	いじめなどの学校での人間関係	特にない	その他	無回答
全体		389	138	116	11	23	10
		-	35.5	29.8	2.8	5.9	2.6
F 1 性別	男性	154	34.4	28.6	2.6	3.9	1.9
	女性	227	36.1	30.8	3.1	7.0	3.1
	無回答	8	37.5	25.0	0.0	12.5	0.0

居住地区別 子育てに関する不安、不満(小学生から高校生までの子どもがいる場合)

(問18 x F7)

- ・ 「すすき野連合自治会」では「社会体験の機会が少ない」が最も多くなっているが、それ以外の地域では「学校や塾の費用などの教育費の負担が大きいこと」が最も多くなっている。
- ・ また、「近所で子どもが運動できる場所が少ないこと」が「市ヶ尾連合自治会」「青葉台連合自治会」で、「いじめなどの学校での人間関係」が「中里北部連合町内会」「市ヶ尾連合自治会」「山内連合自治会」で、「登下校時の安全」「特にない」が「上谷本連合町内会」で、それぞれ他の地域より数値が高くなっている。

図 - 89 居住地区別 子育てに関する不安、不満(小学生から高校生までの子どもがいる場合)

問18 子育てをしている中で

不安、不満に思われていることは何ですか(複数回答)

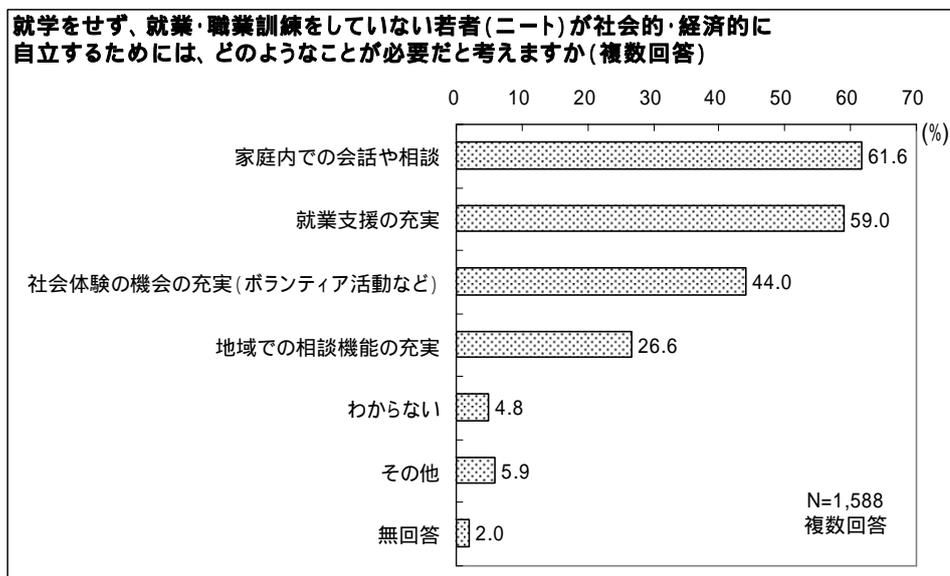
		全体	近所で子どもが運動できる場所が少ないこと	社会体験の機会が少ない	学校と地域の交流が少ない	登下校時の安全	学校や塾の費用などの教育費の負担が大きいこと
全 体		389	139	117	52	197	258
		-	35.7	30.1	13.4	50.6	66.3
F 7 居住地区	中里連合自治会	17	29.4	35.3	11.8	58.8	70.6
	中里北部連合町内会	18	38.9	33.3	11.1	38.9	66.7
	市ヶ尾連合自治会	18	55.6	33.3	16.7	55.6	61.1
	上谷本連合町内会	13	38.5	23.1	0.0	61.5	69.2
	谷本連合自治会	34	32.4	32.4	11.8	52.9	67.6
	恩田連合自治会	39	33.3	25.6	12.8	53.8	71.8
	青葉台連合自治会	45	46.7	22.2	13.3	48.9	64.4
	奈良町、奈良北団地連合自治会	47	34.0	29.8	17.0	44.7	66.0
	山内連合自治会	55	36.4	36.4	18.2	54.5	67.3
	荏田、新荏田連合自治会	60	28.3	26.7	11.7	58.3	65.0
	すすき野連合自治会	16	43.8	56.3	6.3	31.3	50.0
	美しが丘連合自治会	18	27.8	22.2	16.7	33.3	72.2
	無回答	9	22.2	22.2	11.1	44.4	66.7

		全体	進路について	いじめなどの学校での人間関係	特にない	その他	無回答
全 体		389	138	116	11	23	10
		-	35.5	29.8	2.8	5.9	2.6
F 7 居住地区	中里連合自治会	17	35.3	35.3	0.0	11.8	5.9
	中里北部連合町内会	18	38.9	38.9	0.0	22.2	0.0
	市ヶ尾連合自治会	18	27.8	44.4	0.0	5.6	5.6
	上谷本連合町内会	13	30.8	30.8	15.4	0.0	0.0
	谷本連合自治会	34	32.4	29.4	2.9	5.9	0.0
	恩田連合自治会	39	43.6	20.5	0.0	0.0	2.6
	青葉台連合自治会	45	37.8	22.2	4.4	2.2	4.4
	奈良町、奈良北団地連合自治会	47	36.2	27.7	4.3	10.6	0.0
	山内連合自治会	55	38.2	40.0	0.0	9.1	3.6
	荏田、新荏田連合自治会	60	26.7	26.7	3.3	3.3	3.3
	すすき野連合自治会	16	37.5	25.0	6.3	0.0	6.3
	美しが丘連合自治会	18	33.3	22.2	5.6	5.6	0.0
	無回答	9	55.6	44.4	0.0	0.0	0.0

問 19 近年、就学をせず、就業・職業訓練をしていない若者(ニート)が問題となっていますが、あなたは、このような若者が社会的・経済的に自立するためには、どのようなことが必要だと考えますか。(はいくつでも)

- ・ 「家庭内での会話や相談」が 61.6%で最も多く、次いで「就業支援の充実」(59.0%)となっている。以下「社会体験の機会の充実(ボランティア活動など)」(44.0%)、「地域での相談機能の充実」(26.6%)、「その他」(5.9%)「わからない」(4.8%)の順となっている。

図 - 90 就学をせず、就業・職業訓練をしていない若者(ニート)が社会的・経済的に自立するために必要なこと



男女別 就学をせず、就業・職業訓練をしていない若者(ニート)が社会的・経済的に自立するために必要なこと(問19× F1)

- ・ 男女とも「家庭内での会話や相談」が最も多く、性別によってさほど大きな差は見られなかった。

図 - 91 男女別 就学をせず、就業・職業訓練をしていない若者(ニート)が社会的・経済的に自立するために必要なこと

問19 近年、ニートが問題となっていますが、このような若者が社会的・経済的に自立するためには、どのようなことが必要だと考えますか(複数回答)

		全体	家庭内での会話や相談	地域での相談機能の充実	社会体験の機会の充実(ボランティア活動など)	就業支援の充実	わからない	その他	無回答
全体		1,588	979	423	699	937	76	94	32
		-	61.6	26.6	44.0	59.0	4.8	5.9	2.0
F 1 性別	男性	647	57.8	24.7	43.7	57.3	5.1	7.1	1.5
	女性	896	64.6	27.9	44.5	60.5	4.4	4.9	2.0
	無回答	45	57.8	28.9	37.8	53.3	8.9	8.9	8.9

年齢別 就学をせず、就業・職業訓練をしていない若者(ニート)が社会的・経済的に自立するために必要なこと(問19× F2)

- ・ 「16～20歳」「21～25歳」、「51～55歳」から「61～65歳」までの世代と「76歳以上」では「就業支援の充実」が最も多く、それ以外の世代と「その他」では「家庭内での会話や相談」が最も多い。

図 - 92 年齢別 就学をせず、就業・職業訓練をしていない若者(ニート)が社会的・経済的に自立するために必要なこと

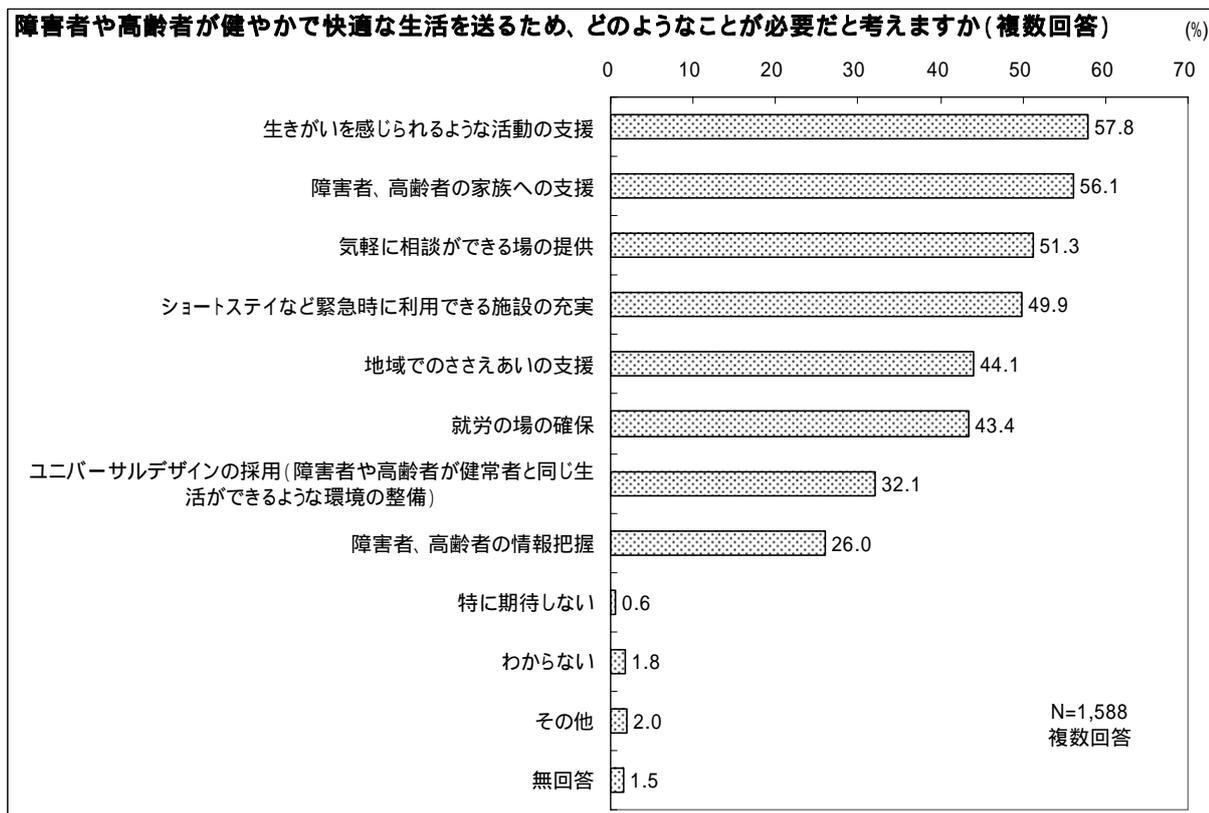
問19 近年、ニートが問題となっていますが、このような若者が社会的・経済的に自立するためには、どのようなことが必要だと考えますか(複数回答)

		全体	家庭内での会話や相談	地域での相談機能の充実	社会体験の機会の充実(ボランティア活動など)	就業支援の充実	わからない	その他	無回答
全体		1,588	979	423	699	937	76	94	32
		-	61.6	26.6	44.0	59.0	4.8	5.9	2.0
F2 年齢	16～20歳	55	47.3	23.6	52.7	60.0	7.3	7.3	0.0
	21～25歳	65	55.4	16.9	30.8	58.5	7.7	6.2	0.0
	26～30歳	96	66.7	19.8	31.3	60.4	1.0	8.3	1.0
	31～35歳	142	69.0	16.2	37.3	57.0	0.7	7.0	1.4
	36～40歳	167	59.9	18.0	38.9	50.9	4.8	7.8	1.2
	41～45歳	172	66.9	25.6	45.9	52.9	5.2	8.1	1.2
	46～50歳	119	65.5	31.9	47.9	62.2	2.5	7.6	0.0
	51～55歳	133	66.2	32.3	53.4	70.7	3.8	4.5	0.8
	56～60歳	171	57.9	26.9	41.5	65.5	5.3	3.5	2.3
	61～65歳	153	53.6	34.0	51.6	62.7	2.6	6.5	2.0
	66～70歳	119	63.0	31.9	52.1	55.5	9.2	3.4	3.4
	76歳以上	84	58.3	36.9	40.5	59.5	9.5	2.4	6.0
その他	83	63.9	32.5	45.8	49.4	7.2	0.0	7.2	
無回答	29	55.2	27.6	37.9	62.1	6.9	13.8	6.9	

問 20 障害者や高齢者が健やかで快適な生活を送るため、あなたは、どのようなことが必要だと考えますか。
(はいくつでも)

- ・ 「生きがいを感じられるような活動の支援」が57.8%で最も多く、次いで「障害者、高齢者の家族への支援」(56.1%)が僅差で続いている。以下「気軽に相談ができる場の提供」(51.3%)、「ショートステイなど緊急時に利用できる施設の充実」(49.9%)、「地域でのささえあいの支援」(44.1%)、「就労の場の確保」(43.4%)、「ユニバーサルデザインの採用(障害者や高齢者が健常者と同じ生活ができるような環境の整備)」(32.1%)、「障害者、高齢者の情報把握」(26.0%)などの順となっている。「特に期待しない」は0.6%のみであった。

図 - 93 障害者や高齢者が健やかで快適な生活を送るために必要なこと



男女別 障害者や高齢者が健やかで快適な生活を送るために必要なこと(問20× F1)

- ・ 「男性」は「生きがいを感じられるような活動の支援」が、「女性」は「障害者、高齢者の家族への支援」が最も多くなっている。
- ・ また、女性は「ショートステイなど緊急時に利用できる施設の充実」が男性を15ポイント上回っている。

図 - 94 男女別 障害者や高齢者が健やかで快適な生活を送るために必要なこと

問20 障害者や高齢者が健やかで快適な生活を送るため、
どのようなことが必要だと考えますか(複数回答)

		全体	生きがいを感じられるような活動の支援	地域でのささえあいの支援	気軽に相談ができる場の提供	就労の場の確保	ショートステイなど緊急時に利用できる施設の充実	ユニバーサルデザインの採用(障害者や高齢者が健常者と同じ生活ができるような環境の整備)
全 体		1,588	918	700	814	689	792	509
		-	57.8	44.1	51.3	43.4	49.9	32.1
F 1 性別	男性	647	55.0	40.2	49.0	45.7	41.6	32.3
	女性	896	59.7	46.9	53.1	41.7	56.6	32.6
	無回答	45	60.0	44.4	46.7	42.2	35.6	17.8

		全体	障害者、高齢者の情報把握	障害者、高齢者の家族への支援	特に期待しない	わからない	その他	無回答
全 体		1,588	413	891	10	28	32	24
		-	26.0	56.1	0.6	1.8	2.0	1.5
F 1 性別	男性	647	25.7	51.0	0.8	2.0	2.5	1.5
	女性	896	26.5	60.0	0.6	1.6	1.7	1.1
	無回答	45	22.2	51.1	0.0	2.2	2.2	8.9

年齢別 障害者や高齢者が健やかで快適な生活を送るために必要なこと(問20× F2)

- ・ 「16～20歳」「21～25歳」「36～40歳」「46～50歳」は「生きがいを感じられるような活動の支援」が、「61～65歳」では「ショートステイなど緊急時に利用できる施設の充実」が最も多く、「66～70歳」ではこれら2つが同率となっている。「26～30歳」「31～35歳」「41～45歳」「51～55歳」では「障害者、高齢者の家族への支援」が「56～60歳」「76歳以上」「その他」では「気軽に相談ができる場の提供」が、それぞれ最も多くなっている。
- ・ また、「就労の場の確保」は「26～30歳」「31～35歳」「46～50歳」「51～55歳」で、「ユニバーサルデザインの採用(障害者や高齢者が健常者と同じ生活ができるような環境の整備)」が「21～25歳」「51～55歳」で、「障害者、高齢者の情報把握」が「51～55歳」で、それぞれ他の世代より高い数値となっている。

図 - 95 年齢別 障害者や高齢者が健やかで快適な生活を送るために必要なこと

問20 障害者や高齢者が健やかで快適な生活を送るため、
どのようなことが必要だと考えますか(複数回答)

		全体	生きがいを感じられるような活動の支援	地域でのささえあいの支援	気軽に相談ができる場の提供	就労の場の確保	ショートステイなど緊急時に利用できる施設の充実	ユニバーサルデザインの採用(障害者や高齢者が健常者と同じ生活ができるような環境の整備)
全 体		1,588	918	700	814	689	792	509
		-	57.8	44.1	51.3	43.4	49.9	32.1
F 2 年齢	16～20歳	55	67.3	43.6	38.2	27.3	29.1	38.2
	21～25歳	65	63.1	41.5	46.2	36.9	24.6	52.3
	26～30歳	96	55.2	46.9	56.3	52.1	46.9	34.4
	31～35歳	142	47.9	47.2	51.4	54.2	42.3	33.1
	36～40歳	167	59.3	43.7	44.3	51.5	45.5	34.7
	41～45歳	172	61.0	41.9	45.3	47.7	48.8	32.0
	46～50歳	119	63.9	47.9	50.4	58.0	58.8	33.6
	51～55歳	133	63.2	44.4	55.6	54.1	60.9	42.1
	56～60歳	171	57.3	40.9	62.0	43.9	60.8	32.7
	61～65歳	153	51.6	49.7	47.1	39.9	55.6	27.5
	66～70歳	119	60.5	41.2	59.7	25.2	60.5	24.4
	76歳以上	84	54.8	48.8	56.0	20.2	41.7	21.4
その他	83	49.4	33.7	50.6	18.1	47.0	16.9	
無回答	29	65.5	41.4	41.4	55.2	31.0	20.7	

		全体	障害者、高齢者の情報把握	障害者、高齢者の家族への支援	特に期待しない	わからない	その他	無回答
全 体		1,588	413	891	10	28	32	24
		-	26.0	56.1	0.6	1.8	2.0	1.5
F 2 年齢	16～20歳	55	27.3	45.5	1.8	3.6	1.8	0.0
	21～25歳	65	24.6	58.5	1.5	3.1	3.1	0.0
	26～30歳	96	24.0	60.4	0.0	0.0	1.0	0.0
	31～35歳	142	28.2	59.9	0.0	1.4	3.5	1.4
	36～40歳	167	19.2	54.5	0.0	2.4	3.0	0.6
	41～45歳	172	24.4	64.0	0.0	1.2	2.3	1.2
	46～50歳	119	23.5	58.0	0.0	1.7	0.8	0.8
	51～55歳	133	34.6	63.9	0.0	0.8	3.8	0.8
	56～60歳	171	25.7	58.5	0.0	0.0	2.3	1.2
	61～65歳	153	29.4	54.9	0.7	2.6	0.7	0.7
	66～70歳	119	30.3	51.3	2.5	2.5	0.0	2.5
	76歳以上	84	22.6	47.6	3.6	3.6	1.2	3.6
その他	83	26.5	33.7	1.2	2.4	1.2	7.2	
無回答	29	17.2	58.6	0.0	3.4	3.4	6.9	

居住地区別 障害者や高齢者が健やかで快適な生活を送るために必要なこと(問20× F7)

- ・ 「市ヶ尾連合自治会」「恩田連合自治会」「青葉台連合自治会」「奈良町、奈良北団地連合自治会」「荏田、新荏田連合自治会」「すすき野連合自治会」では「生きがいを感じられるような活動の支援」が、「中里連合自治会」「上谷本連合町内会」「谷本連合自治会」「山内連合自治会」「美しが丘連合自治会」では「障害者、高齢者の家族への支援」が、「中里北部連合町内会」では「ショートステイなど緊急時に利用できる施設の充実」が、それぞれ最も多くなっている。
- ・ また、「中里連合自治会」で「地域でのささえあいの支援」、「市ヶ尾連合自治会」と「奈良町、奈良北団地連合自治会」で「就労の場の確保」が、それぞれ他の地域より高い数値となっている。

図 - 96 居住地区別 障害者や高齢者が健やかで快適な生活を送るために必要なこと

問20 障害者や高齢者が健やかで快適な生活を送るため、
どのようなことが必要だと考えますか(複数回答)

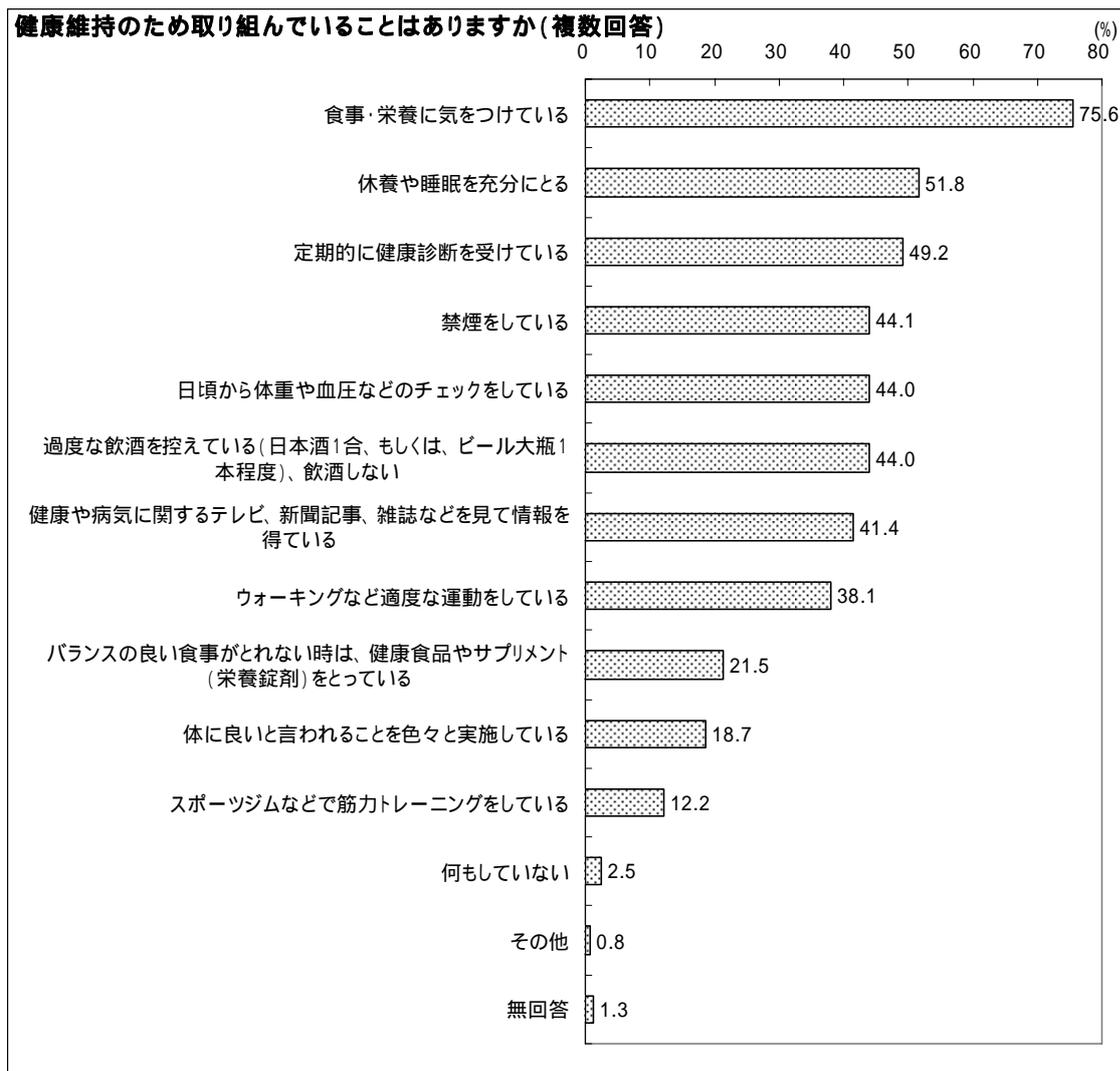
		全体	生きがいを感じられるような活動の支援	地域でのささえあいの支援	気軽に相談ができる場の提供	就労の場の確保	ショートステイなど緊急時に利用できる施設の充実	ユニバーサルデザインの採用(障害者や高齢者が健常者と同じ生活ができるような環境の整備)
全 体		1,588	918	700	814	689	792	509
		-	57.8	44.1	51.3	43.4	49.9	32.1
F 7 居住地区	中里連合自治会	81	61.7	55.6	53.1	40.7	46.9	32.1
	中里北部連合町内会	90	57.8	37.8	50.0	38.9	58.9	31.1
	市ヶ尾連合自治会	78	62.8	44.9	55.1	52.6	42.3	39.7
	上谷本連合町内会	58	56.9	44.8	53.4	43.1	55.2	37.9
	谷本連合自治会	136	58.1	45.6	47.1	42.6	52.9	31.6
	恩田連合自治会	138	69.6	50.0	49.3	40.6	50.0	37.0
	青葉台連合自治会	227	51.1	37.9	48.9	37.9	48.5	28.6
	奈良町、奈良北団地連合自治会	142	55.6	45.8	50.0	52.8	51.4	32.4
	山内連合自治会	212	54.7	43.4	50.9	44.3	47.2	34.0
	荏田、新荏田連合自治会	215	59.1	43.3	56.7	47.0	50.2	32.1
	すすき野連合自治会	97	58.8	44.3	51.5	47.4	50.5	21.6
美しが丘連合自治会	75	53.3	44.0	56.0	29.3	56.0	34.7	
無回答	39	61.5	43.6	41.0	43.6	33.3	23.1	

		全体	障害者、高齢者の情報把握	障害者、高齢者の家族への支援	特に期待しない	わからない	その他	無回答
全 体		1,588	413	891	10	28	32	24
		-	26.0	56.1	0.6	1.8	2.0	1.5
F 7 居住地区	中里連合自治会	81	29.6	69.1	0.0	0.0	2.5	2.5
	中里北部連合町内会	90	28.9	46.7	2.2	2.2	0.0	1.1
	市ヶ尾連合自治会	78	29.5	59.0	1.3	0.0	7.7	1.3
	上谷本連合町内会	58	27.6	63.8	0.0	0.0	1.7	1.7
	谷本連合自治会	136	27.2	59.6	0.0	3.7	2.9	0.7
	恩田連合自治会	138	23.2	57.2	1.4	2.9	3.6	0.7
	青葉台連合自治会	227	28.2	48.5	0.4	3.5	0.0	3.1
	奈良町、奈良北団地連合自治会	142	26.8	53.5	0.0	0.7	2.1	0.0
	山内連合自治会	212	22.6	58.5	1.4	0.9	1.4	1.9
	荏田、新荏田連合自治会	215	25.6	58.6	0.0	0.9	1.9	0.5
	すすき野連合自治会	97	21.6	42.3	0.0	2.1	0.0	1.0
美しが丘連合自治会	75	26.7	66.7	1.3	1.3	2.7	1.3	
無回答	39	23.1	59.0	0.0	2.6	5.1	7.7	

問 21 青葉区では、スポーツ・レクリエーション活動、バランスの良い食生活、禁煙・分煙の推進等により健康で心豊かな暮らしの実現を目指しています。あなたは、健康維持のため取り組んでいることはありますか。(はいくつでも)

- 最も多いのは「食事・栄養に気をつけている」で、75.6%と特に高い数値である。次いで「休養や睡眠を充分にとる」が51.8%、「定期的に健康診断を受けている」が49.2%である。以下「禁煙をしている」(44.1%)、「日頃から体重や血圧などのチェックをしている」「過度な飲酒を控えている(日本酒1合、もしくは、ビール大瓶1本程度)、飲酒しない」(共に44.0%)、「健康や病気に関するテレビ、新聞記事、雑誌などを見て情報を得ている」(41.4%)、「ウォーキングなど適度な運動をしている」(38.1%)などの順となっている。「何もしていない」は2.5%のみであった。

図 - 97 健康維持のため取り組んでいること



男女別 健康維持のため取り組んでいること(問21× F1)

- ・ 男女とも、「食事・栄養に気をつけている」が最も多くなっており、特に女性は男性より9.4ポイント高い数値となっている。
- ・ また、女性は「健康や病気に関するテレビ、新聞記事、雑誌などを見て情報を得ている」においても、男性を14.6ポイント上回っている。

図 - 98 男女別 健康維持のため取り組んでいること

問21 健康維持のため取り組んでいることはありますか(複数回答)

		全体	食事・栄養に気をつけている	バランスの良い食事がとれない時は、健康食品やサプリメント(栄養錠剤)をとっている	定期的に健康診断を受けている	日頃から体重や血圧などのチェックをしている	休養や睡眠を充分にとる	健康や病気に関するテレビ、新聞記事、雑誌などを見て情報を得ている	体に良いと言われることを色々実施している
全 体		1,588	1,200	341	781	698	822	657	297
		-	75.6	21.5	49.2	44.0	51.8	41.4	18.7
F 1 性別	男性	647	70.2	17.9	53.2	45.6	48.7	33.1	16.5
	女性	896	79.6	24.0	46.7	43.1	54.2	47.7	20.0
	無回答	45	73.3	22.2	42.2	37.8	46.7	35.6	24.4

		全体	ウォーキングなど適度な運動をしている	スポーツジムなどで筋力トレーニングをしている	禁煙をしている	過度な飲酒を控えている(日本酒1合、もしくは、ビール大瓶1本程度)、飲酒しない	何もしていない	その他	無回答
全 体		1,588	605	193	700	698	40	13	20
		-	38.1	12.2	44.1	44.0	2.5	0.8	1.3
F 1 性別	男性	647	43.6	12.4	47.1	43.6	3.1	0.8	1.1
	女性	896	34.4	12.4	42.2	44.4	2.1	0.9	1.1
	無回答	45	33.3	4.4	37.8	40.0	2.2	0.0	6.7

年齢別 健康維持のため取り組んでいること(問21× F2)

- ・ いずれの世代も、「食事・栄養に気をつけている」が最も多くなっているほか、「21～25歳」では「過度な飲酒を控えている（日本酒1合、もしくは、ビール大瓶1本程度）飲酒しない」も同率となっている。
- ・ また、若年層に比べて中高年層では健康維持のために取り組んでいることが多く、「バランスの良い食事がとれない時は、健康食品やサプリメント（栄養錠剤）をとっている」は「51～55歳」で、「定期的に健康診断を受けている」は「61～65歳」を除いた「46～50歳」以上の世代及び「その他」で、「日頃から体重や血圧などのチェックをしている」と「ウォーキングなど適度な運動をしている」は、「56～60歳」以上の世代と「その他」で、「健康や病気に関するテレビ、新聞記事、雑誌などを見て情報を得ている」は「61～65歳」を除いた「51～55歳」以上の世代及び「その他」で、それぞれ全体値を上回っている。一方、16～20歳は「何もしていない」の数値が、他の世代を上回っている。

図 - 99 年齢別 健康維持のため取り組んでいること

問21 健康維持のため取り組んでいることはありますか（複数回答）

		全体	食事・栄養に気をつけている	バランスの良い食事がとれない時は、健康食品やサプリメント（栄養錠剤）をとっている	定期的に健康診断を受けている	日頃から体重や血圧などのチェックをしている	休養や睡眠を充分にとる	健康や病気に関するテレビ、新聞記事、雑誌などを見て情報を得ている	体に良いと言われることを色々と実施している
全 体		1,588	1,200	341	781	698	822	657	297
		-	75.6	21.5	49.2	44.0	51.8	41.4	18.7
F 2 年齢	16～20歳	55	50.9	10.9	7.3	12.7	41.8	23.6	20.0
	21～25歳	65	56.9	23.1	21.5	33.8	49.2	32.3	21.5
	26～30歳	96	72.9	24.0	34.4	21.9	51.0	29.2	12.5
	31～35歳	142	77.5	20.4	27.5	21.8	47.9	31.7	18.3
	36～40歳	167	75.4	19.8	38.3	26.9	50.9	27.5	13.2
	41～45歳	172	73.3	25.0	56.4	32.6	45.9	38.4	17.4
	46～50歳	119	73.1	26.9	60.5	41.2	48.7	39.5	17.6
	51～55歳	133	80.5	31.6	57.9	50.4	45.1	50.4	20.3
	56～60歳	171	83.0	16.4	63.2	57.9	57.3	50.9	18.1
	61～65歳	153	84.3	18.3	56.2	56.9	58.8	45.8	17.0
	66～70歳	119	73.1	12.6	58.8	76.5	59.7	53.8	21.8
	76歳以上	84	79.8	20.2	58.3	70.2	56.0	56.0	25.0
その他	83	75.9	27.7	67.5	63.9	56.6	54.2	26.5	
無回答	29	72.4	24.1	41.4	37.9	51.7	37.9	27.6	

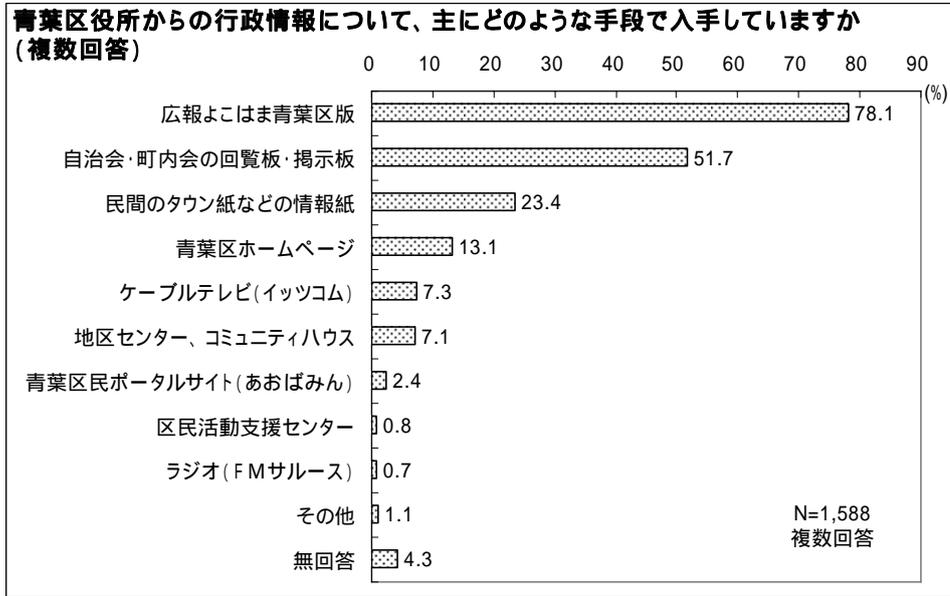
		全体	ウォーキングなど適度な運動をしている	スポーツジムなどで筋力トレーニングをしている	禁煙をしている	過度な飲酒を控えている（日本酒1合、もしくは、ビール大瓶1本程度）、飲酒しない	何もしていない	その他	無回答
全 体		1,588	605	193	700	698	40	13	20
		-	38.1	12.2	44.1	44.0	2.5	0.8	1.3
F 2 年齢	16～20歳	55	29.1	16.4	16.4	10.9	12.7	1.8	3.6
	21～25歳	65	29.2	15.4	47.7	56.9	6.2	0.0	0.0
	26～30歳	96	16.7	11.5	38.5	50.0	3.1	1.0	1.0
	31～35歳	142	25.4	10.6	47.2	51.4	2.8	0.0	1.4
	36～40歳	167	28.7	7.8	40.7	41.9	3.0	0.6	0.0
	41～45歳	172	29.1	11.6	40.7	39.0	2.3	1.7	1.2
	46～50歳	119	33.6	16.8	42.9	38.7	0.0	1.7	0.8
	51～55歳	133	44.4	17.3	50.4	41.4	1.5	1.5	1.5
	56～60歳	171	46.8	12.3	44.4	45.0	2.3	0.0	1.2
	61～65歳	153	52.3	16.3	45.8	44.4	2.0	0.0	0.0
	66～70歳	119	56.3	10.1	47.1	44.5	0.8	0.8	2.5
	76歳以上	84	52.4	10.7	48.8	45.2	2.4	1.2	1.2
その他	83	49.4	4.8	51.8	53.0	1.2	1.2	3.6	
無回答	29	31.0	3.4	48.3	55.2	0.0	0.0	3.4	

6. 行政サービスについて

問22 あなたは、青葉区役所からの行政情報について、主にどのような手段で入手していますか。(はいくつでも)

- ・ 「広報よこはま青葉区版」が78.1%と突出して多くなっている。次いで「自治会・町内会の回覧板・掲示板」が51.7%である。以下、「民間のタウン紙などの情報紙」(23.4%)、「青葉区ホームページ」(13.1%)などの順となっている。

図 - 100 行政情報の入手方法



男女別 行政情報の入手方法(問22×F1)

- ・ 男女とも「広報よこはま青葉区版」が最も多く、特に女性は男性を8.7ポイント上回っている。

図 - 101 男女別 行政情報の入手方法

問22 青葉区役所からの行政情報について、主にどのような手段で入手していますか(複数回答)

		全体	広報よこはま青葉区版	青葉区ホームページ	ラジオ(FMサルース)	ケーブルテレビ(イツコム)	青葉区民ポータルサイト(あおばみん)	区民活動支援センター
全体		1,588	1,240 78.1	208 13.1	11 0.7	116 7.3	38 2.4	13 0.8
F1 性別	男性	647	73.3	16.8	0.5	7.0	2.9	0.9
	女性	896	81.9	10.8	0.8	7.5	2.1	0.7
	無回答	45	71.1	4.4	2.2	8.9	0.0	2.2

		全体	地区センター、コミュニティハウス	民間のタウン紙などの情報紙	自治会・町内会の回覧板・掲示板	その他	無回答
全体		1,588	113 7.1	371 23.4	821 51.7	18 1.1	69 4.3
F1 性別	男性	647	5.1	19.8	47.1	0.8	6.6
	女性	896	8.7	26.2	54.8	1.5	2.5
	無回答	45	4.4	17.8	55.6	0.0	8.9

年齢別 行政情報の入手方法(問22× F2)

- ・ いずれの世代も、「広報よこはま青葉区版」が最も多くなっている。特に「51～55歳」では数値が高い。
- ・ また、「26～30歳」「31～35歳」では「青葉区ホームページ」が、「51～55歳」では「民間のタウン紙などの情報紙」が、「56～60歳」以上の世代では「自治会・町内会の回覧板・掲示板」が、それぞれ他の世代より数値が高くなっている。

図 - 102 年齢別 行政情報の入手方法

問22 青葉区役所からの行政情報について、
主にどのような手段で入手していますか（複数回答）

		全体	広報よこはま青葉区版	青葉区ホームページ	ラジオ（FMサールス）	ケーブルテレビ（イツコム）	青葉区民ポータルサイト（あおばみん）	区民活動支援センター
全 体		1,588	1,240	208	11	116	38	13
		-	78.1	13.1	0.7	7.3	2.4	0.8
F 2 年齢	16～20歳	55	29.1	7.3	0.0	9.1	0.0	0.0
	21～25歳	65	33.8	13.8	0.0	6.2	1.5	0.0
	26～30歳	96	64.6	22.9	0.0	5.2	2.1	0.0
	31～35歳	142	79.6	27.5	0.0	4.2	3.5	0.0
	36～40歳	167	80.8	21.0	0.6	6.0	1.8	0.0
	41～45歳	172	81.4	18.6	1.7	7.6	2.3	0.0
	46～50歳	119	84.0	13.4	0.0	5.9	3.4	0.8
	51～55歳	133	90.2	9.8	1.5	11.3	2.3	0.8
	56～60歳	171	84.2	5.8	1.2	11.7	1.8	2.3
	61～65歳	153	87.6	6.5	0.7	4.6	2.0	2.0
	66～70歳	119	84.9	5.0	0.0	6.7	5.0	0.0
	76歳以上	84	84.5	1.2	1.2	7.1	2.4	2.4
その他	83	73.5	9.6	1.2	8.4	2.4	2.4	
無回答	29	72.4	10.3	0.0	10.3	0.0	0.0	

		全体	地区センター、コミュニティハウス	民間のタウン紙などの情報紙	自治会・町内会の回覧板・掲示板	その他	無回答
全 体		1,588	113	371	821	18	69
		-	7.1	23.4	51.7	1.1	4.3
F 2 年齢	16～20歳	55	10.9	14.5	23.6	5.5	25.5
	21～25歳	65	1.5	24.6	29.2	1.5	13.8
	26～30歳	96	3.1	22.9	25.0	3.1	3.1
	31～35歳	142	4.9	19.0	27.5	0.7	4.2
	36～40歳	167	8.4	20.4	39.5	1.2	1.8
	41～45歳	172	7.0	22.7	44.8	0.0	5.2
	46～50歳	119	5.0	19.3	47.9	0.0	1.7
	51～55歳	133	7.5	35.3	58.6	2.3	2.3
	56～60歳	171	7.6	29.2	67.3	0.6	1.2
	61～65歳	153	7.2	24.2	69.3	0.0	2.0
	66～70歳	119	14.3	22.7	71.4	0.0	2.5
	76歳以上	84	7.1	20.2	78.6	0.0	6.0
その他	83	8.4	21.7	72.3	3.6	7.2	
無回答	29	0.0	20.7	55.2	3.4	3.4	

居住時期別 行政情報の入手方法(問22× F3)

- ・ いずれも、「広報よこはま青葉区版」が最も多く、「昭和30年～39年(1955～1964年)」では「自治会・町内会の回覧板・掲示板」も同率となっている。
- ・ なお、居住年数が長い「昭和19年(1944年)以前」から「昭和50年～59年(1975～1984年)」までにおいては「自治会・町内会の回覧板・掲示板」が、居住年数の浅い「平成17年～(2005年～)」では「青葉区ホームページ」が、それぞれ他のケースより数値が高くなっている。

図 - 103 居住時期別 行政情報の入手方法

問22 青葉区役所からの行政情報について、
主にどのような手段で入手していますか(複数回答)

		全体	広報よこはま青葉区版	青葉区ホームページ	ラジオ(FMサールース)	ケーブルテレビ(イツコム)	青葉区民ポータルサイト(あおばみん)	区民活動支援センター
全 体		1,588	1,240	208	11	116	38	13
		-	78.1	13.1	0.7	7.3	2.4	0.8
F 3 居住時期	昭和19年(1944年)以前	17	88.2	5.9	0.0	11.8	5.9	0.0
	昭和20年～29年(1945～1954年)	15	86.7	6.7	0.0	6.7	0.0	6.7
	昭和30年～39年(1955～1964年)	23	69.6	8.7	0.0	4.3	4.3	4.3
	昭和40年～49年(1965～1974年)	180	80.6	8.3	0.0	5.6	2.2	1.7
	昭和50年～59年(1975～1984年)	298	81.9	9.1	0.0	10.7	2.7	1.7
	昭和60年～平成元年(1985～1989年)	185	73.5	8.1	1.6	10.8	0.0	0.0
	平成2年～6年(1990～1994年)	143	74.1	12.6	0.0	7.0	2.1	2.1
	平成7年～11年(1995～1999年)	244	78.7	14.3	2.0	6.1	2.5	0.0
	平成12年～16年(2000～2004年)	280	83.6	17.5	0.7	7.1	3.9	0.0
	平成17年～(2005年～)	162	69.8	25.9	0.6	1.2	2.5	0.0
	わからない	4	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	37	64.9	8.1	0.0	8.1	0.0	0.0

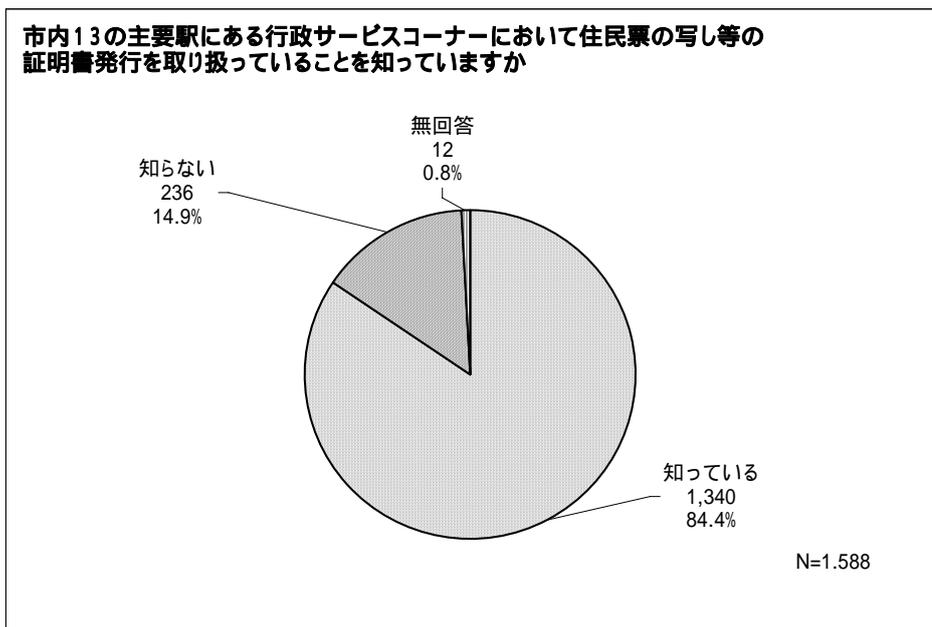
主にどのような手段で入手していますか(複数回答)

		全体	地区センター、コミュニティハウス	民間のタウン紙などの情報紙	自治会・町内会の回覧板・掲示板	その他	無回答
全 体		1,588	113	371	821	18	69
		-	7.1	23.4	51.7	1.1	4.3
F 3 居住時期	昭和19年(1944年)以前	17	5.9	23.5	76.5	0.0	0.0
	昭和20年～29年(1945～1954年)	15	0.0	26.7	66.7	6.7	0.0
	昭和30年～39年(1955～1964年)	23	8.7	8.7	69.6	0.0	8.7
	昭和40年～49年(1965～1974年)	180	13.9	26.7	67.8	2.2	3.3
	昭和50年～59年(1975～1984年)	298	7.0	23.8	62.4	1.7	3.4
	昭和60年～平成元年(1985～1989年)	185	8.1	25.9	53.0	1.6	5.4
	平成2年～6年(1990～1994年)	143	4.9	23.1	48.3	0.7	5.6
	平成7年～11年(1995～1999年)	244	5.7	23.0	54.5	0.8	4.1
	平成12年～16年(2000～2004年)	280	8.6	19.3	37.5	0.4	3.6
	平成17年～(2005年～)	162	1.9	25.9	29.0	0.6	5.6
	わからない	4	0.0	0.0	50.0	0.0	25.0
	無回答	37	2.7	24.3	54.1	0.0	8.1

問 23 横浜市では、あざみ野駅、長津田駅など市内13の主要駅にある行政サービスコーナーにおいて住民票の写し等の証明書発行を取り扱っていますが、あなたは、知っていますか。

- ・ 「知っている」が84.4%に達し、認知度は高い。「知らない」は14.9%である。

図 - 104 行政サービスコーナーにおける証明書発行業務の認知度



男女別 行政サービスコーナーにおける証明書発行業務の認知度(問23 × F1)

- ・ 男女とも「知っている」が8割を超え、性別にかかわらず認知度は高い。

図 - 105 男女別 行政サービスコーナーにおける証明書発行業務の認知度

問23 市内13の主要駅にある行政サービスコーナーで証明書発行を取り扱っていることを知っていますか

		全体	知っている	知らない	無回答
全 体		1,588	1,340	236	12
		100.0	84.4	14.9	0.8
F 1 性別	男性	647	81.8	17.5	0.8
	女性	896	86.7	12.9	0.3
	無回答	45	75.6	15.6	8.9

年齢別 行政サービスコーナーにおける証明書発行業務の認知度(問23×F2)

- ・ 「16～20歳」では「知らない」、「21～25歳」以上の世代では「知っている」の方が多い。
- ・ また「21～25歳」「26～30歳」でも「知らない」の数値が他に比べて高く、若年層の認知度は低い傾向にある。

図 - 106 年齢別 行政サービスコーナーにおける証明書発行業務の認知度

問23 市内13の主要駅にある行政サービスコーナーで証明書発行を取り扱っていることを知っていますか

		全体	知っている	知らない	無回答
全 体		1,588	1,340	236	12
		100.0	84.4	14.9	0.8
F 2 年齢	16～20歳	55	47.3	52.7	0.0
	21～25歳	65	70.8	29.2	0.0
	26～30歳	96	75.0	25.0	0.0
	31～35歳	142	78.9	20.4	0.7
	36～40歳	167	87.4	12.6	0.0
	41～45歳	172	88.4	11.6	0.0
	46～50歳	119	93.3	5.9	0.8
	51～55歳	133	91.7	8.3	0.0
	56～60歳	171	94.7	4.7	0.6
	61～65歳	153	92.8	7.2	0.0
	66～70歳	119	81.5	16.8	1.7
	76歳以上	84	82.1	14.3	3.6
	その他	83	74.7	21.7	3.6
無回答	29	72.4	24.1	3.4	

居住時期別 行政サービスコーナーにおける証明書発行業務の認知度(問23×F3)

- ・ いずれも「知っている」の方が多く「昭和20年～29年(1945～1954年)」では100%に達している。
- ・ また「平成17年～(2005年～)」では「知らない」の数値が他に比べて高い。

図 - 107 居住時期別 行政サービスコーナーにおける証明書発行業務の認知度

問23 市内13の主要駅にある行政サービスコーナーで証明書発行を取り扱っていることを知っていますか

		全体	知っている	知らない	無回答
全 体		1,588	1,340	236	12
		100.0	84.4	14.9	0.8
F 3 居住時期	昭和19年(1944年)以前	17	82.4	17.6	0.0
	昭和20年～29年(1945～1954年)	15	100.0	0.0	0.0
	昭和30年～39年(1955～1964年)	23	73.9	17.4	8.7
	昭和40年～49年(1965～1974年)	180	85.6	13.9	0.6
	昭和50年～59年(1975～1984年)	298	90.3	8.7	1.0
	昭和60年～平成元年(1985～1989年)	185	84.3	15.7	0.0
	平成2年～6年(1990～1994年)	143	86.0	14.0	0.0
	平成7年～11年(1995～1999年)	244	87.3	11.9	0.8
	平成12年～16年(2000～2004年)	280	83.6	16.1	0.4
	平成17年～(2005年～)	162	71.0	27.8	1.2
	わからない	4	100.0	0.0	0.0
無回答	37	70.3	27.0	2.7	

居住地区別 行政サービスコーナーにおける証明書発行業務の認知度(問23× F7)

- ・ いずれの地域も「知っている」の方が多く、特に「山内連合自治会」「すすき野連合自治会」で数値が高い。
- ・ 「市ヶ尾連合自治会」「上谷本連合町内会」では「知らない」の数値が他に比べて高い。

図 - 108 居住地区別 行政サービスコーナーにおける証明書発行業務の認知度

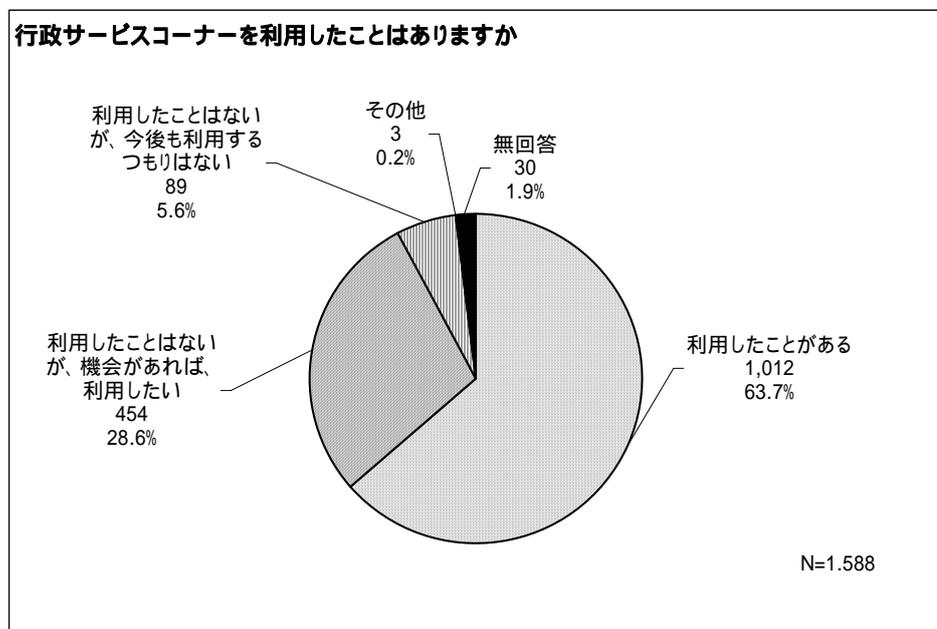
問23 市内13の主要駅にある行政サービスコーナーで証明書発行を取り扱っていることを知っていますか

		全体	知っている	知らない	無回答
全 体		1,588	1,340	236	12
		100.0	84.4	14.9	0.8
F 7	中里連合自治会	81	87.7	12.3	0.0
居住地区	中里北部連合町内会	90	77.8	21.1	1.1
	市ヶ尾連合自治会	78	65.4	32.1	2.6
	上谷本連合町内会	58	75.9	24.1	0.0
	谷本連合自治会	136	80.1	19.1	0.7
	恩田連合自治会	138	84.8	15.2	0.0
	青葉台連合自治会	227	79.7	19.8	0.4
	奈良町、奈良北団地連合自治会	142	85.9	13.4	0.7
	山内連合自治会	212	92.9	6.1	0.9
	荏田、新荏田連合自治会	215	89.8	9.3	0.9
	すすき野連合自治会	97	91.8	8.2	0.0
	美しが丘連合自治会	75	84.0	14.7	1.3
	無回答	39	84.6	12.8	2.6

問 24 【問 23】の行政サービスコーナーについて、あなたは、利用したことはありますか。(1 は1つ)

- ・ 「利用したことがある」が63.7%で、最も多い。次いで「利用したことはないが、機会があれば、利用したい」28.6%となっており、これらを合わせると利用したいという意向は9割を超える。以下、「利用したことはないが、今後も利用するつもりはない」は5.6%、「その他」は0.2%となっている。

図 - 109 行政サービスコーナー利用の有無



男女別 行政サービスコーナー利用の有無(問24 × F1)

- ・ 男女とも「利用したことがある」が最も多く、6割強を占める。

図 - 110 男女別 行政サービスコーナー利用の有無

問24 【問23】の行政サービスコーナーを利用したことはありますか

		全体	利用したことがある	利用したことはない	利用したことはない	その他	無回答
全 体		1,588	1,012	454	89	3	30
		100.0	63.7	28.6	5.6	0.2	1.9
F 1 性別	男性	647	63.2	29.8	5.1	0.2	1.7
	女性	896	64.7	27.7	5.8	0.2	1.6
	無回答	45	51.1	28.9	8.9	0.0	11.1

年齢別 行政サービスコーナー利用の有無(問24 × F2)

- ・ 「16～20歳」では「利用したことはないが、機会があれば、利用したい」、「21～25歳」以上の世代では「利用したことがある」が最も多い。
- ・ また「16～20歳」では「利用したことはないが、今後も利用するつもりはない」、「21～25歳」「26～30歳」では「利用したことはないが、機会があれば、利用したい」の数値が高い。

図 - 111 年齢別 行政サービスコーナー利用の有無

問24 【問23】の行政サービスコーナーを利用したことはありますか

		全体	利用したことがある	利用したことはない	利用したことはない	その他	無回答
全 体		1,588	1,012	454	89	3	30
		100.0	63.7	28.6	5.6	0.2	1.9
F 2 年齢	16～20歳	55	38.2	40.0	20.0	1.8	0.0
	21～25歳	65	53.8	40.0	6.2	0.0	0.0
	26～30歳	96	53.1	40.6	4.2	1.0	1.0
	31～35歳	142	59.9	35.2	4.2	0.0	0.7
	36～40歳	167	64.1	24.6	9.0	0.0	2.4
	41～45歳	172	66.3	27.9	4.1	0.6	1.2
	46～50歳	119	76.5	20.2	2.5	0.0	0.8
	51～55歳	133	73.7	20.3	4.5	0.0	1.5
	56～60歳	171	78.4	18.1	2.9	0.0	0.6
	61～65歳	153	68.6	27.5	2.6	0.0	1.3
	66～70歳	119	61.3	31.1	5.9	0.0	1.7
	76歳以上	84	56.0	32.1	4.8	0.0	7.1
	その他	83	44.6	36.1	10.8	0.0	8.4
	無回答	29	48.3	34.5	13.8	0.0	3.4

居住時期別 行政サービスコーナー利用の有無(問24 × F3)

- ・ 「平成17年～(2005年～)」のみ「利用したことはないが、機会があれば、利用したい」が、それ以外では「利用したことがある」が最も多い。

図 - 112 居住時期別 行政サービスコーナー利用の有無

問24 【問23】の行政サービスコーナーを利用したことはありますか

		全体	利用したことがある	利用したことはない	利用したことはない	その他	無回答
全 体		1,588	1,012	454	89	3	30
		100.0	63.7	28.6	5.6	0.2	1.9
F 3 居住時期	昭和19年(1944年)以前	17	47.1	41.2	5.9	0.0	5.9
	昭和20年～29年(1945～1954年)	15	66.7	26.7	6.7	0.0	0.0
	昭和30年～39年(1955～1964年)	23	56.5	26.1	8.7	0.0	8.7
	昭和40年～49年(1965～1974年)	180	63.3	28.9	5.6	0.0	2.2
	昭和50年～59年(1975～1984年)	298	65.1	27.9	5.4	0.0	1.7
	昭和60年～平成元年(1985～1989年)	185	64.3	28.1	6.5	0.0	1.1
	平成2年～6年(1990～1994年)	143	74.8	15.4	7.7	0.7	1.4
	平成7年～11年(1995～1999年)	244	70.1	25.0	3.7	0.0	1.2
	平成12年～16年(2000～2004年)	280	65.0	28.2	4.6	0.0	2.1
	平成17年～(2005年～)	162	43.8	46.3	6.2	1.2	2.5
	わからない	4	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	37	54.1	32.4	10.8	0.0	2.7

居住地区別 行政サービスコーナー利用の有無(問24 × F7)

- ・ 「市ヶ尾連合自治会」「上谷本連合町内会」では「利用したことはないが、機会があれば、利用したい」が、それ以外の地域では「利用したことがある」が最も多い。特に「山内連合自治会」「すすき野連合自治会」では「利用したことがある」が8割を超える。

図 - 113 居住地区別 行政サービスコーナー利用の有無

問24 【問23】の行政サービスコーナーを利用したことはありますか

		全体	利用したことがある	利用したことはない	利用したことはない	その他	無回答
全 体		1,588	1,012	454	89	3	30
		100.0	63.7	28.6	5.6	0.2	1.9
F 7	中里連合自治会	81	69.1	25.9	3.7	0.0	1.2
居住地区	中里北部連合町内会	90	53.3	35.6	7.8	0.0	3.3
	市ヶ尾連合自治会	78	32.1	48.7	12.8	1.3	5.1
	上谷本連合町内会	58	43.1	46.6	8.6	0.0	1.7
	谷本連合自治会	136	50.7	39.7	7.4	0.7	1.5
	恩田連合自治会	138	73.9	19.6	5.1	0.7	0.7
	青葉台連合自治会	227	49.3	43.2	6.2	0.0	1.3
	奈良町、奈良北団地連合自治会	142	66.9	23.9	7.0	0.0	2.1
	山内連合自治会	212	84.0	11.3	1.9	0.0	2.8
	荏田、新荏田連合自治会	215	68.4	25.1	5.1	0.0	1.4
	すすき野連合自治会	97	83.5	13.4	3.1	0.0	0.0
	美しが丘連合自治会	75	66.7	29.3	1.3	0.0	2.7
	無回答	39	61.5	25.6	10.3	0.0	2.6

問 25 青葉区では、今後以下の ~ のようなサービスの実施を予定しています。あなたは、そのサービスを知っていますか、また利用意向はありますか。

「平成 19 年 10 月を目途に区内全地区センター(山内図書館に隣接する山内地区センターを除く)で横浜市立図書館の予約本の貸出、返却サービスを実施します」

〔1〕認知状況

- ・ 「知らない」が 73.6%、「知っている」が 23.4%となっている。

〔2〕利用意向

- ・ 「利用したい」が最も多く 58.1%、「利用するつもりはない」が 31.4% 「その他」が 0.4%となっている。

「平成 20 年 1 月を目途に、区内 2 か所の郵便局で、住民票の写し等証明書発行サービスをモデル的に実施します」

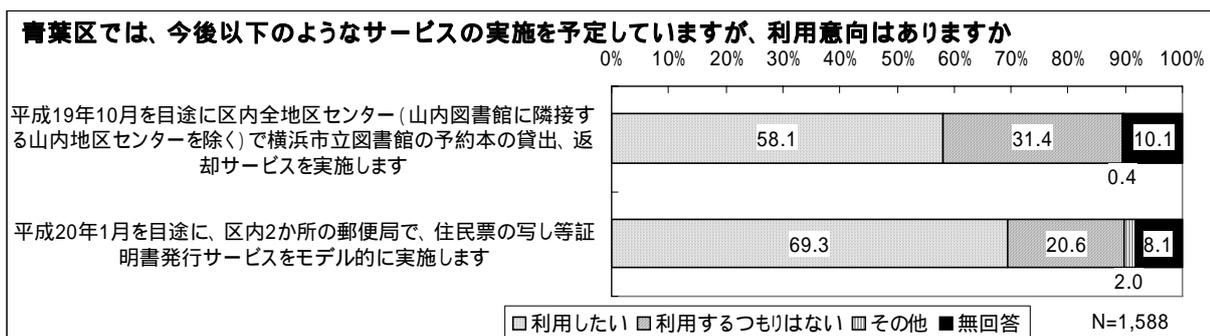
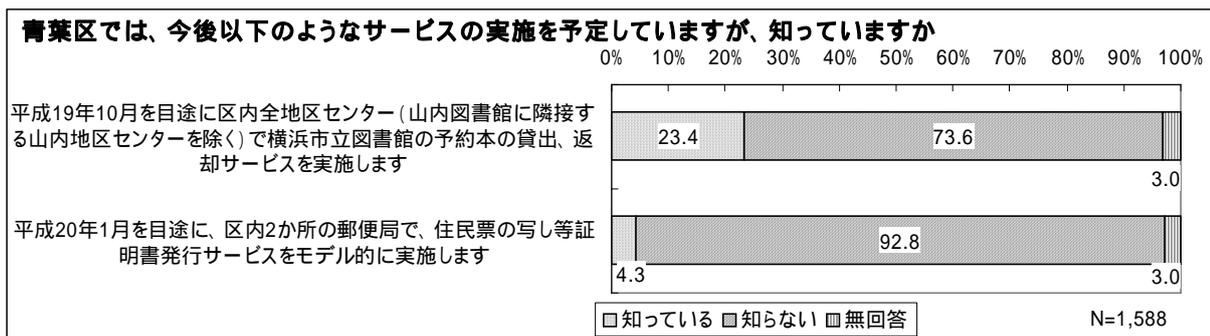
〔1〕認知状況

- ・ 「知らない」が 92.8%と大半を占め、「知っている」は 4.3%に留まった。

〔2〕利用意向

- ・ 「利用したい」が最も多く 69.3%と 7 割近くに達する。「利用するつもりはない」が 20.6% 「その他」が 2.0%となっている。

図 - 114 サービスの認知状況及び利用意向



男女別 「区内全地区センターでの横浜市立図書館の予約本貸出、返却サービス実施」認知度
(問25 【1】× F1)

- ・ 男女とも「知らない」の方が多くなっている。

図 - 115 男女別 「区内全地区センターでの横浜市立図書館の予約本貸出、返却サービス実施」認知度

問25【1】 今後予定しているサービスの認知状況

平成19年10月を目途に区内全地区センターで市立図書館の予約本の貸出、返却サービスを実施

		全体	知っている	知らない	無回答
全 体		1,588	371	1,169	48
		100.0	23.4	73.6	3.0
F 1 性別	男性	647	19.8	77.6	2.6
	女性	896	25.9	71.3	2.8
	無回答	45	24.4	62.2	13.3

年齢別 「区内全地区センターでの横浜市立図書館の予約本貸出、返却サービス実施」認知度
(問25 【1】× F2)

- ・ いずれも「知らない」の方が多くなっている。特に「16～20歳」では9割を超える。
- ・ 更に「16～20歳」では「知っている」の数値が他に比べて特に低くなっている。

図 - 116 年齢別 「区内全地区センターでの横浜市立図書館の予約本貸出、返却サービス実施」認知度

問25【1】 今後予定しているサービスの認知状況

平成19年10月を目途に区内全地区センターで市立図書館の予約本の貸出、返却サービスを実施

		全体	知っている	知らない	無回答
全 体		1,588	371	1,169	48
		100.0	23.4	73.6	3.0
F 2 年齢	16～20歳	55	9.1	90.9	0.0
	21～25歳	65	20.0	80.0	0.0
	26～30歳	96	18.8	79.2	2.1
	31～35歳	142	20.4	78.9	0.7
	36～40歳	167	25.7	73.1	1.2
	41～45歳	172	26.2	73.3	0.6
	46～50歳	119	27.7	71.4	0.8
	51～55歳	133	23.3	74.4	2.3
	56～60歳	171	23.4	74.9	1.8
	61～65歳	153	24.2	73.2	2.6
	66～70歳	119	24.4	68.1	7.6
	76歳以上	84	23.8	63.1	13.1
	その他	83	22.9	66.3	10.8
無回答	29	31.0	62.1	6.9	

居住地区別 「区内全地区センターでの横浜市立図書館の予約本貸出、返却サービス実施」認知度(問25【1】× F7)

・ いずれも「知らない」の方が多くなっている。

図 - 117 居住地区別 「区内全地区センターでの横浜市立図書館の予約本貸出、返却サービス実施」認知度

問25【1】 今後予定しているサービスの認知状況

平成19年10月を目途に区内全地区センターで市立図書館の予約本の貸出、返却サービスを実施

		全体	知っている	知らない	無回答
全 体		1,588	371	1,169	48
		100.0	23.4	73.6	3.0
F 2	16～20歳	55	9.1	90.9	0.0
F 7	中里連合自治会	81	30.9	65.4	3.7
居住地区	中里北部連合町内会	90	24.4	74.4	1.1
	市ヶ尾連合自治会	78	15.4	79.5	5.1
	上谷本連合町内会	58	25.9	69.0	5.2
	谷本連合自治会	136	22.1	73.5	4.4
	恩田連合自治会	138	22.5	73.2	4.3
	青葉台連合自治会	227	23.8	73.6	2.6
	奈良町、奈良北団地連合自治会	142	22.5	76.1	1.4
	山内連合自治会	212	24.5	73.1	2.4
	荏田、新荏田連合自治会	215	21.4	75.8	2.8
	すすき野連合自治会	97	25.8	74.2	0.0
	美しが丘連合自治会	75	24.0	72.0	4.0
	無回答	39	23.1	69.2	7.7

男女別 「郵便局での住民票の写し等証明書発行サービス」認知度(問25 【1】× F1)

- ・ いずれも「知らない」の方が多く、9割を超える。

図 - 118 男女別 「郵便局での住民票の写し等証明書発行サービス」認知度

問25【1】 今後予定しているサービスの認知状況

平成20年1月を目途に、区内2か所の郵便局で、証明書発行サービスをモデル的に実施

		全体	知っている	知らない	無回答
全 体		1,588	68	1,473	47
		100.0	4.3	92.8	3.0
F 1 性別	男性	647	4.9	92.6	2.5
	女性	896	3.8	93.6	2.6
	無回答	45	4.4	77.8	17.8

年齢別 「郵便局での住民票の写し等証明書発行サービス」認知度(問25 【1】× F2)

- ・ いずれも「知らない」の方が多く、「16～20歳」から「61～65歳」のどの世代でも9割を超える。特に「16～20歳」では98.2%という高い数値である。

図 - 119 年齢別 「郵便局での住民票の写し等証明書発行サービス」認知度

問25【1】 今後予定しているサービスの認知状況

平成20年1月を目途に、区内2か所の郵便局で、証明書発行サービスをモデル的に実施

		全体	知っている	知らない	無回答
全 体		1,588	68	1,473	47
		100.0	4.3	92.8	3.0
F 2 年齢	16～20歳	55	1.8	98.2	0.0
	21～25歳	65	4.6	95.4	0.0
	26～30歳	96	5.2	92.7	2.1
	31～35歳	142	3.5	95.8	0.7
	36～40歳	167	3.0	96.4	0.6
	41～45歳	172	2.9	96.5	0.6
	46～50歳	119	5.9	92.4	1.7
	51～55歳	133	2.3	96.2	1.5
	56～60歳	171	7.6	90.1	2.3
	61～65歳	153	2.6	93.5	3.9
	66～70歳	119	4.2	89.9	5.9
	76歳以上	84	6.0	83.3	10.7
	その他	83	7.2	80.7	12.0
	無回答	29	3.4	89.7	6.9

居住地区別 「郵便局での住民票の写し等証明書発行サービス」認知度(問25 【1】× F7)

- ・ いずれも「知らない」の方が多く9割を超える。9割未満となっているのは「市ヶ尾連合自治会」「美しが丘連合自治会」のみである。

図 - 120 居住地区別 「郵便局での住民票の写し等証明書発行サービス」認知度

問25【1】 今後予定しているサービスの認知状況

平成20年1月を目途に、区内2か所の郵便局で、証明書発行サービスをモデル的に実施

		全体	知っている	知らない	無回答
全 体		1,588	68	1,473	47
		100.0	4.3	92.8	3.0
F 7	中里連合自治会	81	3.7	92.6	3.7
居住地区	中里北部連合町内会	90	4.4	94.4	1.1
	市ヶ尾連合自治会	78	7.7	87.2	5.1
	上谷本連合町内会	58	1.7	93.1	5.2
	谷本連合自治会	136	2.9	94.1	2.9
	恩田連合自治会	138	2.2	94.2	3.6
	青葉台連合自治会	227	5.3	91.2	3.5
	奈良町、奈良北団地連合自治会	142	4.2	93.7	2.1
	山内連合自治会	212	3.3	94.8	1.9
	荏田、新荏田連合自治会	215	5.1	92.6	2.3
	すすき野連合自治会	97	3.1	96.9	0.0
	美しが丘連合自治会	75	10.7	85.3	4.0
	無回答	39	0.0	89.7	10.3

男女別 「区内全地区センターでの横浜市立図書館の予約本貸出、返却サービス実施」利用意向
(問25 [2]× F1)

- ・ 男女とも「利用したい」が過半数となっている。

図 - 121 男女別 「区内全地区センターでの横浜市立図書館の予約本貸出、返却サービス実施」利用意向

問25【2】 今後予定しているサービスの利用意向

平成19年10月を目途に区内全地区センターで市立図書館の予約本の貸出、返却サービスを実施

		全体	利用したい	利用するつもりはない	その他	無回答
全 体		1,588	922	499	6	161
		100.0	58.1	31.4	0.4	10.1
F 1 性別	男性	647	56.9	33.5	0.3	9.3
	女性	896	59.9	29.8	0.4	9.8
	無回答	45	37.8	33.3	0.0	28.9

年齢別 「区内全地区センターでの横浜市立図書館の予約本貸出、返却サービス実施」利用意向
(問25 [2]× F2)

- ・ いずれも「利用したい」が最も多くなっているが、「76歳以上」「その他」では数値が低い。

図 - 122 年齢別 「区内全地区センターでの横浜市立図書館の予約本貸出、返却サービス実施」利用意向

問25【2】 今後予定しているサービスの利用意向

平成19年10月を目途に区内全地区センターで市立図書館の予約本の貸出、返却サービスを実施

		全体	利用したい	利用するつもりはない	その他	無回答
全 体		1,588	922	499	6	161
		100.0	58.1	31.4	0.4	10.1
F 2 年齢	16～20歳	55	56.4	29.1	0.0	14.5
	21～25歳	65	63.1	32.3	0.0	4.6
	26～30歳	96	66.7	27.1	0.0	6.3
	31～35歳	142	58.5	31.7	0.7	9.2
	36～40歳	167	67.7	24.0	1.2	7.2
	41～45歳	172	66.3	27.9	1.2	4.7
	46～50歳	119	57.1	33.6	0.0	9.2
	51～55歳	133	54.9	33.1	0.8	11.3
	56～60歳	171	57.3	36.8	0.0	5.8
	61～65歳	153	55.6	32.7	0.0	11.8
	66～70歳	119	56.3	33.6	0.0	10.1
	76歳以上	84	44.0	31.0	0.0	25.0
	その他	83	42.2	33.7	0.0	24.1
	無回答	29	44.8	41.4	0.0	13.8

居住地区別 「区内全地区センターでの横浜市立図書館の予約本貸出、返却サービス実施」利用意向
(問25 【2】× F7)

- ・ いずれも「利用したい」が最も多くなっている。
- ・ ただし「中里北部連合町内会」では数値が低く、一方「利用するつもりはない」の数値が高くなっている。

図 - 123 居住地区別 「区内全地区センターでの横浜市立図書館の
予約本貸出、返却サービス実施」利用意向

問25【2】 今後予定しているサービスの利用意向

平成19年10月を目途に区内全地区センターで市立図書館の予約本の貸出、返却サービスを実施

		全体	利用したい	利用するつもりはない	その他	無回答
全 体		1,588	922	499	6	161
		100.0	58.1	31.4	0.4	10.1
F 7	中里連合自治会	81	56.8	34.6	0.0	8.6
居住地区	中里北部連合町内会	90	46.7	45.6	0.0	7.8
	市ヶ尾連合自治会	78	52.6	38.5	0.0	9.0
	上谷本連合町内会	58	60.3	27.6	1.7	10.3
	谷本連合自治会	136	64.7	27.9	0.7	6.6
	恩田連合自治会	138	57.2	31.2	0.0	11.6
	青葉台連合自治会	227	57.3	31.7	0.9	10.1
	奈良町、奈良北団地連合自治会	142	60.6	30.3	0.7	8.5
	山内連合自治会	212	58.5	28.3	0.5	12.7
	荏田、新荏田連合自治会	215	58.1	31.6	0.0	10.2
	すすき野連合自治会	97	59.8	30.9	0.0	9.3
	美しが丘連合自治会	75	64.0	25.3	0.0	10.7
	無回答	39	51.3	28.2	0.0	20.5

男女別 「郵便局での住民票の写し等証明書発行サービス」利用意向(問25 【2】× F1)

- ・ 男女とも「利用したい」が最も多くなっている。

図 - 124 男女別 「郵便局での住民票の写し等証明書発行サービス」利用意向

問25【2】 今後予定しているサービスの利用意向

平成20年1月を目途に、区内2か所の郵便局で、証明書発行サービスをモデル的に実施

		全体	利用したい	利用するつもりはない	その他	無回答
全 体		1,588	1,100	327	32	129
		100.0	69.3	20.6	2.0	8.1
F 1	男性	647	66.6	22.7	2.5	8.2
性別	女性	896	71.5	19.1	1.8	7.6
	無回答	45	62.2	20.0	0.0	17.8

年齢別 「郵便局での住民票の写し等証明書発行サービス」利用意向(問25 【2】× F2)

- ・ 「16～20歳」で「利用したい」と「利用するつもりはない」が同率となっている以外は、いずれの世代も「利用したい」が最も多くなっている。

図 - 125 年齢別 「郵便局での住民票の写し等証明書発行サービス」利用意向

問25【2】 今後予定しているサービスの利用意向

平成20年1月を目途に、区内2か所の郵便局で、証明書発行サービスをモデル的に実施

		全体	利用したい	利用するつもりはない	その他	無回答
全 体		1,588	1,100	327	32	129
		100.0	69.3	20.6	2.0	8.1
F 2	16～20歳	55	41.8	41.8	0.0	16.4
年齢	21～25歳	65	80.0	15.4	0.0	4.6
	26～30歳	96	77.1	15.6	2.1	5.2
	31～35歳	142	76.8	14.8	2.1	6.3
	36～40歳	167	68.3	18.0	5.4	8.4
	41～45歳	172	75.0	18.0	2.9	4.1
	46～50歳	119	74.8	19.3	1.7	4.2
	51～55歳	133	69.2	21.1	1.5	8.3
	56～60歳	171	67.8	22.8	2.9	6.4
	61～65歳	153	64.7	24.2	2.0	9.2
	66～70歳	119	69.7	23.5	0.0	6.7
	76歳以上	84	59.5	23.8	0.0	16.7
	その他	83	60.2	18.1	1.2	20.5
	無回答	29	69.0	24.1	0.0	6.9

居住地区別 「郵便局での住民票の写し等証明書発行サービス」利用意向(問25【2】× F7)

- ・ いずれの地域も「利用したい」が最も多くなっている。
- ・ ただし「市ヶ尾連合自治会」では、「利用するつもりはない」の数値が他の地域に比べて高くなっている。

図 - 126 居住地区別 「郵便局での住民票の写し等証明書発行サービス」利用意向

問25【2】 今後予定しているサービスの利用意向

平成20年1月を自途に、区内2か所の郵便局で、証明書発行サービスをモデル的に実施

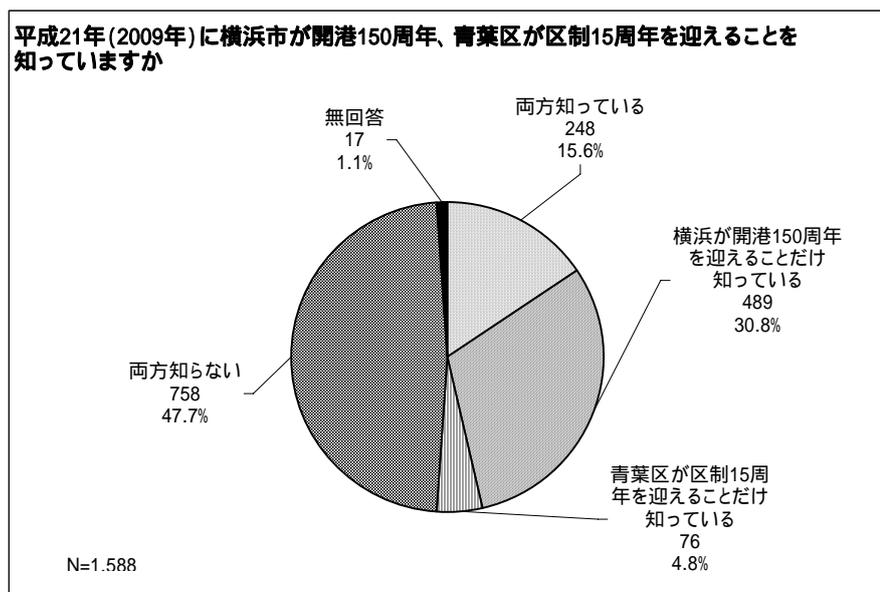
		全体	利用したい	利用するつもりはない	その他	無回答
全 体		1,588	1,100	327	32	129
		100.0	69.3	20.6	2.0	8.1
F7	中里連合自治会	81	65.4	23.5	1.2	9.9
居住地区	中里北部連合町内会	90	72.2	17.8	2.2	7.8
	市ヶ尾連合自治会	78	57.7	34.6	0.0	7.7
	上谷本連合町内会	58	63.8	24.1	1.7	10.3
	谷本連合自治会	136	73.5	18.4	1.5	6.6
	恩田連合自治会	138	71.0	16.7	3.6	8.7
	青葉台連合自治会	227	74.4	15.0	2.2	8.4
	奈良町、奈良北団地連合自治会	142	64.1	23.9	2.8	9.2
	山内連合自治会	212	68.9	23.1	0.9	7.1
	荏田、新荏田連合自治会	215	69.8	22.3	1.9	6.0
	すすき野連合自治会	97	62.9	26.8	3.1	7.2
	美しが丘連合自治会	75	77.3	6.7	4.0	12.0
	無回答	39	69.2	17.9	0.0	12.8

7. 横浜市開港 150 周年、青葉区区制 15 周年について

問 26 あなたは、平成 21 年(2009 年)に横浜市が開港 150 周年、青葉区が区制 15 周年を迎えることを知っていますか。(は1つ)

- ・ 最も多いのは「両方知らない」の 47.7%で、全体の半数弱を占める。次いで「横浜が開港 150 周年を迎えることだけ知っている」(30.8%)、「両方知っている」(15.6%)、「青葉区が区制 15 周年を迎えることだけ知っている」(4.8%)の順となっている。
- ・ 「両方知っている」と「横浜が開港 150 周年を迎えることだけ知っている」は合わせて 46.4%である。「青葉区が区制 15 周年を迎えることだけ知っている」では 20.4%と認知度は低い。

図 - 127 横浜市開港 150 周年、青葉区区制 15 周年の認知度



男女別 横浜市開港 150 周年、青葉区区制 15 周年の認知度(問 26 × F1)

- ・ 男女とも「両方知らない」が最も多い。

図 - 128 男女別 横浜市開港 150 周年、青葉区区制 15 周年の認知度

問26 平成21年に横浜市が開港150周年、青葉区が区制15周年を迎えることを知っていますか

		全体	両方知っ ている	横浜が開港 150周年を迎 えることだ け知ってい る	青葉区が区 制15周年を 迎えること だけ知って いる	両方知らな い	無回答
全 体		1,588	248	489	76	758	17
		100.0	15.6	30.8	4.8	47.7	1.1
F 1 性別	男性	647	17.8	34.6	3.1	43.4	1.1
	女性	896	14.3	28.5	6.0	50.6	0.7
	無回答	45	11.1	22.2	4.4	53.3	8.9

年齢別 横浜市開港 150 周年、青葉区区制 15 周年の認知度(問 26 × F2)

- ・ いずれの世代も「両方知らない」が最も多い。
- ・ 「31～35歳」は、「横浜が開港 150 周年を迎えることだけ知っている」、「76 歳以上」「その他」は「両方知っている」の数値が他世代に比べて高い。

図 - 129 年齢別 横浜市開港 150 周年、青葉区区制 15 周年の認知度

問26 平成21年に横浜市が開港150周年、青葉区が区制15周年を迎えることを知っていますか

		全体	両方知っている	横浜が開港150周年を迎えることだけ知っている	青葉区が区制15周年を迎えることだけ知っている	両方知らない	無回答
全 体		1,588	248	489	76	758	17
		100.0	15.6	30.8	4.8	47.7	1.1
F 2	16～20歳	55	9.1	27.3	0.0	61.8	1.8
年齢	21～25歳	65	7.7	32.3	3.1	56.9	0.0
	26～30歳	96	7.3	31.3	3.1	58.3	0.0
	31～35歳	142	7.0	42.3	2.8	47.9	0.0
	36～40歳	167	13.8	28.1	4.2	53.3	0.6
	41～45歳	172	14.5	30.2	7.0	48.3	0.0
	46～50歳	119	12.6	37.0	5.0	44.5	0.8
	51～55歳	133	16.5	32.3	4.5	45.9	0.8
	56～60歳	171	20.5	25.7	5.3	48.0	0.6
	61～65歳	153	17.0	29.4	7.8	43.8	2.0
	66～70歳	119	21.0	30.3	5.0	41.2	2.5
	76歳以上	84	28.6	29.8	3.6	36.9	1.2
	その他	83	27.7	24.1	6.0	38.6	3.6
	無回答	29	10.3	24.1	3.4	55.2	6.9

居住時期別 横浜市開港 150 周年、青葉区区制 15 周年の認知度(問 26 × F3)

- ・ 「昭和 19 年 (1944 年) 以前」では「横浜が開港 150 周年を迎えることだけ知っている」、「昭和 20 年～29 年 (1945～1954 年)」は「両方知っている」、それ以外は「両方知らない」が最も多い。
- ・ 「昭和 19 年 (1944 年) 以前」は「青葉区が区制 15 周年を迎えることだけ知っている」の数値が他に比べて高くなっている。

図 - 130 居住時期別 横浜市開港 150 周年、青葉区区制 15 周年の認知度

問26 平成21年に横浜市が開港150周年、青葉区が区制15周年を迎えることを知っていますか

		全体	両方知っている	横浜が開港150周年を迎えることだけ知っている	青葉区が区制15周年を迎えることだけ知っている	両方知らない	無回答
全 体		1,588	248	489	76	758	17
		100.0	15.6	30.8	4.8	47.7	1.1
F 3	昭和19年(1944年)以前	17	23.5	41.2	17.6	17.6	0.0
居住時期	昭和20年～29年(1945～1954年)	15	40.0	20.0	6.7	33.3	0.0
	昭和30年～39年(1955～1964年)	23	17.4	21.7	13.0	39.1	8.7
	昭和40年～49年(1965～1974年)	180	25.0	30.6	6.7	36.7	1.1
	昭和50年～59年(1975～1984年)	298	24.5	26.2	5.4	43.6	0.3
	昭和60年～平成元年(1985～1989年)	185	11.9	23.8	6.5	56.2	1.6
	平成2年～6年(1990～1994年)	143	12.6	26.6	5.6	55.2	0.0
	平成7年～11年(1995～1999年)	244	13.1	30.7	5.3	49.6	1.2
	平成12年～16年(2000～2004年)	280	10.0	36.1	1.8	51.1	1.1
	平成17年～(2005年～)	162	7.4	43.2	1.2	47.5	0.6
	わからない	4	0.0	25.0	0.0	75.0	0.0
	無回答	37	10.8	32.4	2.7	48.6	5.4

居住地区別 横浜市開港 150 周年、青葉区区制 15 周年の認知度(問26 × F7)

- ・ 「市ヶ尾連合自治会」で「横浜が開港 150 周年を迎えることだけ知っている」が最も多くなっているのを除き、それ以外の地域では「両方知らない」が最も多い。

図 - 131 居住地区別 横浜市開港 150 周年、青葉区区制 15 周年の認知度

問26 平成21年に横浜市が開港150周年、青葉区が区制15周年を迎えることを知っていますか

		全体	両方知っている	横浜が開港150周年を迎えることだけ知っている	青葉区が区制15周年を迎えることだけ知っている	両方知らない	無回答
全 体		1,588	248	489	76	758	17
		100.0	15.6	30.8	4.8	47.7	1.1
F 7	中里連合自治会	81	13.6	35.8	7.4	43.2	0.0
居住地区	中里北部連合町内会	90	21.1	15.6	3.3	58.9	1.1
	市ヶ尾連合自治会	78	9.0	43.6	7.7	37.2	2.6
	上谷本連合町内会	58	15.5	31.0	5.2	48.3	0.0
	谷本連合自治会	136	16.9	31.6	4.4	46.3	0.7
	恩田連合自治会	138	18.8	31.9	6.5	42.0	0.7
	青葉台連合自治会	227	16.3	32.2	4.8	44.5	2.2
	奈良町、奈良北団地連合自治会	142	9.9	27.5	4.9	57.0	0.7
	山内連合自治会	212	17.5	29.2	4.2	48.6	0.5
	荏田、新荏田連合自治会	215	19.1	28.4	4.7	46.5	1.4
	すすき野連合自治会	97	10.3	38.1	4.1	47.4	0.0
	美しが丘連合自治会	75	12.0	30.7	1.3	56.0	0.0
	無回答	39	12.8	30.8	2.6	48.7	5.1

問 27 あなたは青葉区制 15 周年記念事業として、区役所が区民と共にどのようなことを行うと良いと思いますか。(はいくつでも)

- ・ 「記念誌の発行」が最も多く 31.2%である。次いで「音楽祭の開催」(27.6%)、「スポーツイベントの開催」(19.6%)、「式典の開催」(16.7%)「その他」(16.6%)、「記念グッズの作成」(12.0%)、「ミュージカルの開催」(6.3%)、「映画の作成」(4.0%)の順となっている。
- ・ 「その他」として具体的な記述があったのは 246 件で、計 262 件の意見が挙げられた。このうち 188 件が「不要」とするもので、理由として「無駄」が 133 件、その他にも「税金を他に利用」「広報事業」などの意見がみられた。「記念事業」の開催は 62 件、できるだけ簡素化した形での「開催」が 12 件であった。

図 - 132 青葉区制 15 周年記念事業として望ましいもの

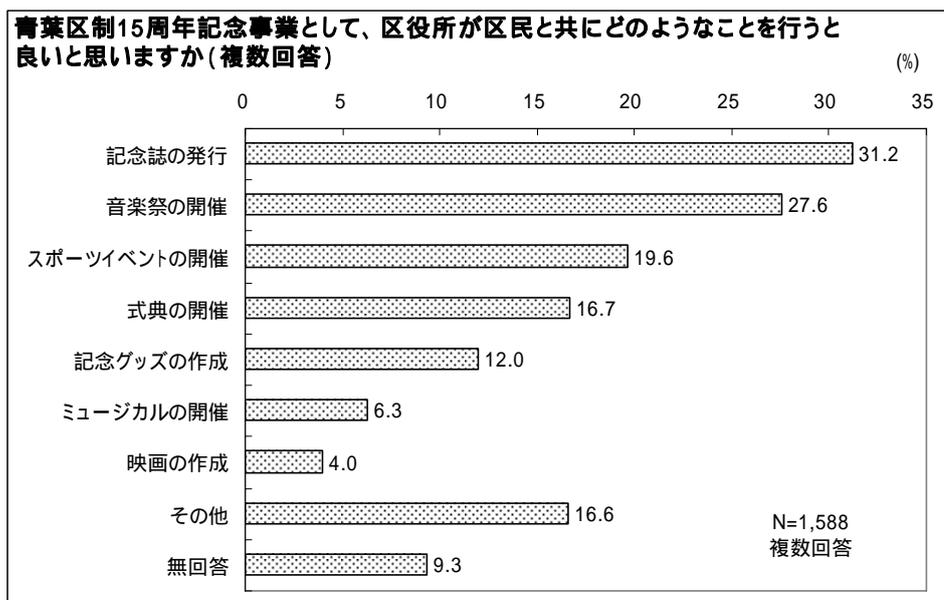


図 - 133 「その他」意見内容

意見内容	件数
不要	188
無駄	138
税金を他に利用	33
広報事業	13
区政の充実	3
キャンペーン	1
記念事業	62
イベントの実施	34
記念植樹	8
記念品	8
キャンペーン	4
記念施設	3
記念事業	3
具体的事業案	2
開催	12
できるだけ簡素化	12
総計	262

男女別 青葉区制 15 周年記念事業として望ましいもの(問27× F1)

- ・ 男性は「記念誌の発行」、女性は「音楽祭の開催」が最も多くなっている。

図 - 134 男女別 青葉区制 15 周年記念事業として望ましいもの

問27 青葉区制15周年記念事業として、区役所が区民と共にどのようなことを行うと良いと思いますか(複数回答)

		全体	式典の開催	記念誌の発行	音楽祭の開催	映画の作成	ミュージカルの開催	スポーツイベントの開催	記念グッズの作成	その他	無回答
全体		1,588	265	495	438	63	100	312	190	264	148
		-	16.7	31.2	27.6	4.0	6.3	19.6	12.0	16.6	9.3
F 1 性別	男性	647	17.0	32.8	22.3	4.3	5.3	21.2	13.4	20.9	7.6
	女性	896	17.1	30.4	31.9	3.8	7.3	18.9	11.4	13.4	9.5
	無回答	45	4.4	24.4	17.8	2.2	2.2	13.3	2.2	20.0	31.1

年齢別 青葉区制 15 周年記念事業として望ましいもの(問27× F2)

- ・ 「16～20歳」から「36～40歳」までの世代と「51～55歳」で「音楽祭の開催」、「41～45歳」「46～50歳」と「56～60歳」以上の世代及び「その他」で「記念誌の発行」が最も多くなっている。
- ・ 「16～20歳」では「式典の開催」と「記念グッズの作成」、「31～35歳」では「スポーツイベントの開催」が、それぞれ他の世代より数値が高くなっている。

図 - 135 年齢別 青葉区制 15 周年記念事業として望ましいもの

問27 青葉区制15周年記念事業として、区役所が区民と共にどのようなことを行うと良いと思いますか(複数回答)

		全体	式典の開催	記念誌の発行	音楽祭の開催	映画の作成	ミュージカルの開催	スポーツイベントの開催	記念グッズの作成	その他	無回答
全体		1,588	265	495	438	63	100	312	190	264	148
		-	16.7	31.2	27.6	4.0	6.3	19.6	12.0	16.6	9.3
F 2 年齢	16～20歳	55	29.1	23.6	36.4	5.5	10.9	21.8	32.7	14.5	1.8
	21～25歳	65	24.6	29.2	36.9	4.6	7.7	23.1	12.3	12.3	7.7
	26～30歳	96	20.8	14.6	27.1	4.2	8.3	21.9	14.6	16.7	12.5
	31～35歳	142	19.7	23.2	30.3	4.9	10.6	28.9	8.5	18.3	5.6
	36～40歳	167	21.6	21.6	25.7	0.0	9.6	24.0	12.0	19.2	9.0
	41～45歳	172	15.1	25.6	22.7	1.7	7.0	18.6	15.1	24.4	7.6
	46～50歳	119	16.0	32.8	25.2	5.9	6.7	20.2	13.4	21.0	10.1
	51～55歳	133	15.8	27.8	34.6	6.0	3.0	23.3	9.0	18.8	6.8
	56～60歳	171	14.0	36.8	31.0	1.8	3.5	12.3	12.3	16.4	5.8
	61～65歳	153	13.1	32.0	26.1	6.5	5.2	19.6	9.8	16.3	9.2
	66～70歳	119	11.8	50.4	20.2	1.7	1.7	17.6	9.2	10.1	11.8
	76歳以上	84	14.3	48.8	21.4	4.8	4.8	11.9	10.7	6.0	16.7
	その他	83	13.3	48.2	28.9	9.6	4.8	9.6	7.2	7.2	18.1
無回答	29	6.9	24.1	27.6	3.4	6.9	20.7	6.9	20.7	20.7	

家族の状況別 青葉区制15周年記念事業として望ましいもの(問27×F9)

- ・「同居の子ども」についてはその有無にかかわらず、「記念誌の発行」が最も多い。
- ・ただし、子どもの状況によっては回答が分散し、子どもが「未就学」「専門学校生、大学生」の場合は「音楽祭の開催」、「小学生」の場合は「スポーツイベントの開催」、「中学生」「高校生」「その他」の場合は「記念誌の発行」に支持が集まっている。
- ・「65歳以上の家族」が「いる」場合は「記念誌の発行」、「いない」場合は「音楽祭の開催」が最も多くなっている。
- ・「日中子どもの世話をする人」が「いる」場合は「音楽祭の開催」、「いない」場合は「記念誌の発行」が最も多くなっている。
- ・共働きを「している」場合は「音楽祭の開催」、「していない」場合は「記念誌の発行」が最も多くなっている。

図 - 136 家族の状況別 青葉区制15周年記念事業として望ましいもの

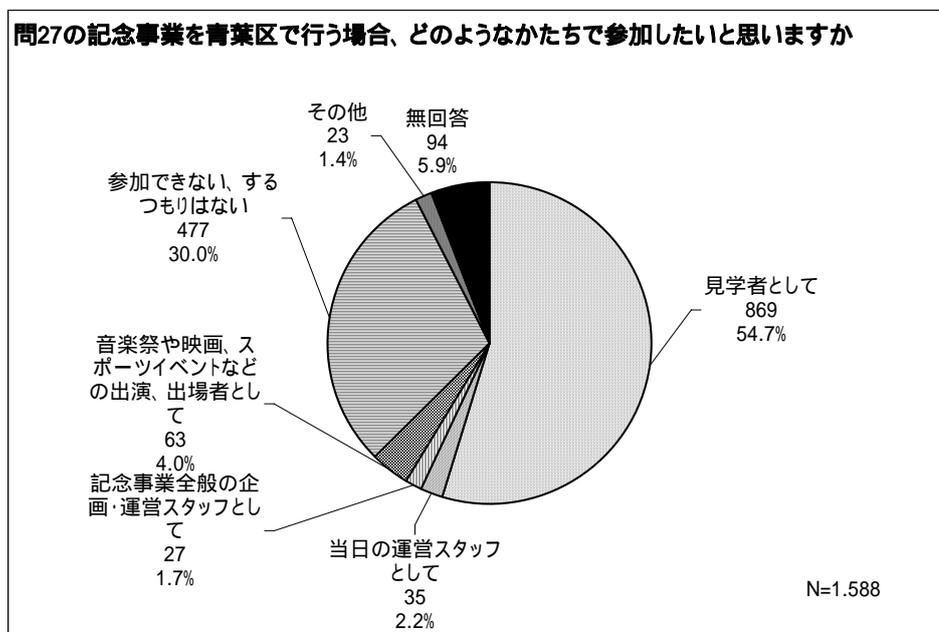
問27 青葉区制15周年記念事業として、区役所が区民と共にどのようなことを行うと良いと思いますか(複数回答)

		全体	式典の開催	記念誌の発行	音楽祭の開催	映画の作成	ミュージカルの開催	スポーツイベントの開催	記念グッズの作成	その他	無回答
全 体		1,588	265	495	438	63	100	312	190	264	148
		-	16.7	31.2	27.6	4.0	6.3	19.6	12.0	16.6	9.3
F9-1 同居の子ども	いる	865	17.2	29.7	26.9	3.4	6.8	21.6	11.6	16.5	8.0
	いない	689	16.4	32.9	28.6	4.9	5.8	17.4	12.8	16.8	10.4
	無回答	34	8.8	32.4	23.5	0.0	2.9	14.7	5.9	14.7	20.6
子どもの 状況	未就学	240	23.3	18.8	26.7	3.3	10.0	25.4	10.4	19.6	6.7
	小学生	218	16.1	23.9	25.7	1.8	9.6	26.6	10.1	21.1	7.3
	中学生	120	15.8	32.5	23.3	2.5	4.2	22.5	15.0	19.2	9.2
	高校生	106	17.9	36.8	24.5	5.7	4.7	23.6	12.3	13.2	8.5
	専門学校生、大学生	137	11.7	26.3	32.1	2.9	4.4	19.7	16.8	19.0	6.6
	その他	250	16.0	38.8	27.2	3.6	5.2	16.0	9.6	12.4	10.4
	無回答	18	11.1	33.3	11.1	11.1	0.0	16.7	5.6	16.7	16.7
F9-3 65歳以上 の家族	いる	442	18.6	37.1	28.5	4.3	5.0	18.8	9.3	16.1	10.0
	いない	1,025	16.3	28.2	28.3	3.9	7.2	20.5	13.6	17.2	8.1
	無回答	121	13.2	34.7	18.2	3.3	3.3	15.7	8.3	14.0	17.4
F9-4 日中子どもの 世話をする人	いる	521	17.9	28.6	30.7	3.1	7.3	23.4	11.9	16.5	7.5
	いない	758	17.2	31.1	27.0	5.0	6.5	19.4	13.7	16.9	8.0
	無回答	309	13.6	35.6	23.6	2.9	4.2	13.9	7.8	16.2	15.5
F9-5 共働き	している	345	17.7	27.2	28.7	4.6	7.0	24.1	16.8	18.8	4.9
	していない	1,057	17.0	31.5	28.9	4.1	6.9	19.5	11.1	16.0	9.0
	無回答	186	12.9	36.6	17.7	2.2	1.6	12.4	8.1	16.1	19.4

問 28 あなたは問 27 の記念事業を青葉区で行う場合、どのようなかたちで参加したいと思いますか。(は 1 つ)

- ・ 「見学者として」が最も多く 54.7%と半数を超え、次いで「参加できない、するつもりはない」(30.0%)となっている。以下「音楽祭や映画、スポーツイベントなどの出演、出場者として」(4.0%)、「当日の運営スタッフとして」(2.2%)、「記念事業全般の企画・運営スタッフとして」(1.7%)、「その他」(1.4%)の順となっており、スタッフや出場者としての参加意向は合わせて 7.9%である。

図 - 137 記念事業への参加形態



男女別 記念事業への参加形態(問28 × F1)

- ・ 男女とも「見学者として」が最も多くなっている。

図 - 138 男女別 記念事業への参加形態

問28 記念事業を青葉区で行う場合、どのようなかたちで参加したいと思いますか

		全体	見学者として	当日の運営スタッフとして	記念事業全般の企画・運営スタッフとして	音楽祭や映画、スポーツイベントなどの出演、出場者として	参加できない、するつもりはない	その他	無回答
全 体		1,588	869	35	27	63	477	23	94
		100.0	54.7	2.2	1.7	4.0	30.0	1.4	5.9
F 1 性別	男性	647	52.1	2.8	2.2	4.5	31.7	1.7	5.1
	女性	896	57.6	1.9	1.3	3.5	28.7	1.3	5.7
	無回答	45	35.6	0.0	2.2	6.7	33.3	0.0	22.2

年齢別 記念事業への参加形態(問28× F2)

- ・ いずれの世代も「見学者として」が最も多くなっている。
- ・ また、「16～20歳」では「音楽祭や映画、スポーツイベントなどの出演、出場者として」、「26～30歳」「その他」では「参加できない、するつもりはない」が、それぞれ他の世代よりやや数値が高くなっている。

図 - 139 年齢別 記念事業への参加形態

問28 記念事業を青葉区で行う場合、どのようなかたちで参加したいと思いますか

		全体	見学者として	当日の運営スタッフとして	記念事業全般の企画・運営スタッフとして	音楽祭や映画、スポーツイベントなどの出演、出場者として	参加できない、するつもりはない	その他	無回答
全 体		1,588	869	35	27	63	477	23	94
		100.0	54.7	2.2	1.7	4.0	30.0	1.4	5.9
F 2 年齢	16～20歳	55	54.5	3.6	7.3	12.7	18.2	1.8	1.8
	21～25歳	65	60.0	3.1	0.0	7.7	26.2	1.5	1.5
	26～30歳	96	51.0	0.0	1.0	5.2	39.6	0.0	3.1
	31～35歳	142	54.9	1.4	2.1	7.0	28.9	0.7	4.9
	36～40歳	167	60.5	0.6	0.6	4.2	29.3	1.2	3.6
	41～45歳	172	58.7	2.9	1.2	1.7	29.1	2.3	4.1
	46～50歳	119	48.7	3.4	4.2	1.7	31.1	4.2	6.7
	51～55歳	133	51.9	3.8	1.5	4.5	29.3	3.8	5.3
	56～60歳	171	52.0	4.7	1.2	1.8	32.2	1.2	7.0
	61～65歳	153	54.9	2.0	2.6	2.6	28.8	1.3	7.8
	66～70歳	119	58.0	1.7	0.0	4.2	30.3	0.0	5.9
	76歳以上	84	61.9	1.2	1.2	2.4	25.0	0.0	8.3
	その他	83	47.0	0.0	0.0	1.2	39.8	0.0	12.0
無回答	29	37.9	0.0	6.9	10.3	24.1	0.0	20.7	

居住地区別 記念事業への参加形態(問28× F7)

- ・ いずれの地域も「見学者として」が最も多くなっている。
- ・ また、「奈良町、奈良北団地連合自治会」では「参加できない、するつもりはない」が他の地域より数値が高い。

図 - 140 居住地区別 記念事業への参加形態

問28 記念事業を青葉区で行う場合、どのようなかたちで参加したいと思いますか

		全体	見学者として	当日の運営スタッフとして	記念事業全般の企画・運営スタッフとして	音楽祭や映画、スポーツイベントなどの出演、出場者として	参加できない、するつもりはない	その他	無回答
全 体		1,588	869	35	27	63	477	23	94
		100.0	54.7	2.2	1.7	4.0	30.0	1.4	5.9
F 7 居住地区	中里連合自治会	81	54.3	2.5	2.5	1.2	32.1	1.2	6.2
	中里北部連合町内会	90	53.3	2.2	1.1	3.3	35.6	0.0	4.4
	市ヶ尾連合自治会	78	55.1	1.3	1.3	7.7	24.4	1.3	9.0
	上谷本連合町内会	58	62.1	1.7	0.0	5.2	22.4	5.2	3.4
	谷本連合自治会	136	61.0	2.2	2.2	6.6	22.8	1.5	3.7
	恩田連合自治会	138	56.5	2.9	0.7	4.3	28.3	2.9	4.3
	青葉台連合自治会	227	52.9	4.0	2.6	4.8	30.8	0.0	4.8
	奈良町、奈良北団地連合自治会	142	48.6	1.4	1.4	3.5	38.7	0.0	6.3
	山内連合自治会	212	54.2	1.4	1.9	2.4	31.6	1.9	6.6
	荏田、新荏田連合自治会	215	57.2	1.9	1.4	2.8	27.4	2.3	7.0
	すすき野連合自治会	97	57.7	2.1	1.0	1.0	34.0	2.1	2.1
	美しが丘連合自治会	75	46.7	2.7	2.7	5.3	29.3	1.3	12.0
	無回答	39	48.7	0.0	2.6	7.7	28.2	0.0	12.8

問 29 青葉区政について、具体的なご意見、ご要望、ご提案などございましたら、自由にご記入ください。

- ・ 青葉区政についての意見として、416 件の記述があり、計 680 件の意見が挙げられた。意見が多かったのは、分野ごとに「行政」173 件、「環境」139 件、「交通・道路」101 件、「教育・文化」90 件、「福祉」79 件、「防犯・防災」47 件、「ゴミ」35 件、「医療」11 件、「地域」5 件の順である。
- ・ 各分野の中で項目をまとめてみると、最も多かったのは「行政窓口・サービス」についての意見で 53 件である。その他、目立ったものとしては「福祉（子育て）」について 47 件、「行政としての姿勢」について 44 件、「交通」について 40 件、「道路」について 36 件、「自然・緑・河川」について 33 件、「住宅環境」について 32 件、「税金」について 30 件などとなっている。

図 - 141 青葉区政についての具体的な意見、要望、提案

大分類	中分類	計
1. 交通・道路		101
	交通	40
	道路	36
	交通マナー	14
	駐輪場・駐車場	11
2. 環境		139
	自然・緑・河川	33
	住宅環境	32
	環境教育	24
	街の環境	22
	公園	14
	店舗	8
	店舗（郵便）	3
	街のイメージ	2
家庭環境	1	
3. ゴミ		35
	ゴミ収集	19
	ゴミの分別	16
4. 教育・文化		90
	施設	30
	教育（小学校）	10
	教育（中学校）	3
	教育	9
	文化（図書館）	30
	文化（イベント）	7
文化	1	
5. 福祉		79
	福祉（子育て）	47
	福祉（高齢者）	21
	福祉（障害児）	2
	福祉（障害者）	1
	福祉（生活保護）	1
	福祉（難病）	1
福祉	6	
6. 防犯・防災		47
	防犯（交番・パトロール）	22
	防犯（街灯）	17
	防犯（不審者）	1
	防犯	1
	防災	6
7. 医療		11
	医療	9
	健康診断	1
8. 地域		5
	地域交流	3
	ボランティア	2
9. 行政		173
	行政窓口・サービス	53
	行政としての姿勢	44
	税金	30
	行政の広報・広聴	19
	目指す青葉区の姿	17
	その他	5
	世の中の動向	3
	区民としての姿勢	1
	職員の不正	1
	総計	

- ・ 各分野ごとに多く出されている意見としては、「1. 交通・道路」については「歩道の整備」(14件)「バス路線の充実、増便」(12件)「駐車違反の取締り強化」(11件)などである。
- ・ 「2. 環境」については「緑保全を積極的にするべき」(22件)が目立って多い。
- ・ 「3. ごみ」については「ごみ収集の日を増やして欲しい」(14件)などである。
- ・ 「4. 教育・文化」では「図書館が欲しい」(24件)が目立っているほか、「スポーツ関連施設が欲しい(ジム、運動場等)」(10件)などとなっている。
- ・ 「5. 福祉」については「子育て支援や遊び場の充実」(12件) 子育てに関わる「医療費の援助」(11件)などである。
- ・ 「6. 防犯・防災」については「街灯が少なく夜道が危険」(14件)「パトロールの強化、改善」(13件)などである。
- ・ 「7. 医療」「8. 地域」についてはまとまった意見は少なく、「がん検診等の対象年齢の拡大」「医療の充実」「地域交流が必要」に各3件意見が寄せられている。
- ・ 「9. 行政」については「(税金を)不正・無駄に使わない様に」(13件)などである。

図 - 142 青葉区政についての具体的な意見、要望、提案(小分類まで)

大分類	中分類	小分類	集計
1. 交通・道路	交通	バス路線の充実、増便	12
		人口増加に伴う交通・電車の渋滞の対策が必要	8
		東急田園都市線の運行の見直し	4
		バス停設備の充実	2
		交通が不便	2
		バス路線の民営化	2
		交通の便がよく便利	1
		バス、電車の本数が少ない	1
		バス運賃値下げ	1
		駅の整備が必要(あざみの駅)	1
		交通手段を考えて開発を許可すべき	1
		市営地下鉄の新百合ヶ丘への延伸	1
		市営地下鉄は電車の中が汚い	1
		市営地下鉄事業の充実	1
		東急田園都市線の混雑がひど過ぎる	1
		東急に頼りすぎ	1
		交通 集計	
	交通マナー	駐車違反の取締り強化	11
		交通マナーの取り締まり強化(歩行者優先)	1
		駐輪違反の取締り強化	1
		夜間の自転車ライト点灯の徹底	1
	交通マナー 集計		14
	駐輪場・駐車場	駐車場の設置	5
駅前の駐輪場不足の回避		4	
駐車・駐輪場の確保		2	
駐輪場・駐車場 集計		11	
道路	歩道の整備	14	
	交通渋滞が激しい	5	
	自転車路の整備、改良	4	
	道路の整備、増設が必要	4	
	交差点の改良、信号機の設置	4	
	バリアフリーを増やしてほしい	1	
	駅前に送迎者用ルートの確保	1	
	高速道路沿いの住宅の騒音・排ガス対策	1	
	坂に名前をつけてほしい	1	
	不必要な道路整備の中止	1	
道路 集計		36	
1. 交通・道路 集計		101	

大分類	中分類	小分類	集計	
2.環境	家庭環境	家族の絆を深める方策・支援が必要	1	
	家庭環境 集計		1	
	街のイメージ	デザインセンスの良い街並みに 街並みの整備	1 1	
	街のイメージ 集計		2	
	街の環境	乱開発の抑制 駅周辺の環境整備 駅前の広告・看板の規制をすべき 道路（路上）が汚い 市ヶ尾大好き 青葉区が好き 都市と農村がほどよく調和 マナーが悪い 駅前に緑が欲しい	8 3 3 3 1 1 1 1 1	
	街の環境 集計		22	
	環境教育	歩行者禁煙とポイ捨て取締り強化 自動車保有台数の削減 ベットのマナーの徹底とルールが必要 環境対策を積極的にすべき マンションの住人にマナー指導徹底 リサイクル製品の表示の徹底 温暖化対策に積極的に取り組むべき 環境教育を学校でして欲しい 高圧線が心配 合成洗剤の環境への負荷 農作物の地産地消の推進 野良猫の管理が必要	9 3 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1	
	環境教育 集計		24	
	公園	ボール遊びができる公園が欲しい かやの木公園横の雨水調整池の整備 こどもが遊べる公園が欲しい スポーツをする広場が欲しい バーベキューができる公園が欲しい かたらい宿公園の藤棚を切った理由が知りたい 公園が欲しい 公園にドッグランを作って欲しい 公園のマナーを取り締まって欲しい 公園の遊具を見直して欲しい 放置されている場所を公園に提供	4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
	公園 集計		14	
	自然・緑・河川	緑保全を積極的にすべき 川（恩田川）の環境整備 空気をきれいに 緑が残る里山が気に入っている あざみ野にあざみを返して欲しい 蚊の駆除を要望 区の土地（空き地）の整備	22 5 2 1 1 1 1	
	自然・緑・河川 集計		33	
	住宅環境	街路樹の管理・整備 建築基準など余裕のある街づくりを 電柱・電線の地中化 静かな住宅環境に感謝 遊歩道・公園の管理・整備 高層住宅、集合住宅は増やして欲しくない バランスが取れていて気に入っている 自然が多くてよい 青葉区は住みやすい 便利でおしゃれな街で気に入っている 落ち着いていていい所 近くに銭湯が欲しい 青葉台駅周辺の再開発 焚き火の禁止や規制を早急に 米軍の戦闘機の騒音の軽減	9 5 3 2 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
	住宅環境 集計		32	
	店舗	駅に大きな店舗は不要 風俗店の禁止 荏田駅に商店が欲しい 商店街の活性化が必要 大きなスーパーは駅前で充分 大規模なデパートを作って欲しい	2 2 1 1 1 1	
	店舗 集計		8	
	店舗（郵便）	ポストが少ない 郵便の配達時間帯を早くして欲しい 郵便局が少ない	1 1 1	
	店舗（郵便） 集計		3	
	2.環境 集計			139

大分類	中分類	小分類	集計
3.ごみ	ごみの分別	ごみ分別方法・出し方の改善、見直し	5
		ごみの分別をさらに細かくするべき	2
		ごみの分別を徹底させてほしい	2
		分別が不明で戸惑うことがある	2
		ごみの分別がよく出来ている	1
		ごみの分別収集車が適正に分別しているか疑問	1
		ごみを残さず収集して欲しい	1
		ごみ出しルール厳守の為の対策が必要	1
		さらなる環境問題に挑戦するべき	1
		ごみの分別 集計	16
	ごみ収集	ごみ収集の日を増やして欲しい	14
ごみ袋が指定袋でなくて良い		1	
ごみの捨て場所が徹底されていない		1	
回収後の掃除は清掃車でやって欲しい		1	
各戸ごみ出し制を望む(ごみネット制が大変)		1	
高齢者のごみ収集を個別にお願いしたい		1	
ごみ収集 集計	19		
3.ごみ 集計			35
4.教育・文化	教育	小中学校の適切な配置	4
		こどもの社会性向上支援策(案)	1
		教員の質向上	1
		公立小中学校の教育の充実	1
		親の教育を支援	1
		幼稚園、小・中学校が少ない	1
	教育 集計	9	
	教育(小学校)	学童保育の充実	3
		小学校を増やしてほしい	2
		学校にSPRの授業(地域の職業体験)	1
		学校に地域のボランティア教室を入れる	1
		学校を地域に開放するべき	1
		帰国子女受け入れ指定の小学校が欲しい	1
		通学路の坂が大変(荏田駅近く)	1
	教育(小学校) 集計	10	
	教育(中学校)	中学校を給食にして欲しい	2
		あざみ野中学に思いやる心の教育を	1
	教育(中学校) 集計	3	
	施設	スポーツ関連施設が欲しい(ジム、運動場等)	10
		文化関連施設が欲しい(美術館、ホール等)	4
		あざみ野の学校用売却地をスポーツ施設に	3
不便な所に住む人への配慮をすべき		3	
プールが欲しい		2	
施設利用システムが不公平		2	
コミュニティハウスが欲しい		1	
コミュニティハウスの運営に疑問		1	
施設の冷暖房を適宜に使えるように		1	
青葉国際交流ラウンジ移動が不満		1	
天然温泉がほしい		1	
必要な施設をよく検討してから作るべき	1		
施設 集計	30		
文化	子ども達の絵を市の施設に展示	1	
文化 集計	1		
文化(イベント)	不便な所に住む人への文化的行事	4	
	スポーツ教室の増設	1	
	外国人との交流フェスタ開催	1	
	冬期にスキーイベントを企画して欲しい	1	
文化(イベント) 集計	7		
文化(図書館)	図書館が欲しい	24	
	図書館(地区センター)の蔵書充実	3	
	図書館が嬉しい	1	
	図書館に駐車場が欲しい	1	
	図書館の受け取りサービスの増設	1	
文化(図書館) 集計	30		
4.教育・文化 集計			90

大分類	中分類	小分類	集計	
5.福祉	福祉	福祉の充実	4	
		弱者に対しての交通バス支援	1	
		福祉施設の統合	1	
	福祉 集計			6
	福祉（高齢者）	福祉（高齢者）	高齢者福祉施設の増設	5
			介護職・介護者への支援	2
			高齢者福祉の充実	4
			敬老の日のイベント・記念品が欲しい	1
			高齢者のボランティア推進	1
			高齢者の施設の充実・支援	1
			高齢者の住みにくい世の中になった	1
			高齢者をサポートするシステムが必要	1
			自立した高齢者のマンションが欲しい	1
			独居老人の見守りに民生委員を増員して欲しい	1
			老後の生活に補助が欲しい	1
	老人のバス料金を無料にして欲しい	1		
	老人ホームの見学会開催	1		
	福祉（高齢者） 集計			21
	福祉（子育て）	福祉（子育て）	子育て支援や遊び場の充実	12
			医療費の援助	11
			幼稚園、保育園、各種託児施設の増加	9
			幼稚園、保育園の負担補助	4
			子育て事業を各地域での実施	2
			保健福祉センターの方が親切	2
			こどもの教育に熱心な親が多い	1
			健診・予防注射等の案内が欲しい	1
			健診をスムーズに行うべき	1
公園利用のマナーの啓蒙活動			1	
産前検診（歯科）を一般開業医で受診にしたい			1	
子育て世代の減税を			1	
保育園の延長保育を希望			1	
保育士の養成をして欲しい			1	
福祉（子育て） 集計			47	
福祉（障害児）	福祉（障害児）	重い自閉症児への支援	1	
		障害のある子にも優しく接して欲しい	1	
福祉（障害児） 集計			2	
福祉（障害者）	福祉（障害者）	障害者福祉の充実	1	
福祉（障害者） 集計			1	
福祉（生活保護）	福祉（生活保護）	生活保護者支援の充実	1	
福祉（生活保護） 集計			1	
福祉（難病）	福祉（難病）	難病に対する支援が欲しい	1	
福祉（難病） 集計			1	
5.福祉 集計			79	
6.防犯・防災	防災	地震対策の定期的な訓練をするべき	3	
		災害に強い区政	1	
		地域の防災活動・訓練の徹底	1	
		地球温暖化による台風対策拡充	1	
	防災 集計			6
	防犯	防犯	鶴見川沿いの散歩道の整備	1
	防犯 集計			1
	防犯（街灯）	防犯（街灯）	街灯が少なく夜道が危険	14
			夜間の防犯灯の設置に感謝	1
			街灯の電気代は税金で払うべき	1
			防犯灯や防犯カメラの設置	1
	防犯（街灯） 集計			17
	防犯（交番・パト）	防犯（交番・パト）	パトロールの強化、改善	13
交番の増設			5	
少年犯罪の予防促進			2	
交番の場所をわかりやすく			1	
犯罪の取り締まり強化			1	
防犯（交番・パトロール） 集計			22	
防犯（不審者）	防犯（不審者）	不審者情報のメール配信制度の導入	1	
防犯（不審者） 集計			1	
6.防犯・防災 集計			47	
7.医療	医療	がん検診等の対象年齢の拡大	3	
		医療の充実	3	
		夜間医療の充実	2	
		不妊治療に対する支援、助成	1	
		医療 集計		
	健康診断	健康診断	がん検診を若くても無料にして欲しい	1
健康診断 集計			1	
病院	病院	病院に付属の保育所を設置	1	
病院 集計			1	
7.医療 集計			11	
8.地域	ボランティア	シニアボランティアの支援・促進	1	
		若い人達のボランティア参加	1	
	ボランティア 集計			2
	地域交流	地域交流	地域交流が必要	3
地域交流 集計			3	
8.地域 集計			5	

大分類	中分類	小分類	集計
9.行政	行政窓口・サービス	職員のサービス、マナーが悪い	9
		土・日利用と平日の時間延長	8
		職員の対応が良くなった、感謝	6
		区役所に行くのが不便、無料バスが欲しい	5
		行政サービスコーナーの充実	5
		区役所、公共施設の設備改善	4
		窓口業務の内容拡充	3
		合理化、効率化	3
		職員の資質向上	2
		公共サービスの充実	2
区政にお世話になっていない	1		
区役所や警察署など公共施設が見学ができるとよい	1		
国民年金の通知の名前が違い不安	1		
集合住宅の建替の行政の援助が欲しい	1		
地区センターで区役所業務をすべき	1		
福利厚生が川崎に比べてよくない	1		
	行政窓口・サービス 集計		53
	行政としての姿勢	市民のための区政を	7
		中長期を見据えた高齢者福祉	5
		区長・区議の方は地域に出て欲しい	3
		区政の目的・方針・情報の周知	3
		クリーンな区政	2
		公としての責任と自覚	2
		行政において地域格差を無くすべき	2
		市政を補助する区政であるべき	2
		東急と一体となった行政区を構築	2
		企業の設置やSOHO（在宅勤務）など支援	1
		区と民間の協力体制が必要	1
		区政も利益を上げる自治する姿勢が必要	1
		区政より市政をしっかりと欲しい	1
		区民参加の区政を希望	1
		合理化	1
		子どもが安全に生活できる	1
		実施内容が目に見えた成果が出ていない	1
		新しい文化振興の区として尽力願いたい	1
		人口動態と行政機能のバランスが悪い	1
		青葉市になって欲しい	1
		中長期を見据えた行政方針	1
		土地の購入に補助が欲しい	1
		福祉重視の行政をして欲しい	1
		隣接する市とのPR行政をするべき	1
		労働条件の向上を望む	1
	行政としての姿勢 集計		44
	税金	不正・無駄に使わない様に	13
		税金が高い	8
		15周年行事は無駄	7
		公務員の数を減らすべき	1
		年金が不安	1
	税金 集計		30
	行政の広報・広聴	行政サービスの周知広報	4
		意見・要望を気軽に言える窓口が必要	3
		公共施設の周知広報	2
		行政情報の各戸配布	2
		広報よこはまの充実	2
		広報で情報が得易い	1
		アンケートの目的・用途を明確に	1
		一人の意見を聞いてちゃんと聞いて欲しい	1
		外国人に対しての情報提供の充実	1
		地域福祉活動での就労情報が欲しい	1
		老後の支援の情報の周知	1
	行政の広報・広聴 集計		19
	世の中の動向	物価が高い	3
	世の中の動向 集計		3
	目指す青葉区の姿	子どもや高齢者に優しいまち	4
		青葉区らしい街づくりを	4
		教育・文化、自然豊かな青葉区を望む	3
		全国に誇れる青葉区に	3
		外国人も安心して住める街	1
		生活費が高くない青葉区を望む	1
		夢のある青葉区を	1
	目指す青葉区の姿 集計		17
	職員の不正	バス運賃の管理が不安	1
	職員の不正 集計		1
	区民としての姿勢	住民の区政への関心の喚起	1
	区民としての姿勢 集計		1
	その他	区長を選挙で選びたい	2
		市長は甘い	1
		青葉区に対する市の投資が少なすぎる	1
		投票所で残念な扱いを受けた	1
	その他 集計		5
9.行政 集計			173
総計			680

調查票

平成19年度 青葉区区民意識調査

【調査ご協力をお願い】

区民の皆様には、日頃から区政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

この度、青葉区では、「青葉区区民意識調査」を実施することになりました。

この調査は、青葉区にお住まいの皆様の生活について行動や意識をうかがい、今後の区政の参考とするために行うものです。

お忙しいところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力下さいますようお願い申し上げます。

なお、この調査の結果は統計的に処理されますので、あなたのご意見や個人情報も直接外部に公表されることは絶対にありません。また、いただいたご回答は本調査の目的以外には一切利用いたしません。

平成19年9月

青葉区長 細谷 延

<ご記入にあたって>

封筒のあて名のご本人様をご回答下さい。

回答方法は、各設問の中で該当する回答（選択肢）の番号を で囲んで下さい。

の数は、（ ）は1つ、（ ）はいくつでも）のように示してありますので、それに合わせてつけてください。また、「その他」にあてはまる場合は、（ ）内にできるだけ具体的にその内容をお書きください。

質問によっては、ご回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印やことわり書きにご注意下さい。

鉛筆または黒のボールペンでご記入下さい。

ご記入いただきましたこの調査票は、同封の返信用封筒に入れ、**9月18日(火)まで**にご投函下さい。（お名前の記入は不要です。）

この調査に関するご質問等は、下記までお問合せ下さい。

青葉区役所 区政推進課 企画調整係 電話:045-978-2217

ファックス:045-978-2410

E-mail:ao-kikaku@city.yokohama.jp

青葉区について

問1 あなたは青葉区のどのようなところに魅力を感じますか。(は1つ)

1 豊かな緑、丘陵、田園風景などの自然環境に恵まれている 2 歴史、文化的資源が豊富である 3 整然とした良好なまちなみである 4 病院、学校、道路などの生活基盤が整っている 5 教育や文化の水準が高い 6 地域活動が盛んである 7 魅力的な店が多い 8 都心に近く、通勤、通学や買い物などに便利である 9 福祉サービスが充実している 10 特に魅力を感じない 11 その他(具体的に: _____)

問2 あなたは青葉区に住み続けたいと思いますか。(は1つ)

1 今住んでいるところに住み続けたい 2 青葉区内のどこかに住み続けたい 3 青葉区以外の横浜市に住みたい 4 横浜市外に住みたい
--

問3 10年後の青葉区の住民の生活や文化はどのようになっていると思いますか。
(～ についてお答え下さい。)

	そう思う	そうは思わない	わからない
住民の居住年数が長くなり、地域の連帯感が増す	1	2	3
団塊の世代が積極的に地域活動に参加することにより、地域が活性化する	1	2	3
高齢化や核家族が進み、夫婦のみや一人暮らしの高齢者が増加する	1	2	3
農地の宅地化が進展することにより、緑豊かな田園地域が減少する	1	2	3
大学や企業との連携によりスポーツや芸術などの独自の地域文化が誕生する	1	2	3
道路事情や環境問題により車依存から電車、バスなどの公共交通機関重視へと変わる	1	2	3

青葉区の生活環境について

問4 あなたが、日々の生活の中で、不足もしくは不便と思われる事は何ですか。

(はいくつでも)

- 1 公園
- 2 緑地（山林や農地など）
- 3 ごみのリサイクル・減量化
- 4 道路（道幅、渋滞等）
- 5 駅の駐輪場
- 6 駅の駐車場
- 7 交通手段（バス）
- 8 交通手段（鉄道）
- 9 保育園・幼稚園
- 10 小学校・中学校
- 11 子どもの遊び場や子育て支援のための施設
- 12 日用品の店（商店街）
- 13 働く場所
- 14 病院、診療所
- 15 図書館
- 16 スポーツ施設
- 17 地区センター、コミュニティハウス
- 18 高齢者のための施設
- 19 障害者のための施設
- 20 交番・警察
- 21 特にない
- 22 その他（具体的に: _____)

問5 あなたの身近な住環境について、心配なことはありますか。(はいくつでも)

- 1 まちなみを乱す建物、広告物など
- 2 建物の用途（店舗、倉庫、工場など）の混在
- 3 高層建築物（日照や眺めなど）
- 4 敷地の細分化
- 5 敷地の造成にともなう緑地の減少
- 6 土砂崩れ
- 7 建築工事の騒音
- 8 自動車の騒音
- 9 路上駐車
- 10 放置自転車
- 11 ごみの不法投棄
- 12 水路などの氾濫
- 13 河川の汚れや臭い
- 14 特に心配なことはない
- 15 その他（具体的に: _____)

防犯について

問 6 青葉区では、区内の犯罪（Crime）発生件数を平成 16 年比で 30%減少させることを目標に、地域（Community）及び警察や区役所などが結束を図り、全ての区民が挑戦（Challenge）する「あおば C30」防犯行動計画を進めています。あなたは、「あおば C30」防犯行動計画を知っていますか。

1 知っている

2 知らない

問 7 あなたが現在住んでいる地域において、犯罪や事故など安全について心配なことはありますか。
（はいくつでも）

- 1 ひったくりなどの路上犯罪
- 2 空き巣や車上ねらいなどの窃盗犯罪
- 3 自転車、自動車などの乗り物盗難
- 4 子どもに対するいたずらや暴力
- 5 つきまとい、無言電話などのストーカー
- 6 痴漢、婦女暴行などの性的犯罪
- 7 殺人、強盗などの凶悪犯罪
- 8 悪質商法やオレオレ詐欺などの詐欺犯罪
- 9 コンピュータへの不正アクセスやインターネットを利用したハイテク犯罪
- 10 暴力団による犯罪
- 11 交通事故（対自動車）
- 12 交通事故（対自転車）
- 13 不安を感じることはない
- 14 その他（具体的に: _____）

問 8 あなたは、犯罪を未然に防ぐため、どのような取り組みが必要だと思いますか。
（はいくつでも）

- 1 犯罪発生情報の提供
- 2 防犯灯などの防犯設備の充実
- 3 学校などにおける子ども向けの生活安全教育の実施
- 4 防犯講習会の実施
- 5 警察による防犯パトロール強化
- 6 地域ぐるみの防犯パトロールの強化
- 7 わからない
- 8 その他（具体的に: _____）

問 9 地域の防犯に対して、あなたが実行できそうな取り組みはありますか。（はいくつでも）

- 1 自宅の防犯強化をする（玄関やドアの鍵を増やす、防犯カメラを設置するなど）
- 2 門灯をつけ、夜道を明るくする
- 3 留守にするときなど、近所で声をかけ合える関係づくりをする
- 4 自治会や町内会などで防犯について話し合う
- 5 防犯に関する講習会に出席する
- 6 登下校時の子どもの見守りをする
- 7 防犯パトロールに参加する
- 8 参加できることは無い
- 9 その他（具体的に: _____）

子育てや福祉について

問 15 あなたの同居するご家族に小学校入学前までの未就学のお子さんはいいますか。

1 いる



(問16からお答え下さい)

2 いない



(問17からお答え下さい)

問 16 あなたが、子育てをしている中で不安、不満に思われていることは何ですか。

(はいくつでも)

- 1 近所で子どもを安心して遊ばせる場所が少ないこと
- 2 子ども連れで利用できる施設が少ないこと
- 3 こどもの事を相談できる人がいないこと
- 4 子どもを気軽に預けられるところが少ないこと
- 5 保育園や幼稚園などの施設が少ないこと
- 6 子育て関連の情報が少ないこと
- 7 特にない
- 8 その他(具体的に: _____)

問 17 あなたの同居するご家族に小学生から高校生までの間のお子さんはいいますか

1 いる



(問18からお答え下さい)

2 いない



(問19からお答え下さい)

問 18 あなたが、子育てをしている中で不安、不満に思われていることは何ですか(はいくつでも)

- 1 近所で子どもが運動できる場所が少ないこと
- 2 社会体験の機会が少ない
- 3 学校と地域の交流が少ない
- 4 登下校時の安全
- 5 学校や塾の費用などの教育費の負担が大きいこと
- 6 進路について
- 7 いじめなどの学校での人間関係
- 8 特にない
- 9 その他(具体的に: _____)

問 19 近年、就学をせず、就業・職業訓練をしていない若者（ニート）が問題となっていますが、あなたは、このような若者が社会的・経済的に自立するためには、どのようなことが必要だと考えますか。（ はいくつでも ）

- 1 家庭内での会話や相談
- 2 地域での相談機能の充実
- 3 社会体験の機会の充実（ボランティア活動など）
- 4 就業支援の充実
- 5 わからない
- 6 その他（具体的に： _____）

問 20 障害者や高齢者が健やかで快適な生活を送るため、あなたは、どのようなことが必要だと考えますか。（ はいくつでも ）

- 1 生きがいを感じられるような活動の支援
- 2 地域でのささえあいの支援
- 3 気軽に相談ができる場の提供
- 4 就労の場の確保
- 5 ショートステイなど緊急時に利用できる施設の充実
- 6 ユニバーサルデザインの採用（障害者や高齢者が健常者と同じ生活ができるような環境の整備）
- 7 障害者、高齢者の情報把握
- 8 障害者、高齢者の家族への支援
- 9 特に期待しない
- 10 わからない
- 11 その他（具体的に： _____）

問 21 青葉区では、スポーツ・レクリエーション活動、バランスの良い食生活、禁煙・分煙の推進等により健康で心豊かな暮らしの実現を目指しています。あなたは、健康維持のため取り組んでいることはありますか。（ はいくつでも ） 印の項目は 20 歳以上の方のみお答え下さい。

- 1 食事・栄養に気をつけている
- 2 バランスの良い食事がとれない時は、健康食品やサプリメント（栄養錠剤）をとっている
- 3 定期的に健康診断を受けている
- 4 日頃から体重や血圧などのチェックをしている
- 5 休養や睡眠を充分にとる
- 6 健康や病気に関するテレビ、新聞記事、雑誌などを見て情報を得ている
- 7 体に良いと言われることを色々と実施している
- 8 ウォーキングなど適度な運動をしている
- 9 スポーツジムなどで筋力トレーニングをしている
- 10 禁煙をしている
- 11 過度な飲酒を控えている（日本酒 1 合、もしくは、ビール大瓶 1 本程度）、飲酒しない
- 12 何もしていない
- 13 その他（具体的に： _____）

行政サービスについて

問 22 あなたは、青葉区役所からの行政情報について、主にどのような手段で入手していますか。
(はいくつでも)

<ul style="list-style-type: none"> 1 広報よこはま青葉区版 2 青葉区ホームページ 3 ラジオ（FMサルース） 4 ケーブルテレビ（イッツコム） 5 青葉区民ポータルサイト（あおばみん） 6 区民活動支援センター 7 地区センター、コミュニティハウス 8 民間のタウン紙などの情報紙 9 自治会・町内会の回覧板・掲示板 10 その他（具体的に: _____)
--

問 23 横浜市では、あざみ野駅、長津田駅など市内13の主要駅にある行政サービスコーナーにおいて住民票の写し等の証明書発行を取り扱っていますが、あなたは、知っていますか。

1 知っている	2 知らない
---------	--------

問 24 【問 23】の行政サービスコーナーについて、あなたは、利用したことはありますか。
(は1つ)

<ul style="list-style-type: none"> 1 利用したことがある 2 利用したことはないが、機会があれば、利用したい 3 利用したことはないが、今後も利用するつもりはない 4 その他（具体的に: _____)

問 25 青葉区では、今後以下の ~ のようなサービスの実施を予定しています。あなたは、そのサービスを知っていますか、また利用意向はありますか。

	【1】認知状況		【2】利用意向		
	知っている	知らない	利用したい	利用するつもりはない	その他（具体的に）
平成19年10月を目途に区内全地区センター（山内図書館に隣接する山内地区センターを除く）で横浜市立図書館の予約本の貸出、返却サービスを実施します	1	2	1	2	(_____)
平成20年1月を目途に、区内2か所の郵便局で、住民票の写し等証明書発行サービスをモデル的に実施します	1	2	1	2	(_____)

平成 21 年に横浜市は開港 150 周年、青葉区は区制 15 周年を迎えます。

問 26 あなたは、平成 21 年（2009 年）に横浜市が開港 150 周年、青葉区が区制 15 周年を迎えることを知っていますか。（ は 1 つ ）

- 1 両方知っている
- 2 横浜が開港 150 周年を迎えることだけ知っている
- 3 青葉区が区制 15 周年を迎えることだけ知っている
- 4 両方知らない

問 27 あなたは青葉区制 15 周年記念事業として、区役所が区民と共にどのようなことを行うと良いと思いますか。（ はいくつでも ）

- 1 式典の開催
- 2 記念誌の発行
- 3 音楽祭の開催
- 4 映画の作成
- 5 ミュージカルの開催
- 6 スポーツイベントの開催
- 7 記念グッズの作成
- 8 その他（具体的に:)

問 28 あなたは問 27 の記念事業を青葉区で行う場合、どのようなかたちで参加したいと思いますか。（ は 1 つ ）

- 1 見学者として
- 2 当日の運営スタッフとして
- 3 記念事業全般の企画・運営スタッフとして
- 4 音楽祭や映画、スポーツイベントなどの出演、出場者として
- 5 参加できない、するつもりはない
- 6 その他（具体的に:)

問 29 青葉区政について、具体的なお意見、ご要望、ご提案などございましたら、自由にご記入ください。

あなた自身について

F 1 あなたの性別をお答えください。

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

F 2 あなたの年齢をお答えください。(は1つ)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1 16～20歳 | 2 21～25歳 | 3 26～30歳 |
| 4 31～35歳 | 5 36～40歳 | 6 41～45歳 |
| 7 46～50歳 | 8 51～55歳 | 9 56～60歳 |
| 10 61～65歳 | 11 66～70歳 | 12 71～75歳 |
| 13 76歳以上 | | |

F 3 あなたは、青葉区(平成5年以前は緑区北部支所管内)に、いつからお住まいになっていますか。
(は1つ)

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 1 昭和19年(1944年)以前 | 2 昭和20年～29年(1945～1954年) |
| 3 昭和30年～39年(1955～1964年) | 4 昭和40年～49年(1965～1974年) |
| 5 昭和50年～59年(1975～1984年) | 6 昭和60年～平成元年(1985～1989年) |
| 7 平成2年～6年(1990～1994年) | 8 平成7年～11年(1995～1999年) |
| 9 平成12年～16年(2000～2004年) | 10 平成17年～(2005年～) |
| 11 わからない | |

F 4 あなたが青葉区(平成5年以前は緑区北部支所管内)に来られる前にお住まいになっていたところはどちらですか。(は1つ)

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1 生まれてからずっと青葉区 | 2 青葉区以外の横浜市 |
| 3 川崎市 | 4 横浜市、川崎市を除く神奈川県内 |
| 5 町田市 | 6 東京23区 |
| 7 その他(具体的に) | |

F 5 あなたのお住まいは、この中のどれにあたりますか。(は1つ)

- | | |
|--------------|-----------------------------|
| 1 持家(一戸建て) | 2 持家(マンション・共同住宅) |
| 3 借家(一戸建て) | 4 借家(マンション・共同住宅、社宅、公務員住宅、寮) |
| 5 その他(具体的に) | |

F 6 あなたの家族形態は、この中のどれにあたりますか。同居をしている方を対象としてお答えください。(は1つ)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 ひとり暮らし | 2 夫婦だけ |
| 3 親と子(2世代) | 4 親と子と孫 (3世代) |
| 5 その他(具体的に) | |

F 7 あなたの住んでいる町は次のうちどちらですか。以下の選択肢は五十音順になっています。(は1つ)

【あ】		
1 青葉台一丁目～二丁目	2 あかね台一丁目～二丁目	3 あざみ野一丁目～四丁目
4 あざみ野南一丁目～四丁目	5 市ヶ尾町	6 美しが丘一丁目～三丁目
7 美しが丘四丁目～五五丁目	8 美しが丘西一丁目～二丁目	9 美しが丘西三丁目
10 梅が丘	11 荇子田一丁目～三丁目	12 荇田町
13 荇田北一丁目～三丁目	14 荇田西一丁目～五丁目	15 榎が丘
16 大場町	17 恩田町	
【か】		
18 柿の木台	19 桂台一丁目～二丁目	20 上谷本町
21 鴨志田町	22 鉄町	23 黒須田
【さ】		
24 桜台	25 さつきが丘	26 寺家町
27 下谷本町	28 しらとり台	29 新石川一丁目～四丁目
30 すずき野一丁目～三丁目	31 すみよし台	
【た】		
32 たちばな台一丁目～二丁目	33 田奈町	34 千草台
35 つつじが丘		
【な】		
36 奈良町	37 奈良一丁目～五丁目	38 成合町
【は】		
39 藤が丘一丁目～二丁目		
【ま】		
40 松風台	41 みすずが丘	42 みたけ台
43 緑山	44 もえぎ野	45 元石川町
46 もみの木台		
【わ】		
47 若草台		

F 8 あなたの職業はどれにあたりますか。(は1つ)

1 自営業	2 自営業の家族従事者	3 勤め(全日)
4 勤め(パートタイム)	5 内職	6 学生
7 家事	8 無職	9 その他()

F 9 あなたのご家族などについてうかがいます。(それぞれに は1つ)

F 9-1 同居しているお子さんがいますか	1 いる	2 いない
F 9-2 (【F 9-1】で【1 いる】とお答えの方へ)		
お子さんは次のうちどれに該当しますか		
1 未就学	2 小学生	3 中学生
4 高校生	5 専門学校生、大学生	
6 その他()		
F 9-3 同居・別居を問わず、区内に65歳以上のご家族がいますか	1 いる	2 いない
F 9-4 日中、家で子どもの世話をする方がいますか	1 いる	2 いない
F 9-5 共働きをしていますか	1 している	2 していない

お疲れ様でした。質問は以上です。ご協力ありがとうございました。
 お手数ですが同封の返信用封筒に入れ、**9月18日(火)**までにご投函ください。

平成 19 年度青葉区区民意識調査報告書

平成 19 年 12 月

発 行：青葉区役所 区政推進課
〒225-0024
横浜市青葉区市ヶ尾町 3 1 番地 4
電 話 0 4 5 (9 7 8) 2 2 1 7
F a x 0 4 5 (9 7 8) 2 4 1 0